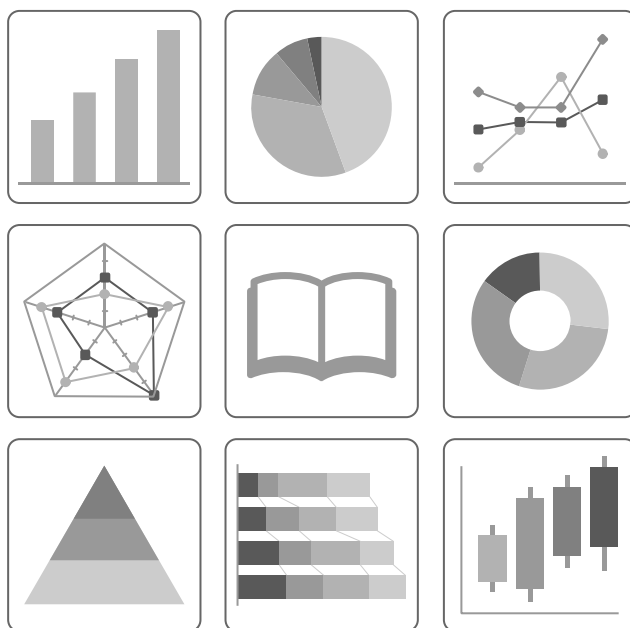


奈良市
子どもの生活に関するアンケート
調査結果報告書



令和4年3月

奈良市

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
7	相対的貧困層分析概要	2
8	自己肯定感分析概要	3
II	調査結果	4
1	子ども調査	4
	(1) 回答者属性.....	4
	(2) ふだんの生活について.....	8
	(3) タブレット端末の利用状況について.....	85
2	保護者調査	86
	(1) 子どもと回答者の関係.....	86
	(2) 世帯について.....	86
	(3) お子さんについて.....	99
	(4) 回答者について.....	128
	(5) 経済的な状況について.....	166
	(6) 新型コロナウイルスの影響について.....	184
	(7) 必要な支援等について.....	196
3	自由意見	217
	(1) 子ども調査.....	217
	(2) 保護者調査.....	221

I 調査の概要

1 調査の目的

本調査は、奈良市の子どもが今を幸せに生きることができ、将来に夢と希望をもって成長していけるよう、学校や家での生活の様子、将来についての考えや希望、子育て世帯の生活環境・経済状況を把握し、今後の本市の貧困対策の基礎資料とすることを目的として実施したものです。

2 調査対象

奈良市在住の市内小学5年生の児童とその保護者、および市内中学2年生の生徒とその保護者

3 調査期間

令和3年11月5日から11月22日


4 調査方法

学校配布・郵送回収

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
子ども	2,000通	998通	49.9%
保護者	2,000通	1028通	51.4%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを  で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

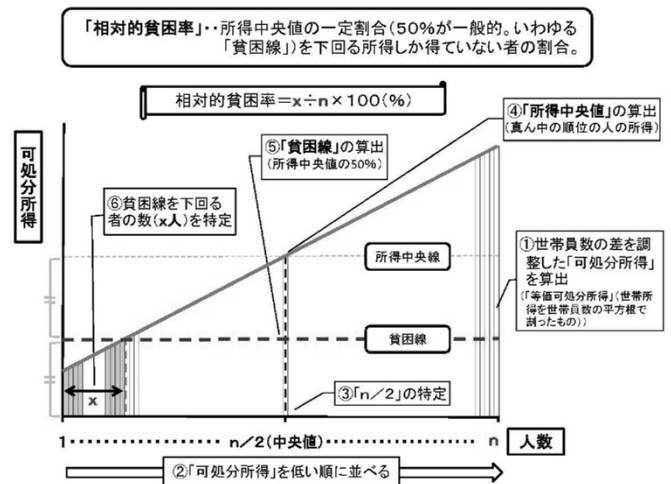
7 相対的貧困層分析概要

貧困の代表的な定義には、所得額が、人間が生きるために必要な最低限の生活水準を維持するのに満たない状態を示す「絶対的貧困」と、所得額が一定の国や地域における平均的な生活水準に満たない状態を示す「相対的貧困」という2つの種類があります。

子どもの貧困の状況を把握するために、本調査では相対的貧困率を用います。OECD（経済協力開発機構）では、「世帯の所得を世帯人数で調整して算出した等価可処分所得（1人当たりの所得）が、貧困線（等価可処分所得の中央値の2分の1）に満たない」割合を、相対的貧困率としています。

《参考 本調査における等価可処分所得の求め方》

- ①世帯人員数：世帯人員から「生計が別」である人数を除いた、子どもと同一生計の世帯人員を算出。
- ②可処分所得：収入から税金や社会保険料等を除いた金額（いわゆる手取り収入額）。
- ③②を①の平方根で除して、世帯の1人あたりの所得額である「等価可処分所得」を算出する。



(出典：厚生労働省ホームページ, <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21a-01.pdf>)

本調査では、令和3年度の奈良市子どもの生活に関するアンケートから、等価可処分所得の中央値 259.8 万円と中央値 2分の1 である貧困線の 129.9 万円を基準として設定しました。

	世帯数	相対的貧困層	非相対的貧困層	貧困率
全世帯	866	148	718	17.1%
ひとり親世帯	107	60	47	56.1%

※ひとり親世帯は「母子世帯」「父子世帯」を対象としています。

	人数	相対的貧困層	非相対的貧困層	貧困率
子ども	1,534	257	1,277	16.8%

※子どもは17歳以下の人を対象としています。

8 自己肯定感分析概要

自己肯定感を高めるには、乳幼児期に保護者をはじめとする特定の保育者がしっかりと子どもに関わり、愛着形成や情緒の安定と基本的な生活習慣の定着をはかることが大切です。

さらに学齢期以降の学習習慣の基盤をつくとともに学習意欲や課題や困難に立ち向かう精神力の基盤をつくることが非常に重要です。

本調査では、子どもの自己肯定感に関する項目を設け、「頑張れば、成果が出せる」「自分は価値のある人間だと思う」「自分には良いところがある」「不安を感じることはない」「孤独を感じることはない」「自分の将来が楽しみだ」、それぞれの選択肢にポイントをつけ、自己肯定感を「高」「中」「低」に分類しどのような傾向があるかその実態の把握に努めました。

表：本調査における自己肯定感分類の考え方

選択肢	ポイント
あてはまる	4
どちらかといえば、あてはまる	3
どちらかといえば、あてはまらない	2
あてはまらない	1

ポイント	自己肯定感
6～11	低
12～18	中
19～24	高

※6つの全ての項目に回答した子ども（小学生・中学生）が分類の対象

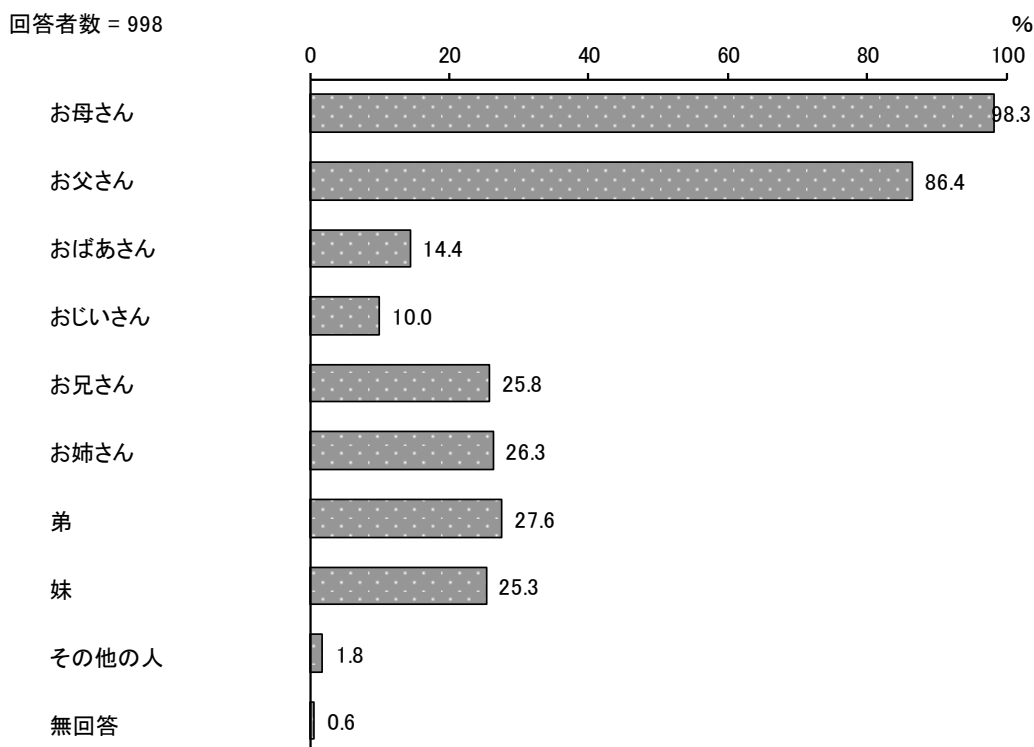
Ⅱ 調査結果

1 子ども調査

(1) 回答者属性

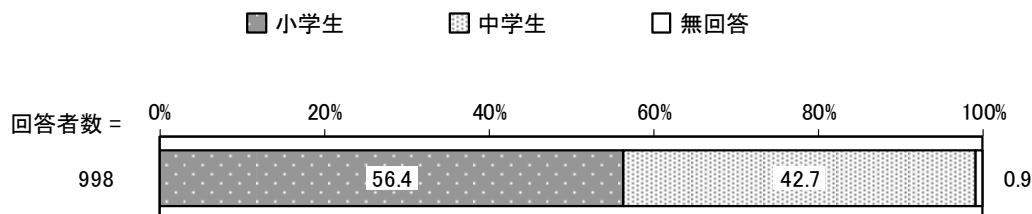
問1 あなたと今一緒に住んでいる人を教えてください。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「お母さん」の割合が98.3%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が86.4%、「弟」の割合が27.6%となっています。



問2 あなたは小学生ですか。それとも中学生ですか。
(あてはまる番号1つだけに○を付けてください)

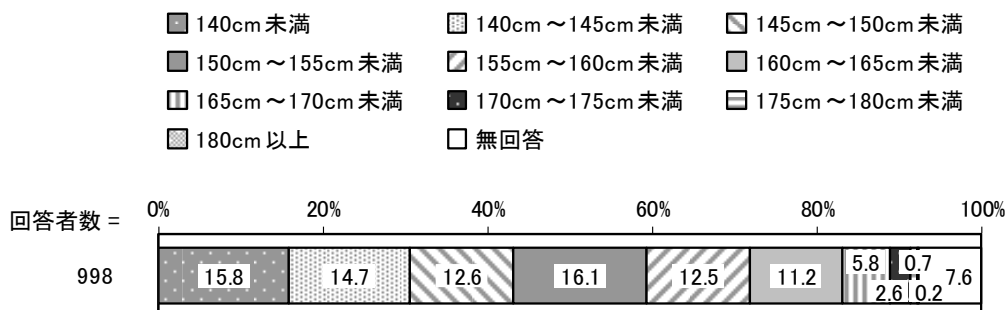
「小学生」の割合が56.4%、「中学生」の割合が42.7%となっています。



問 2 - 1 あなたの今の身長・体重を () 内に記入してください。

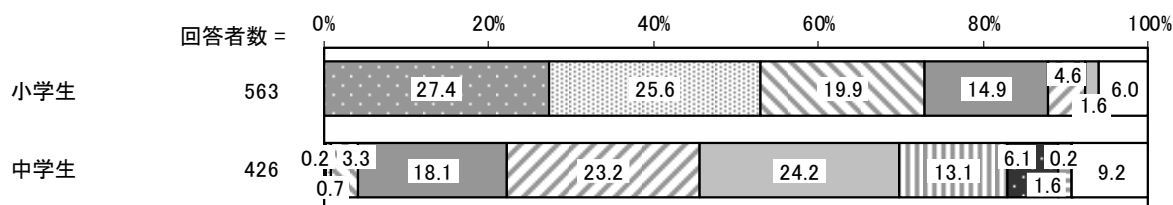
身長

「150cm～155cm 未満」の割合が 16.1%と最も高く、次いで「140cm 未満」の割合が 15.8%、「140cm～145cm 未満」の割合が 14.7%となっています。



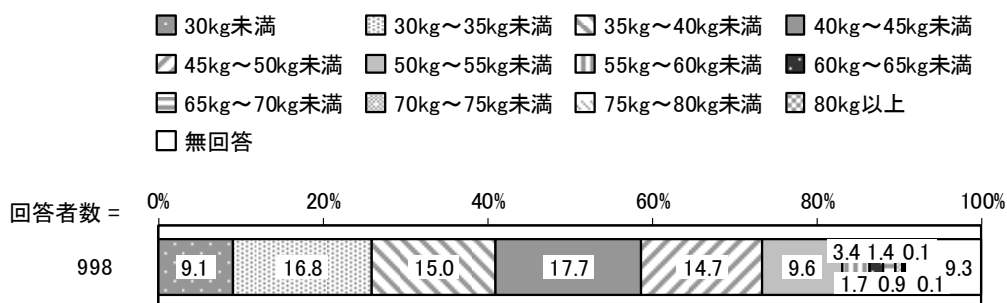
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「140cm 未満」「140cm～145cm 未満」「145cm～150cm 未満」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「155cm～160cm 未満」「160cm～165cm 未満」「165cm～170cm 未満」「170cm～175cm 未満」の割合が高くなっています。



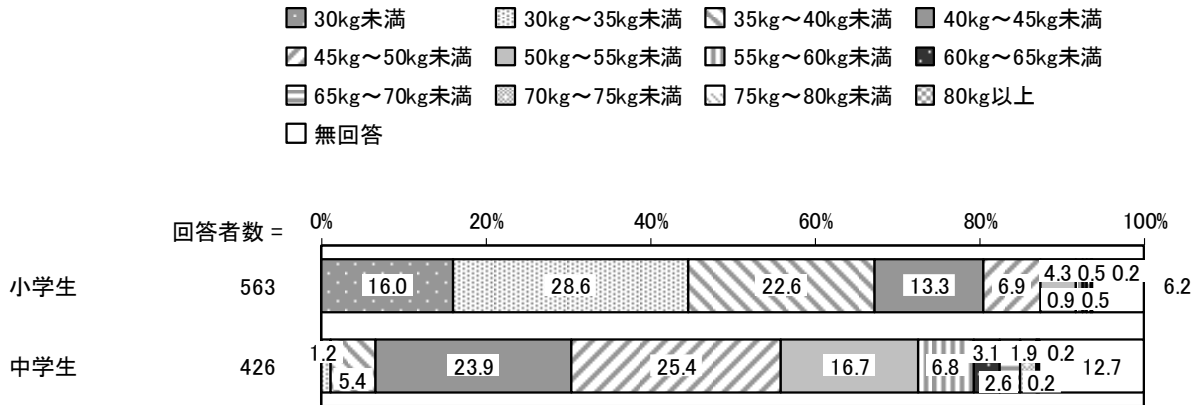
体重

「40kg～45kg 未満」の割合が 17.7%と最も高く、次いで「30kg～35kg 未満」の割合が 16.8%、「35kg～40kg 未満」の割合が 15.0%となっています。



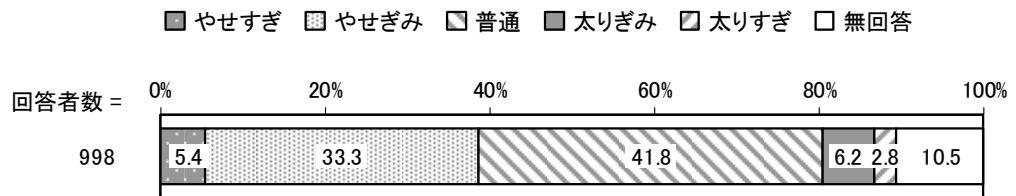
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「30kg未満」「30kg～35kg未満」「35kg～40kg未満」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「40kg～45kg未満」「45kg～50kg未満」「50kg～55kg未満」「55kg～60kg未満」の割合が高くなっています。



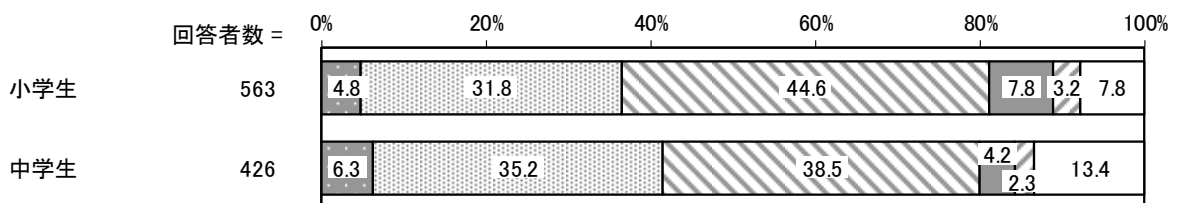
ローレル指数

「普通」の割合が41.8%と最も高く、次いで「やせぎみ」の割合が33.3%となっています。



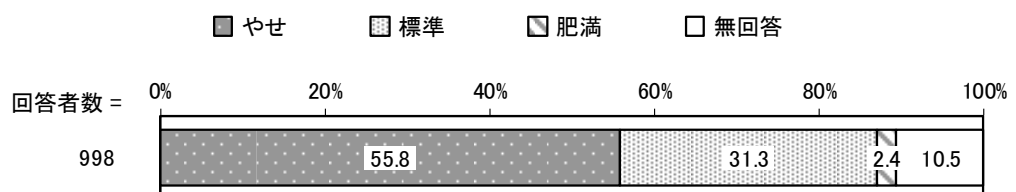
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「普通」の割合が高くなっています。



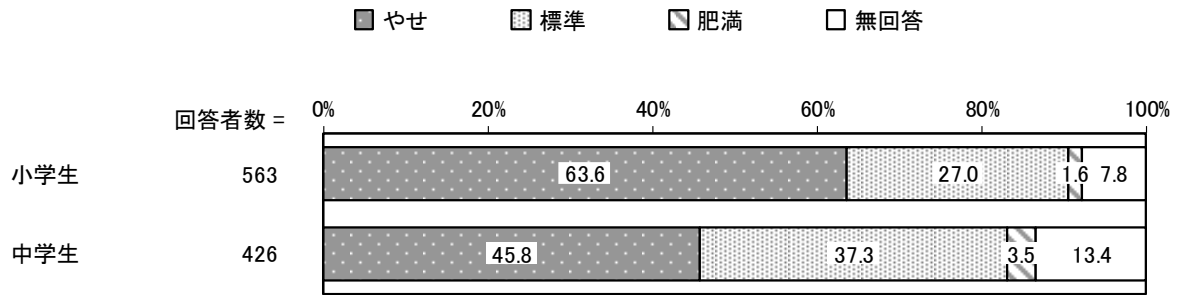
BMI

「やせ」の割合が55.8%と最も高く、次いで「標準」の割合が31.3%となっています。



【小5・中2別】

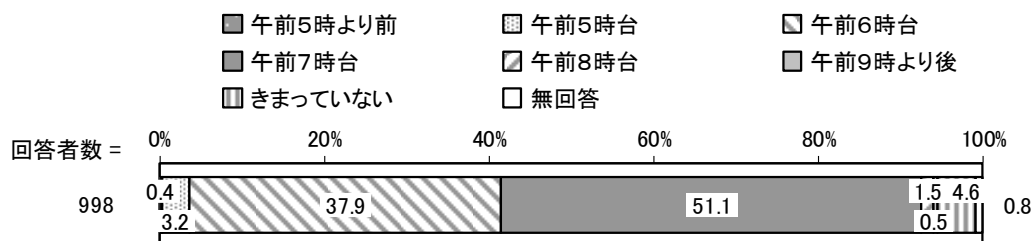
小5・中2別で見ると、中学生に比べ、小学生で「やせ」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「標準」の割合が高くなっています。



(2) ふだんの生活について

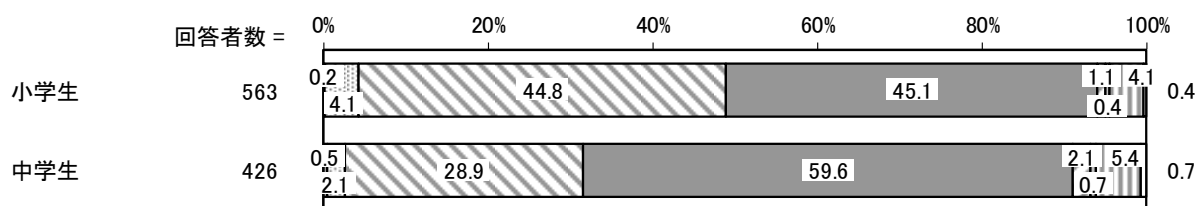
問3 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に起きていますか。
（あてはまる番号1つだけに○を付けてください）

「午前7時台」の割合が51.1%と最も高く、次いで「午前6時台」の割合が37.9%となっています。



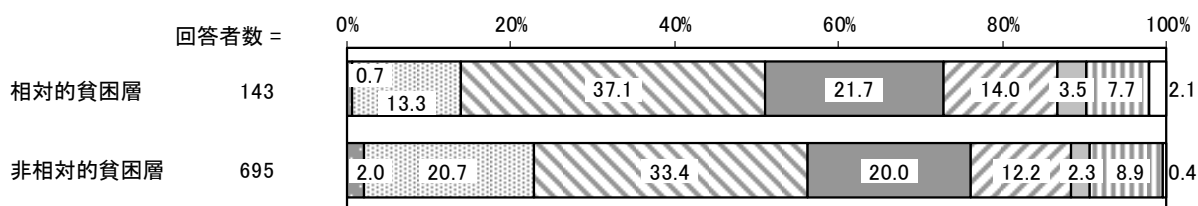
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「午前6時台」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「午前7時台」の割合が高くなっています。



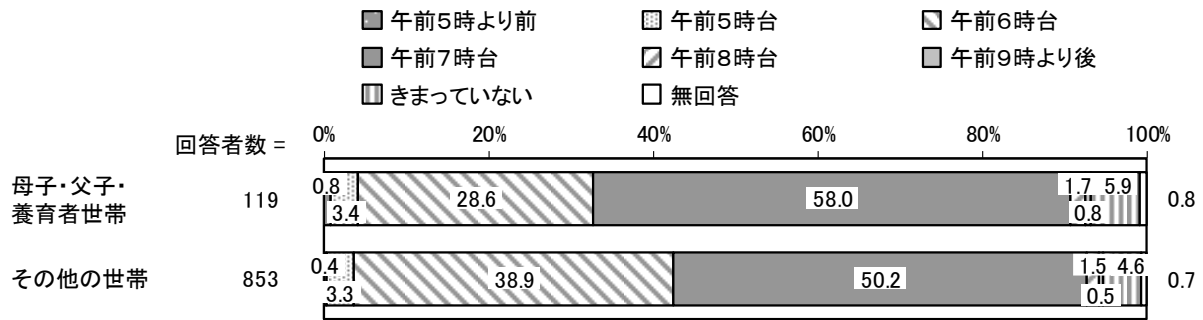
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



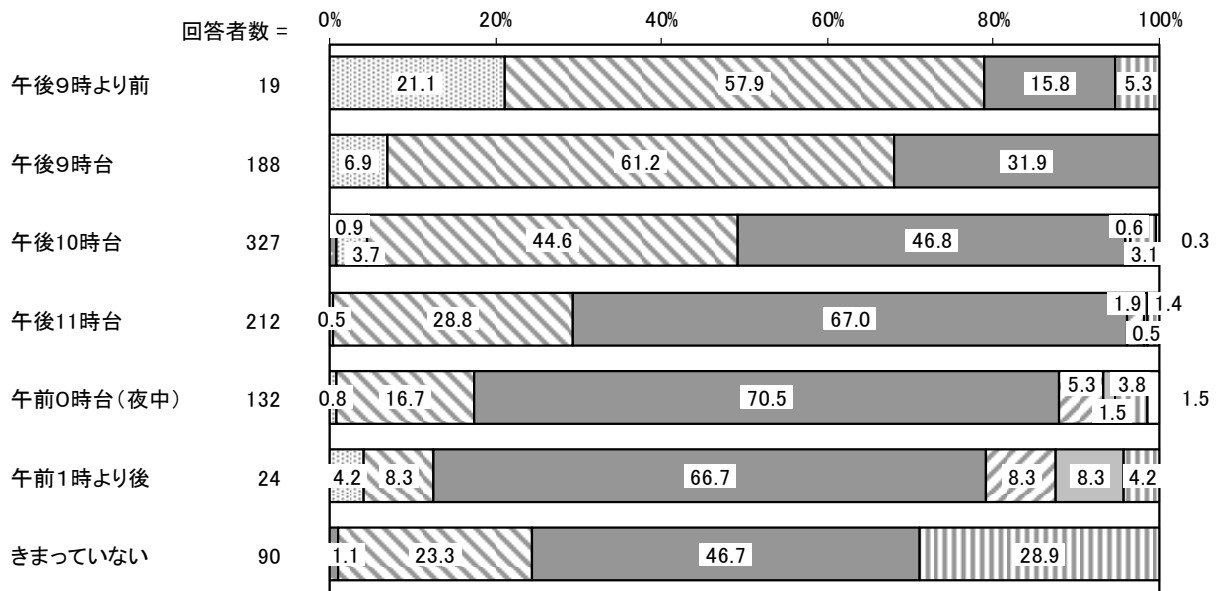
【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「午前7時台」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「午前6時台」の割合が高くなっています。



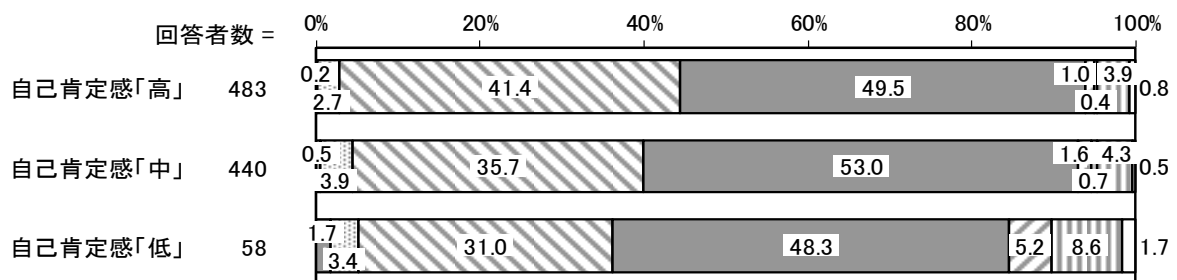
【就寝時間別】

就寝時間別で見ると、他に比べ、午後9時より前で「午前5時台」の割合が、午前1時より後で「午前9時より後」の割合が高くなっています。



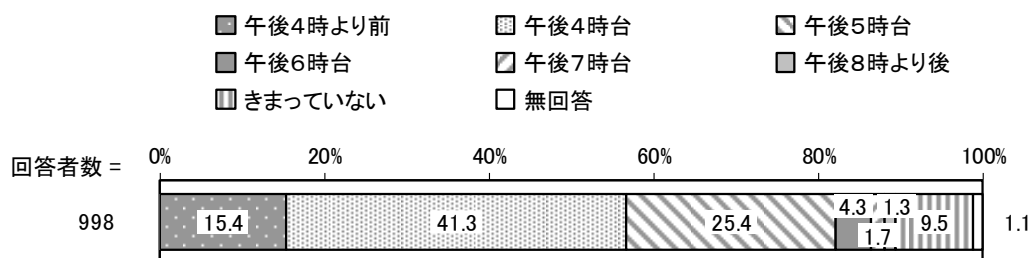
【自己肯定感別】

自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「中」で「午前7時台」の割合が、自己肯定感「高」で「午前6時台」の割合が高くなっています。



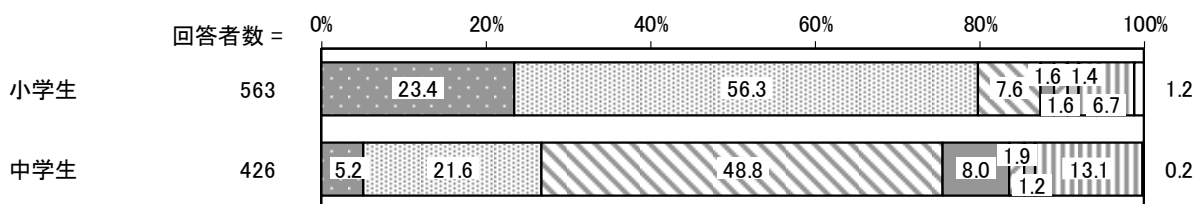
問4 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に家に帰りますか。
（あてはまる番号1つだけに○を付けてください）

「午後4時台」の割合が41.3%と最も高く、次いで「午後5時台」の割合が25.4%、「午後4時より前」の割合が15.4%となっています。



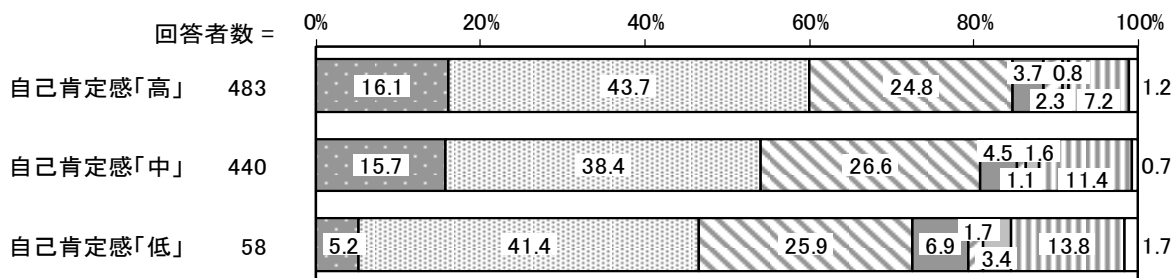
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「午後4時より前」「午後4時台」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「午後5時台」「午後6時台」「きまっていない」の割合が高くなっています。



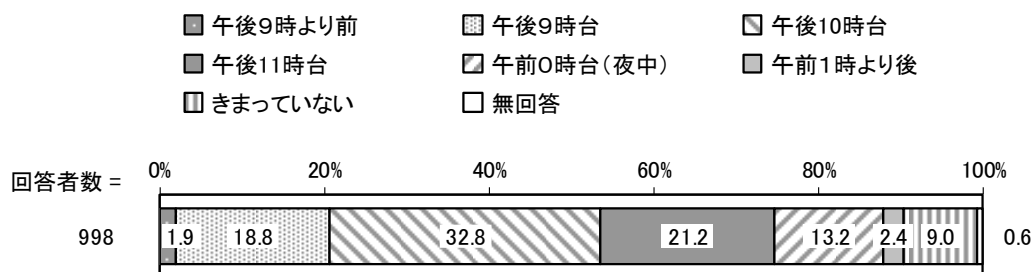
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」、自己肯定感「中」で「午後4時より前」の割合が高くなっています。



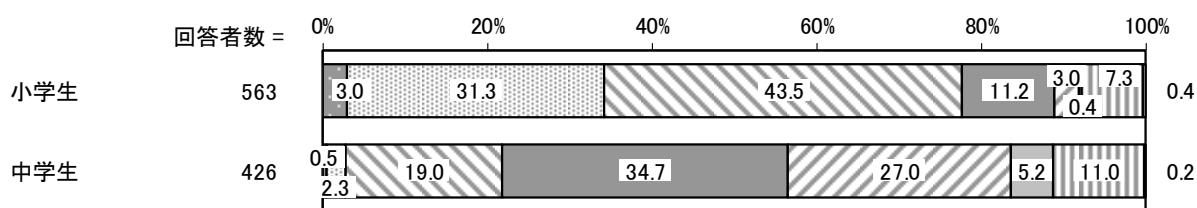
**問5 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、何時に寝ていますか。
（あてはまる番号1つだけに○を付けてください）**

「午後10時台」の割合が32.8%と最も高く、次いで「午後11時台」の割合が21.2%、「午後9時台」の割合が18.8%となっています。



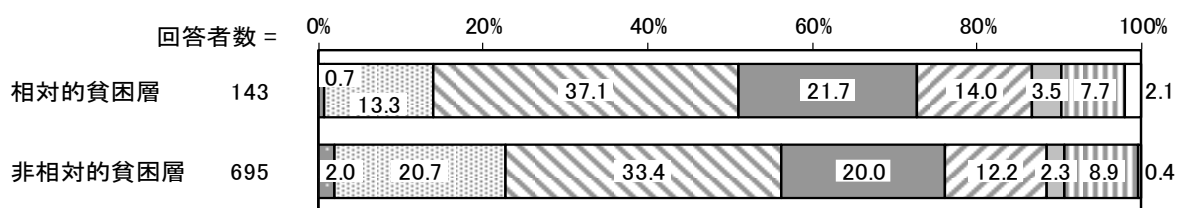
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「午後9時台」「午後10時台」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「午後11時台」「午前0時台(夜中)」の割合が高くなっています。



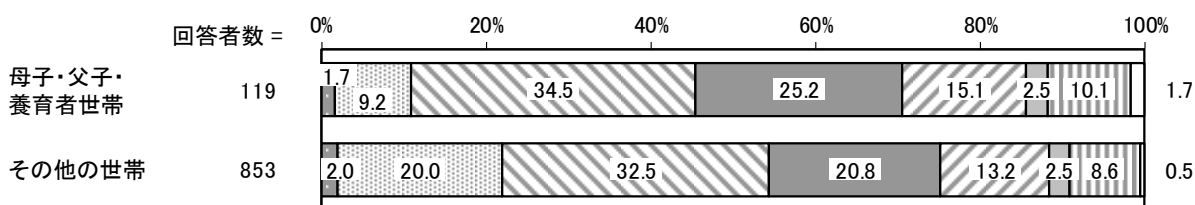
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「午後9時台」の割合が高くなっています。



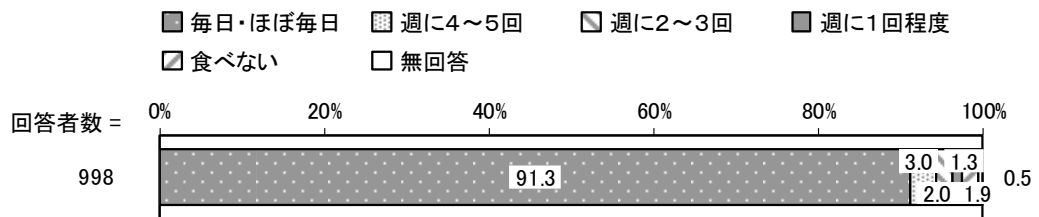
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「午後9時台」の割合が高くなっています。



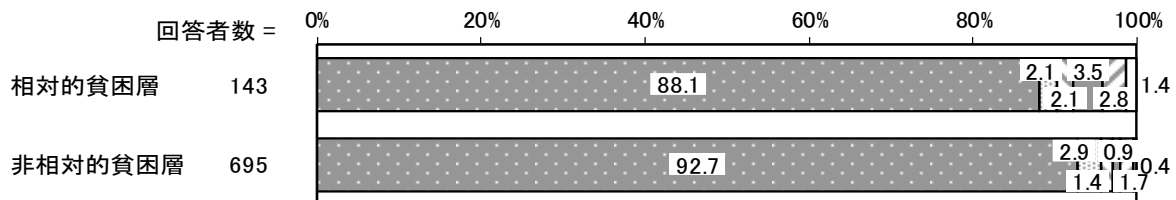
問6 あなたは朝ごはんをいつも食べていますか。
(あてはまる番号1つだけに○を付けてください)

「毎日・ほぼ毎日」の割合が91.3%と最も高くなっています。



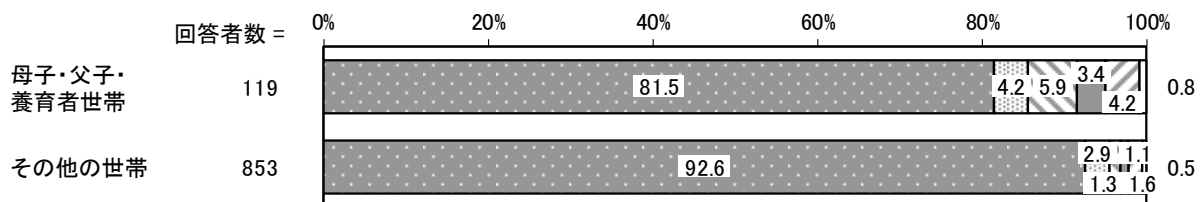
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別で見ると、大きな差異はみられません。



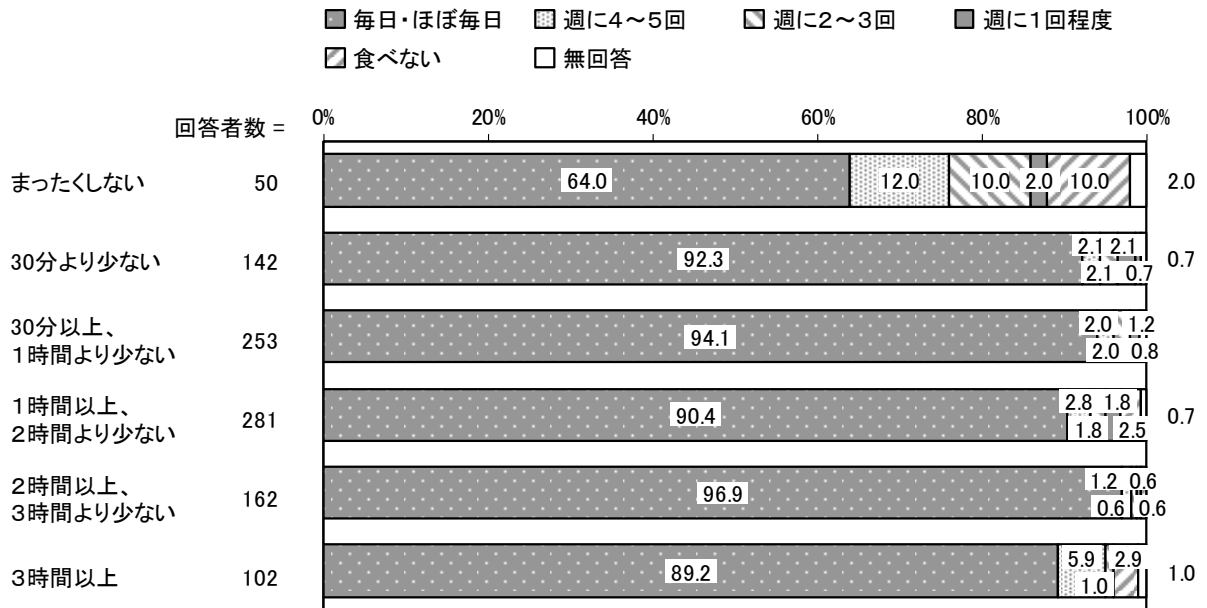
【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「毎日・ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



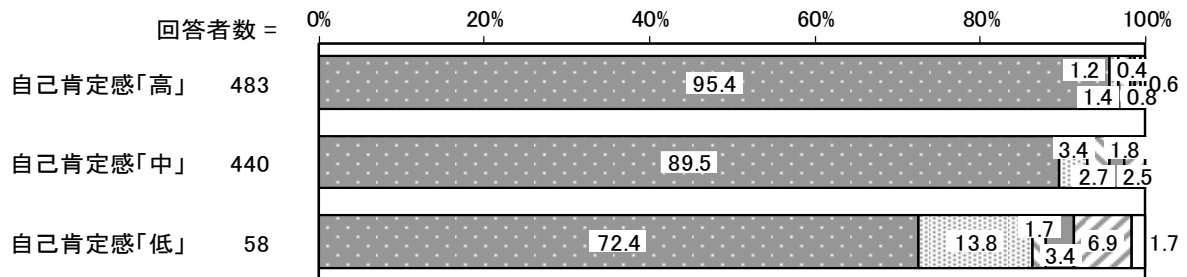
【学習時間別】

学習時間別で見ると、他に比べ、まったくしないで「週に4～5回」「週に2～3回」「食べない」の割合が高くなっています。



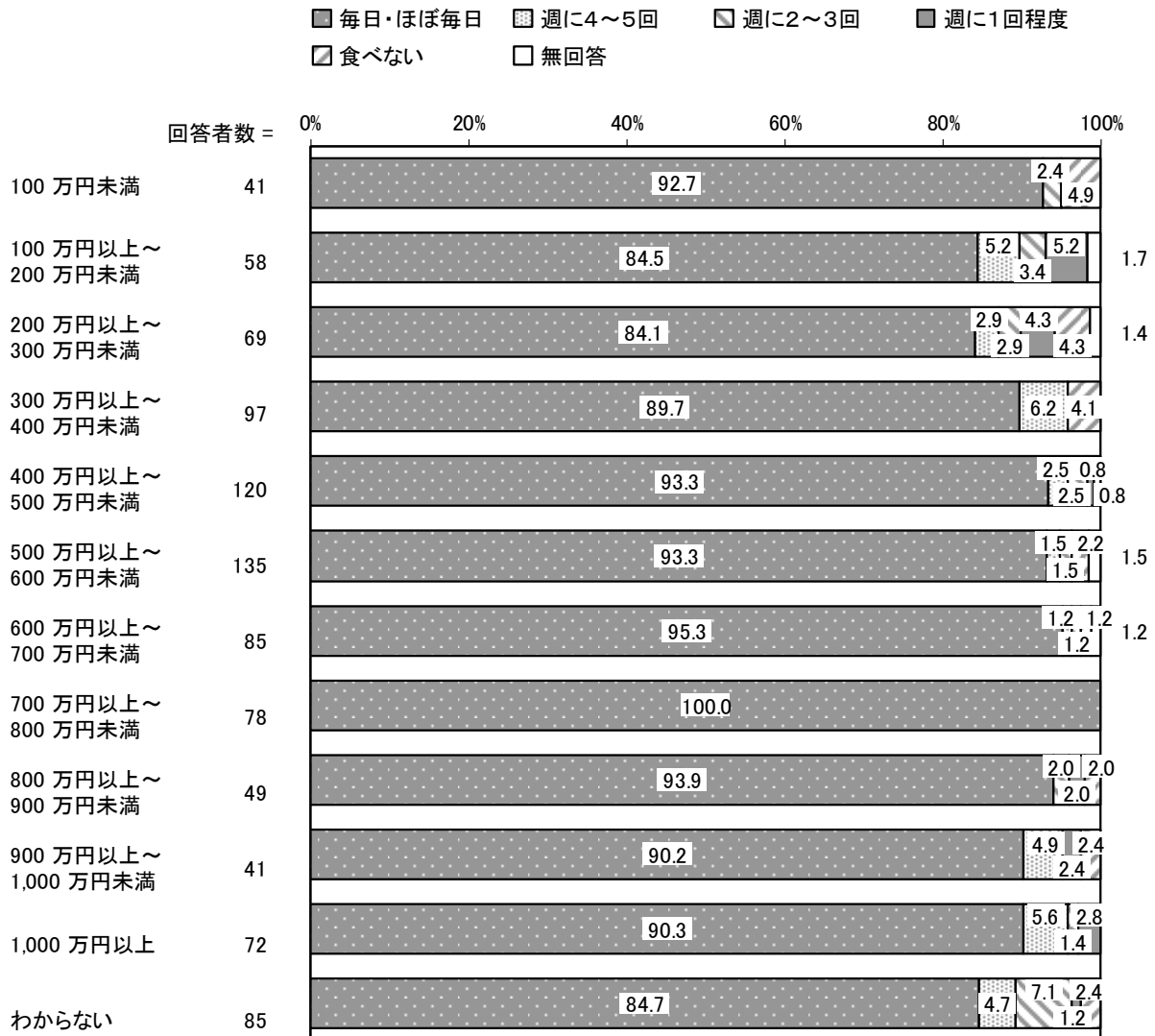
【自己肯定感別】

自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「高」で「毎日・ほぼ毎日」の割合が、自己肯定感「低」で「週に4～5回」の割合が高くなっています。



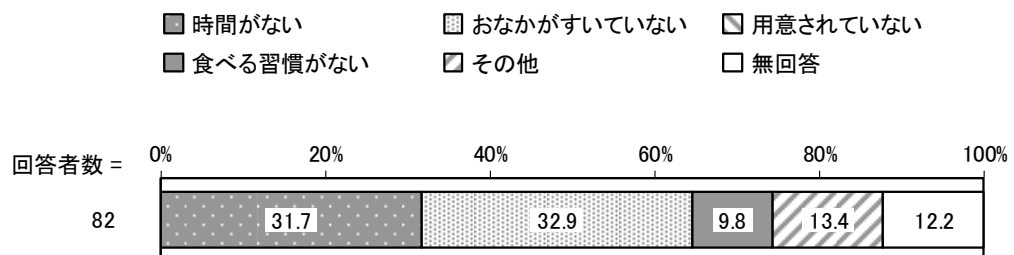
【可処分所得別】

可処分所得別でみると、他に比べ、700 万円以上～800 万円未満で「毎日・ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



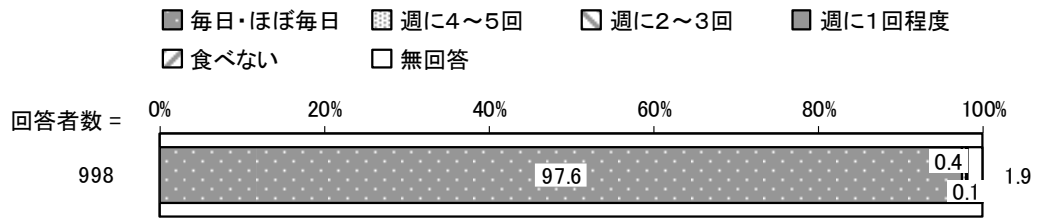
問 6-1 毎日朝ごはんを食べない理由は何ですか。
(あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)

「おなかがすいていない」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「時間がない」の割合が 31.7%となっています。



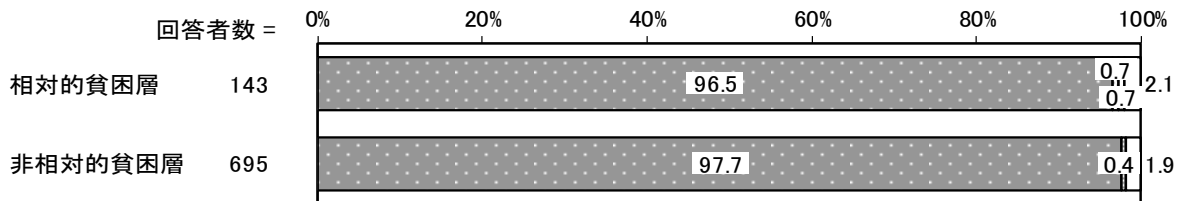
問7 あなたは晩ごはんをいつも食べていますか。
(あてはまる番号1つだけに○を付けてください)

「毎日・ほぼ毎日」の割合が97.6%と最も高くなっています。



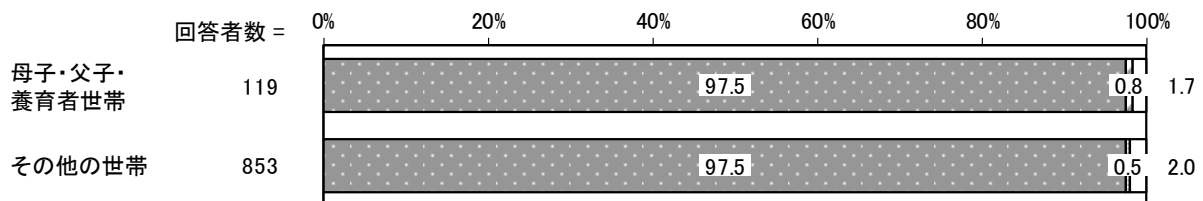
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



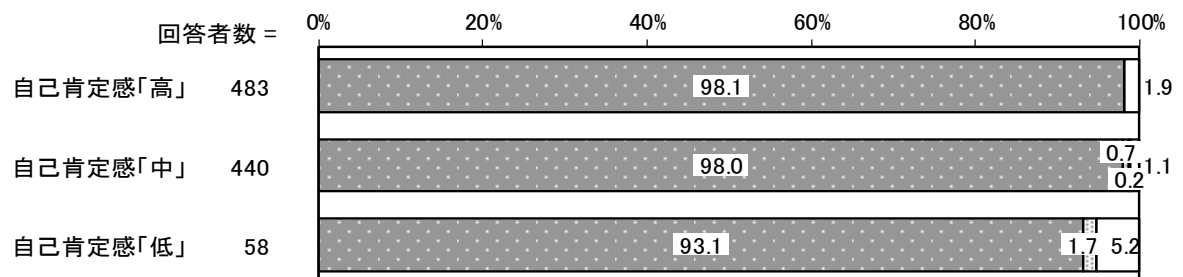
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



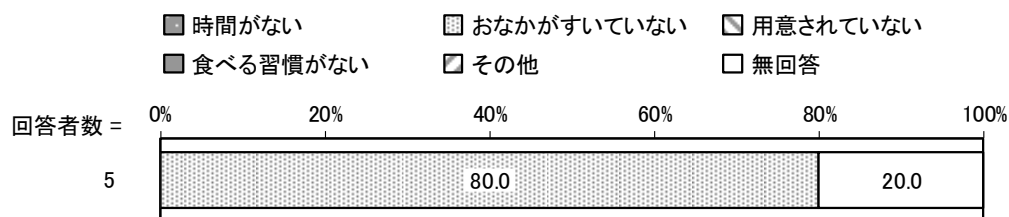
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「毎日・ほぼ毎日」の割合が低くなっています。



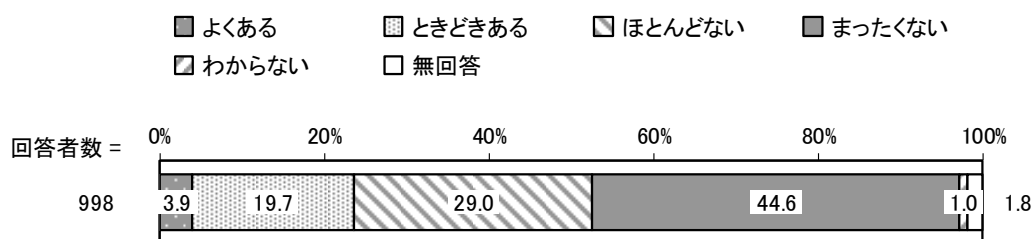
問7-1 毎日晚ごはんを食べない理由はなんですか。
 (あてはまる番号1つだけに○を付けてください)

「おなかがすいていない」が4件となっています。



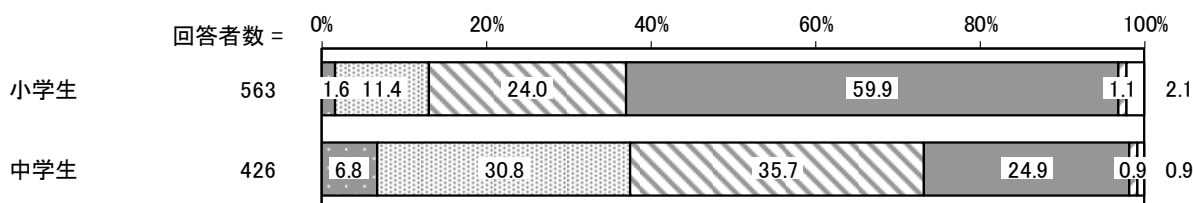
問8 あなたは、家でひとりでごはんを食べることがありますか。
 (あてはまる番号1つだけに○を付けてください)

「ほとんどない」と「まったくない」をあわせた“ない”の割合が73.6%と最も高く、次いで「よくある」と「ときどきある」をあわせた“ある”の割合が23.6%となっています。



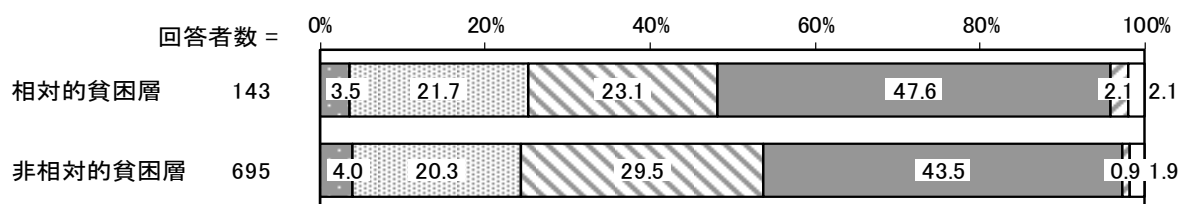
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で“ない”の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で“ある”の割合が高くなっています。



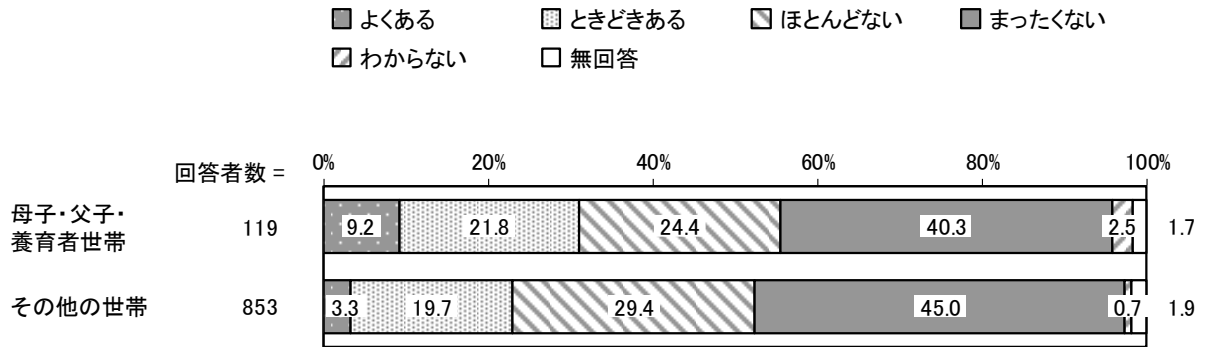
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



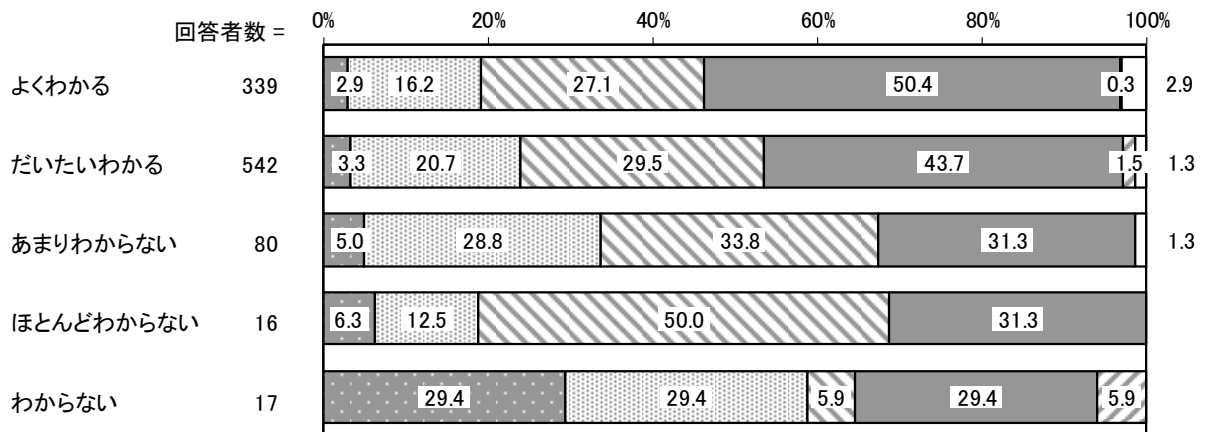
【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で“ある”の割合が高くなっています。一方、その他の世帯で“ない”の割合が高くなっています。



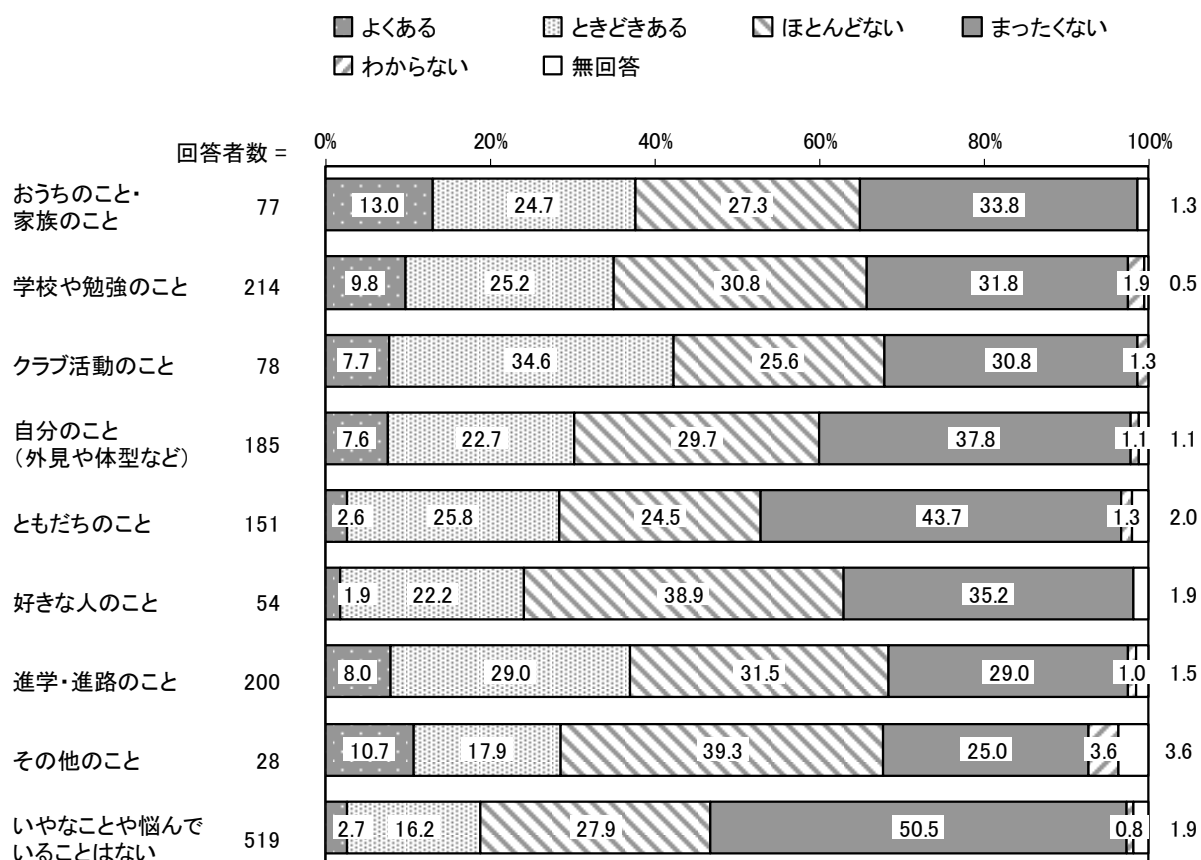
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別で見ると、他に比べ、わからないで“ある”の割合が高くなっています。



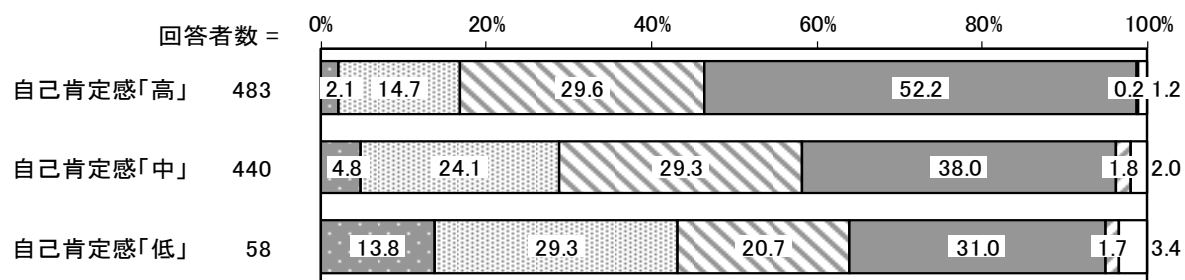
【子どもの悩み別】

子どもの悩み別で見ると、他に比べ、クラブ活動のことで“ある”の割合が高くなっています。また、好きな人のこと、いやなことや悩んでいることはないで“ない”の割合が高くなっています。



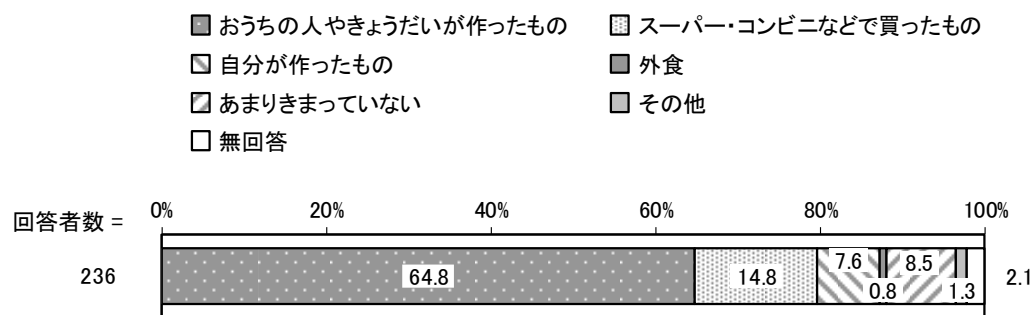
【自己肯定感別】

自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「高」で“ない”の割合が、自己肯定感「低」で“ある”の割合が高くなっています。



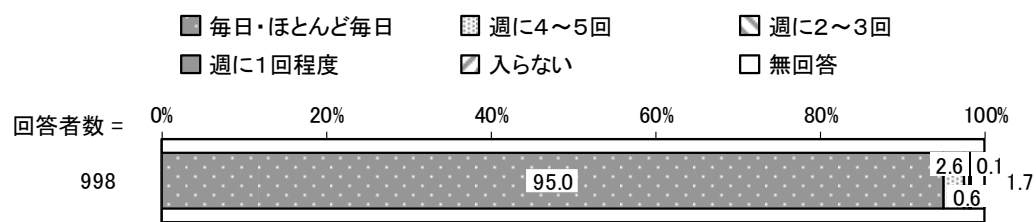
問8-1 ひとりでごはんを食べるとき、なにをよく食べていますか。特によく食べているものを教えてください。（あてはまる番号1つだけに○を付けてください）

「おうちの人やきょうだい作ったもの」の割合が64.8%と最も高く、次いで「スーパー・コンビニなどで買ったもの」の割合が14.8%となっています。



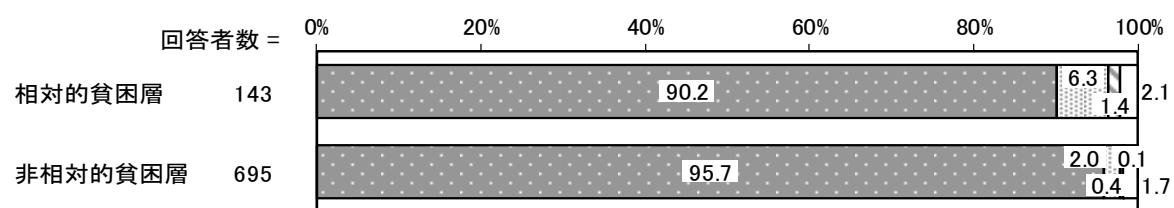
問9 あなたは、週にどのくらい、お風呂（シャワーのみの場合も含む）に入りますか。（あてはまる番号1つだけに○を付けてください）

「毎日・ほとんど毎日」の割合が95.0%と最も高くなっています。



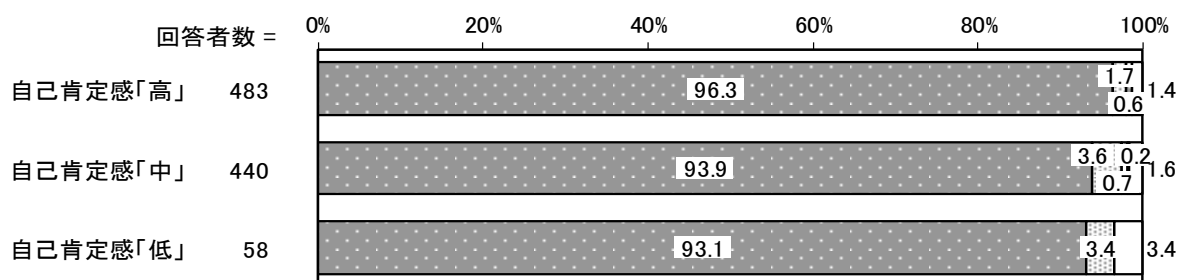
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「毎日・ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



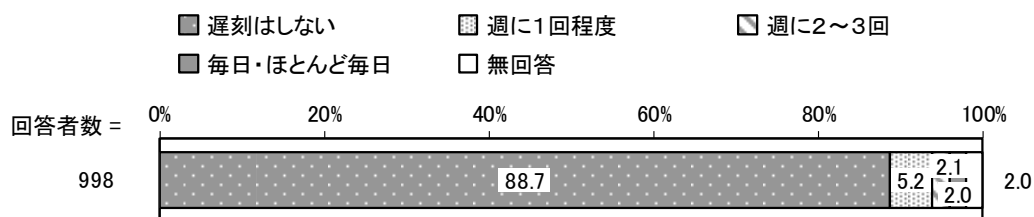
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



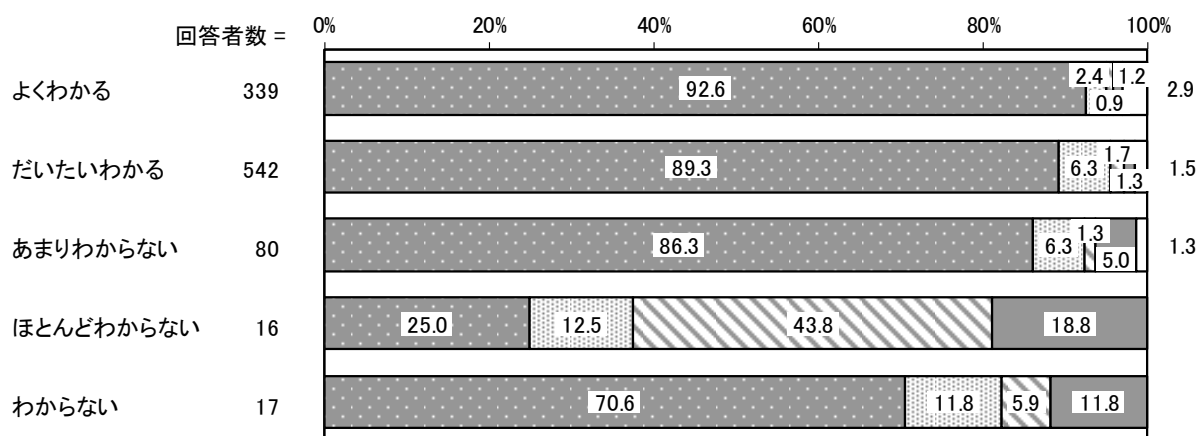
問 10 あなたは、通っている学校に遅刻することがありますか。
(あてはまる番号1つだけに○を付けてください)

「遅刻はしない」の割合が88.7%と最も高くなっています。



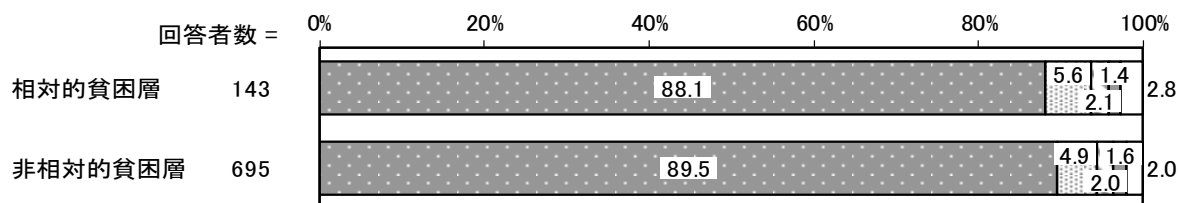
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、ほとんどわからないで「週に2~3回」「毎日・ほとんど毎日」の割合が高くなっています。



【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



【子どもの自己肯定感別】

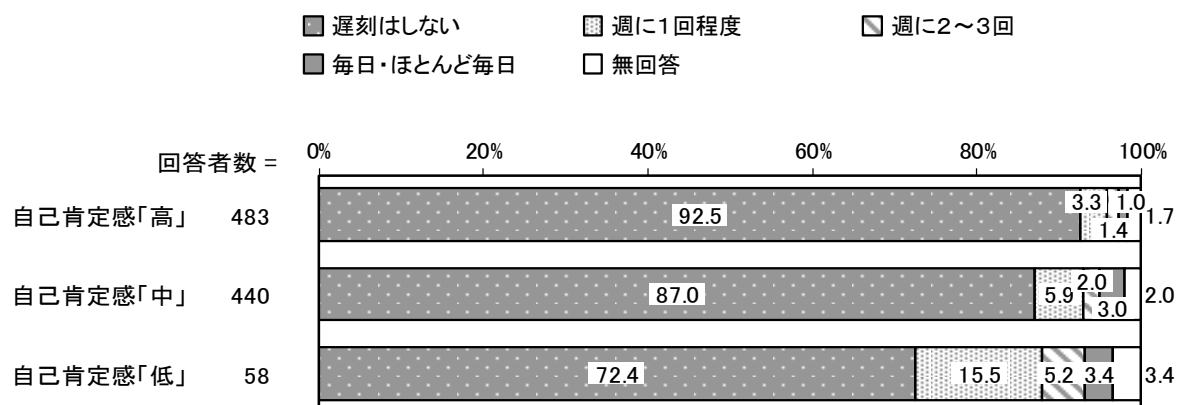
子どもの自己肯定感別でみると、他に比べ、頑張れば、成果が出せる あてはまる、自分は価値のある人間だと思う あてはまる、自分には良いところがある あてはまる、孤独を感じることはない あてはまる、自分の将来が楽しみだ あてはまるで「遅刻はしない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	遅刻はしない	週に1回程度	週に2～3回	毎日・ほとんど毎日	無回答
頑張れば、成果が出せる あてはまる	886	90.0	4.7	1.7	1.7	1.9
あてはまらない	97	79.4	9.3	4.1	5.2	2.1
自分は価値のある人間だと思う あてはまる	699	90.3	4.6	1.4	1.9	1.9
あてはまらない	276	85.5	6.5	3.3	2.5	2.2
自分には良いところがある あてはまる	812	90.5	4.4	1.4	1.7	2.0
あてはまらない	166	80.7	9.0	4.8	3.6	1.8
不安に感じる場所はない あてはまる	566	89.9	4.9	1.2	1.9	1.9
あてはまらない	414	87.4	5.6	2.9	2.2	1.9
孤独を感じることはない あてはまる	664	91.0	3.9	1.4	2.1	1.7
あてはまらない	311	84.6	7.7	3.2	1.9	2.6
自分の将来が楽しみだ あてはまる	736	90.9	4.3	1.6	1.2	1.9
あてはまらない	242	83.1	7.4	2.9	4.5	2.1

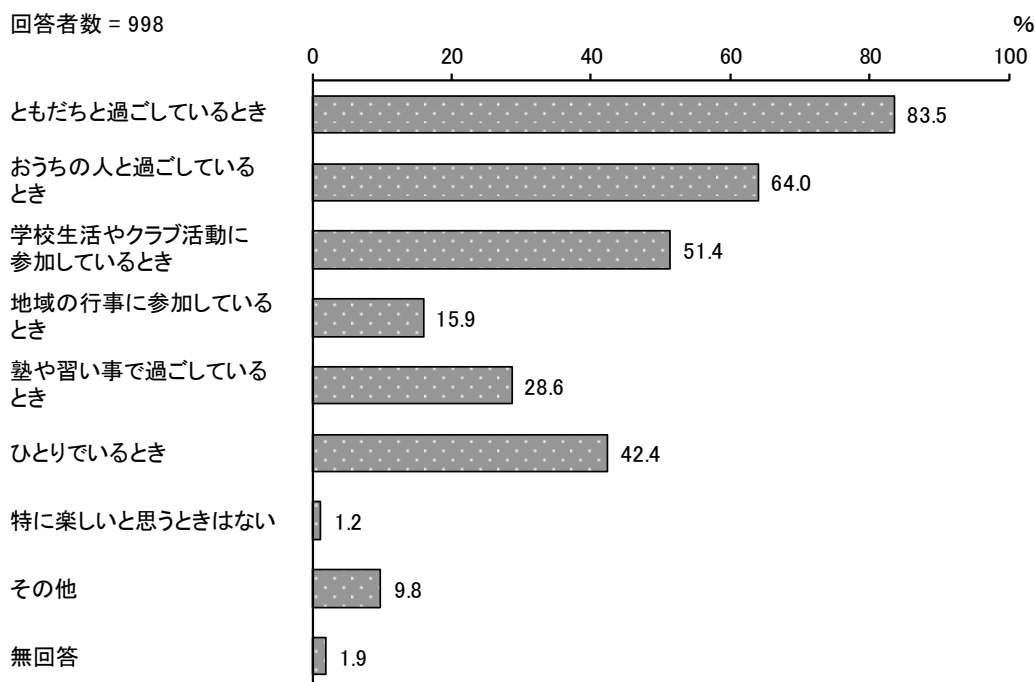
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で「遅刻はしない」の割合が高くなっています。



問 11 あなたは、毎日の生活でどのようなときに楽しいと思いますか。
(あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「ともだちと過ごしているとき」の割合が83.5%と最も高く、次いで「おうちの人と過ごしているとき」の割合が64.0%、「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」の割合が51.4%となっています。



【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「おうちの人と過ごしているとき」「地域の行事に参加しているとき」「塾や習い事で過ごしているとき」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」「ひとりでいるとき」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ともだちと過ごしているとき	おうちの人と過ごしているとき	学校生活やクラブ活動に参加しているとき	地域の行事に参加しているとき	塾や習い事で過ごしているとき	ひとりでいるとき	特に楽しいと思うときはない	その他	無回答
小学生	563	82.8	71.0	43.9	18.5	34.8	32.5	0.7	11.2	2.3
中学生	426	85.4	55.2	61.5	12.7	20.9	55.6	1.9	8.0	0.9

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「おうちの人と過ごしているとき」「ひとりでいるとき」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「塾や習い事で過ごしているとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ともだちと過ごしているとき	おうちの人と過ごしているとき	学校生活やクラブ活動に参加しているとき	地域の行事に参加しているとき	塾や習い事で過ごしているとき	ひとりでいるとき	特に楽しいと思うときはない	その他	無回答
相対的貧困層	143	83.9	69.2	53.1	16.8	21.0	48.3	0.7	9.8	1.4
非相対的貧困層	695	83.7	62.0	51.7	16.5	29.8	39.6	1.4	10.1	2.2

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「ひとりでいるとき」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ともだちと過ごしているとき	おうちの人と過ごしているとき	学校生活やクラブ活動に参加しているとき	地域の行事に参加しているとき	塾や習い事で過ごしているとき	ひとりでいるとき	特に楽しいと思うときはない	その他	無回答
母子・父子・養育者世帯	119	79.0	60.5	42.9	12.6	26.1	47.9	1.7	12.6	1.7
その他の世帯	853	83.9	64.6	52.5	16.4	28.7	41.5	1.2	9.3	2.0

【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、よくわかる、だいたいわかるで「ともだちと過ごしているとき」「おうちの人と過ごしているとき」「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」の割合が、よくわかるで「塾や習い事で過ごしているとき」の割合が高くなっています。また、ほとんどわからないで「特に楽しいと思うときはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ともだちと過ごしているとき	おうちの人と過ごしているとき	学校生活やクラブ活動に参加しているとき	地域の行事に参加しているとき	塾や習い事で過ごしているとき	ひとりでいるとき	特に楽しいと思うときはない	その他	無回答
よくわかる	339	87.0	72.6	57.8	21.5	42.5	35.7	0.9	8.6	2.9
だいたいわかる	542	84.3	61.4	51.7	13.8	22.5	46.1	0.9	10.3	1.5
あまりわからない	80	72.5	52.5	38.8	11.3	18.8	48.8	1.3	10.0	1.3
ほとんどわからない	16	75.0	43.8	25.0	12.5	6.3	25.0	12.5	18.8	—
わからない	17	52.9	52.9	11.8	—	11.8	29.4	5.9	11.8	—

【自己肯定感別】

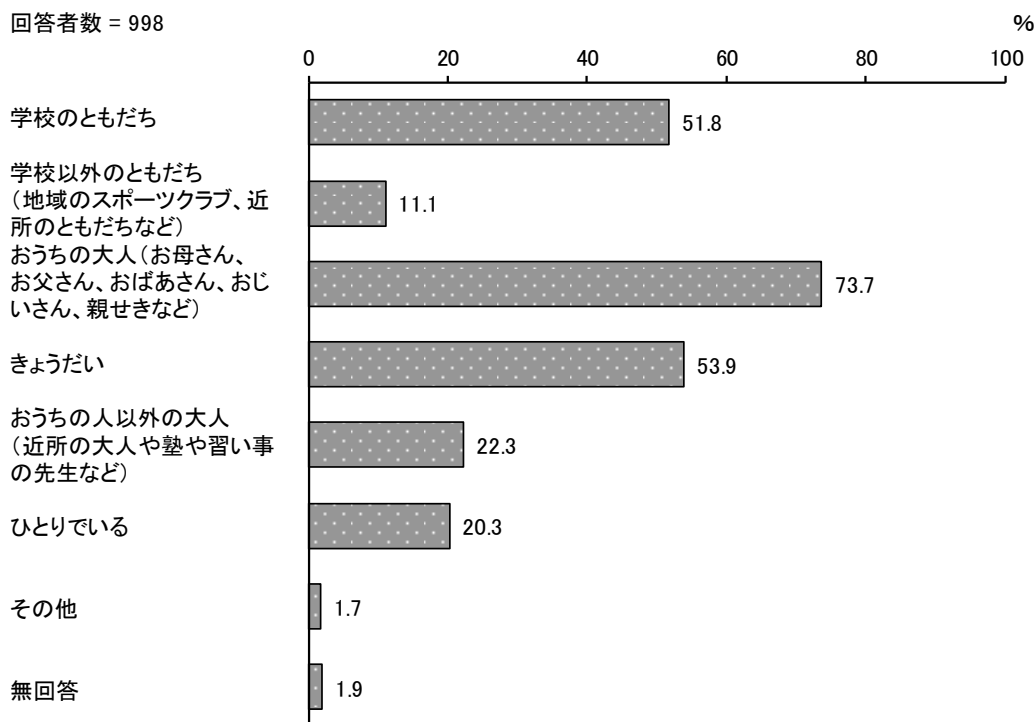
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で「ともだちと過ごしているとき」「おうちの人と過ごしているとき」「学校生活やクラブ活動に参加しているとき」「地域の行事に参加しているとき」「塾や習い事で過ごしているとき」の割合が、自己肯定感「中」、自己肯定感「低」で「ひとりでいるとき」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	ともだちと過ごしているとき	おうちの人と過ごしているとき	学校生活やクラブ活動に参加しているとき	地域の行事に参加しているとき	塾や習い事で過ごしているとき	ひとりでいるとき	特に楽しいと思うときはない	その他	無回答
自己肯定感「高」	483	89.9	73.7	63.1	20.1	37.1	34.8	0.2	7.0	1.2
自己肯定感「中」	440	81.4	58.9	43.2	13.2	21.8	49.8	1.4	11.1	2.0
自己肯定感「低」	58	55.2	29.3	25.9	5.2	12.1	50.0	6.9	20.7	3.4

問 12 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、だれと過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○を付けてください）

「おうちの大人（お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、親せきなど）」の割合が 73.7% と最も高く、次いで「きょうだい」の割合が 53.9%、「学校のともだち」の割合が 51.8% となっています。



【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別で見ると、他に比べ、よくわかる、わからないで「学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）」の割合が、よくわかるで「おうちの人以外の大人（近所の大人や塾や習い事の先生など）」の割合が高くなっています。また、わからないで「ひとりである」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学校のともだち	学校以外のともだち(地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど)	おうちの大人(お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、親せきなど)	きょうだい	おうちの人以外の大人(近所の大人や塾や習い事の先生など)	ひとりである	その他	無回答
よくわかる	339	52.5	15.0	77.0	54.9	31.0	15.6	1.2	3.2
だいたいわかる	542	53.1	9.8	73.4	55.4	18.3	22.0	1.7	1.1
あまりわからない	80	46.3	3.8	68.8	47.5	20.0	26.3	2.5	1.3
ほとんどわからない	16	50.0	6.3	75.0	50.0	—	12.5	12.5	—
わからない	17	35.3	17.6	47.1	23.5	5.9	41.2	—	—

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「おうちの人以外の大人（近所の大人や塾や習い事の先生など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	学校のともだち	学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	おうちの大人（お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、親せきなど）	きょうだい	おうちの人以外の大人（近所の大人や塾や習い事の先生など）	ひとりである	その他	無回答
相対的貧困層	143	51.0	7.0	76.2	53.1	15.4	21.0	3.5	2.1
非相対的貧困層	695	51.8	11.5	72.4	54.1	23.7	21.0	1.7	1.9

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で「学校のともだち」「学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）」の割合が、自己肯定感「低」で「ひとりである」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	学校のともだち	学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）	おうちの大人（お母さん、お父さん、おばあさん、おじいさん、親せきなど）	きょうだい	おうちの人以外の大人（近所の大人や塾や習い事の先生など）	ひとりである	その他	無回答
自己肯定感「高」	483	55.7	14.1	77.6	56.3	24.8	15.7	0.8	1.4
自己肯定感「中」	440	49.5	9.1	73.2	55.2	20.7	21.8	2.0	2.0
自己肯定感「低」	58	39.7	5.2	48.3	31.0	15.5	44.8	6.9	3.4

【可処分所得別】

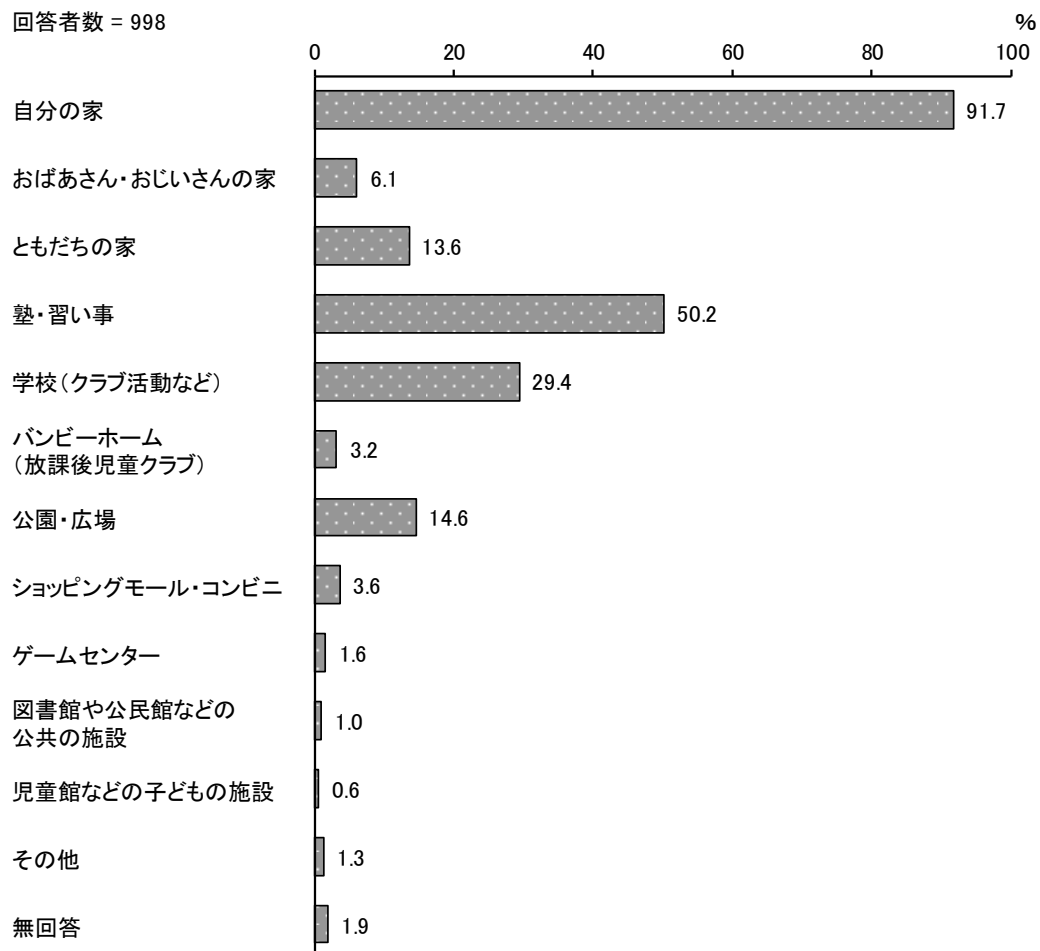
可処分所得別で見ると、他に比べ、400万円以上～500万円未満で「学校のともだち」の割合が、700万円以上～800万円未満で「学校以外のともだち（地域のスポーツクラブ、近所のともだちなど）」の割合が高くなっています。また、1,000万円以上で「おうちの人以外の大人（近所の大人や塾や習い事の先生など）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	学校のともだち	学校以外のともだち (地域のスポーツクラブ、 近所のともだちなど)	おうちの大人(お母さん、 お父さん、おばあさん、お じいさん、親せきなど)	きょうだい	おうちの人以外の大人 (近所の大人や塾や習い 事の先生など)	ひとりである	その他	無回答
100万円未満	41	43.9	7.3	82.9	43.9	17.1	19.5	2.4	2.4
100万円以上～ 200万円未満	58	50.0	8.6	84.5	53.4	20.7	22.4	5.2	—
200万円以上～ 300万円未満	69	55.1	4.3	63.8	43.5	14.5	21.7	4.3	5.8
300万円以上～ 400万円未満	97	49.5	8.2	73.2	47.4	23.7	19.6	3.1	4.1
400万円以上～ 500万円未満	120	60.0	11.7	78.3	55.0	20.8	22.5	0.8	0.8
500万円以上～ 600万円未満	135	56.3	11.9	74.1	56.3	23.7	22.2	—	3.0
600万円以上～ 700万円未満	85	49.4	10.6	68.2	61.2	17.6	15.3	3.5	1.2
700万円以上～ 800万円未満	78	52.6	17.9	75.6	66.7	28.2	16.7	1.3	—
800万円以上～ 900万円未満	49	44.9	12.2	59.2	59.2	28.6	24.5	—	—
900万円以上～ 1,000万円未満	41	39.0	7.3	63.4	46.3	14.6	17.1	—	2.4
1,000万円以上	72	48.6	13.9	76.4	52.8	33.3	26.4	2.8	—
わからない	85	54.1	12.9	77.6	55.3	18.8	20.0	—	1.2

問13 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）の放課後、どこで過ごしますか。
（あてはまる番号すべてに○を付けてください）

「自分の家」の割合が91.7%と最も高く、次いで「塾・習い事」の割合が50.2%、「学校（クラブ活動など）」の割合が29.4%となっています。



【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「ともだちの家」「バンビーホーム（放課後児童クラブ）」「公園・広場」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「学校（クラブ活動など）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	自分の家	おばあさん・おじい さんの家	ともだちの家	塾・習い事	学校(クラブ活動な ど)	バンビーホーム(放 課後児童クラブ)	公園・広場	シ ョ ッ ピ ン グ モ ー ル ・ コ ン ビ ニ	ゲ ー ム セ ン タ ー	図 書 館 や 公 民 館 な ど の 公 共 の 施 設	児 童 館 な ど の 子 ど の 施 設	そ の 他	無 回 答
小学生	563	91.7	7.8	17.9	51.0	8.5	5.7	21.8	2.3	0.7	0.7	0.9	1.1	2.0
中学生	426	92.3	4.0	8.0	49.5	57.0	—	5.4	5.4	2.6	1.4	0.2	1.4	1.4

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「学校（クラブ活動など）」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「ともだちの家」「塾・習い事」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自分の家	おばあさん・おじいさんの家	ともだちの家	塾・習い事	学校（クラブ活動など）	バンビーホーム（放課後児童クラブ）	公園・広場	ショッピングモール・コンビニ	ゲームセンター	図書館や公民館などの公共の施設	児童館などの子ども施設	その他	無回答
相対的貧困層	143	90.2	8.4	9.1	33.6	34.3	2.8	12.6	2.8	—	0.7	—	1.4	2.1
非相対的貧困層	695	91.8	5.9	14.8	54.1	27.9	2.9	15.0	3.6	1.7	0.9	0.7	1.3	2.0

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」、自己肯定感「中」で「自分の家」「塾・習い事」「学校（クラブ活動など）」の割合が、自己肯定感「高」で「公園・広場」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	自分の家	おばあさん・おじいさんの家	ともだちの家	塾・習い事	学校（クラブ活動など）	バンビーホーム（放課後児童クラブ）	公園・広場	ショッピングモール・コンビニ	ゲームセンター	図書館や公民館などの公共の施設	児童館などの子ども施設	その他	無回答
自己肯定感「高」	483	93.0	6.4	15.7	52.4	29.4	3.5	18.0	3.5	1.9	0.6	0.4	1.0	1.9
自己肯定感「中」	440	91.8	5.9	11.6	50.0	31.8	2.5	11.6	3.2	1.1	1.1	0.9	1.1	1.6
自己肯定感「低」	58	79.3	6.9	10.3	41.4	17.2	6.9	12.1	6.9	3.4	1.7	—	5.2	3.4

【可処分所得別】

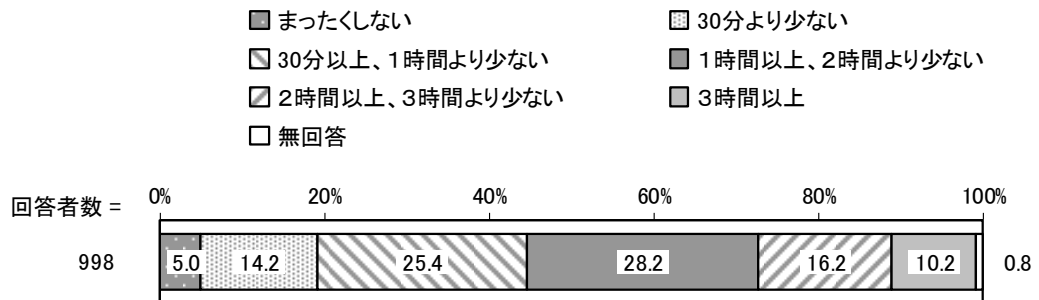
可処分所得別別でみると、他に比べ、800 万円以上～900 万円未満で「自分の家」の割合が、1,000 万円以上で「塾・習い事」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	自分の家	おばあさん・おじいさんの家	ともだちの家	塾・習い事	学校(クラブ活動など)	課後児童クラブ	バンビーホーム(放課後児童クラブ)	公園・広場	ル・コンドミニ	ショッピングモール	ゲームセンター	図書館や公民館などの公共の施設	児童館などの子どもの施設	その他	無回答
100 万円未満	41	90.2	9.8	9.8	26.8	29.3	4.9	12.2	—	—	—	—	—	—	—	2.4
100 万円以上～200 万円未満	58	94.8	12.1	12.1	32.8	37.9	3.4	12.1	6.9	—	1.7	—	—	—	—	1.7
200 万円以上～300 万円未満	69	85.5	4.3	5.8	43.5	30.4	2.9	14.5	1.4	1.4	—	—	—	2.9	—	4.3
300 万円以上～400 万円未満	97	87.6	3.1	16.5	43.3	33.0	3.1	18.6	3.1	1.0	2.1	3.1	—	1.0	—	4.1
400 万円以上～500 万円未満	120	90.8	5.0	16.7	48.3	26.7	2.5	12.5	5.8	2.5	2.5	—	—	0.8	—	0.8
500 万円以上～600 万円未満	135	91.9	3.0	11.9	60.0	33.3	1.5	11.1	1.5	—	0.7	0.7	—	0.7	—	3.0
600 万円以上～700 万円未満	85	91.8	9.4	16.5	48.2	27.1	3.5	20.0	3.5	2.4	—	—	—	2.4	—	2.4
700 万円以上～800 万円未満	78	92.3	11.5	21.8	60.3	23.1	3.8	19.2	5.1	—	—	1.3	—	1.3	—	—
800 万円以上～900 万円未満	49	98.0	8.2	18.4	63.3	24.5	2.0	16.3	—	2.0	—	—	—	6.1	—	—
900 万円以上～1,000 万円未満	41	95.1	—	2.4	39.0	19.5	4.9	2.4	—	—	—	—	—	—	—	2.4
1,000 万円以上	72	94.4	6.9	15.3	72.2	27.8	2.8	18.1	6.9	5.6	—	—	—	—	—	—
わからない	85	94.1	4.7	12.9	43.5	27.1	7.1	14.1	4.7	2.4	1.2	1.2	—	1.2	—	1.2

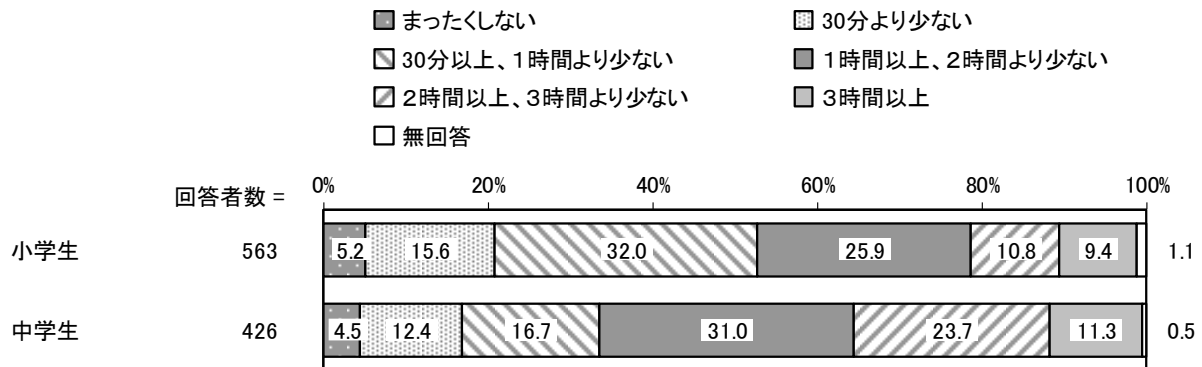
問 14 あなたは、ふだん（月曜日～金曜日）、授業時間以外に1日あたりどれくらい勉強をしますか（塾などの時間も含みます）。
（あてはまる番号1つだけに○を付けてください）

「1 時間以上、2 時間より少ない」の割合が 28.2%と最も高く、次いで「30 分以上、1 時間より少ない」の割合が 25.4%、「2 時間以上、3 時間より少ない」の割合が 16.2%となっています。



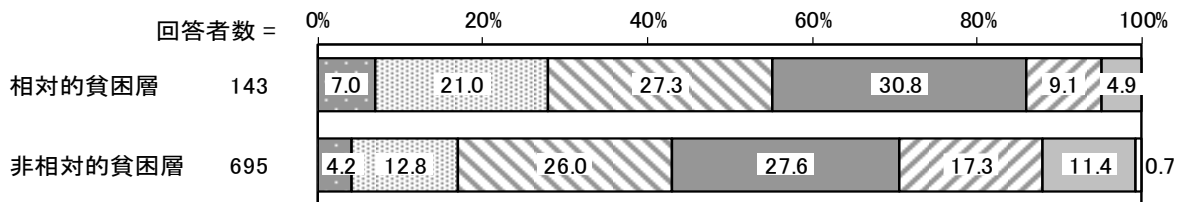
【小5・中2別】

小5・中2別でみると中学生に比べ、小学生で「30分以上、1時間より少ない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「1時間以上、2時間より少ない」「2時間以上、3時間より少ない」の割合が高くなっています。



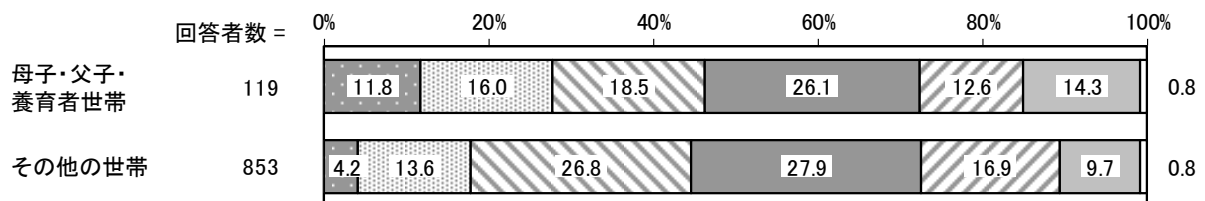
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「30分より少ない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「2時間以上、3時間より少ない」「3時間以上」の割合が高くなっています。



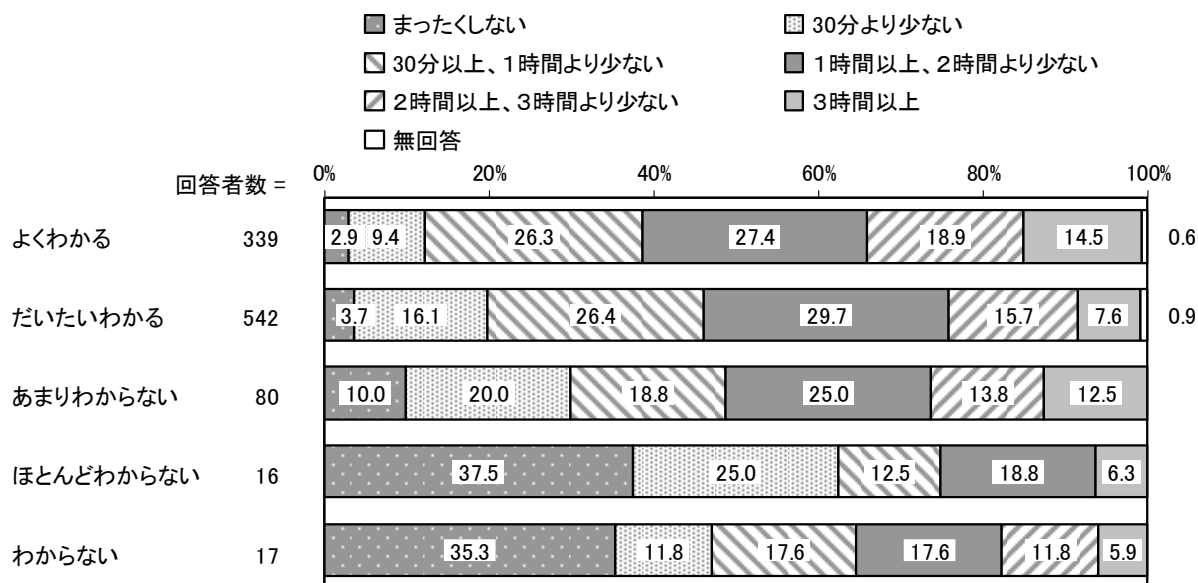
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「まったくしない」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「30分以上、1時間より少ない」の割合が高くなっています。



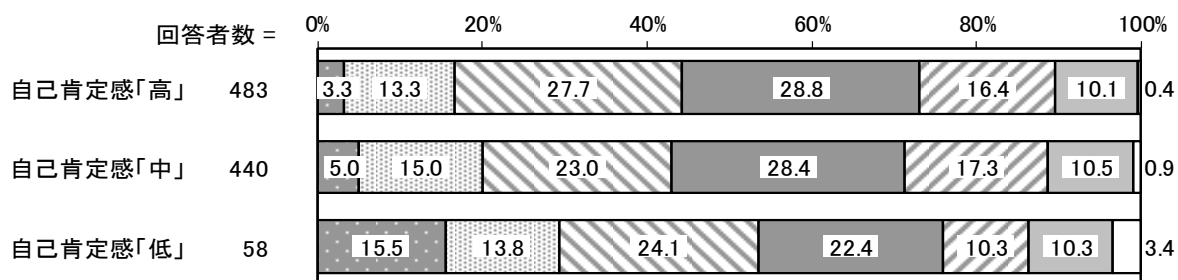
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、ほとんどわからない、わからないで「まったくしない」の割合が、ほとんどわからないで「30分より少ない」の割合が高くなっています。



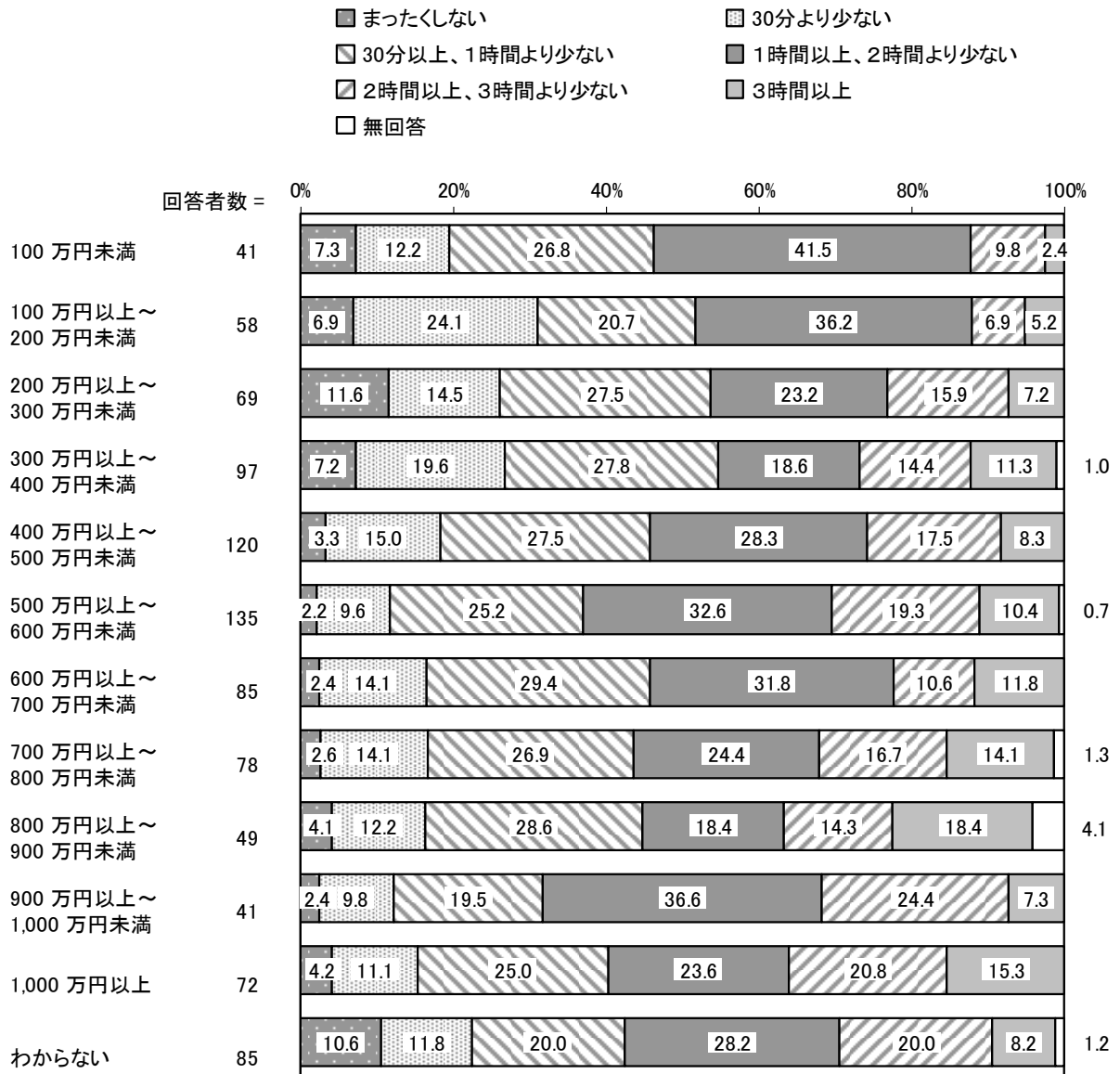
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「まったくしない」の割合が高くなっています。



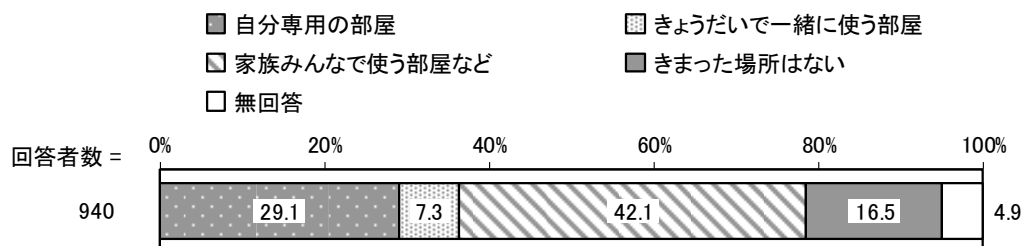
【可処分所得別】

可処分所得別で見ると、他に比べ、100 万円未満で「1 時間以上、2 時間より少ない」の割合が、800 万円以上～900 万円未満、1,000 万円以上で「3 時間以上」の割合が高くなっています。



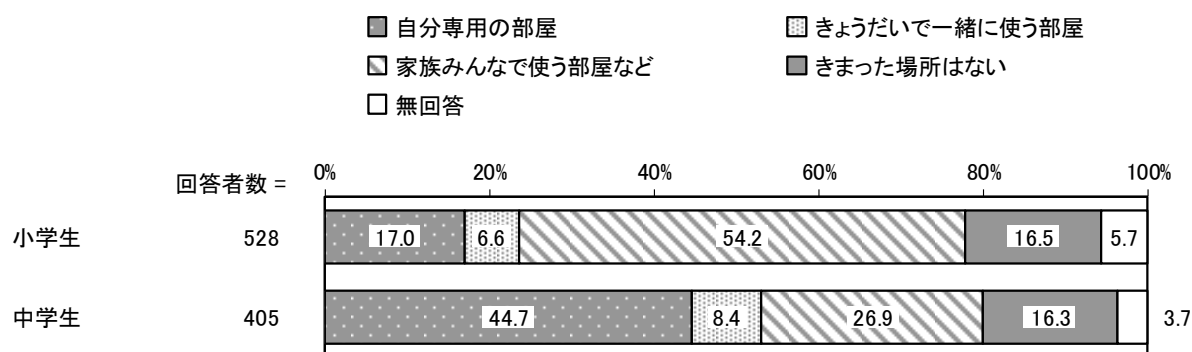
問 14-1 あなたは、家で勉強するとき、どこで勉強していますか。
(あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)

「家族みんなで使う部屋など」の割合が 42.1%と最も高く、次いで「自分専用の部屋」の割合が 29.1%、「きまった場所はない」の割合が 16.5%となっています。



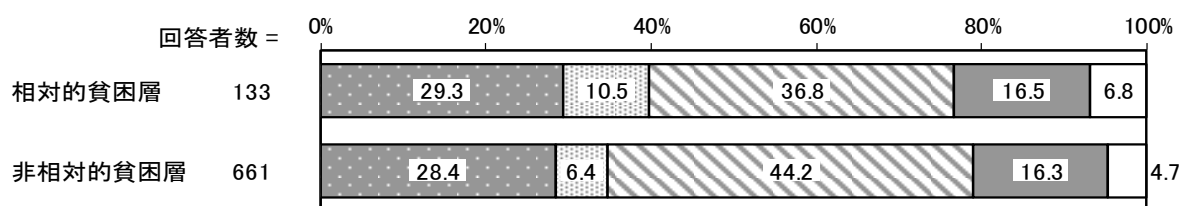
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「家族みんなで使う部屋など」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「自分専用の部屋」の割合が高くなっています。



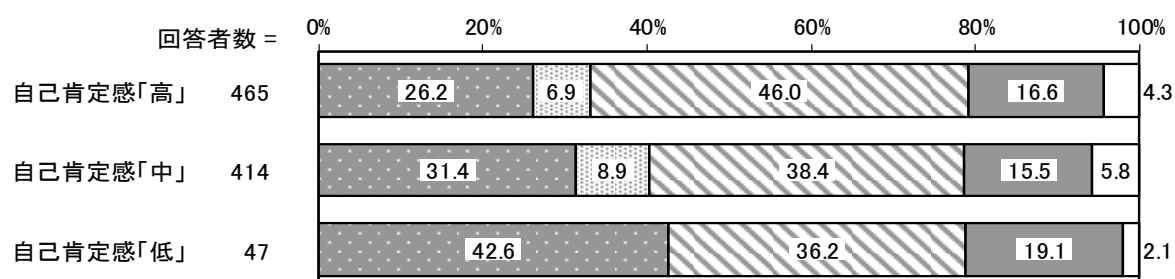
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「家族みんなで使う部屋など」の割合が高くなっています。



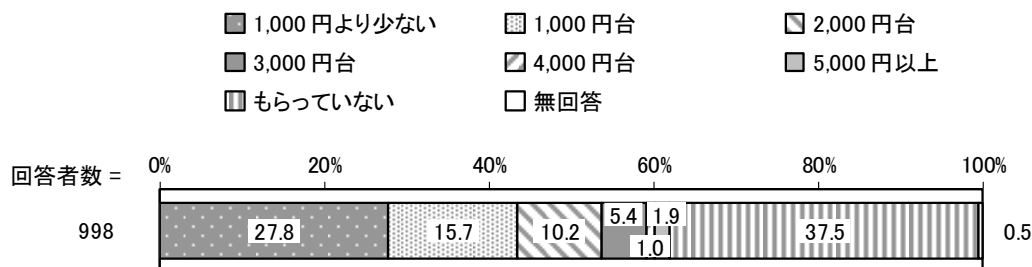
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「自分専用の部屋」の割合が高くなっています。



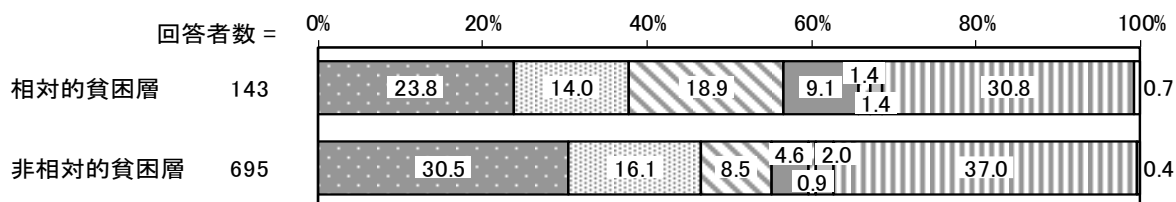
問 15 おこづかいについておたずねします。あなたの毎月のおこづかいはいくらですか。(時々もらう場合は、1か月あたりにするとどのくらいかで○を付けてください。ただしお年玉はのぞきます)(あてはまる番号1つだけに○を付けてください)

「もらっていない」の割合が37.5%と最も高く、次いで「1,000円より少ない」の割合が27.8%、「1,000円台」の割合が15.7%となっています。



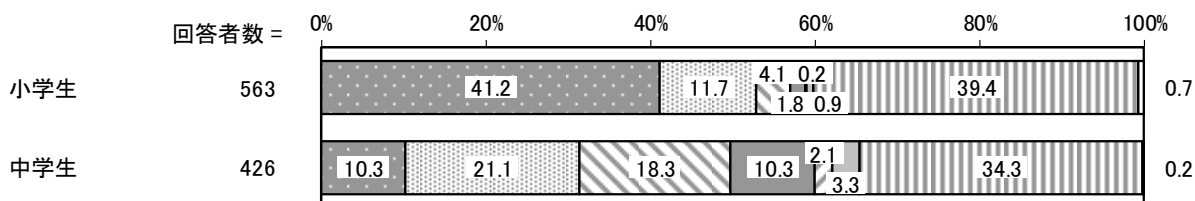
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「2,000円台」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「1,000円より少ない」「もらっていない」の割合が高くなっています。



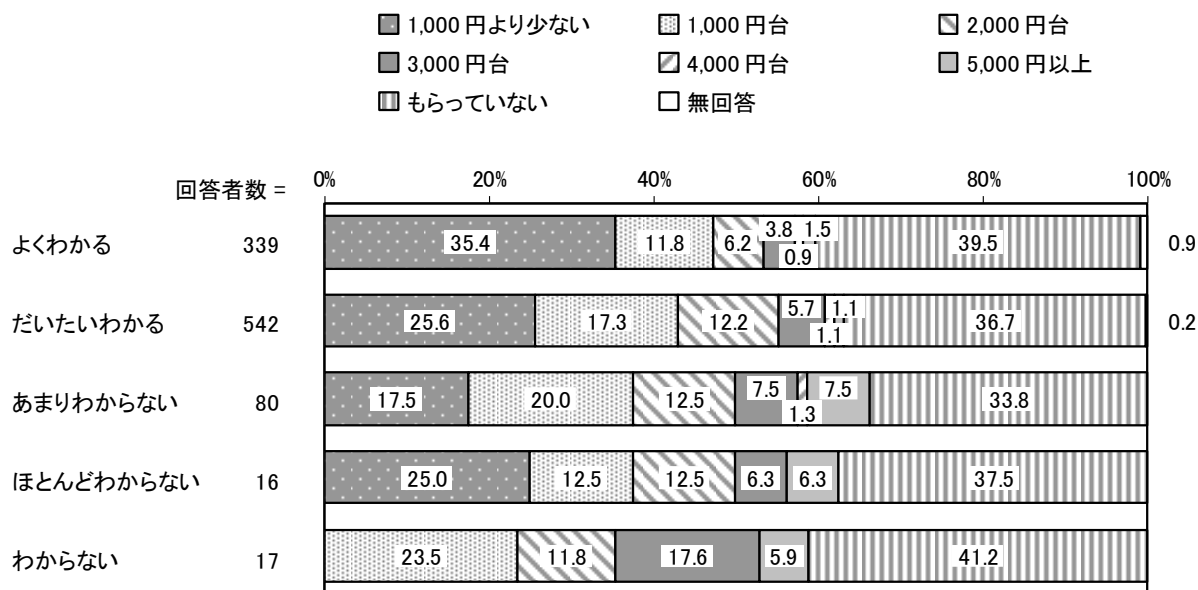
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「1,000円より少ない」「もらっていない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「1,000円台」「2,000円台」「3,000円台」の割合が高くなっています。



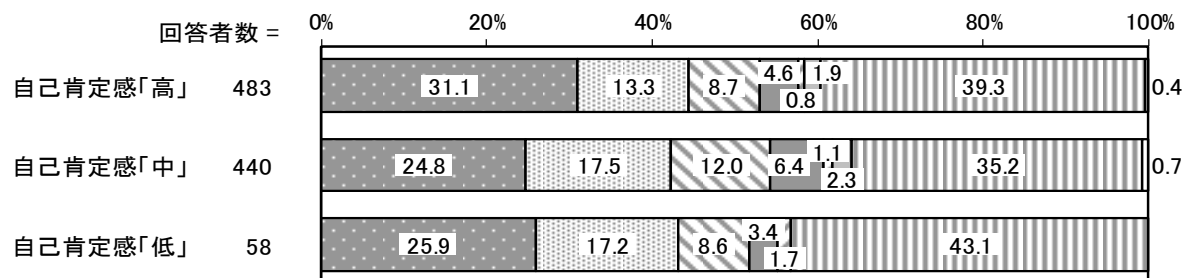
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別で見ると、他に比べ、よくわかるで「1,000 円より少ない」の割合が高くなっています。



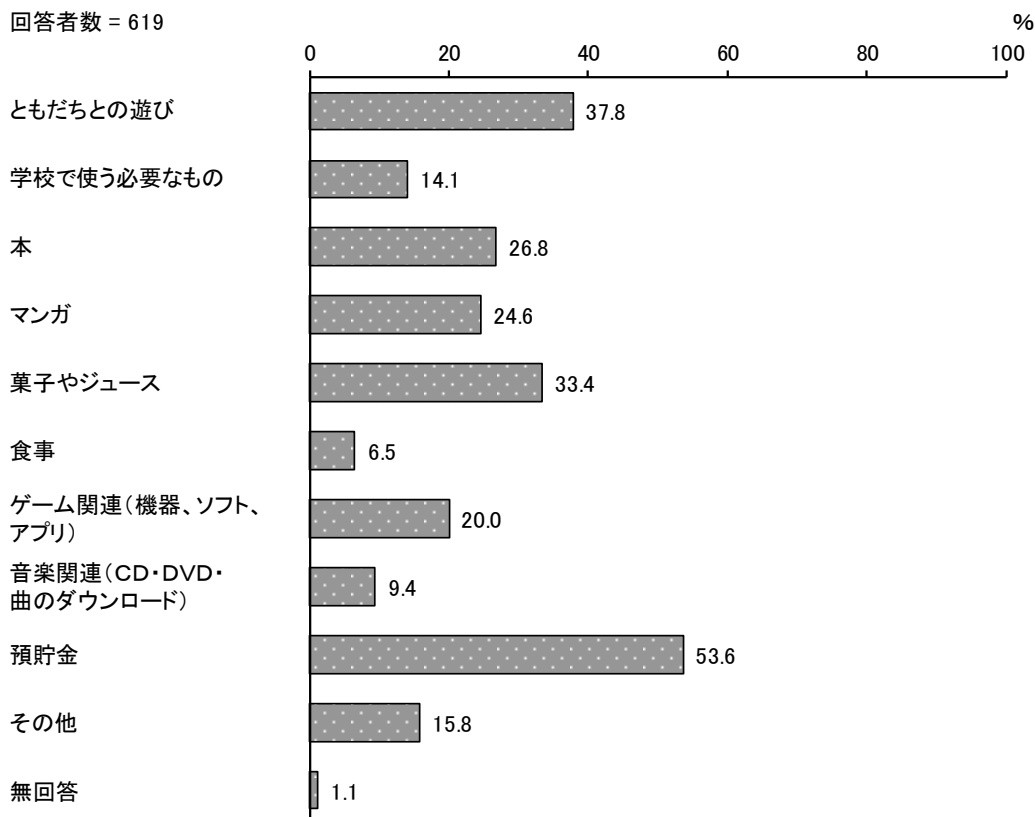
【自己肯定感別】

自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「高」で「1,000 円より少ない」の割合が高くなっています。



問 15-1 毎月のおこづかいは、何に使っていますか。
 (あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「預貯金」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「ともだちとの遊び」の割合が 37.8%、「菓子やジュース」の割合が 33.4%となっています。



【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「預貯金」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「ともだちとの遊び」「学校で使う必要なもの」「本」「マンガ」「食事」「音楽関連 (CD・DVD・曲のダウンロード)」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	ともだちとの遊び	学校で使う必要なもの	本	マンガ	菓子やジュース	食事	ゲーム関連(機器、ソフト、アプリ)	音楽関連(CD・DVD・曲のダウンロード)	預貯金	その他	無回答
小学生	337	17.8	9.8	22.8	15.4	33.2	1.8	20.5	2.7	58.8	13.9	1.8
中学生	279	62.0	19.0	31.9	35.5	34.1	11.8	19.4	17.2	47.7	17.9	0.4

【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、ほとんどわからないで「本」の割合が、わからないで「マンガ」「ゲーム関連（機器、ソフト、アプリ）」の割合が高くなっています。また、よくわかる、だいたいわかるで「預貯金」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	ともだちとの遊び	学校で使う必要なもの	本	マンガ	菓子やジュース	食事	ゲーム関連（機器、ソフト、アプリ）	音楽関連（CD・DVD・曲のダウンロード）	預貯金	その他	無回答
よくわかる	202	25.2	14.9	26.7	21.3	26.7	3.0	18.3	6.4	64.4	16.8	0.5
だいたいわかる	342	44.2	13.5	26.0	26.3	36.0	8.2	20.5	10.8	51.5	14.6	1.5
あまりわからない	53	47.2	11.3	28.3	24.5	39.6	5.7	20.8	11.3	37.7	20.8	1.9
ほとんどわからない	10	40.0	20.0	40.0	10.0	30.0	10.0	20.0	—	20.0	10.0	—
わからない	10	30.0	30.0	30.0	50.0	40.0	20.0	30.0	10.0	30.0	20.0	—

【自己肯定感別】

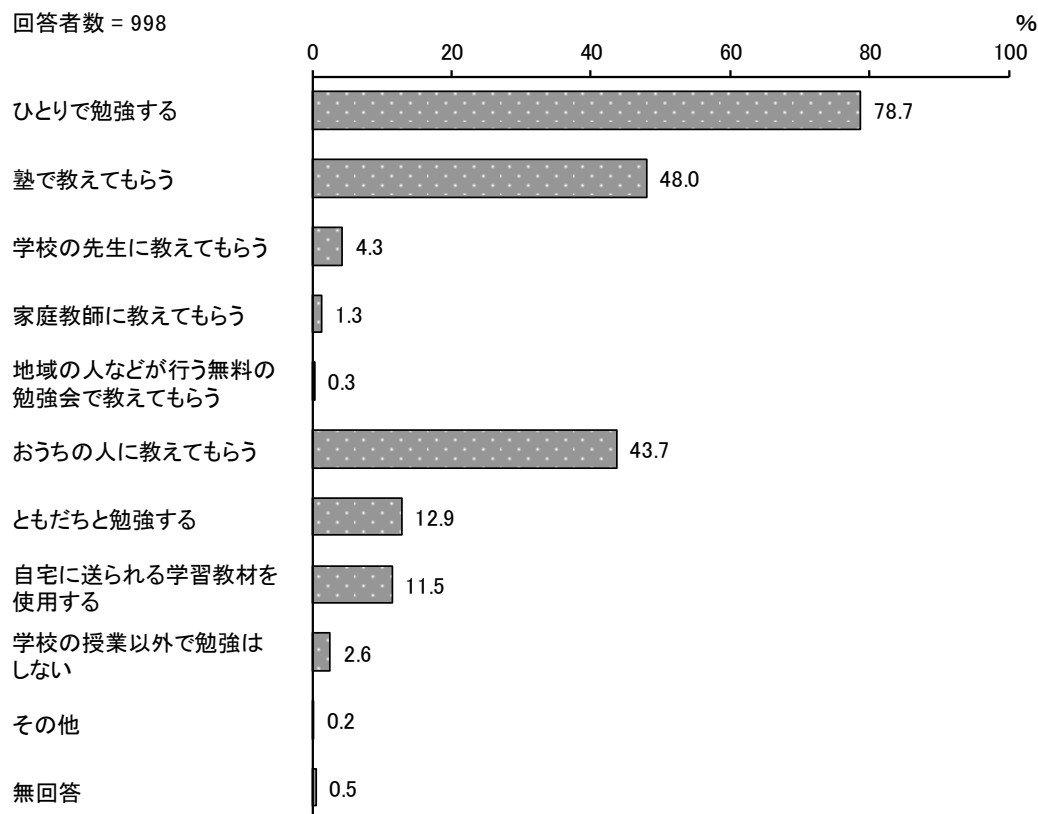
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「中」で「ともだちとの遊び」の割合が、自己肯定感「低」で「学校で使う必要なもの」「本」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	ともだちとの遊び	学校で使う必要なもの	本	マンガ	菓子やジュース	食事	ゲーム関連（機器、ソフト、アプリ）	音楽関連（CD・DVD・曲のダウンロード）	預貯金	その他	無回答
自己肯定感「高」	291	34.4	14.1	23.4	23.7	33.7	6.9	18.2	6.2	55.3	13.4	1.7
自己肯定感「中」	282	41.8	12.8	29.8	25.9	34.0	6.0	21.3	11.7	53.9	18.1	0.4
自己肯定感「低」	33	36.4	27.3	39.4	27.3	36.4	9.1	21.2	18.2	45.5	12.1	3.0

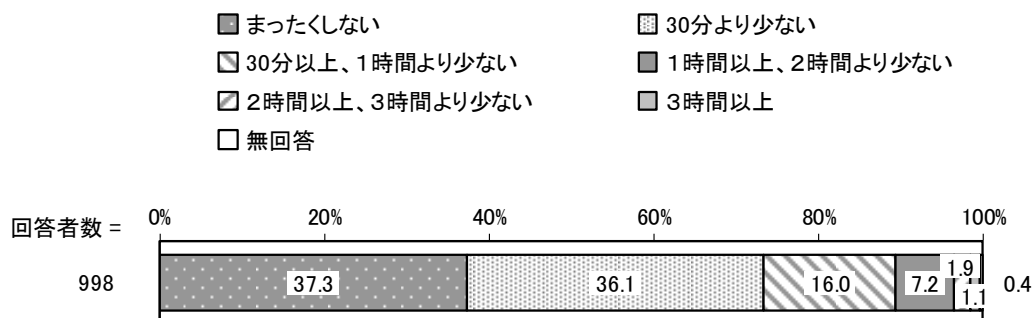
問 16 あなたは、ふだん学校の授業以外の時間帯は、どのように勉強をしていますか。
 (あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「ひとりで勉強する」の割合が78.7%と最も高く、次いで「塾で教えてもらう」の割合が48.0%、「おうちの人に教えてもらう」の割合が43.7%となっています。



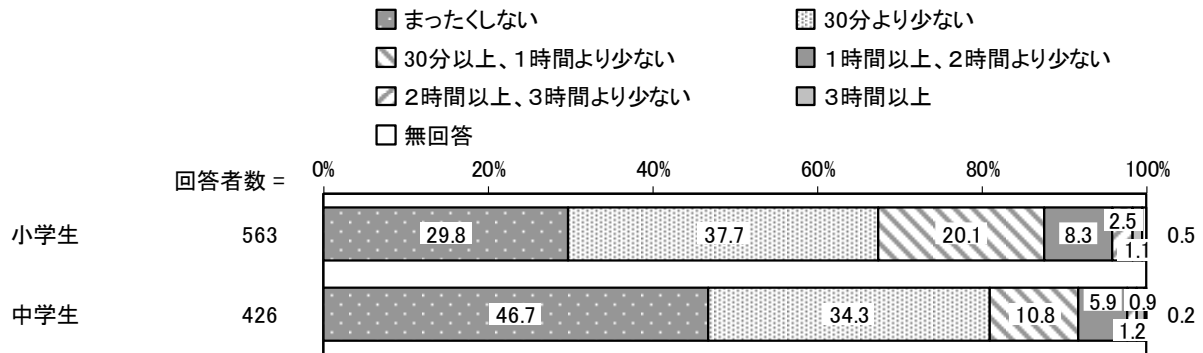
問 17 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらい読書を読みますか。(教科書や参考書、マンガや雑誌をのぞきます)
 (あてはまる番号1つだけに○を付けてください)

「まったくしない」の割合が37.3%と最も高く、次いで「30分より少ない」の割合が36.1%、「30分以上、1時間より少ない」の割合が16.0%となっています。



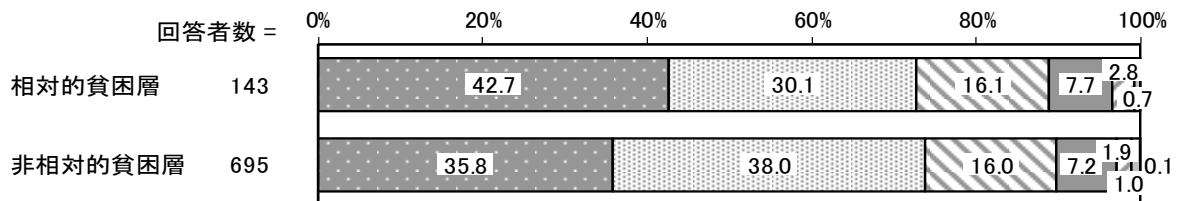
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「30分以上、1時間より少ない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「まったくしない」の割合が高くなっています。



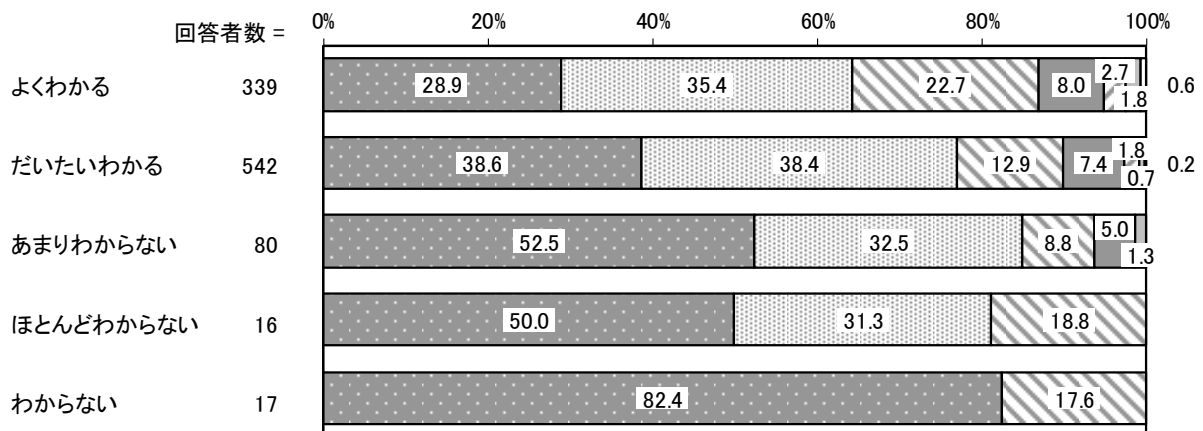
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「まったくしない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「30分より少ない」の割合が高くなっています。



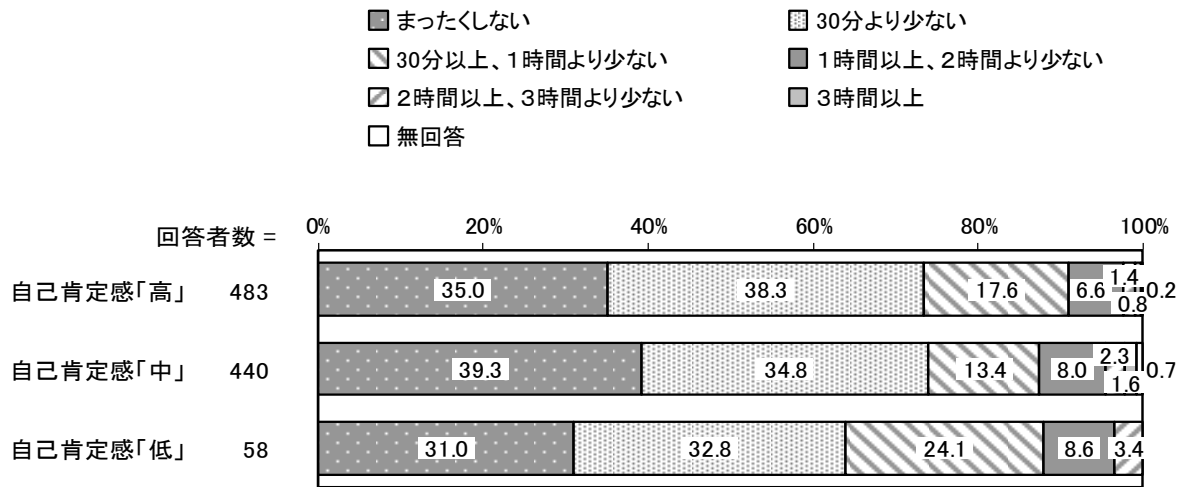
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、わからないで「まったくしない」の割合が高くなっています。



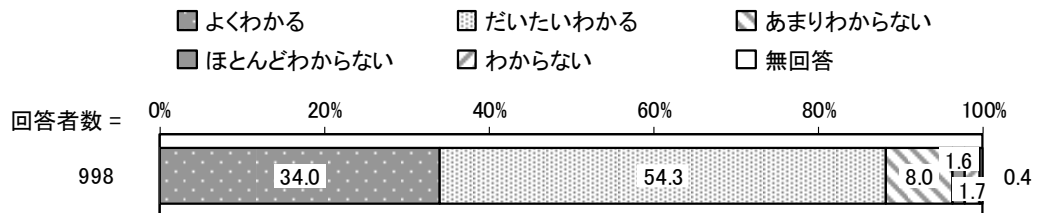
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「中」で「まったくしない」の割合が、自己肯定感「低」で「30分以上、1時間より少ない」の割合が高くなっています。



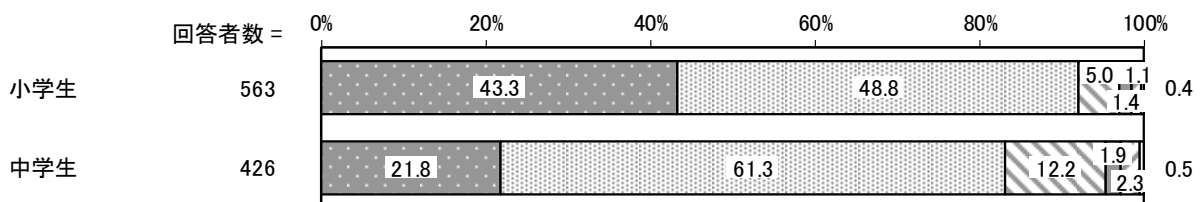
問 18 あなたは、学校の授業がどのくらいわかりますか。
(あてはまる番号1つだけに○を付けてください)

「よくわかる」と「だいたいわかる」をあわせた“わかる”の割合が88.3%、「あまりわからない」と「ほとんどわからない」と「わからない」をあわせた“わからない”の割合が11.3%となっています。



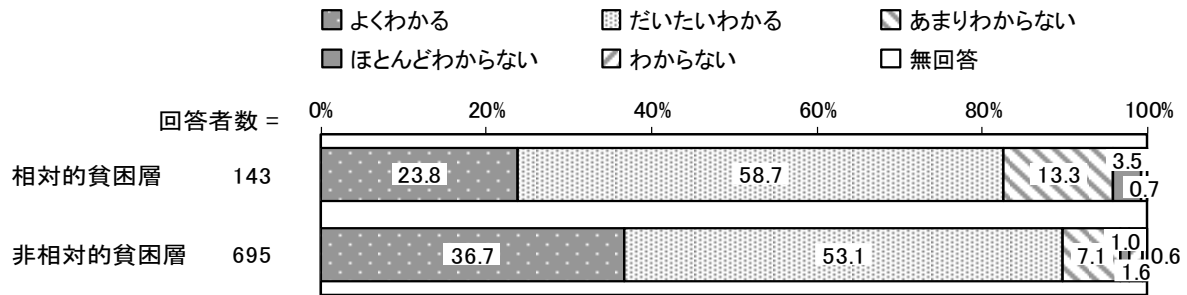
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で“わかる”の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で“わからない”の割合が高くなっています。



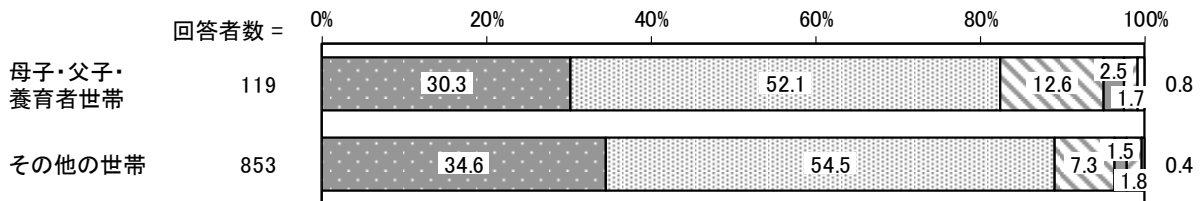
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で“わからない”の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で“わかる”の割合が高くなっています。



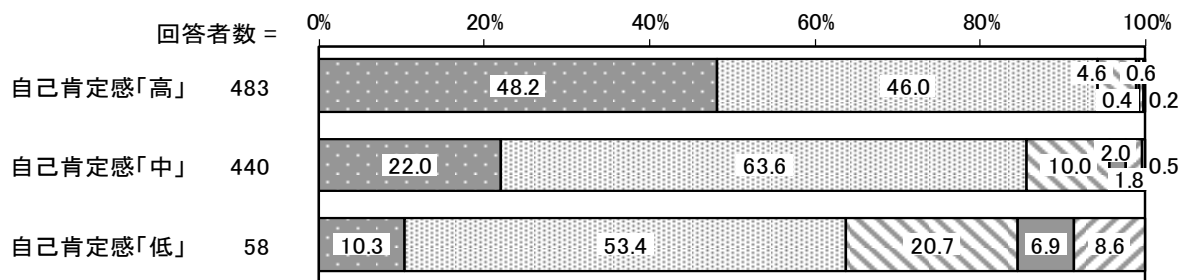
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で“わからない”の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で“わかる”の割合が高くなっています。



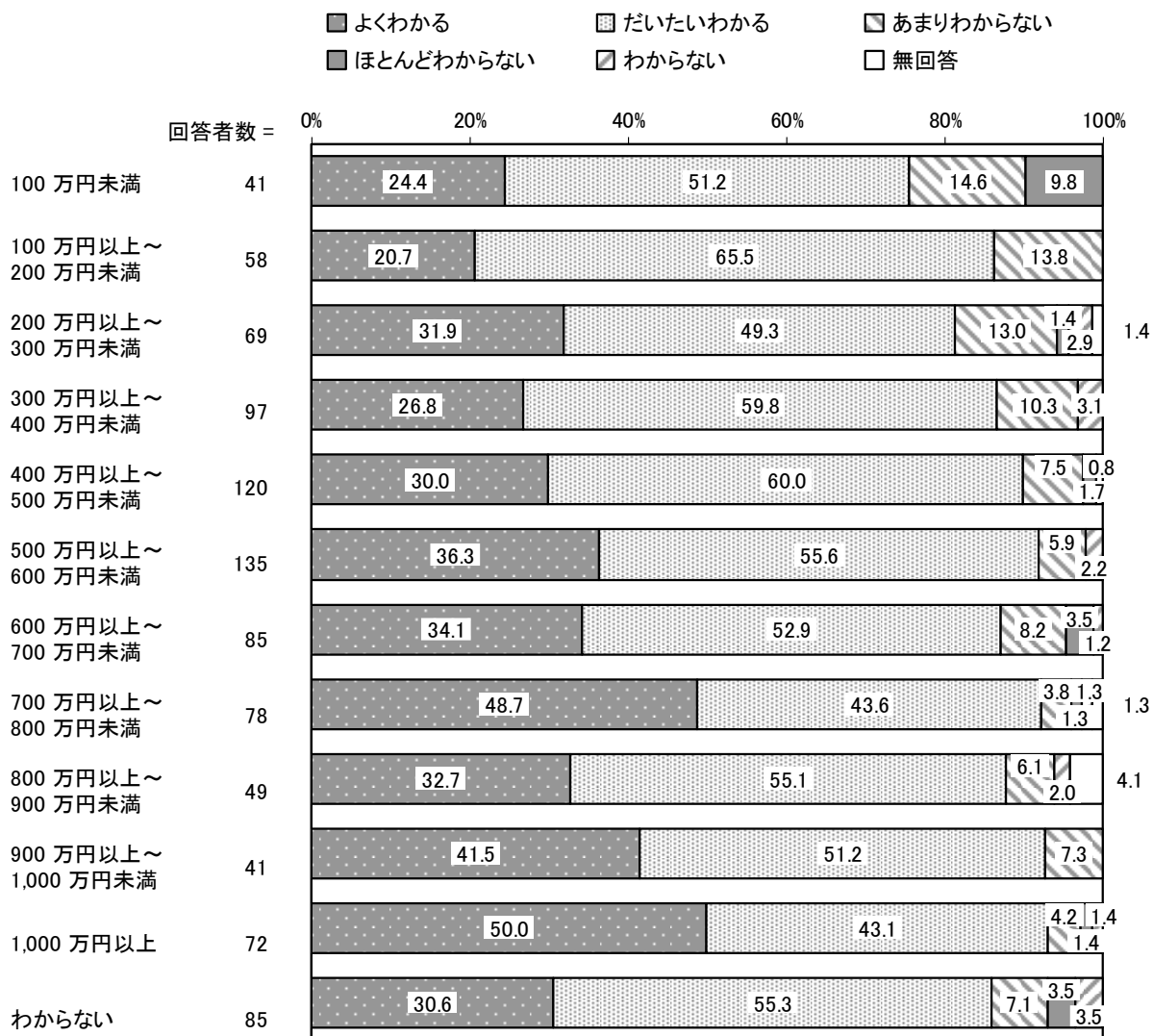
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で“わかる”の割合が、自己肯定感「低」で“わからない”の割合が高くなっています。



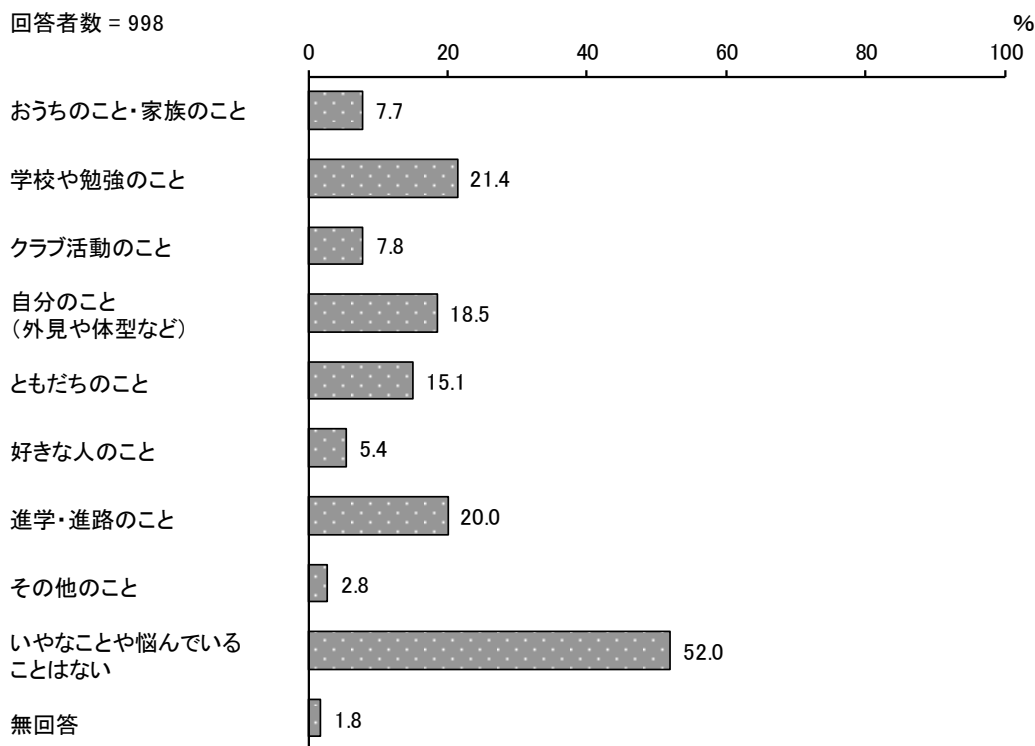
【可処分所得別】

可処分所得別で見ると、他に比べ、100万円未満で“わからない”の割合が高くなっています。



問 19 あなたは、いやなことや悩んでいることがありますか。
 (あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「いやなことや悩んでいることはない」の割合が 52.0%と最も高く、次いで「学校や勉強のこと」の割合が 21.4%、「進学・進路のこと」の割合が 20.0%となっています。



【小5・中2別】

小5・中2別で見ると、中学生に比べ、小学生で「いやなことや悩んでいることはない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「学校や勉強のこと」「クラブ活動のこと」「自分のこと (外見や体型など)」「進学・進路のこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	おうちのこと・家族 のこと	学校や勉強のこと	クラブ活動のこと	自分のこと (外見や 体型など)	ともだちのこと	好きな人のこと	進学・進路のこと	その他のこと	いやなことや悩ん でいることはない	無回 答
小学生	563	6.4	13.0	1.8	14.2	15.3	4.4	9.6	2.8	60.2	2.3
中学生	426	9.4	32.6	16.0	23.9	14.8	6.3	33.8	2.6	41.5	1.2

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「学校や勉強のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	おうちのこと・家族のこと	学校や勉強のこと	クラブ活動のこと	自分のこと(外見や体型など)	ともだちのこと	好きな人のこと	進学・進路のこと	その他のこと	いやなことや悩んでいることはない	無回答
相対的貧困層	143	6.3	25.2	9.1	16.1	17.5	5.6	23.1	2.8	49.0	—
非相対的貧困層	695	7.3	20.1	7.2	18.6	14.4	5.3	19.4	3.2	53.5	2.0

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「ともだちのこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	おうちのこと・家族のこと	学校や勉強のこと	クラブ活動のこと	自分のこと(外見や体型など)	ともだちのこと	好きな人のこと	進学・進路のこと	その他のこと	いやなことや悩んでいることはない	無回答
母子・父子・養育者世帯	119	5.9	25.2	10.1	20.2	22.7	6.7	21.8	4.2	50.4	—
その他の世帯	853	7.7	21.0	7.5	17.8	14.1	5.2	19.1	2.7	52.6	2.0

【子どもの自己肯定感別】

子どもの自己肯定感別でみると、他に比べ、頑張れば、成果が出せる あてはまらない、自分には良いところがある あてはまらない、で「学校や勉強のこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	おうちのこと・家族 のこと	学校や勉強のこと	クラブ活動のこと	自分のこと(外見や 体型など)	ともだちのこと	好きな人のこと	進学・進路のこと	その他のこと	いやなことや悩ん でいることはない	無回答
頑張れば、 成果が出せる	あてはまる	886	6.4	19.0	7.1	17.4	14.0	5.3	19.0	2.7	54.1	1.5
	あてはまらない	97	18.6	44.3	15.5	29.9	25.8	6.2	30.9	4.1	33.0	3.1
自分は価値の ある人間だと思 う	あてはまる	699	4.3	16.6	6.0	14.4	12.2	4.6	16.3	2.4	58.2	1.7
	あてはまらない	276	15.9	33.3	12.3	29.7	22.5	7.6	30.1	3.6	37.3	0.7
自分には良い ところがある	あてはまる	812	5.4	16.7	6.5	15.6	13.2	4.4	17.0	2.3	56.8	1.6
	あてはまらない	166	18.1	44.0	14.5	33.1	24.1	10.2	36.1	5.4	29.5	1.2
不安に感じるこ ろはない	あてはまる	566	3.0	11.1	3.7	9.2	7.6	3.0	10.8	2.1	68.4	1.4
	あてはまらない	414	13.8	35.3	13.8	31.6	25.6	8.7	33.1	3.9	30.0	1.7
孤独を感じるこ とはない	あてはまる	664	4.1	14.8	5.4	13.3	8.3	4.5	15.8	2.6	62.2	1.4
	あてはまらない	311	15.4	35.7	13.5	30.2	30.2	7.4	29.3	3.5	30.5	1.6
自分の将来が 楽しみだ	あてはまる	736	4.8	15.9	6.5	14.5	13.2	4.5	15.8	2.3	58.7	1.8
	あてはまらない	242	16.5	38.0	12.4	31.0	21.1	8.3	33.5	4.5	32.2	0.8

【自己肯定感別】

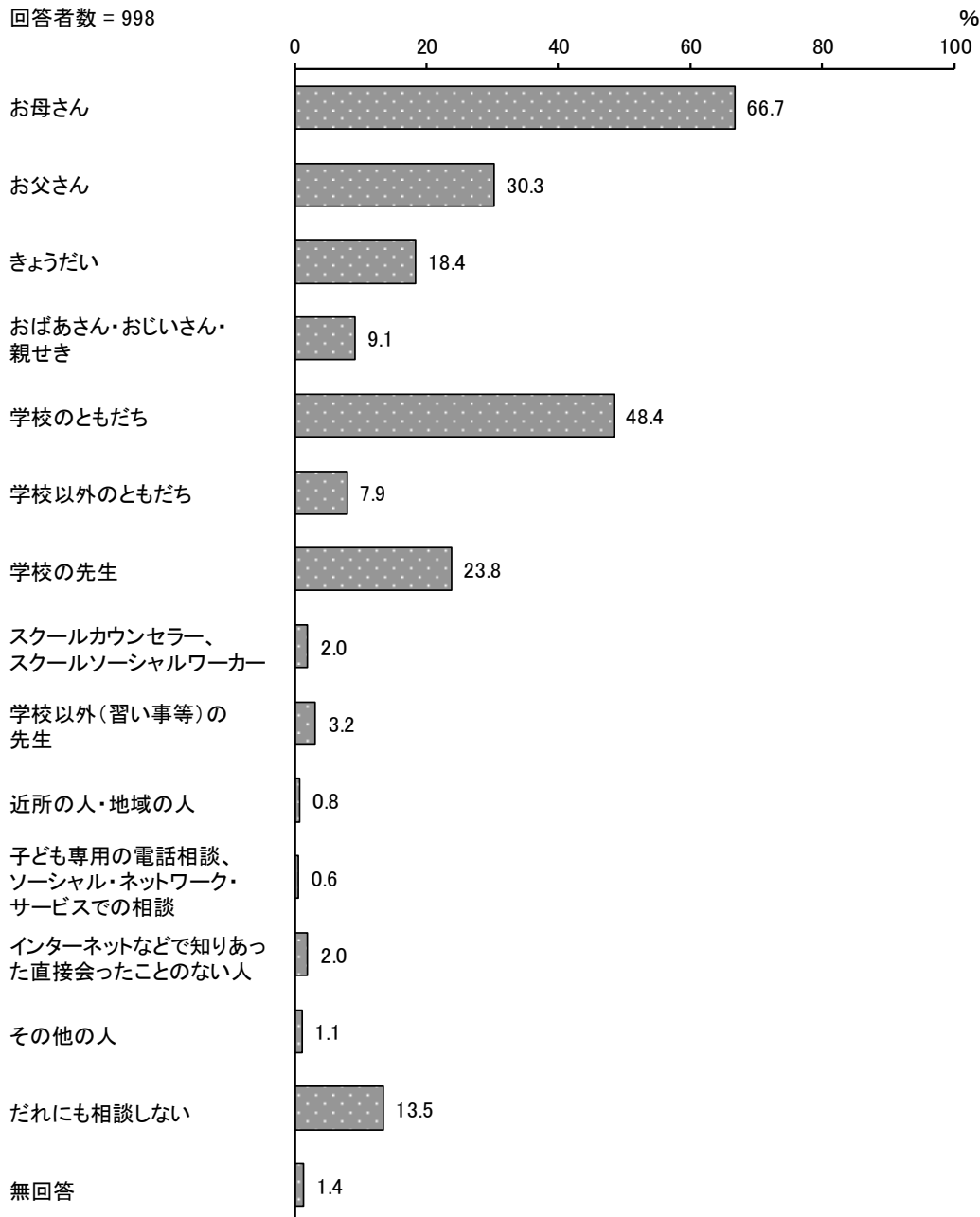
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「おうちのこと・家族のこと」「学校や勉強のこと」「クラブ活動のこと」「自分のこと(外見や体型など)」「ともだちのこと」「好きな人のこと」「進学・進路のこと」の割合が、自己肯定感「高」で「いやなことや悩んでいることはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	おうちのこと・家族 のこと	学校や勉強のこと	クラブ活動のこと	自分のこと(外見や 体型など)	ともだちのこと	好きな人のこと	進学・進路のこと	その他のこと	いやなことや悩ん でいることはない	無回答
自己肯定感「高」	483	2.9	10.8	4.3	9.1	8.1	4.1	11.6	1.9	69.4	1.2
自己肯定感「中」	440	9.1	28.6	10.5	25.9	19.8	5.9	25.9	3.4	38.0	2.0
自己肯定感「低」	58	36.2	55.2	19.0	43.1	39.7	12.1	48.3	6.9	15.5	—

問 20 あなたは、いやなことや悩んでいることがあるとき、だれに相談しますか。
 (あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「お母さん」の割合が66.7%と最も高く、次いで「学校のともだち」の割合が48.4%、「お父さん」の割合が30.3%となっています。



【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「お母さん」「お父さん」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「学校のともだち」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	きょうだい	おばあさん・おじいさん・親せき	学校のともだち	学校以外のともだち	学校の先生	スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー	学校以外(習い事等)の先生	近所の人・地域の人	子ども専用の電話相談、ソーシャル・ネットワーク・サービスでの相談	インターネットなどで知りあつた直接会つたことのない人	その他の人	だれにも相談しない	無回答
小学生	563	72.6	35.9	19.5	10.3	43.5	6.0	25.2	3.0	2.5	0.7	0.9	1.1	0.9	12.4	1.4
中学生	426	59.4	23.0	16.9	7.7	54.9	10.3	22.3	0.7	4.2	0.9	0.2	3.3	1.4	14.6	1.4

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「お父さん」「学校のともだち」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	きょうだい	おばあさん・おじいさん・親せき	学校のともだち	学校以外のともだち	学校の先生	スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー	学校以外(習い事等)の先生	近所の人・地域の人	子ども専用の電話相談、ソーシャル・ネットワーク・サービスでの相談	インターネットなどで知りあつた直接会つたことのない人	その他の人	だれにも相談しない	無回答
相対的貧困層	143	68.5	18.2	14.7	11.9	41.3	3.5	21.7	2.1	—	0.7	—	1.4	2.1	16.1	—
非相対的貧困層	695	66.2	33.7	19.1	8.9	49.6	7.9	24.6	1.9	3.9	0.7	0.7	1.9	0.9	13.8	1.6

【子どもの自己肯定感別】

子どもの自己肯定感別でみると、他に比べ、自分は価値のある人間だと思う あてはまる、自分には良いところがある あてはまる、自分の将来が楽しみだ あてはまるで「お母さん」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	お母さん	お父さん	きょうだい	親せき おばあさん・おじいさん・	学校のともだち	学校以外のともだち	学校の先生
頑張れば、 成果が出せる	あてはまる	886	69.6	31.5	19.8	9.5	50.3	8.0	25.5
	あてはまらない	97	43.3	19.6	7.2	6.2	34.0	8.2	10.3
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる	699	73.2	34.3	21.0	10.2	52.1	8.9	26.6
	あてはまらない	276	51.1	19.9	12.0	6.2	40.9	6.2	17.8
自分には良いところがある	あてはまる	812	72.8	33.7	20.6	9.4	50.7	8.6	26.1
	あてはまらない	166	38.6	13.3	8.4	7.8	39.2	5.4	13.9
不安に感じるところはない	あてはまる	566	69.4	35.7	20.5	9.0	51.8	9.2	27.7
	あてはまらない	414	63.8	22.9	15.5	9.4	44.4	6.5	19.1
孤独を感じることはない	あてはまる	664	69.9	33.6	19.9	9.9	50.8	8.3	25.3
	あてはまらない	311	61.1	23.2	15.8	7.7	44.7	7.7	21.9
自分の将来が楽しみだ	あてはまる	736	72.1	34.4	20.5	9.4	51.2	9.0	25.8
	あてはまらない	242	51.7	18.2	12.4	8.7	41.7	5.4	18.6

次ページへ

区分		スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー	学校以外(習い事等)の先生	近所の人・地域の人	子ども専用の電話相談、ソーシャル・ネットワーク・サービスでの相談	子ども専用の電話相談、ソーシャル・ネットワーク・サービスでの相談	インターネットなどで知りあった直接会ったことのない人	その他の人	だれにも相談しない	無回答
頑張れば、成果が出せる	あてはまる	2.0	3.0	0.8	0.6	1.6	0.9	11.7	0.9	
	あてはまらない	—	4.1	1.0	1.0	6.2	3.1	27.8	3.1	
自分は価値のある人間だと思う	あてはまる	1.6	3.6	0.7	0.4	1.3	0.7	9.3	0.9	
	あてはまらない	2.5	2.2	1.1	1.1	4.0	2.2	23.6	1.4	
自分には良いところがある	あてはまる	1.5	3.2	0.6	0.5	1.1	0.6	9.7	1.0	
	あてはまらない	3.6	3.0	1.8	1.2	6.6	3.6	31.3	1.2	
不安に感じるところはない	あてはまる	1.1	3.5	0.7	0.5	1.6	1.2	10.2	1.2	
	あてはまらない	2.9	2.7	1.0	0.7	2.7	1.0	17.6	0.7	
孤独を感じることはない	あてはまる	1.5	3.6	1.1	0.8	1.4	0.9	11.0	0.8	
	あてはまらない	2.6	2.3	0.3	0.3	3.5	1.6	18.3	1.6	
自分の将来が楽しみだ	あてはまる	2.0	3.4	0.8	0.8	1.6	1.0	10.6	0.8	
	あてはまらない	1.2	2.5	0.8	—	3.3	1.7	21.9	1.2	

【自己肯定感別】

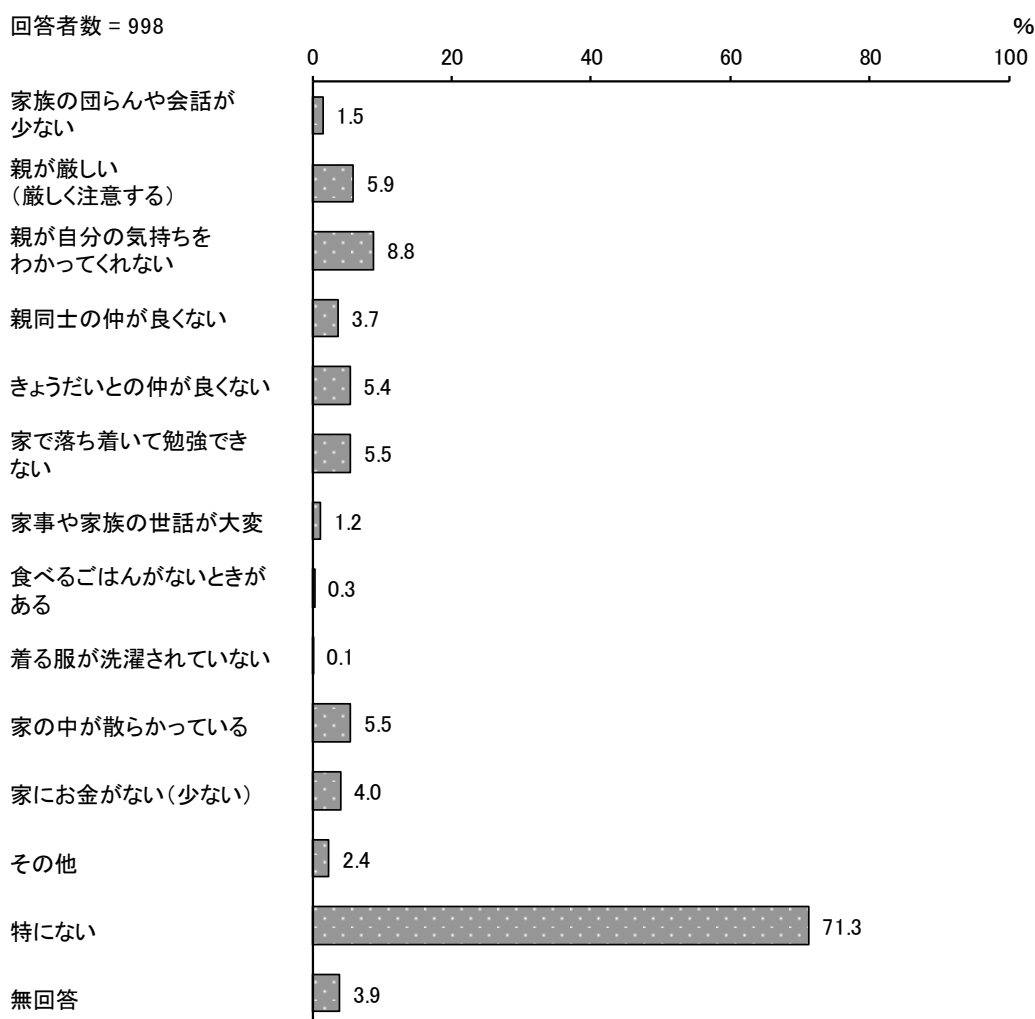
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で「お母さん」「お父さん」「きょうだい」「学校のともだち」「学校の先生」の割合が高くなっています。また、自己肯定感「低」で「インターネットなどで知りあった直接会ったことのない人」「だれにも相談しない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	きょうだい	おばあさん・おじいさん・親せき	学校のともだち	学校以外のともだち	学校の先生	スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー	学校以外(習い事等)の先生	近所の人・地域の人	子ども専用の電話相談、ソーシャル・ネットワーク・サービスでの相談	インターネットなどで知りあった直接会ったことのない人	その他の人	だれにも相談しない	無回答
自己肯定感「高」	483	75.4	37.3	21.9	10.1	53.6	9.9	27.7	1.7	4.1	1.0	0.8	1.2	0.4	8.5	0.8
自己肯定感「中」	440	62.5	24.5	16.4	8.6	45.7	5.9	20.7	1.8	2.0	0.5	0.2	1.8	1.6	15.7	1.1
自己肯定感「低」	58	32.8	15.5	5.2	5.2	31.0	8.6	19.0	3.4	3.4	1.7	1.7	10.3	3.4	36.2	1.7

問 21 あなたは、家族のことなどで、何か困っていることはありますか。
 (あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「特にない」の割合が71.3%と最も高くなっています。



【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「家にお金がない(少ない)」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「特にない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族の団らんや会話が 少ない	親が厳しい (厳しく注 意する)	親が自分の気持ちを わかってくれない	親同士の仲が良くない	きょうだいとの仲が 良くない	家で落ち着いて勉強 できない	家事や家族の世話が 大変	食べるごはんがない ときがある	着る服が洗濯されて いない	家の中が散らかって いる	家にお金がない(少 ない)	その他	特にない	無回答
母子・父子・ 養育者世帯	119	2.5	5.9	9.2	2.5	3.4	4.2	1.7	0.8	—	5.9	11.8	1.7	66.4	5.9
その他の世帯	853	1.3	5.9	8.4	3.6	5.5	5.5	1.2	0.2	0.1	5.6	3.0	2.5	72.7	3.6

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「家にお金がない(少ない)」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族の団らんや会話が少ない	親が厳しい(厳しく注意する)	親が自分の気持ちをわかってくれない	親同士仲が良くない	きょうだいの仲が良くない	家で落ち着いて勉強できない	大変	家事や家族の世話が	食べるごはんがないときがある	着る服が洗濯されていない	家の中が散らかっている	家にお金がない(少ない)	その他	特にな	無回答
相対的貧困層	143	1.4	4.9	5.6	2.8	2.8	5.6	2.1	1.4	—	5.6	8.4	1.4	71.3	4.9	
非相対的貧困層	695	1.6	5.9	10.1	3.6	6.0	4.9	1.3	0.1	0.1	5.5	3.3	2.6	71.1	4.3	

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「親が厳しい(厳しく注意する)」「親が自分の気持ちをわかってくれない」「家で落ち着いて勉強できない」「家にお金がない(少ない)」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族の団らんや会話が少ない	親が厳しい(厳しく注意する)	親が自分の気持ちをわかってくれない	親同士仲が良くない	きょうだいの仲が良くない	家で落ち着いて勉強できない	大変	家事や家族の世話が	食べるごはんがないときがある	着る服が洗濯されていない	家の中が散らかっている	家にお金がない(少ない)	その他	特にな	無回答
自己肯定感「高」	483	0.2	3.5	3.5	2.9	3.1	3.3	1.0	0.2	0.2	3.7	2.1	1.4	80.7	2.9	
自己肯定感「中」	440	2.0	6.4	11.8	4.3	7.7	6.8	1.4	0.5	—	6.8	4.5	2.7	65.0	3.9	
自己肯定感「低」	58	6.9	22.4	32.8	6.9	8.6	13.8	1.7	—	—	8.6	15.5	8.6	44.8	5.2	

【可処分所得別】

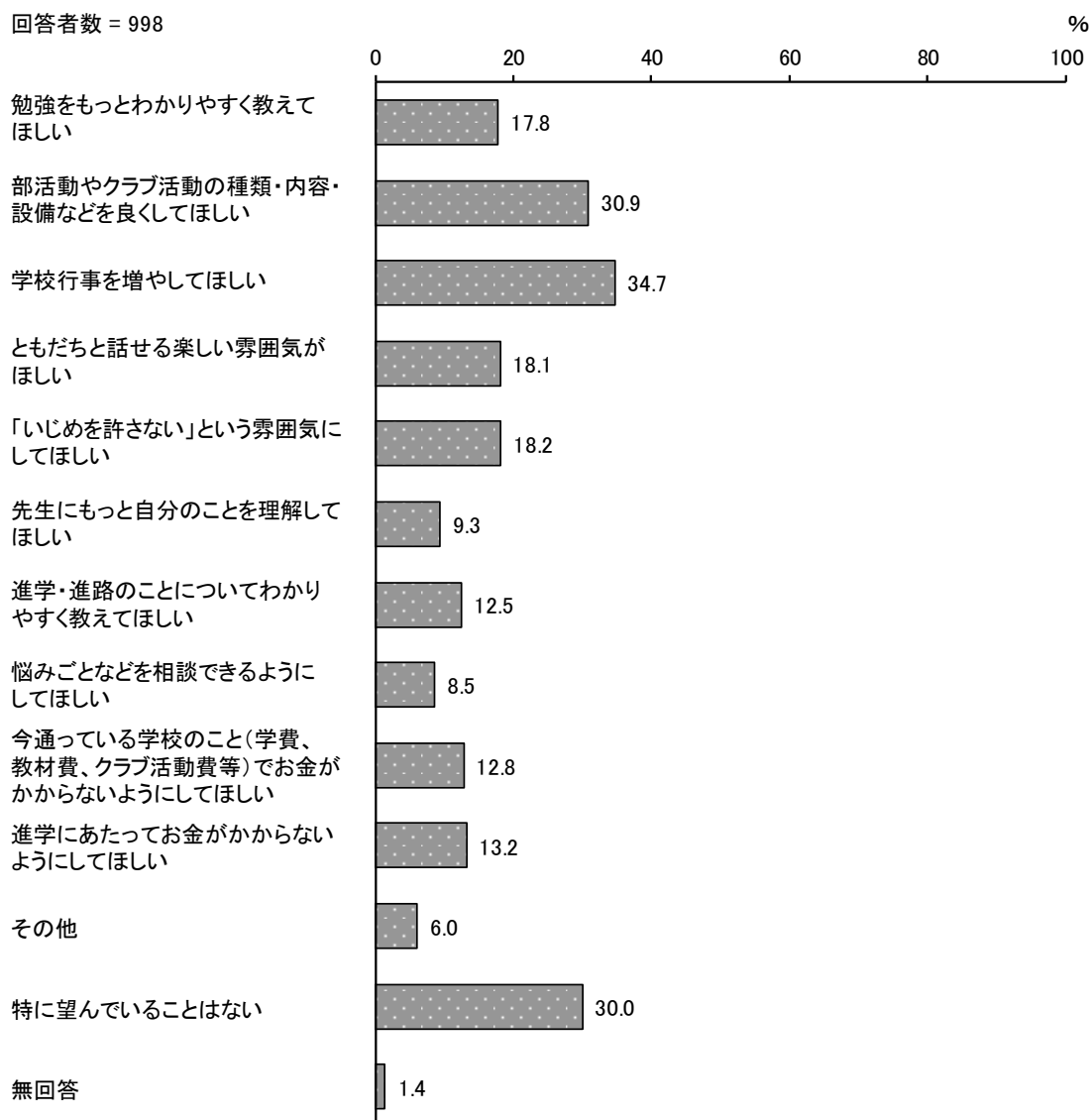
可処分所得別でみると、他に比べ、100万円未満で「家にお金がない(少ない)」の割合が、100万円以上～200万円未満、900万円以上～1,000万円未満で「特にない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	家族の団らんや会話が少ない	親が厳しい(厳しく注意する)	親が自分の気持ちをわかってくれない	親同士仲が良くない	きょうだいとの仲が良くない	家で落ち着いて勉強できない	大変	家事や家族の世話が	食べるときはない	着る服が洗濯されていない	家の中が散らかっている	家にお金がない(少ない)	その他	特にない	無回答
100万円未満	41	2.4	9.8	7.3	—	4.9	7.3	2.4	—	—	9.8	14.6	4.9	63.4	4.9	
100万円以上～200万円未満	58	—	—	3.4	—	1.7	5.2	—	—	—	5.2	8.6	1.7	77.6	3.4	
200万円以上～300万円未満	69	2.9	7.2	8.7	5.8	1.4	2.9	1.4	4.3	—	5.8	7.2	1.4	68.1	5.8	
300万円以上～400万円未満	97	1.0	5.2	10.3	3.1	5.2	6.2	4.1	—	—	9.3	7.2	4.1	62.9	6.2	
400万円以上～500万円未満	120	3.3	7.5	9.2	3.3	9.2	6.7	1.7	—	0.8	4.2	2.5	2.5	70.0	3.3	
500万円以上～600万円未満	135	1.5	4.4	11.1	3.7	8.1	3.0	0.7	—	—	5.9	4.4	2.2	73.3	4.4	
600万円以上～700万円未満	85	2.4	7.1	9.4	5.9	7.1	7.1	2.4	—	—	2.4	—	1.2	76.5	2.4	
700万円以上～800万円未満	78	—	5.1	12.8	2.6	5.1	3.8	—	—	—	7.7	—	1.3	70.5	5.1	
800万円以上～900万円未満	49	2.0	4.1	8.2	2.0	4.1	6.1	2.0	—	—	4.1	2.0	6.1	65.3	8.2	
900万円以上～1,000万円未満	41	—	4.9	4.9	2.4	7.3	2.4	—	—	—	—	2.4	—	82.9	2.4	
1,000万円以上	72	—	8.3	11.1	6.9	—	5.6	—	—	—	4.2	1.4	2.8	72.2	2.8	
わからない	85	1.2	3.5	3.5	5.9	5.9	8.2	—	—	—	7.1	3.5	2.4	71.8	2.4	

問 22 あなたは、学校のことについて、何か望んでいることはありますか。
 (あてはまる番号すべてに○を付けてください)

「学校行事を増やしてほしい」の割合が 34.7%と最も高く、次いで「部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを良くしてほしい」の割合が 30.9%、「特に望んでいることはない」の割合が 30.0%となっています。



【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「特に望んでいることはない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「勉強をもっとわかりやすく教えてほしい」「部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを良くしてほしい」「学校行事を増やしてほしい」「進学・進路のことについてわかりやすく教えてほしい」「進学にあたってお金がかからないようにしてほしい」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	勉強をもっとわかりやすく教えてほしい	部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを良くしてほしい	学校行事を増やしてほしい	ともだちと話せる楽しい雰囲気してほしい	「いじめを許さない」という雰囲気してほしい	先生にもっと自分のことを理解してほしい	進学・進路のことについてわかりやすく教えてほしい	悩みごとなどを相談できるようにしてほしい	今通っている学校のこと(学費、教材費、クラブ活動費等)でお金がかからないようにしてほしい	進学にあたってお金がかからないようにしてほしい	その他	特に望んでいることはない	無回答
小学生	563	15.3	19.9	28.2	17.4	19.0	11.4	6.0	8.3	11.0	10.3	5.3	35.0	1.4
中学生	426	21.1	45.3	43.2	19.0	17.4	6.6	20.9	8.9	15.0	16.7	6.8	23.7	1.4

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「勉強をもっとわかりやすく教えてほしい」「学校行事を増やしてほしい」「ともだちと話せる楽しい雰囲気してほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	勉強をもっとわかりやすく教えてほしい	部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを良くしてほしい	学校行事を増やしてほしい	ともだちと話せる楽しい雰囲気がほしい	「いじめを許さない」という雰囲気にしてほしい	先生にもっと自分のことを理解してほしい	進学・進路のことについてわかりやすく教えてほしい	悩みごとなどを相談できるようにしてほしい	今通っている学校のこと(学費、教材費、クラブ活動費等)でお金がかからないようにしてほしい	進学にあたってお金がかからないようにしてほしい	その他	特に望んでいることはない	無回答
相対的貧困層	143	24.5	35.0	39.2	25.2	21.0	11.2	15.4	9.1	16.8	17.5	5.6	25.9	1.4
非相対的貧困層	695	17.0	30.2	34.0	17.4	18.3	8.6	11.4	8.5	12.2	12.9	6.3	30.5	1.7

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「学校行事を増やしてほしい」「ともだちと話せる楽しい雰囲気がほしい」「先生にもっと自分のことを理解してほしい」「悩みごとなどを相談できるようにしてほしい」「今通っている学校のこと（学費、教材費、クラブ活動費等）でお金がかからないようにしてほしい」「進学にあたってお金がかからないようにしてほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	勉強をもっとわかりやすく教えてほしい	部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを良くしてほしい	学校行事を増やしてほしい	ともだちと話せる楽しい雰囲気がほしい	「いじめを許さない」という雰囲気にしてほしい	先生にもっと自分のことを理解してほしい	進学・進路のことについてわかりやすく教えてほしい	悩みごとなどを相談できるようにしてほしい	今通っている学校のこと（学費、教材費、クラブ活動費等）でお金がかからないようにしてほしい	進学にあたってお金がかからないようにしてほしい	その他	特に望んでいることはない	無回答
母子・父子・養育者世帯	119	21.8	30.3	41.2	23.5	18.5	16.8	13.4	13.4	21.0	20.2	6.7	27.7	1.7
その他の世帯	853	17.1	31.3	33.5	17.7	18.1	8.3	12.1	7.7	12.0	12.3	6.0	30.2	1.4

【自己肯定感別】

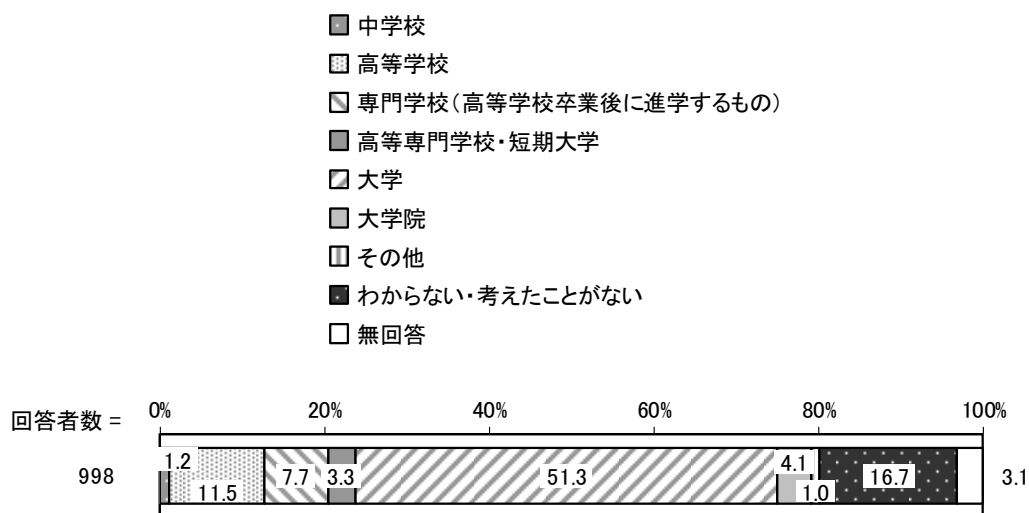
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「勉強をもっとわかりやすく教えてほしい」「ともだちと話せる楽しい雰囲気してほしい」「いじめを許さない」という雰囲気にしてほしい」「先生にもっと自分のことを理解してほしい」「進学・進路のことについてわかりやすく教えてほしい」「悩みごとなどを相談できるようにしてほしい」「今通っている学校のこと（学費、教材費、クラブ活動費等）でお金がかからないようにしてほしい」「進学にあたってお金がかからないようにしてほしい」という雰囲気にしてほしい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	勉強をもっとわかりやすく教えてほしい	部活動やクラブ活動の種類・内容・設備などを良くしてほしい	学校行事を増やしてほしい	ともだちと話せる楽しい雰囲気がほしい	「いじめを許さない」という雰囲気にしてほしい	先生にもっと自分のことを理解してほしい	進学・進路のことについてわかりやすく教えてほしい	悩みごとなどを相談できるようにしてほしい	今通っている学校のこと（学費、教材費、クラブ活動費等）でお金がかからないようにしてほしい	進学にあたってお金がかからないようにしてほしい	その他	特に望んでいることはない	無回答
自己肯定感「高」	483	13.3	31.9	35.8	15.7	16.6	6.8	11.0	6.0	10.6	10.8	5.8	32.5	1.0
自己肯定感「中」	440	21.4	29.8	34.3	19.3	18.9	10.2	13.2	10.0	13.2	14.8	5.5	28.4	1.1
自己肯定感「低」	58	31.0	32.8	34.5	27.6	29.3	24.1	22.4	17.2	29.3	24.1	13.8	19.0	1.7

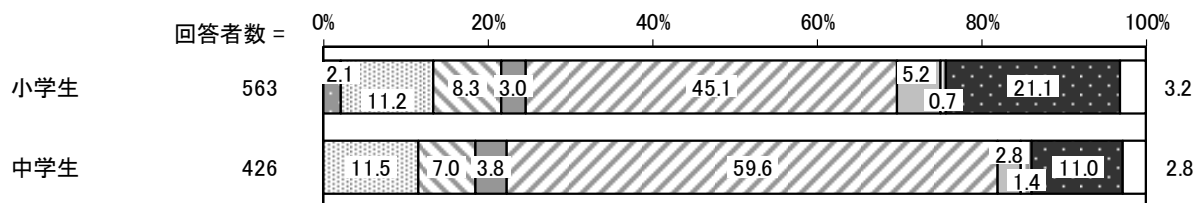
問 23 あなたは、将来どの学校まで行きたいと思いますか。
(あてはまる番号 1 つだけに○を付けてください)

「大学」の割合が 51.3%と最も高く、次いで「わからない・考えたことがない」の割合が 16.7%、「高等学校」の割合が 11.5%となっています。



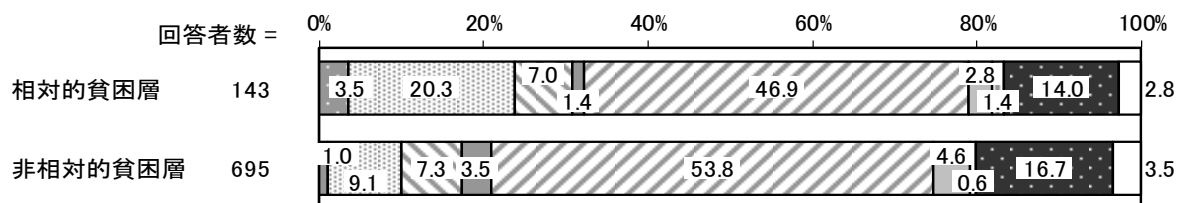
【小 5 ・ 中 2 別】

小 5 ・ 中 2 別でみると、中学生に比べ、小学生で「わからない・考えたことがない」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「大学」の割合が高くなっています。



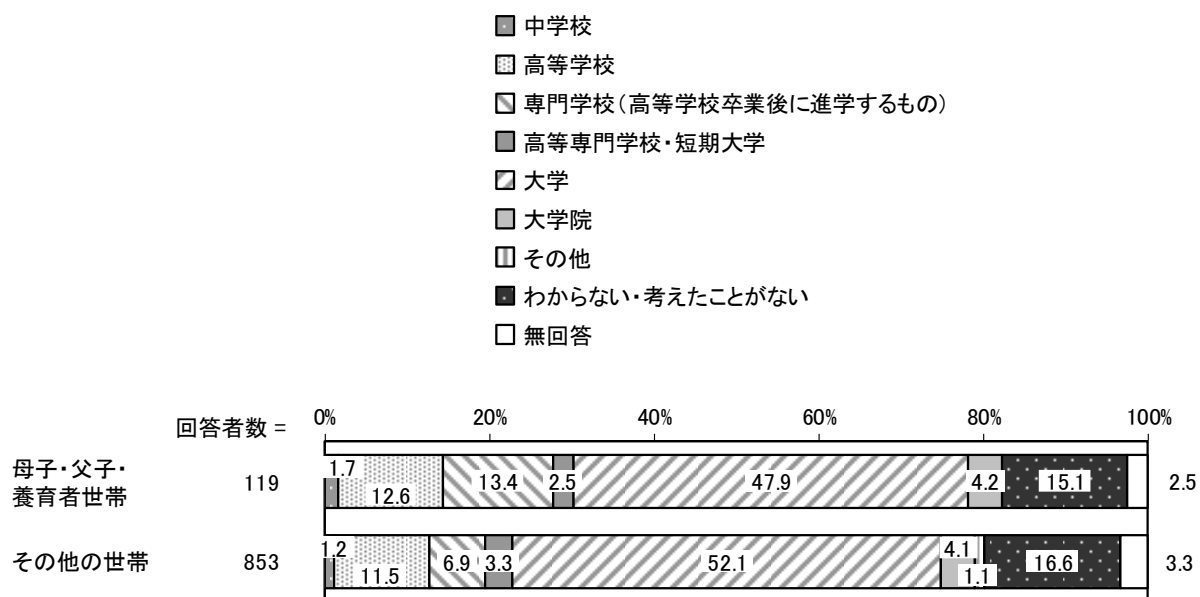
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「高等学校」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「大学」の割合が高くなっています。



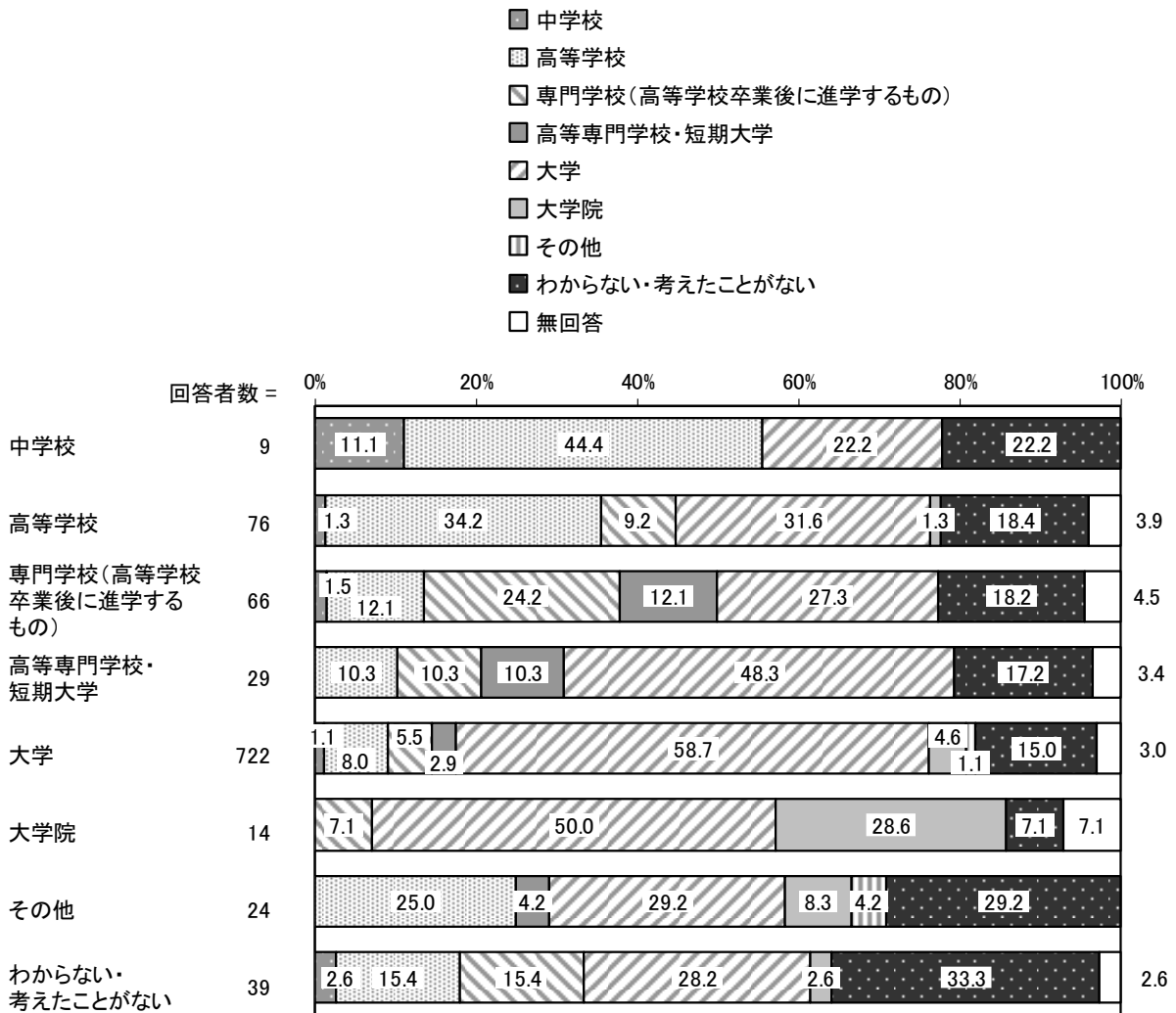
【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「専門学校（高等学校卒業後に進学するもの）」の割合が高くなっています。



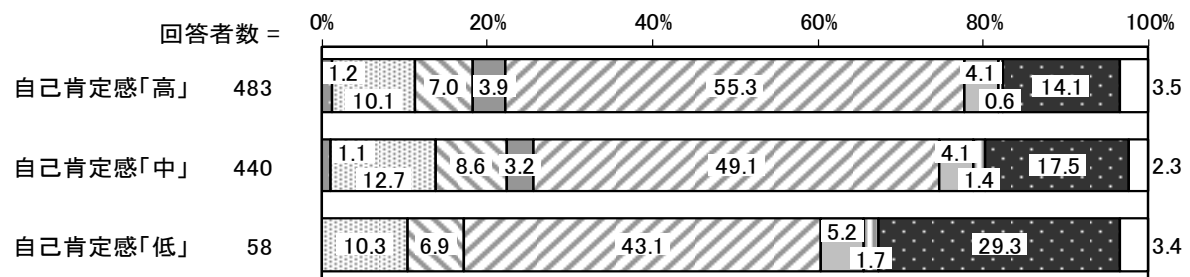
【保護者の子どもへの進学希望別】

保護者の子どもへの進学希望別でみると、他に比べ、高等学校で「高等学校」の割合が、高等専門学校・短期大学、大学、大学院で「大学」の割合が高くなっています。また、大学院で「大学院」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

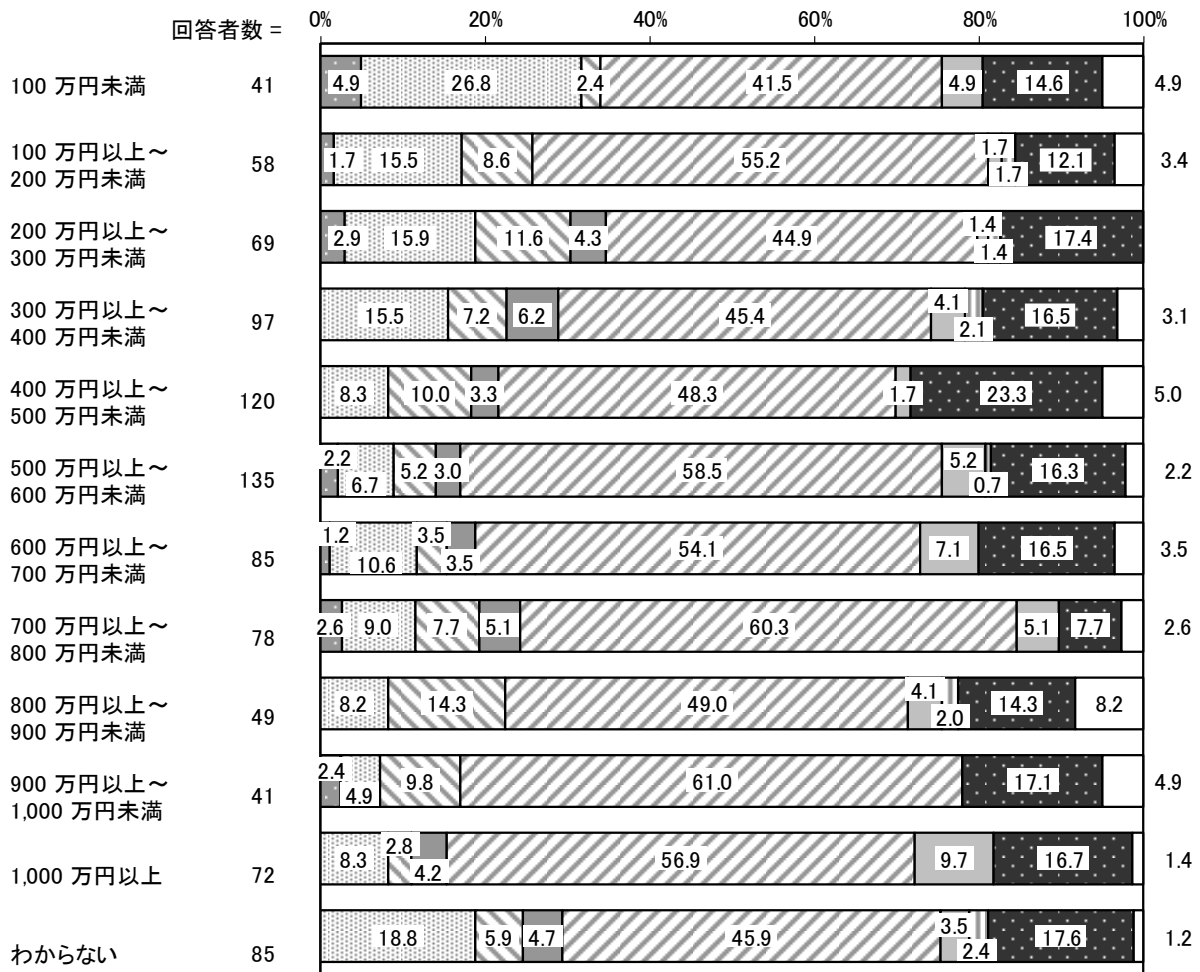
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で「大学」の割合が、自己肯定感「低」で「わからない・考えたことがない」の割合が高くなっています。



【可処分所得別】

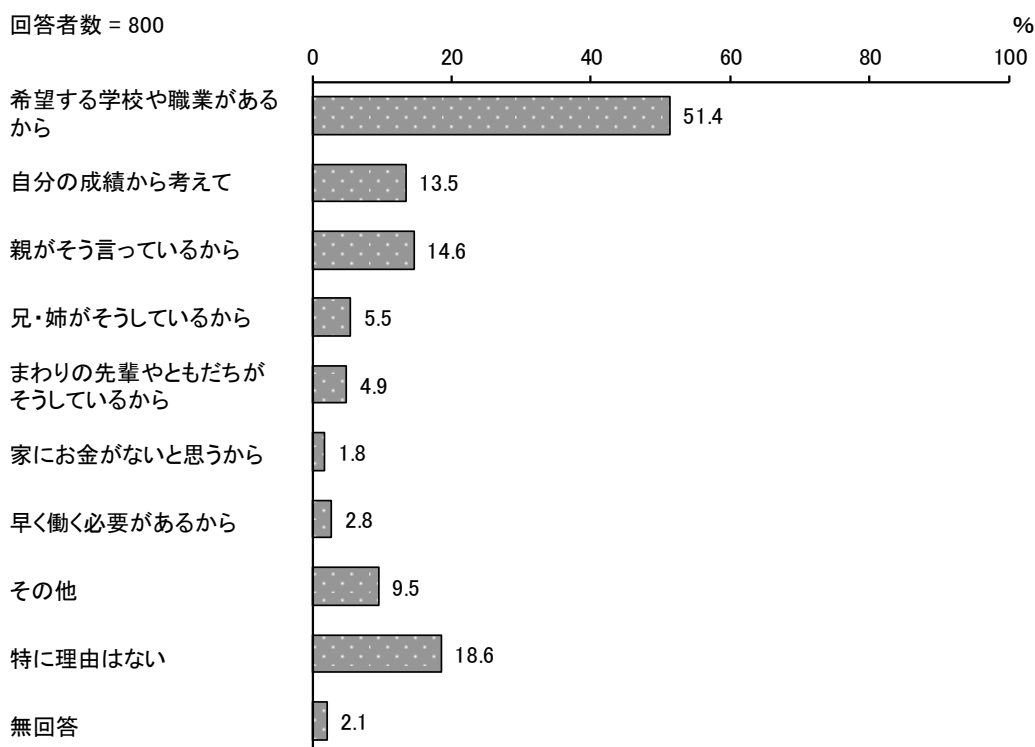
可処分所得別で見ると、他に比べ、100万円未満で「高等学校」の割合が、400万円以上～500万円未満で「わからない・考えたことがない」の割合が高くなっています。

- 中学校
- ▨ 高等学校
- ▩ 専門学校(高等学校卒業後に進学するもの)
- 高等専門学校・短期大学
- 大学
- 大学院
- ▨ その他
- わからない・考えたことがない
- 無回答



問 23-1 その理由はなんですか。(あてはまる番号すべてに○を付けてください)

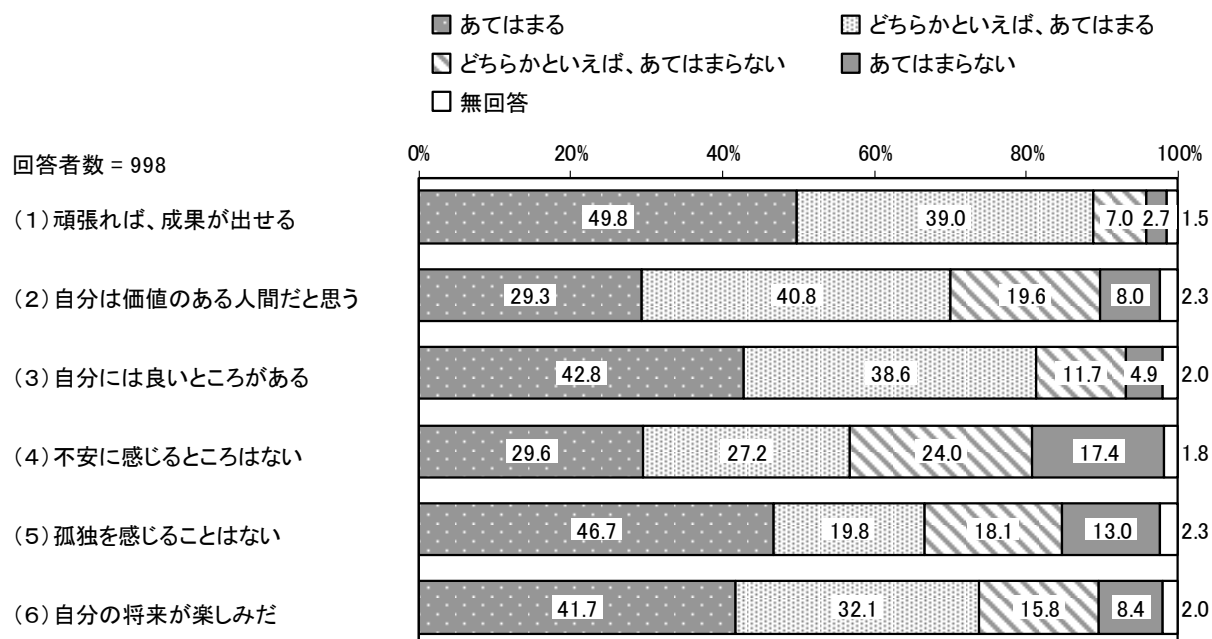
「希望する学校や職業があるから」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「特に理由はない」の割合が 18.6%、「親がそう言っているから」の割合が 14.6%となっています。



問 24 あなたは、自分自身のことをどう思いますか。(それぞれ1つに○を付けてください)

『(1) 頑張れば、成果が出せる』『(3) 自分には良いところがある』で「あてはまる」と「どちらかといえば、あてはまる」をあわせた“あてはまる”の割合が高くなっています。

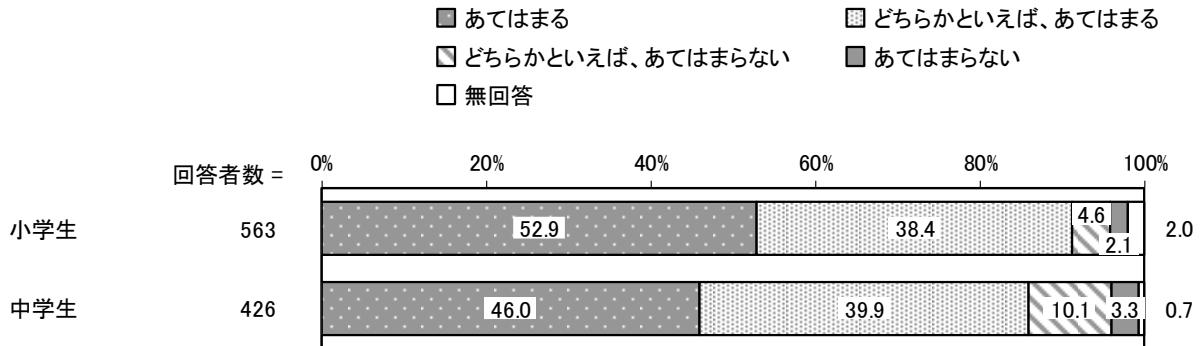
一方、『(4) 不安に感じるところはない』で「どちらかといえば、あてはまらない」と「あてはまらない」をあわせた“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(1) 頑張れば、成果が出せる

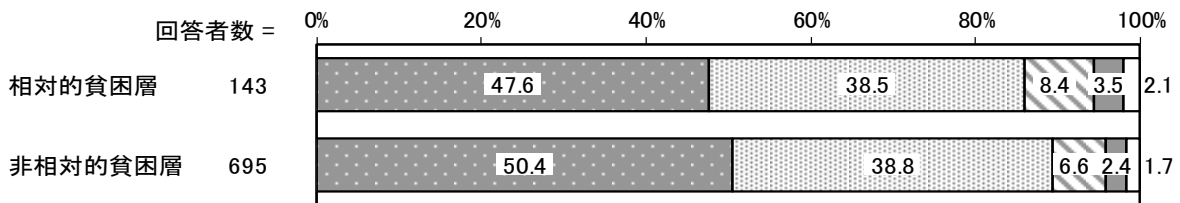
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で“あてはまる”の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



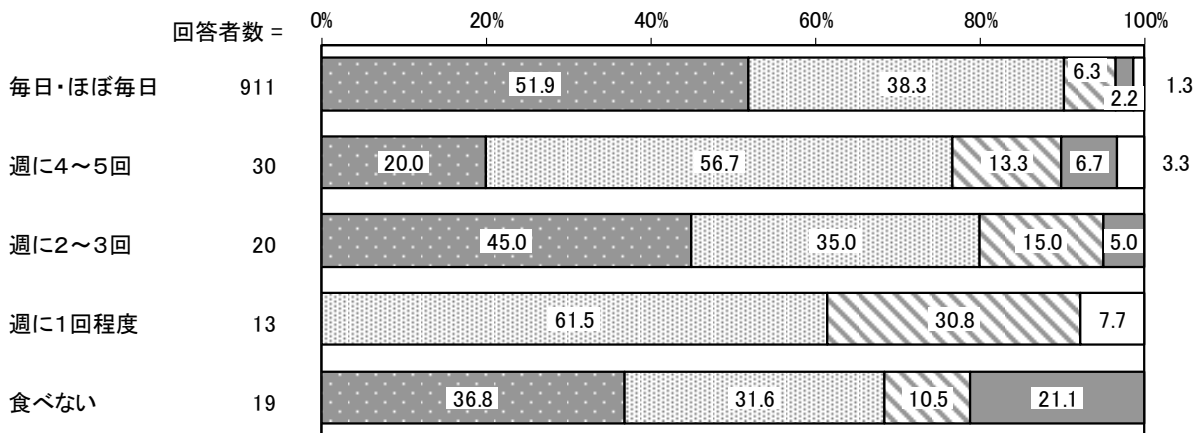
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



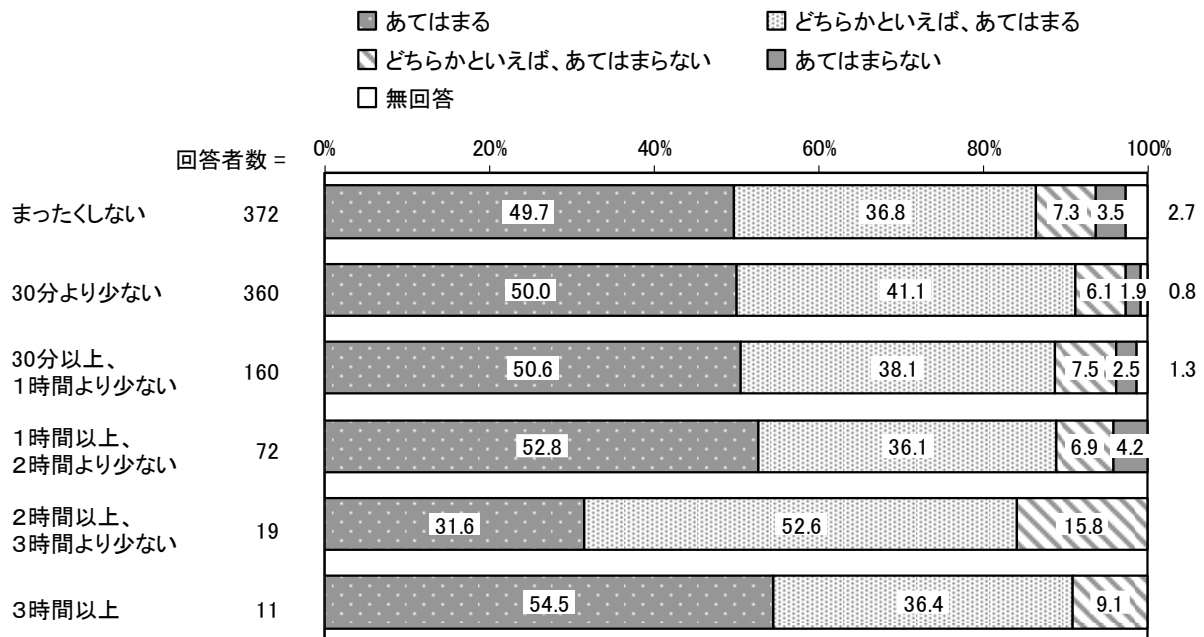
【朝食摂取別】

朝食摂取別でみると、他に比べ、毎日・ほぼ毎日で“あてはまる”の割合が、週に1回程度、食べないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



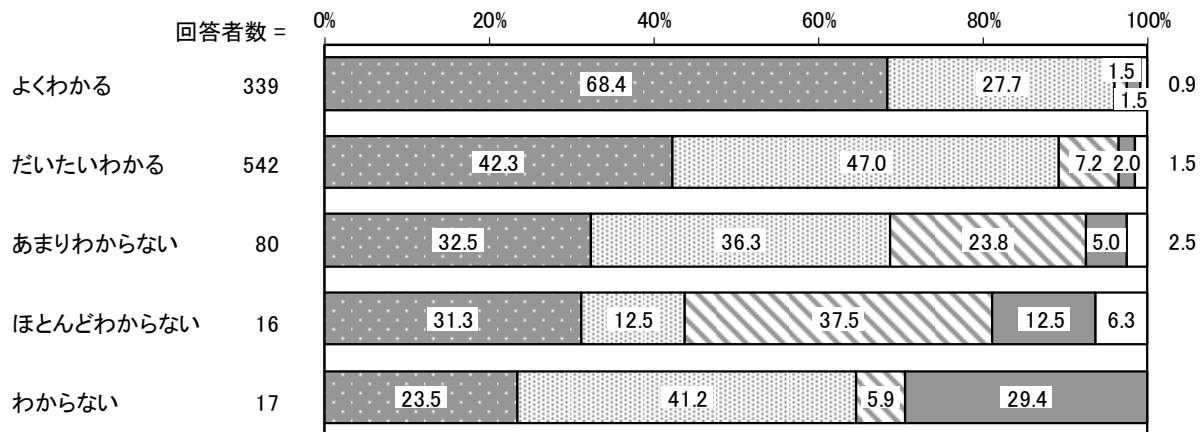
【読書時間別】

読書時間別でみると、他に比べ、30分より少ない、3時間以上で“あてはまる”の割合が高くなっています。また、2時間以上、3時間より少ないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



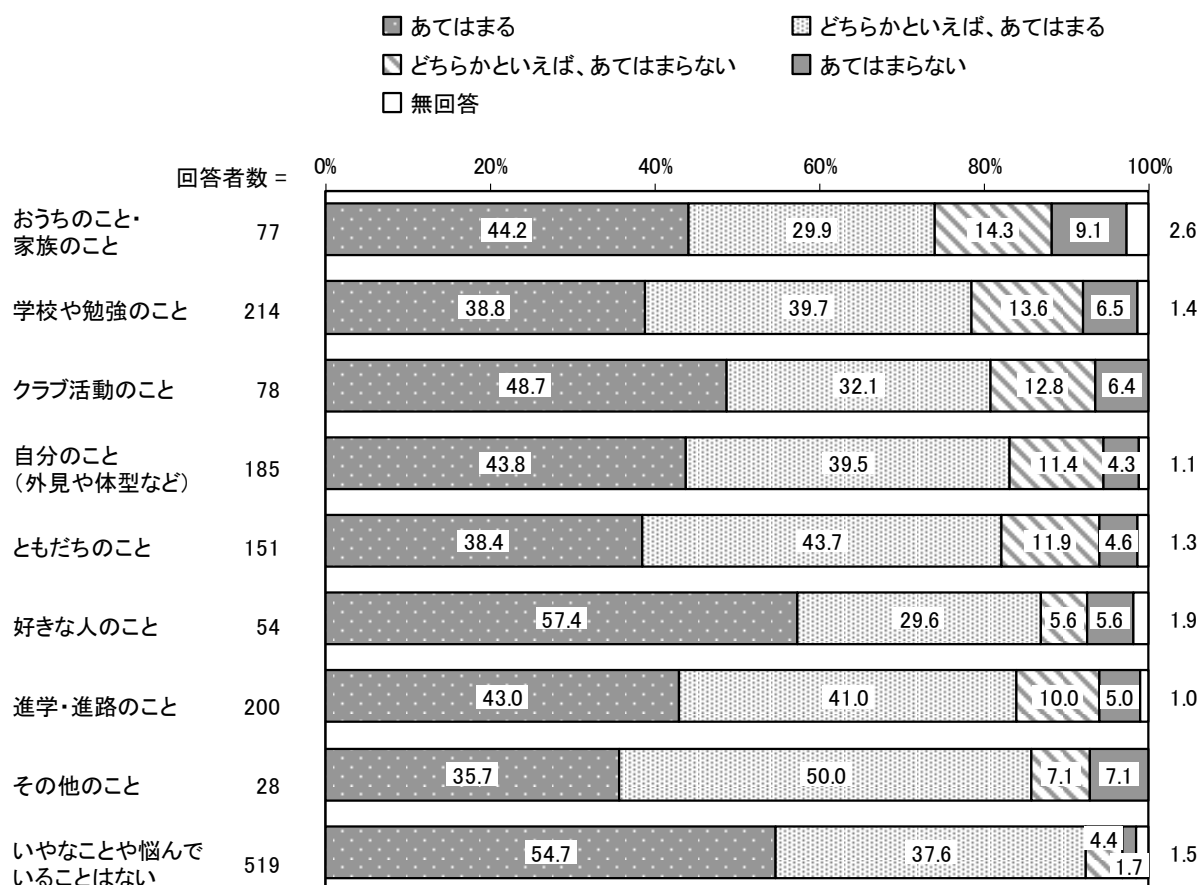
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、よくわかるで“あてはまる”の割合が、ほとんどわからないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



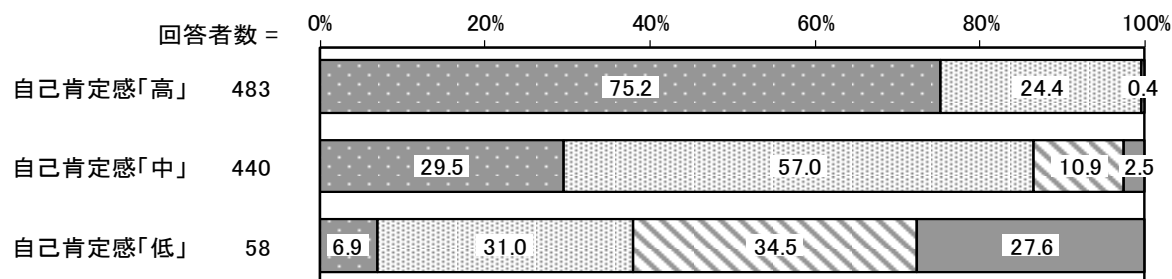
【子どもの悩み別】

子どもの悩み別でみると、他に比べ、好きな人のこと、いやなことや悩んでいることはないで“あてはまる”の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

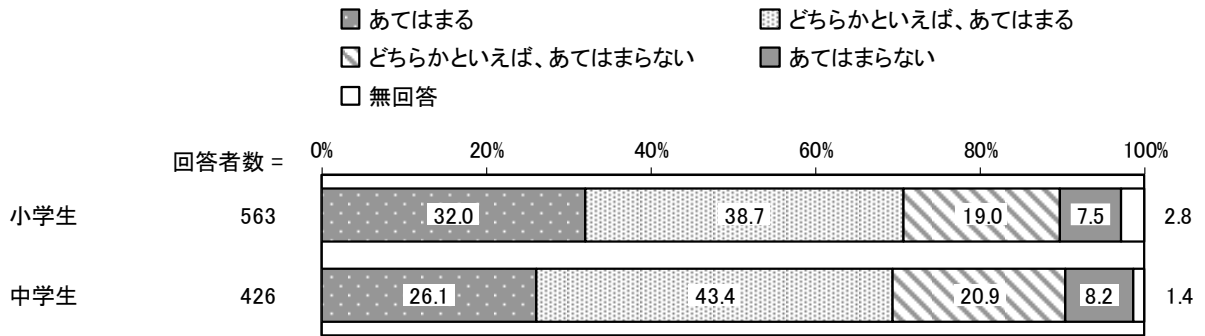
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で“あてはまる”の割合が高くなっています。



(2) 自分は価値のある人間だと思う

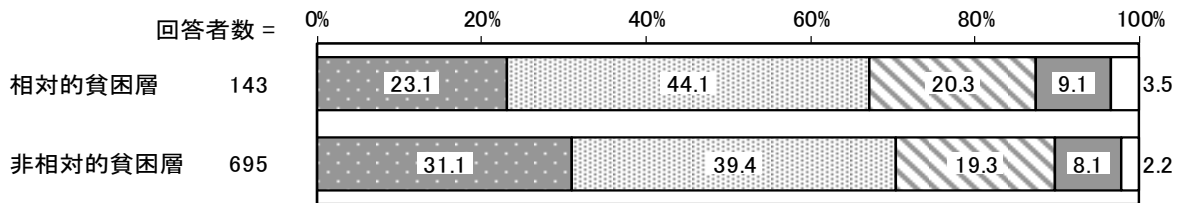
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、大きな差異はみられません。



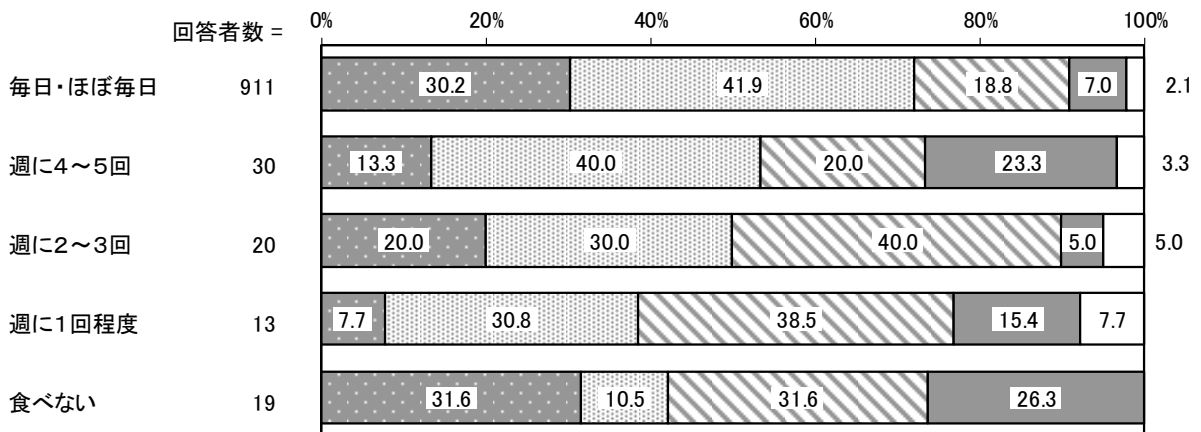
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で“あてはまる”の割合が高くなっています。



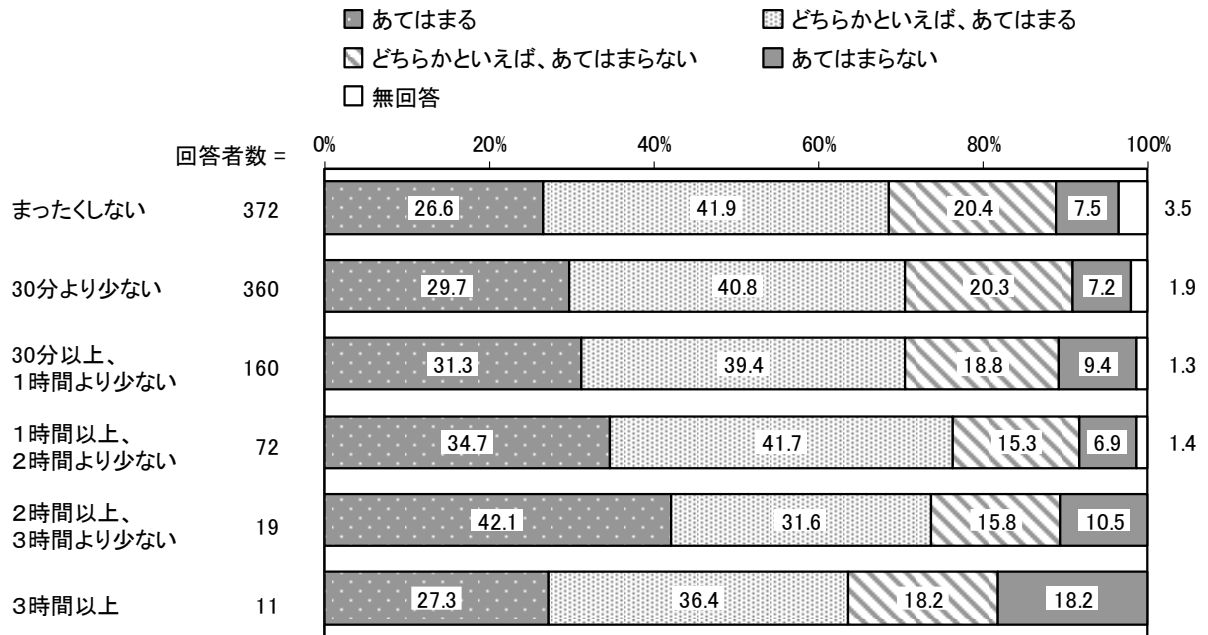
【朝食摂取別】

朝食摂取別でみると、他に比べ、毎日・ほぼ毎日で“あてはまる”の割合が、食べないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



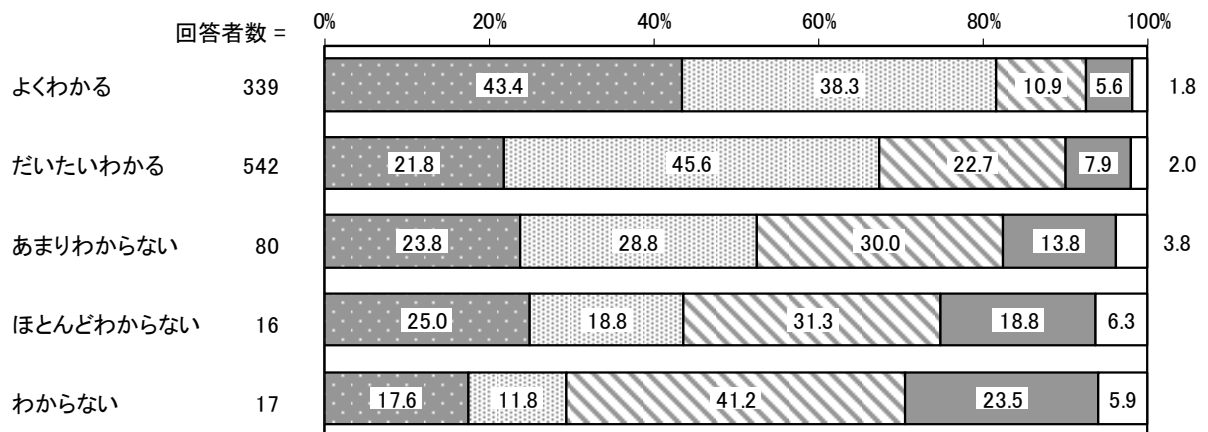
【読書時間別】

読書時間別でみると、他に比べ、1時間以上、2時間より少ないで“あてはまる”の割合が、3時間以上で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



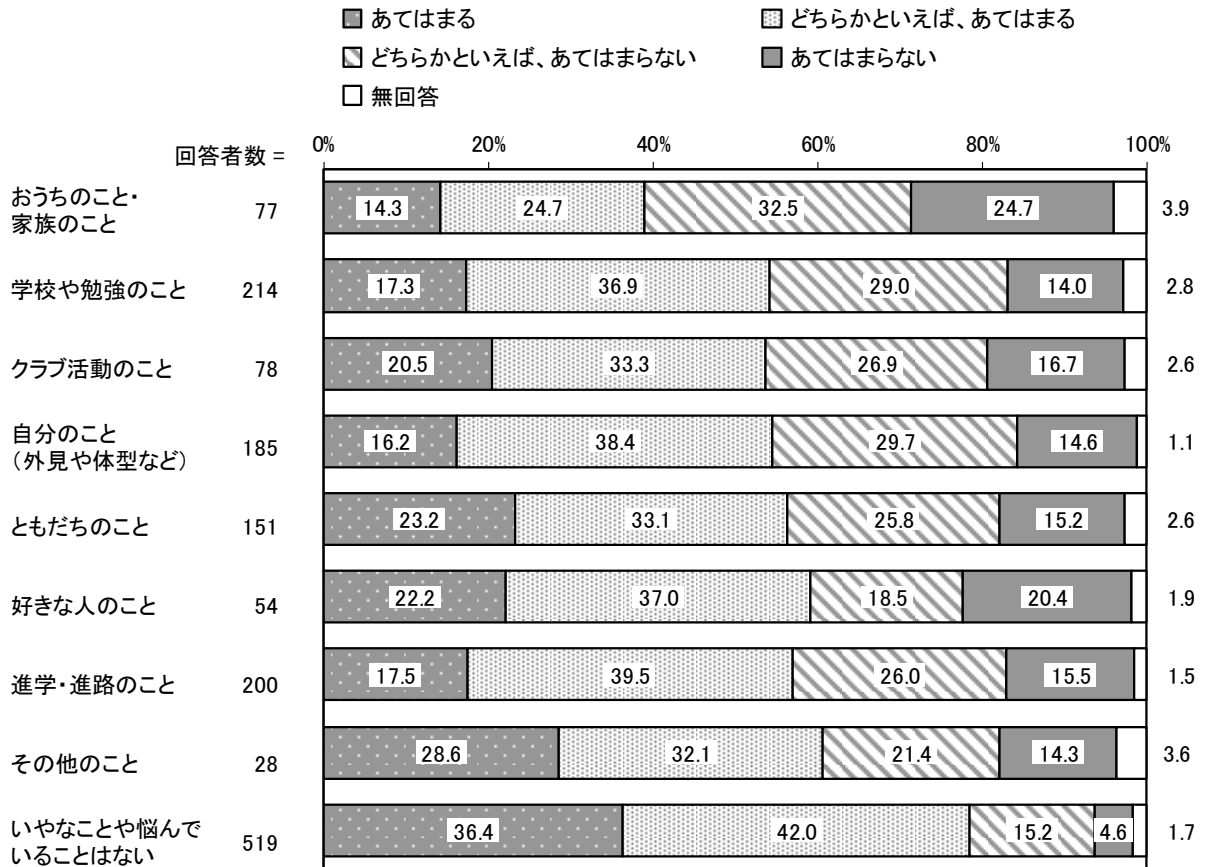
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、よくわかるで“あてはまる”の割合が、わからないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



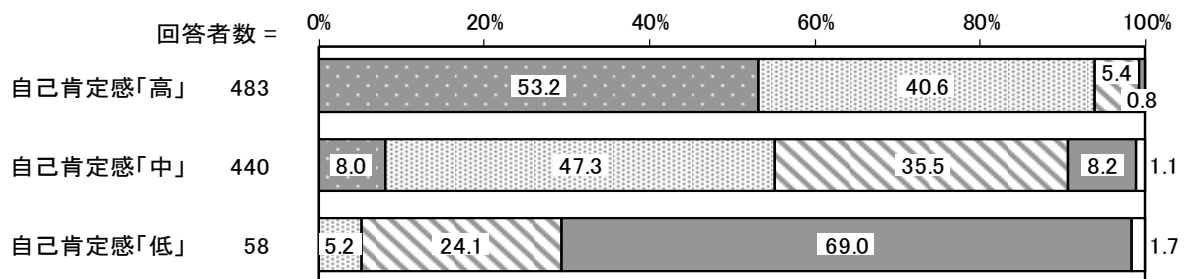
【子どもの悩み別】

子どもの悩み別でみると、他に比べ、いやなことや悩んでいることはないで“あてはまる”の割合が、おうちのこと・家族のことで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

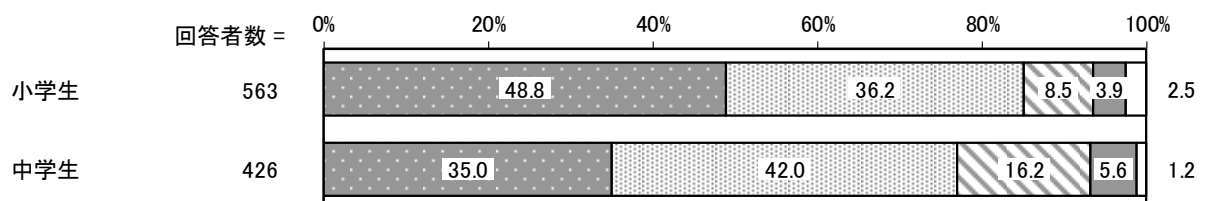
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で“あてはまる”の割合が、自己肯定感「低」で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(3) 自分には良いところがある

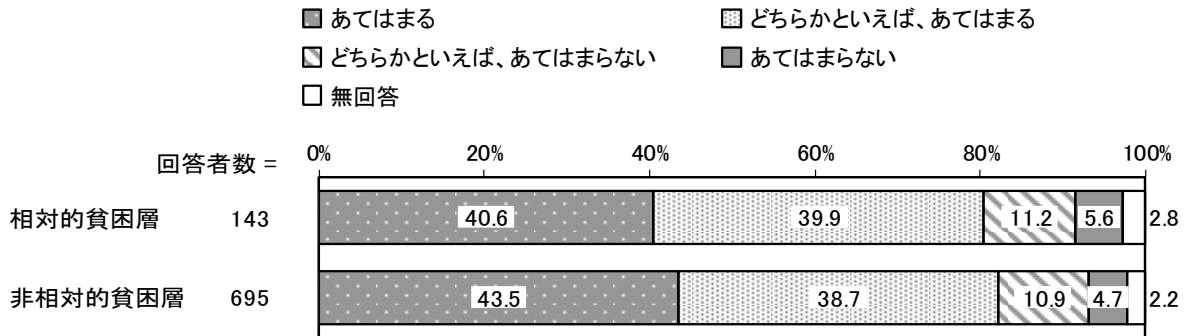
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で“あてはまる”の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



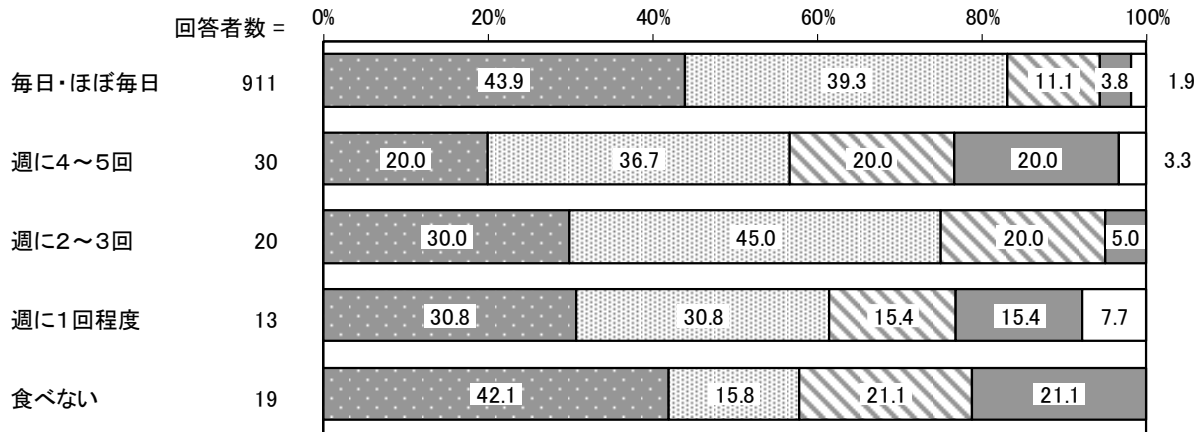
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



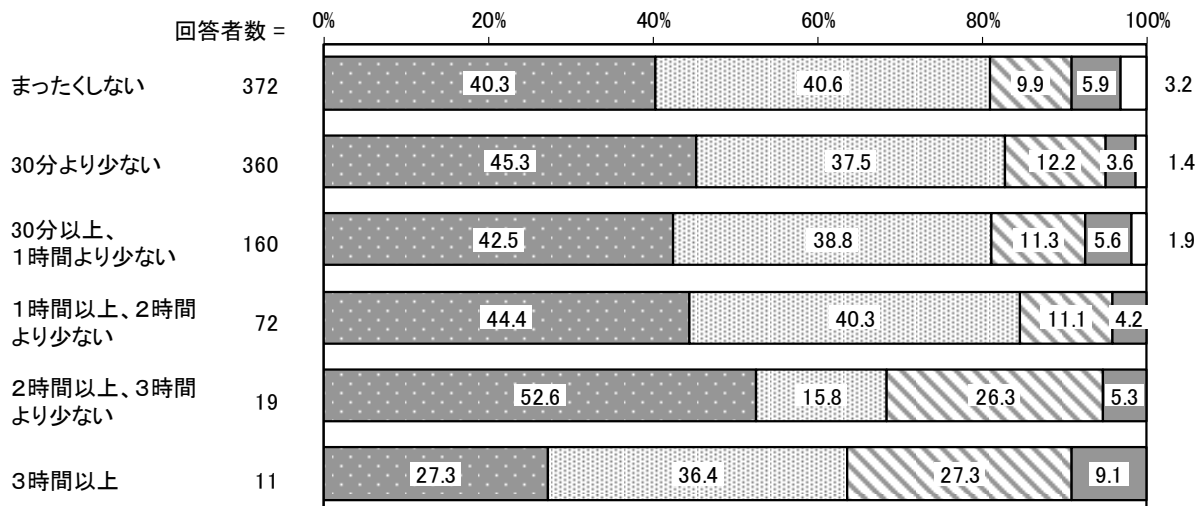
【朝食摂取別】

朝食摂取別でみると、他に比べ、毎日・ほぼ毎日で“あてはまる”の割合が、週に4～5回、食べないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



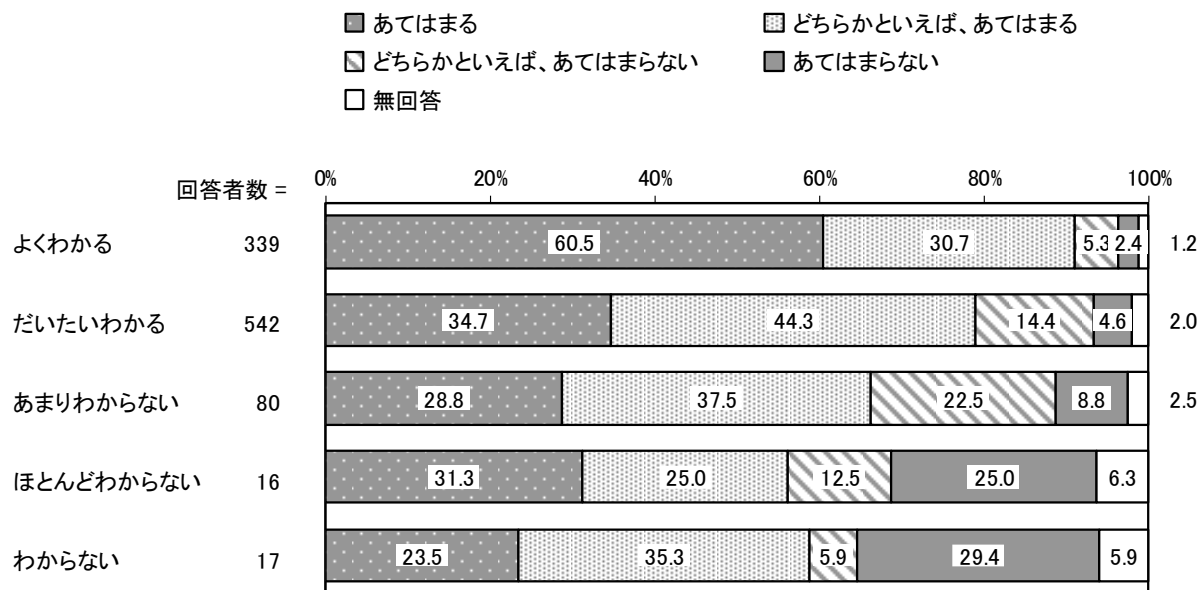
【読書時間別】

読書時間別でみると、他に比べ、1時間以上、2時間より少ないで“あてはまる”の割合が、3時間以上で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



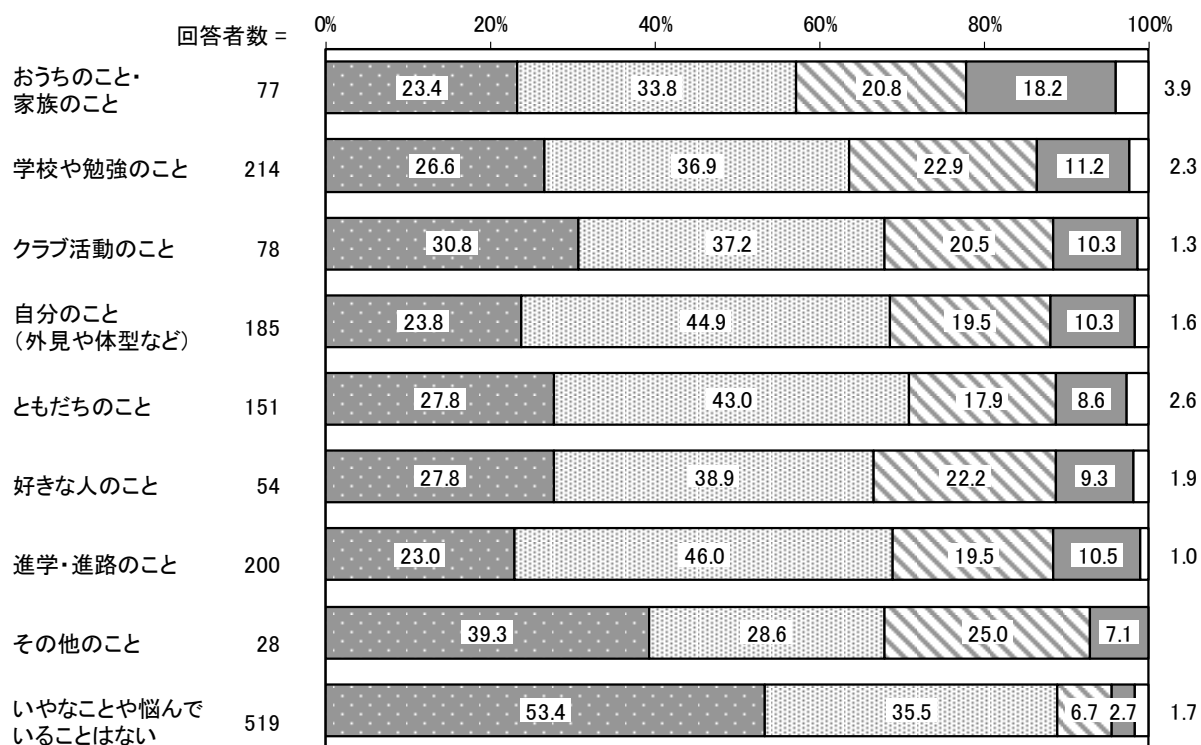
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、よくわかるで“あてはまる”の割合が、ほとんどわからない、わからないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



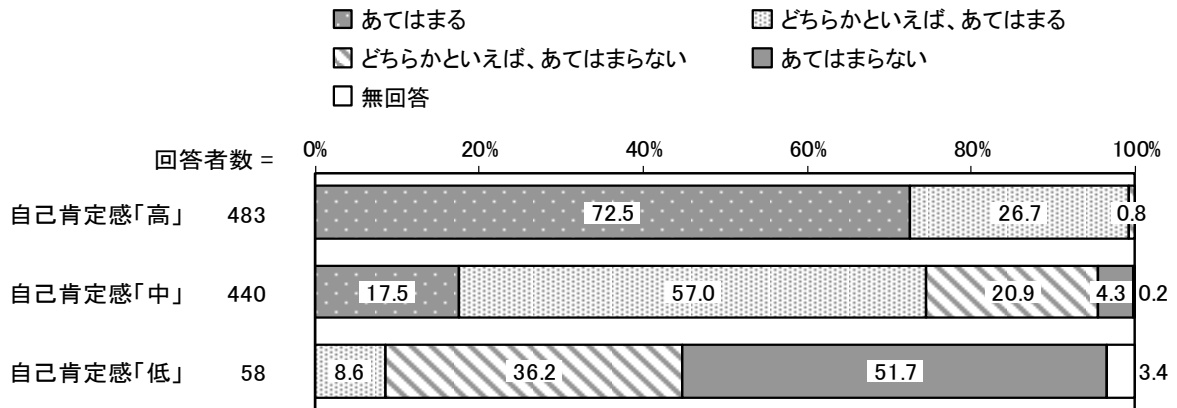
【子どもの悩み別】

子どもの悩み別でみると、他に比べ、いやなことや悩んでいることではないで“あてはまる”の割合が、おうちのこと・家族のことで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

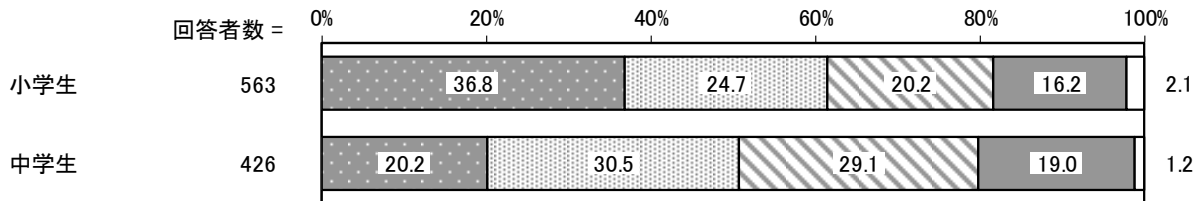
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で“あてはまる”の割合が、自己肯定感「低」で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(4) 不安に感じるところはない

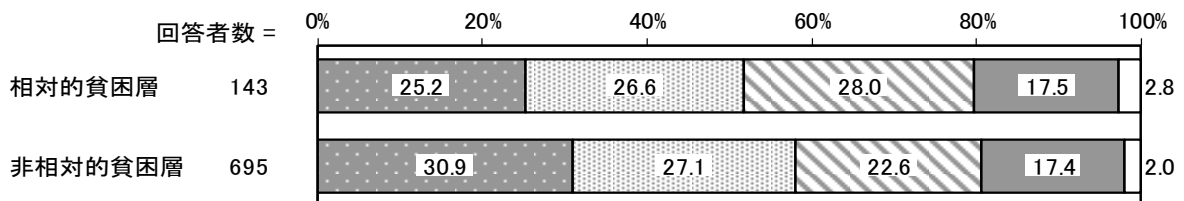
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で“あてはまる”の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



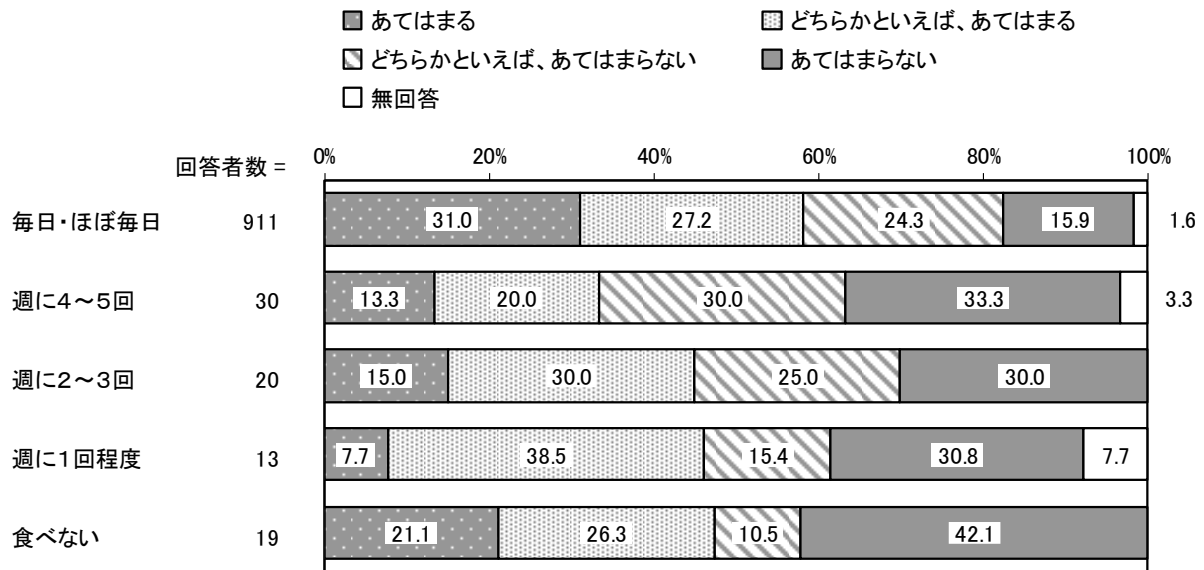
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で“あてはまらない”の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で“あてはまる”の割合が高くなっています。



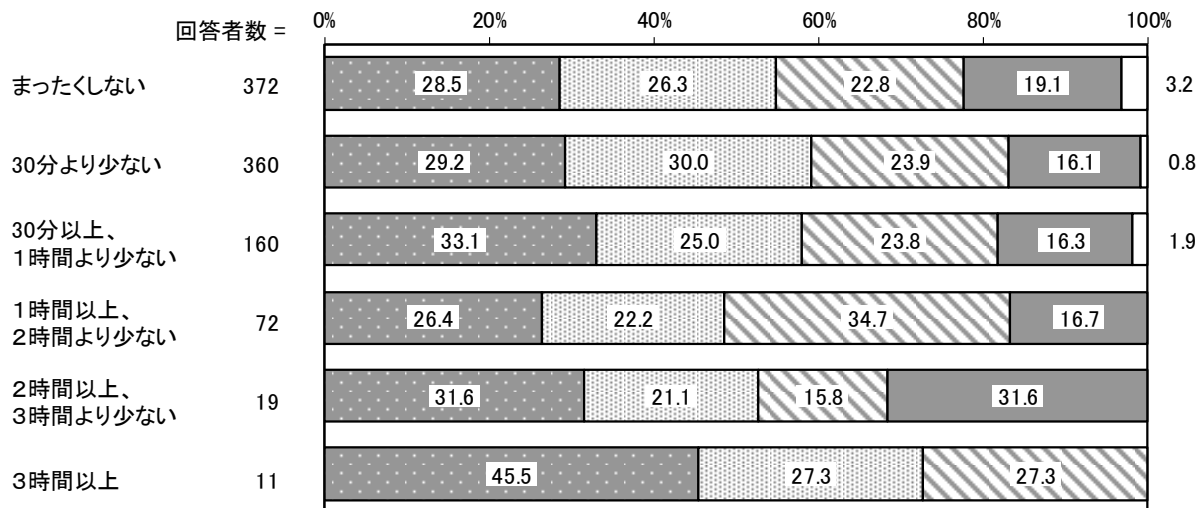
【朝食摂取別】

朝食摂取別で見ると、他に比べ、毎日・ほぼ毎日で“あてはまる”の割合が、週に4～5回で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



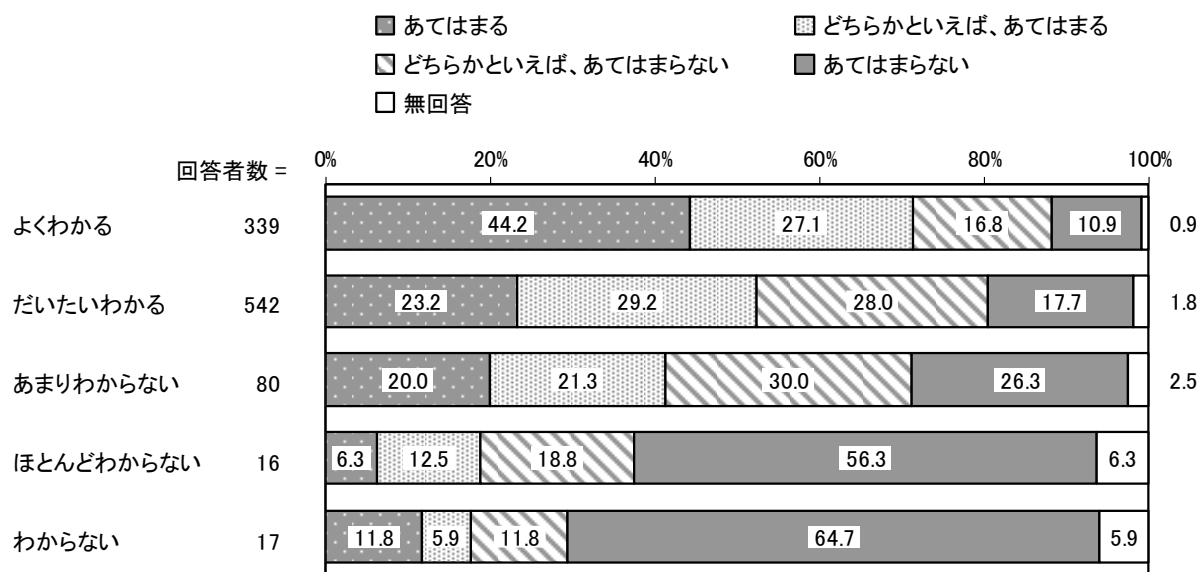
【読書時間別】

読書時間別で見ると、他に比べ、3時間以上で“あてはまる”の割合が、1時間以上、2時間より少ない、2時間以上、3時間より少ないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



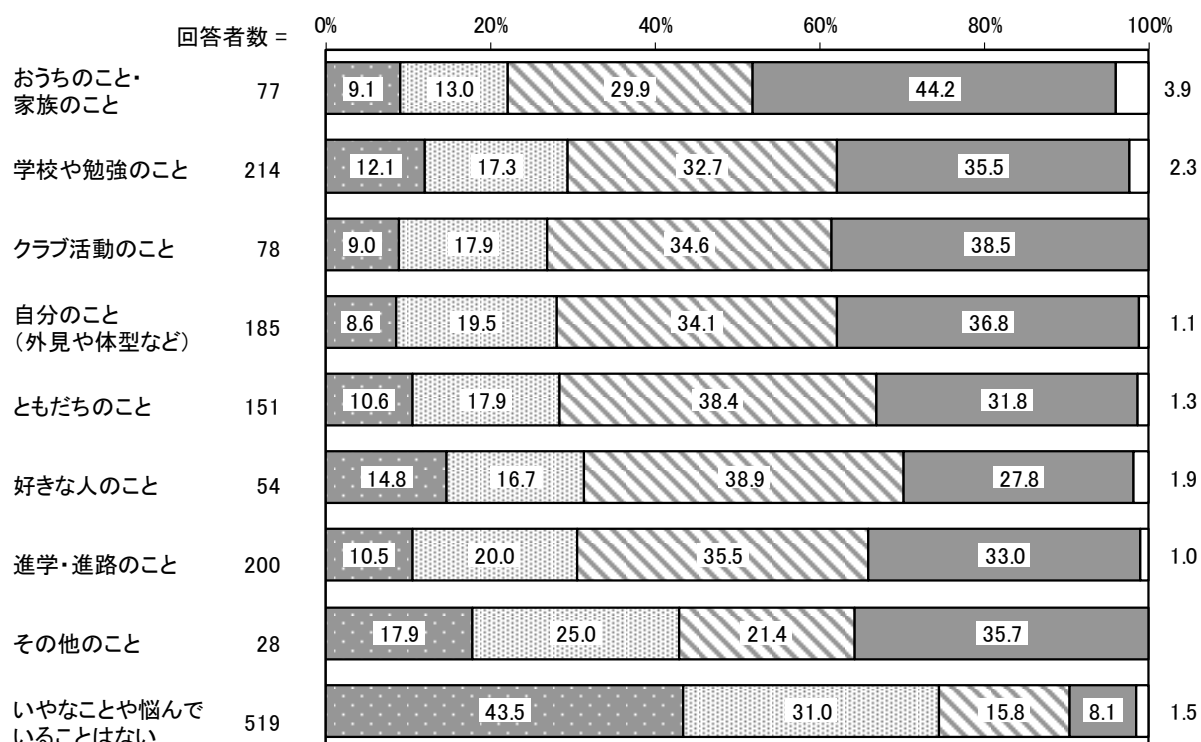
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、よくわかるで“あてはまる”の割合が、ほとんどわからない、わからないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



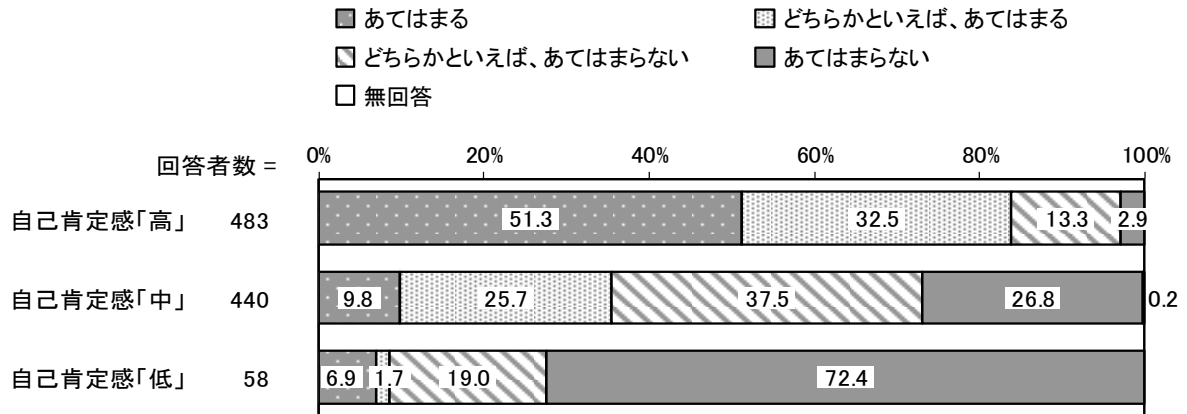
【子どもの悩み別】

子どもの悩み別でみると、他に比べ、いやなことや悩んでいることはないで“あてはまる”の割合が、おうちのこと・家族のこと、クラブ活動のことで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

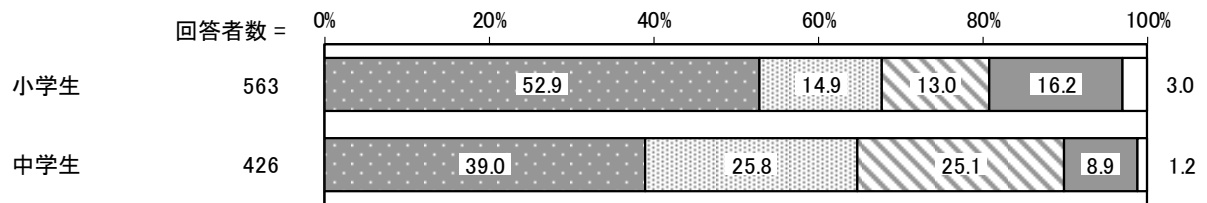
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で“あてはまる”の割合が、自己肯定感「低」で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(5) 孤独を感じることはない

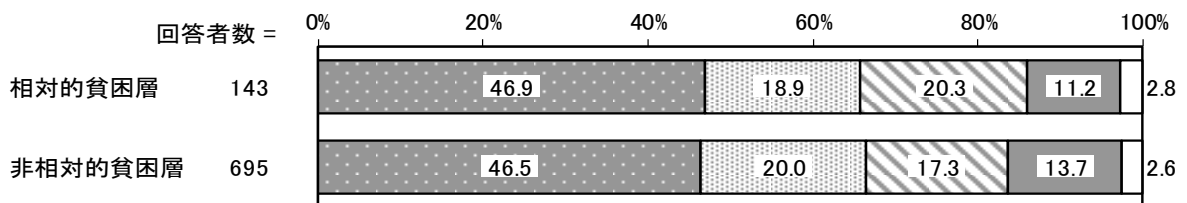
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、大きな差異はみられません。



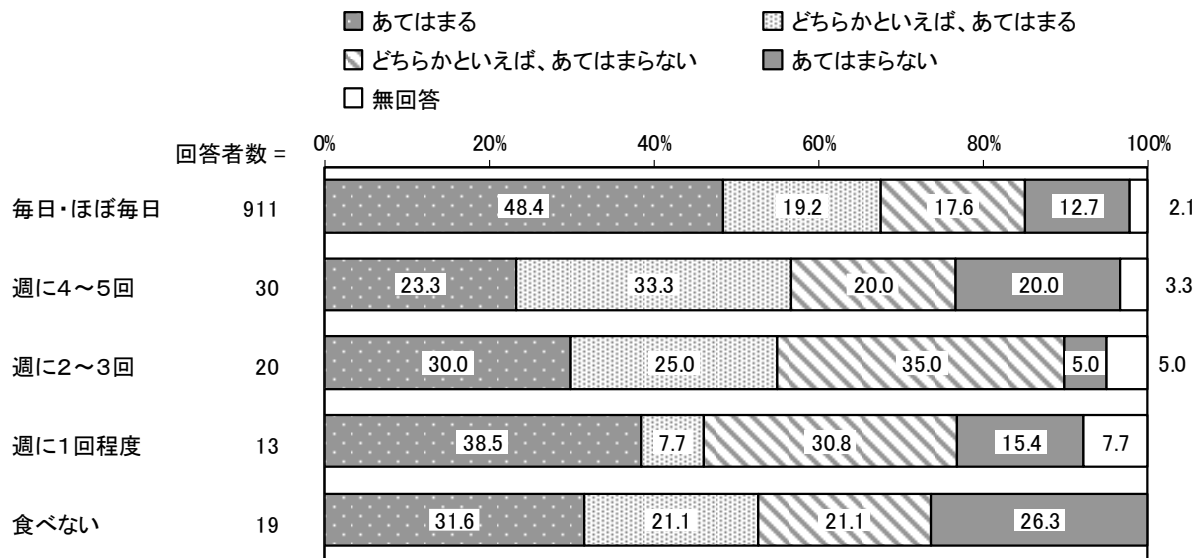
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



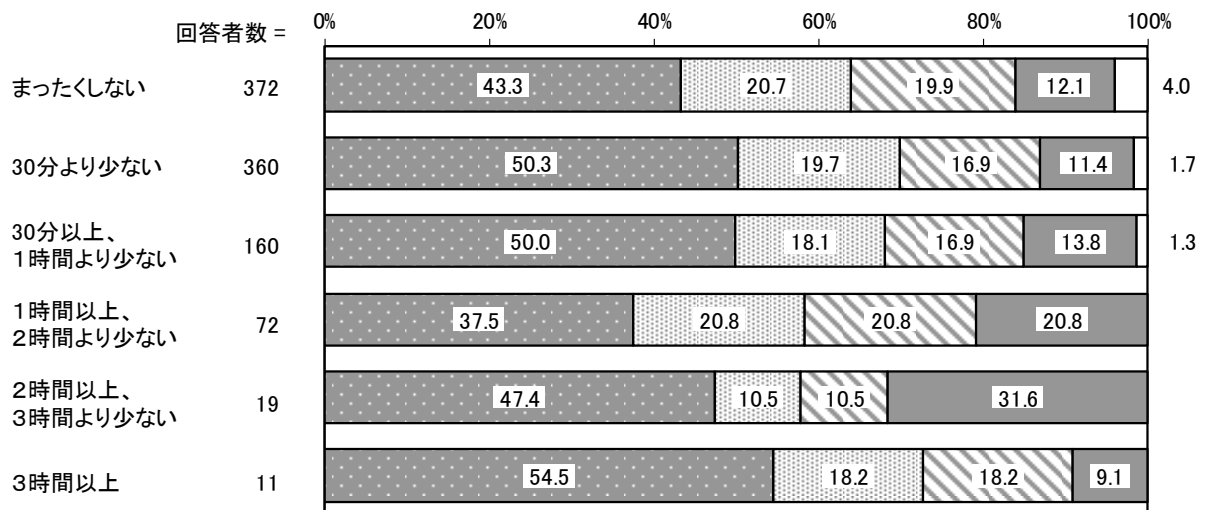
【朝食摂取別】

朝食摂取別で見ると、他に比べ、毎日・ほぼ毎日で“あてはまる”の割合が、週に1回程度、食べないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



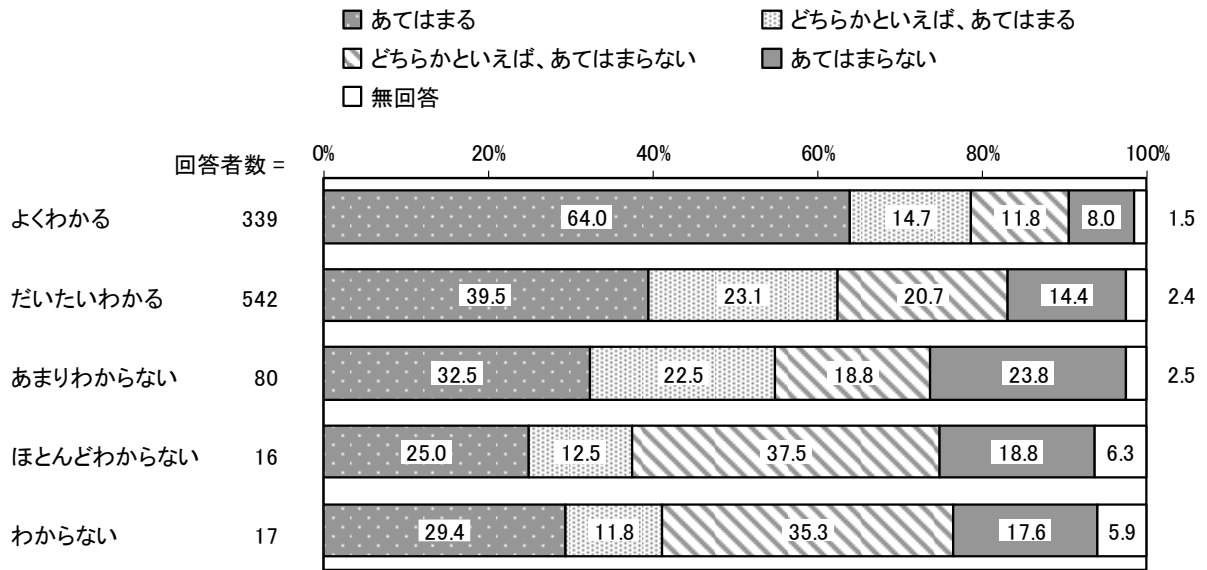
【読書時間別】

読書時間別で見ると、他に比べ、30分より少ない、3時間以上で“あてはまる”の割合が、1時間以上、2時間より少ない、2時間以上、3時間より少ないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



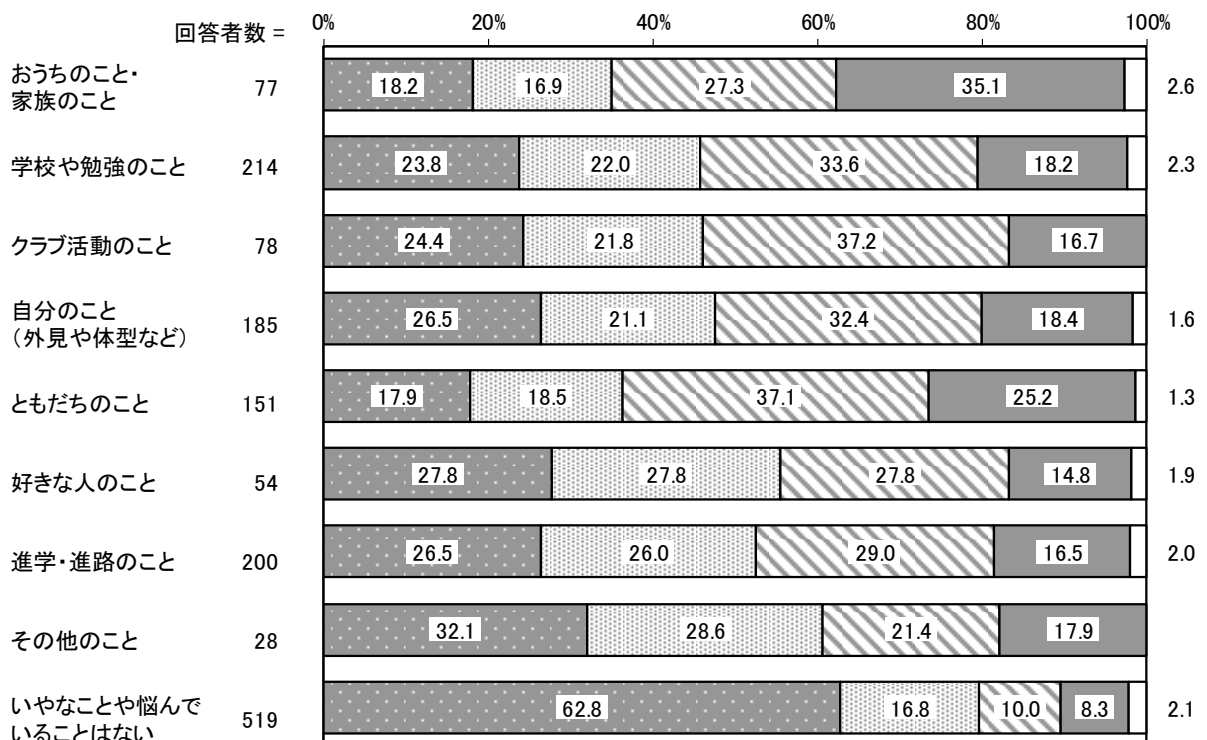
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、よくわかるで“あてはまる”の割合が、ほとんどわからない、わからないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



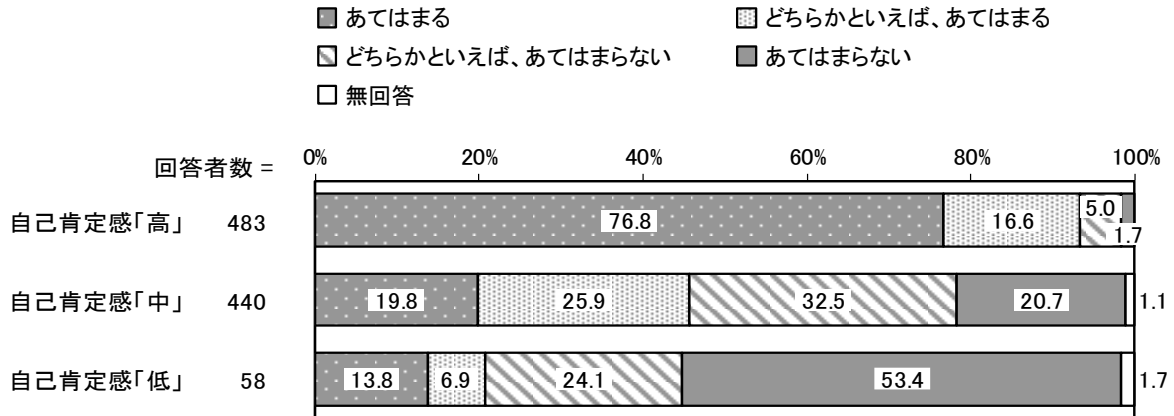
【子どもの悩み別】

子どもの悩み別でみると、他に比べ、いやなことや悩んでいることはないで“あてはまる”の割合が、おうちのこと・家族のこと、ともだちのことで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

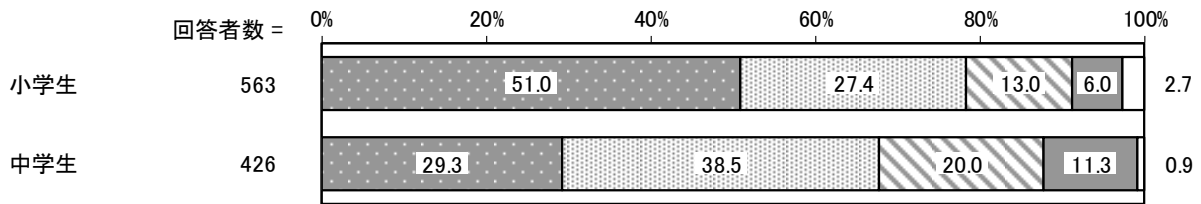
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で“あてはまる”の割合が、自己肯定感「低」で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(6) 自分の将来が楽しみだ

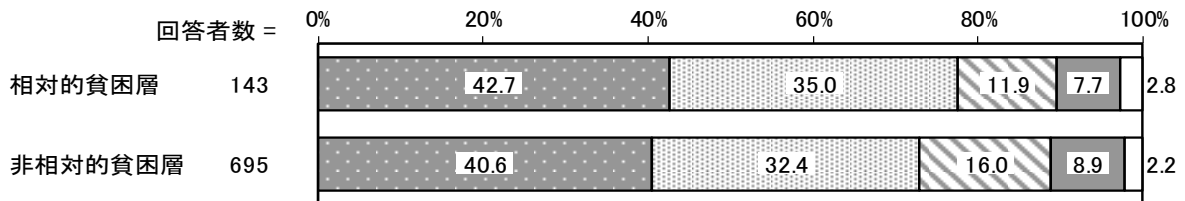
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で“あてはまる”の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



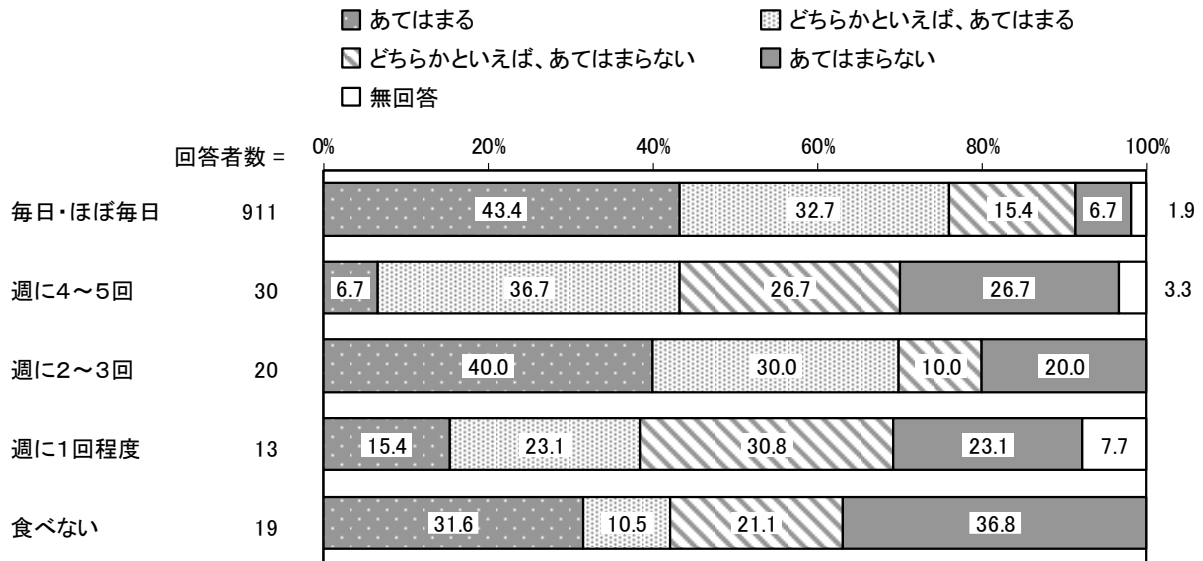
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



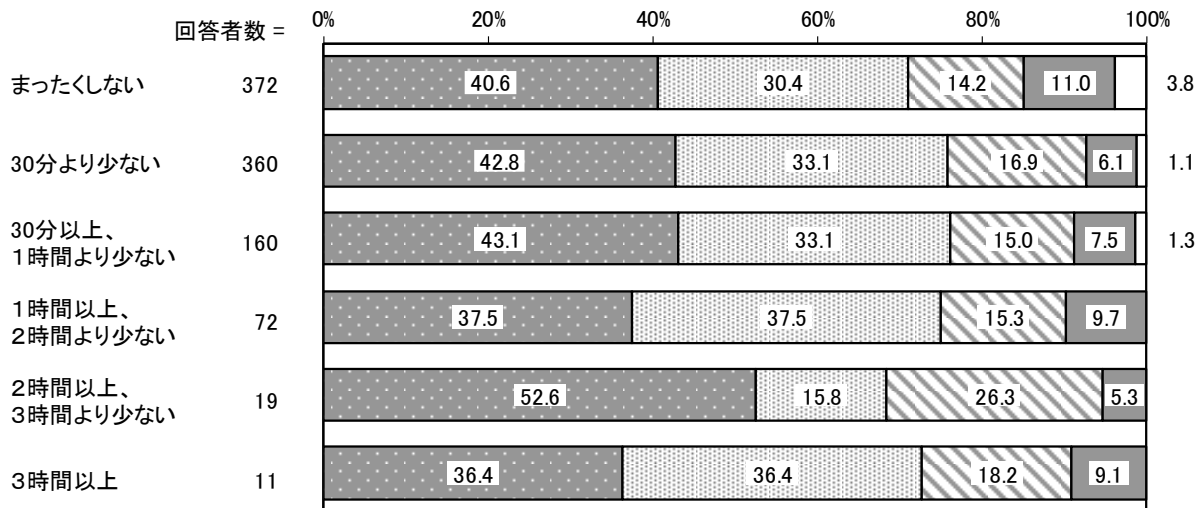
【朝食摂取別】

朝食摂取別で見ると、他に比べ、毎日・ほぼ毎日、週に2～3回で“あてはまる”の割合が、週に4～5回、週に1回程度、食べないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



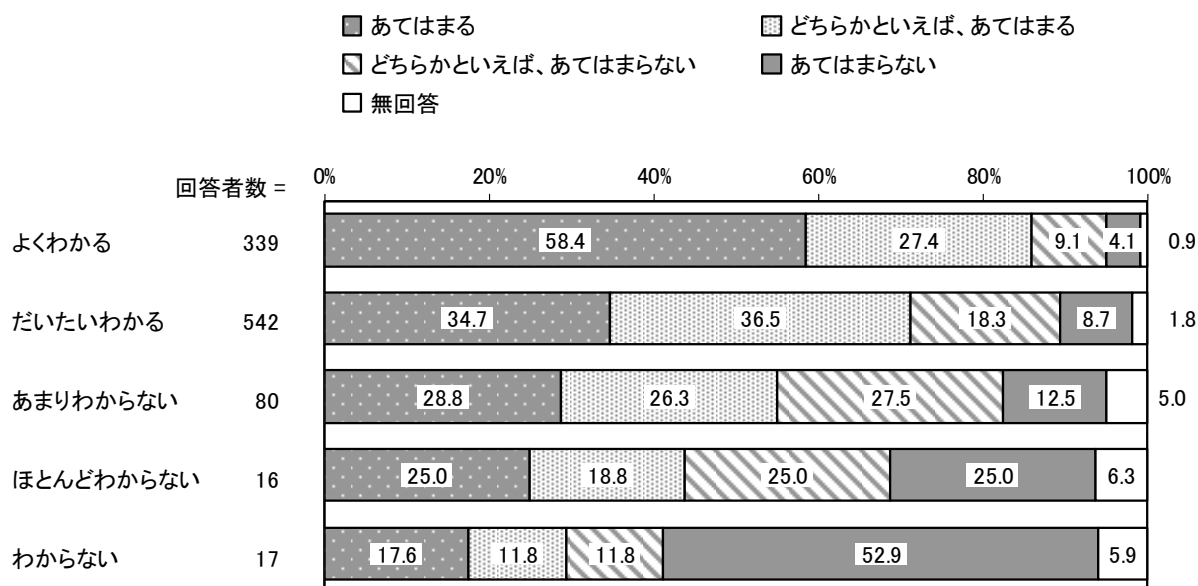
【読書時間別】

読書時間別で見ると、他に比べ、30分より少ない、30分以上、1時間より少ない、1時間以上、2時間より少ないで“あてはまる”の割合が、2時間以上、3時間より少ないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



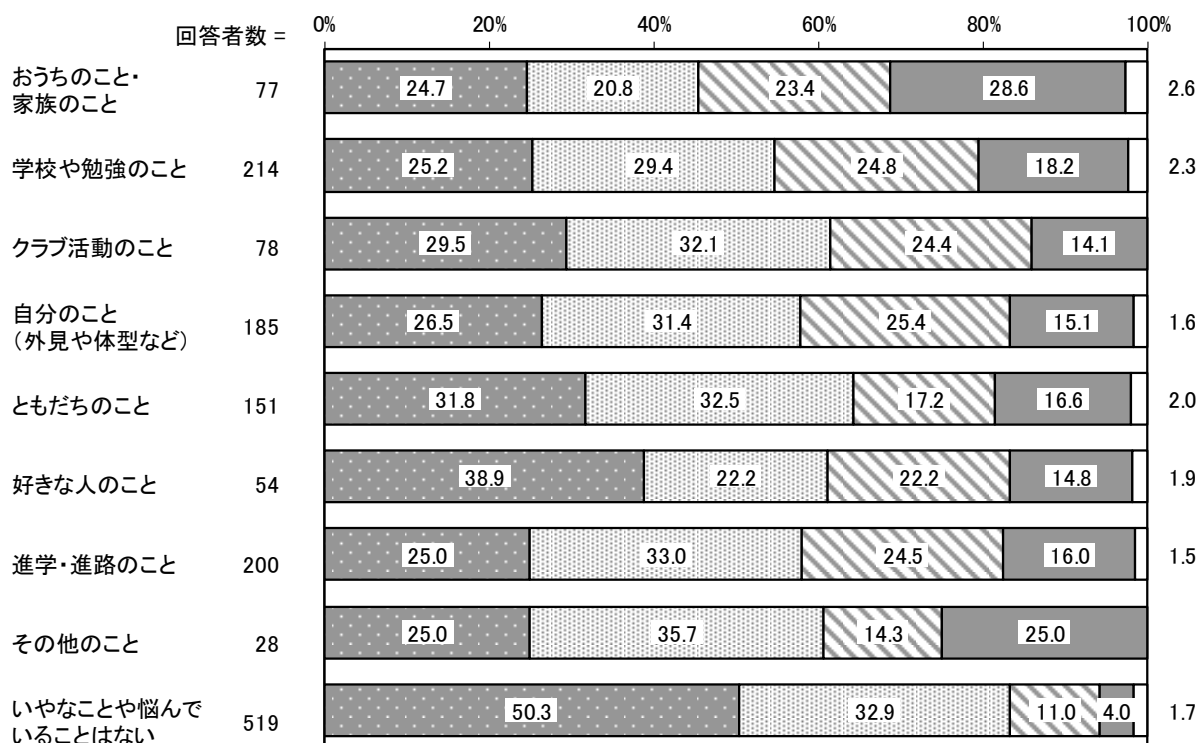
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、よくわかるで“あてはまる”の割合が、わからないで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



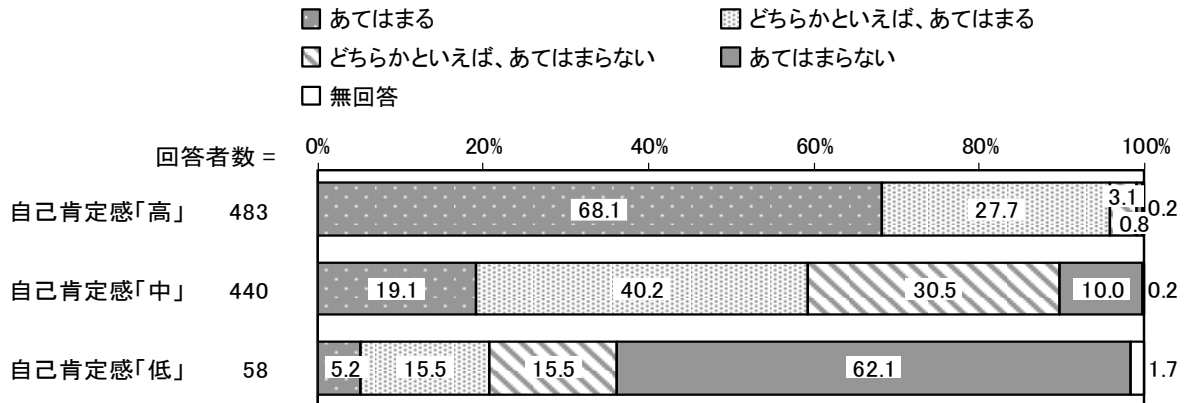
【子どもの悩み別】

子どもの悩み別でみると、他に比べ、いやなことや悩んでいることはないで“あてはまる”の割合が、おうちのこと・家族のことで“あてはまらない”の割合が高くなっています。



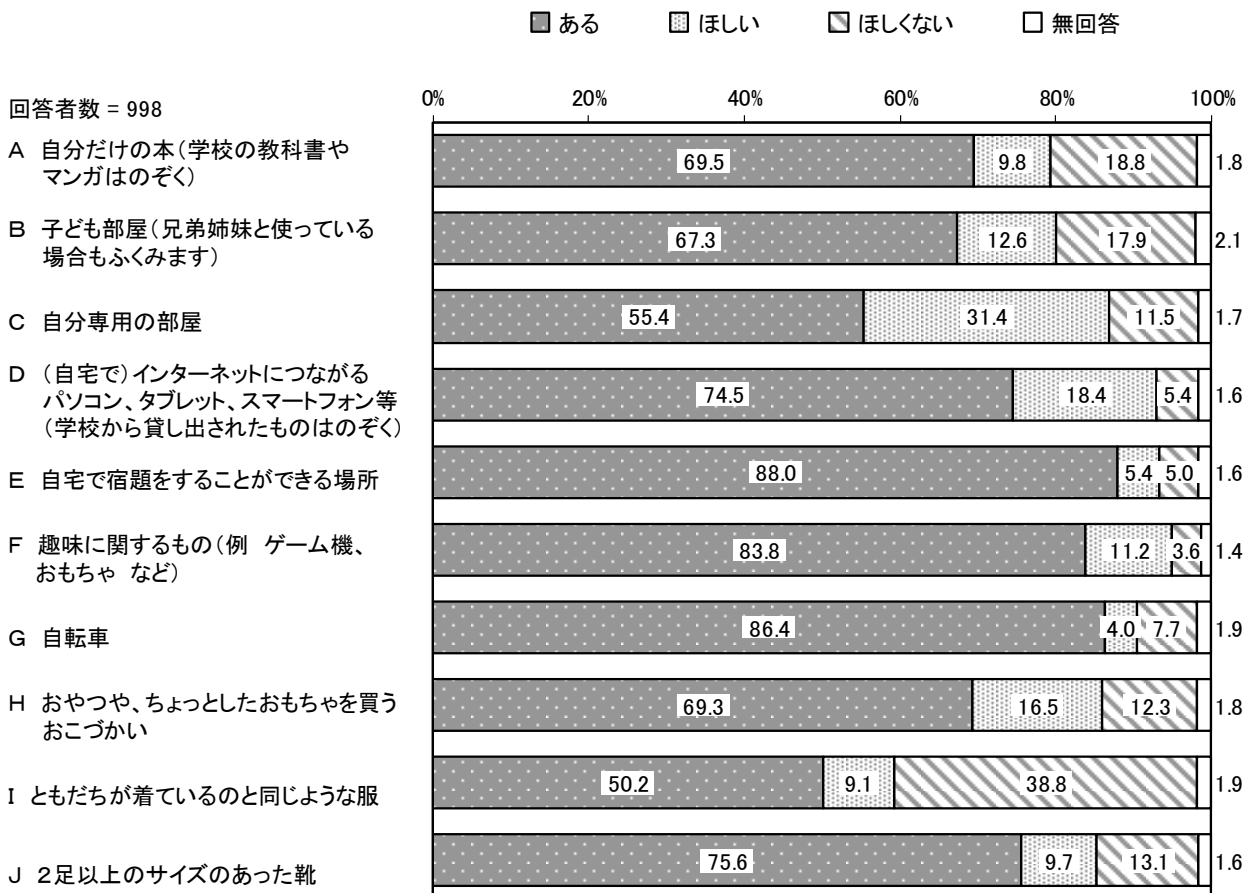
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で“あてはまる”の割合が、自己肯定感「低」で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



問 25 あなたには、自分が使うことができる、以下のものがありますか。ある場合は「1. ある」に○をつけてください。ない場合は、それがほしいものであれば「2. ほしい」、いらないと思うものであれば「3. ほしくない」に○をつけてください。（それぞれ、あてはまる番号1つに○）

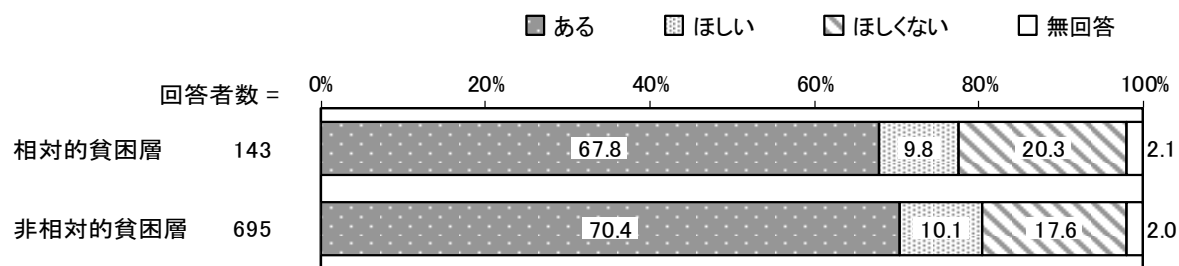
『E 自宅で宿題をすることができる場所』『F 趣味に関するもの（例 ゲーム機、おもちゃなど）』『G 自転車』で「ある」の割合が、『C 自分専用の部屋』で「ほしい」の割合が高くなっています。また、『I ともだちが着ているのと同じような服』で「ほしくない」の割合が高くなっています。



A 自分だけの本（学校の教科書やマンガはのぞく）

【相対的貧困層別】

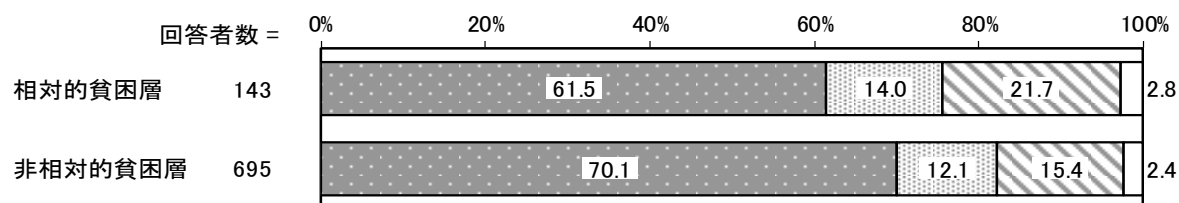
相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



B 子ども部屋（兄弟姉妹と使っている場合もふくみます）

【相対的貧困層別】

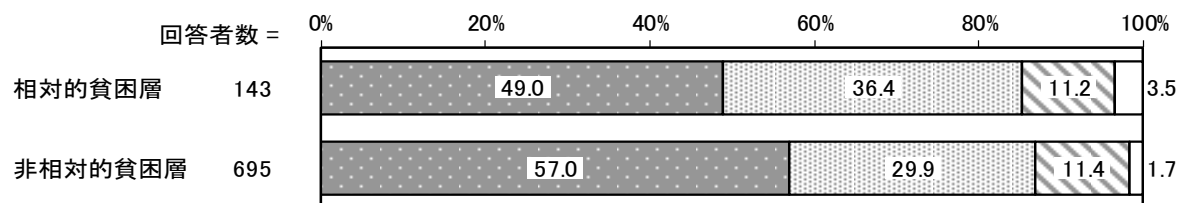
相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「ほしくない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「ある」の割合が高くなっています。



C 自分専用の部屋

【相対的貧困層別】

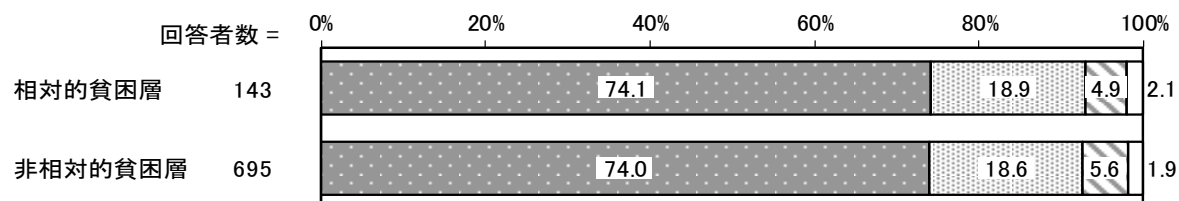
相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「ほしい」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「ある」の割合が高くなっています。



D （自宅で）インターネットにつながるパソコン、タブレット、スマートフォン等（学校から貸し出されたものはのぞく）

【相対的貧困層別】

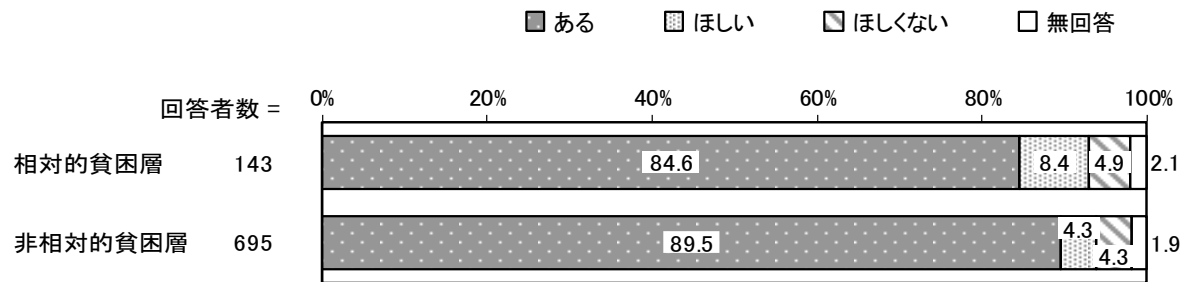
相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



E 自宅で宿題をすることができる場所

【相対的貧困層別】

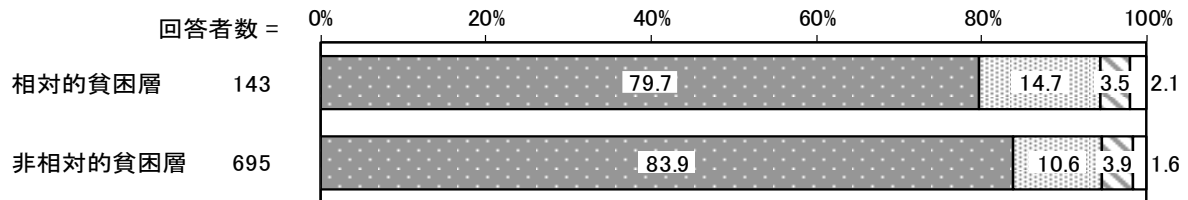
相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



F 趣味に関するもの（例 ゲーム機、おもちゃ など）

【相対的貧困層別】

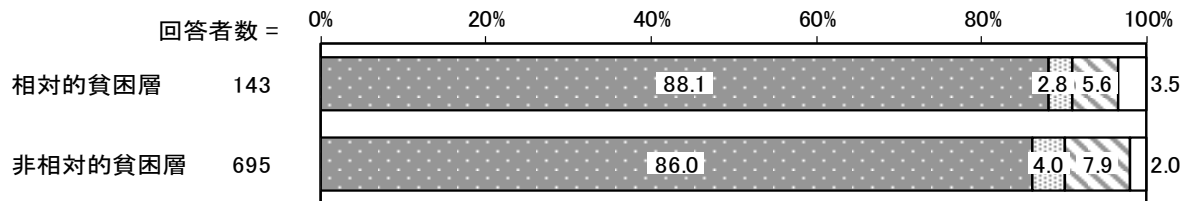
相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



G 自転車

【相対的貧困層別】

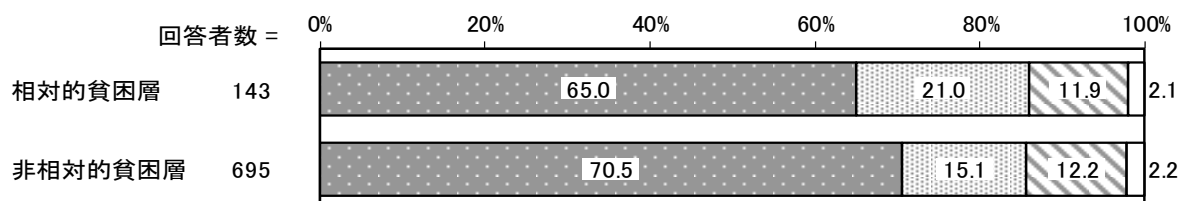
相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



H おやつや、ちょっとしたおもちゃを買うおこづかい

【相対的貧困層別】

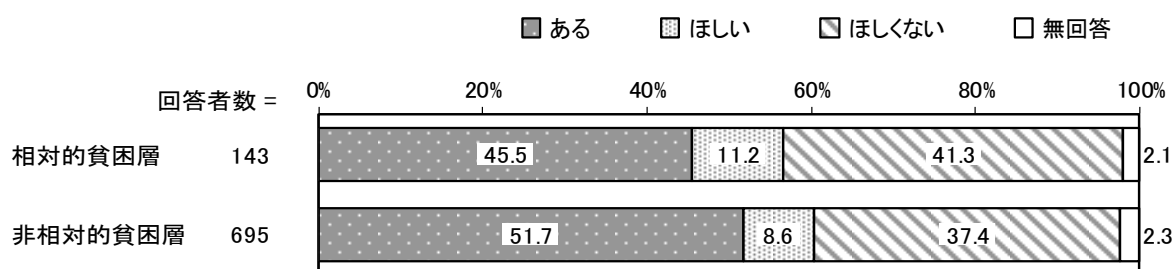
相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「ほしい」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「ある」の割合が高くなっています。



I ともだちが着ているのと同じような服

【相対的貧困層別】

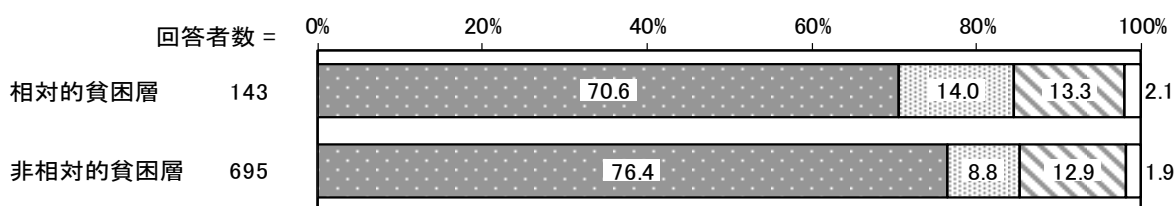
相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「ある」の割合が高くなっています。



J 2足以上のサイズのあった靴

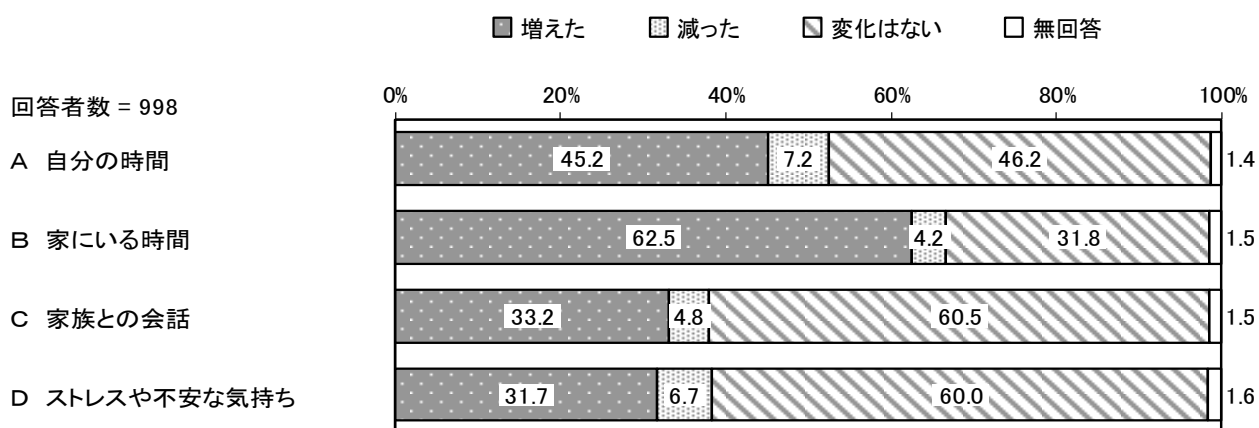
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「ほしい」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「ある」の割合が高くなっています。



問 26 新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたの状況にあてはまるものを選択してください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○をつけてください)

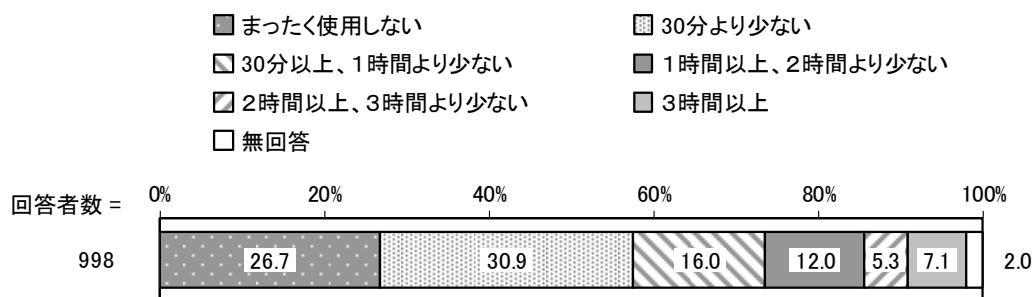
『B 家にいる時間』で「増えた」の割合が、『C 家族との会話』『D ストレスや不安な気持ち』で「変化はない」の割合が高くなっています。



(3) タブレット端末の利用状況について

問 27 あなたは、学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらい使用しますか。(あてはまる番号1つだけに○を付けてください)

「30分より少ない」の割合が30.9%と最も高く、次いで「まったく使用しない」の割合が26.7%、「30分以上、1時間より少ない」の割合が16.0%となっています。

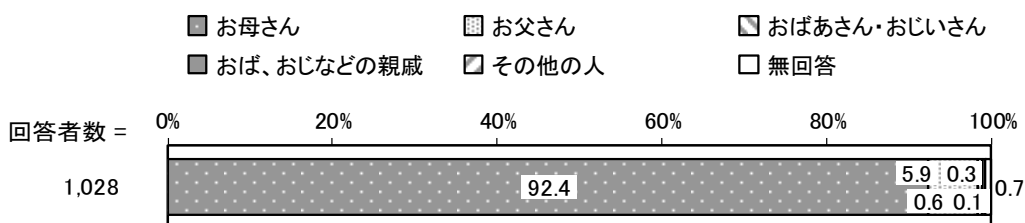


2 保護者調査

(1) 子どもと回答者の関係

問1 お子さんからみたあなたの関係について教えてください。(1つだけに○)

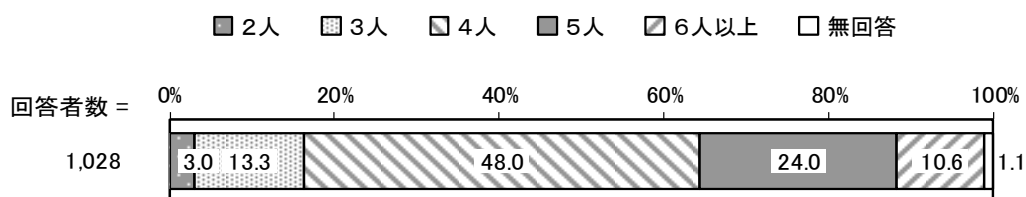
「お母さん」の割合が92.4%と最も高くなっています。



(2) 世帯について

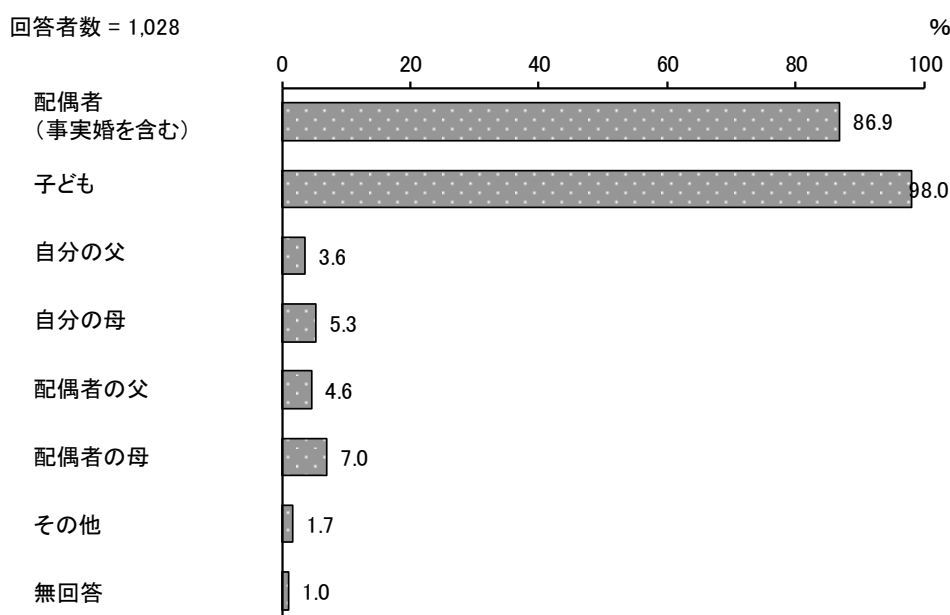
問2 世帯の人数を教えてください。また、同居している家族をお答えください。

「4人」の割合が48.0%と最も高く、次いで「5人」の割合が24.0%、「3人」の割合が13.3%となっています。



<同居している家族(あてはまるものすべてに○)>

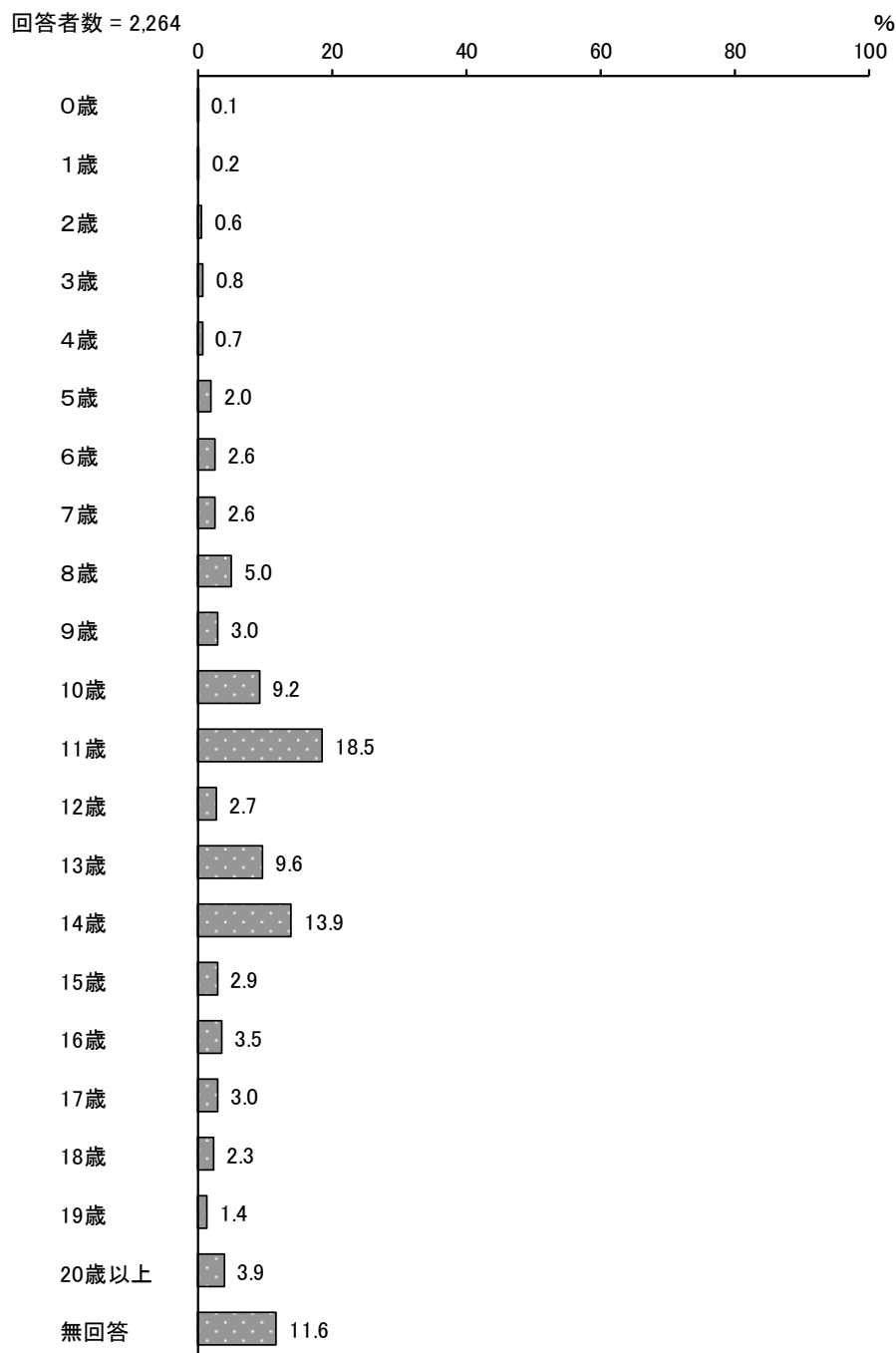
「子ども」の割合が98.0%と最も高く、次いで「配偶者(事実婚を含む)」の割合が86.9%となっています。



問3 すべてのお子さんの「年齢」と「性別」「同居・別居」「就学状況」を教えてください。(○または◎をそれぞれ1つ)。

1. 年齢

「11歳」の割合が18.5%と最も高く、次いで「14歳」の割合が13.9%となっています。

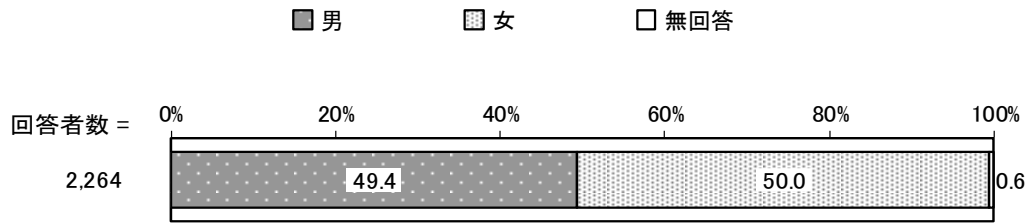


※回答のあった子どもの全員を合算して集計しています。

また、2人目のお子さん以降は無回答を除いて集計しています。

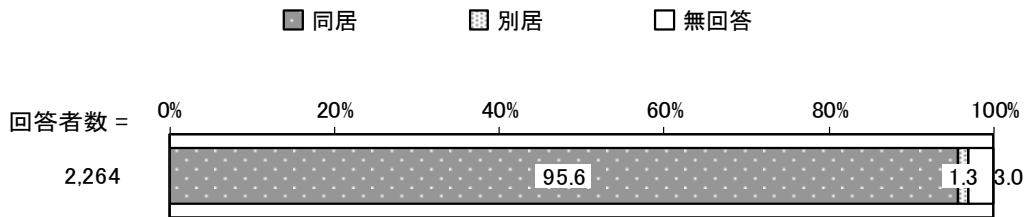
2. 性別

「男」の割合が49.4%、「女」の割合が50.0%となっています。



3. 同居、別居

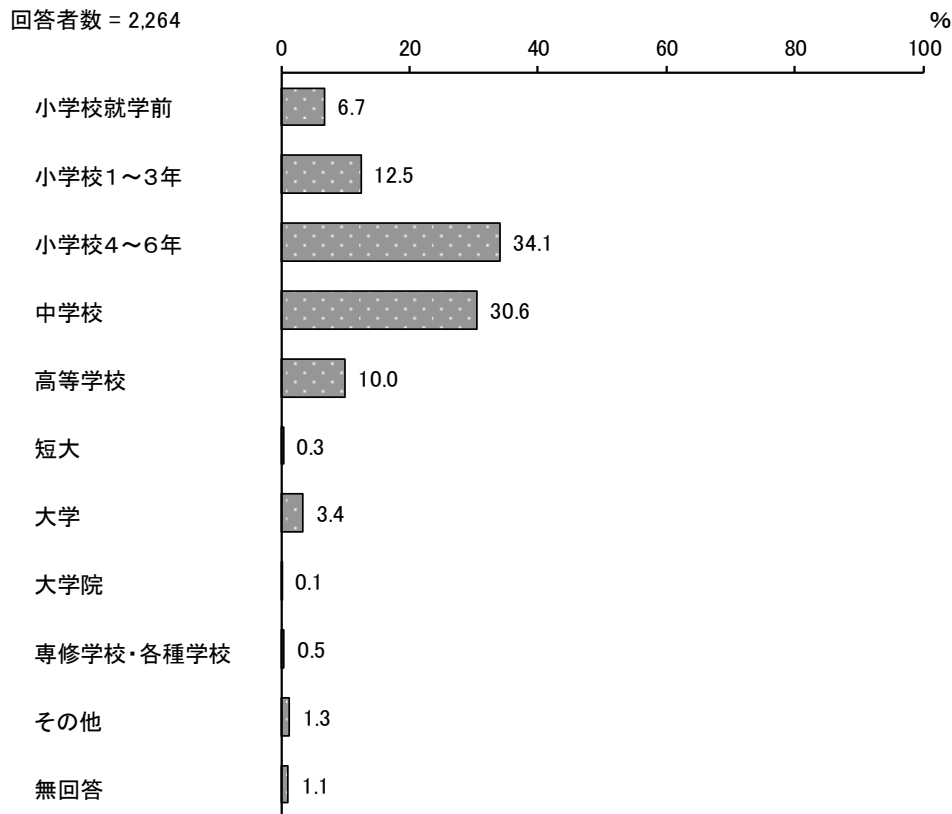
「同居」の割合が95.6%、「別居」の割合が1.3%となっています。



4. 就学状況

(1) 在学中

「小学校4～6年」の割合が34.1%と最も高く、次いで「中学校」の割合が30.6%、「小学校1～3年」の割合が12.5%となっています。

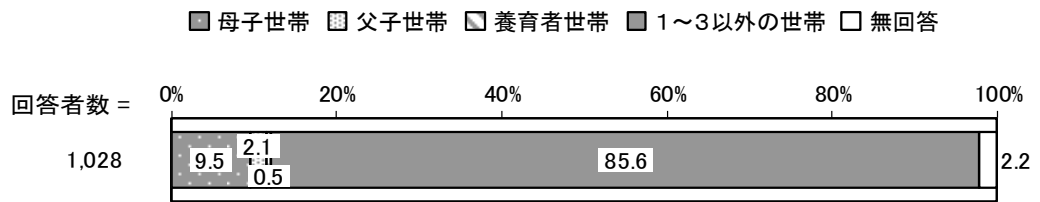


(2) 卒業

「高等学校」が12件、「小学校1～3年」が11件、「小学校就学前」が9件、「小学校4～6年」「中学校」「大学」が8件、「短大」「専修学校・各種学校」が3件、「大学院」が1件ずつとなっています。

問4 あなたのご家庭の世帯状況は、次のどれにあてはまりますか。(1つだけに○)

「1～3以外の世帯」の割合が85.6%と最も高くなっています。



問5 あなたのお住まいの小学校区についてお答えください。(1つだけに○)

中学校区

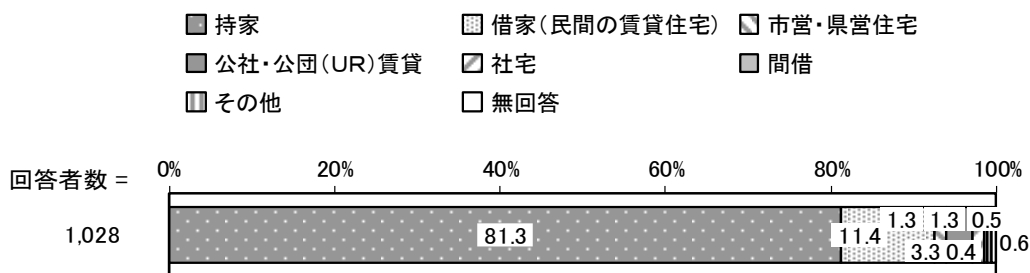
中学校区にした場合、「伏見中学校区（伏見小学校、あやめ池小学校、西大寺北小学校）」の割合が11.6%と最も高くなっています。

回答者数 = 1,028



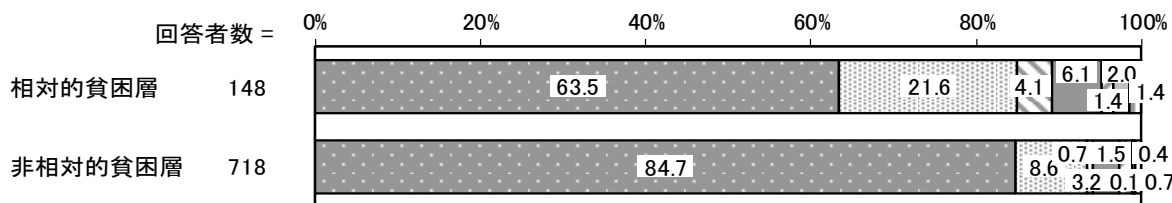
問6 あなたのお住まいについてお答えください。(1つだけに○)

「持家」の割合が81.3%と最も高く、次いで「借家（民間の賃貸住宅）」の割合が11.4%となっています。



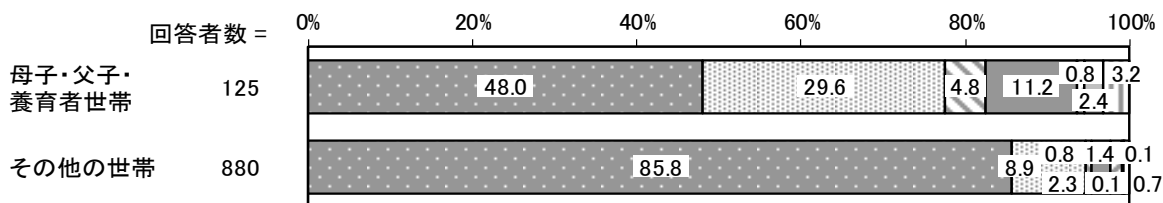
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「借家（民間の賃貸住宅）」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「持家」の割合が高くなっています。



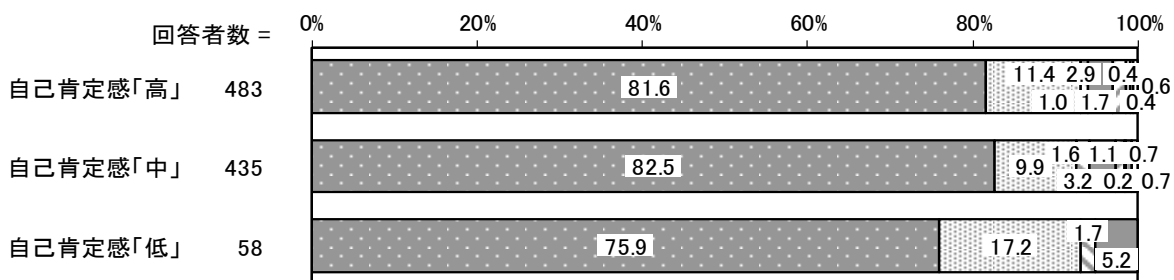
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「借家（民間の賃貸住宅）」「公社・公団（UR）賃貸」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「持家」の割合が高くなっています。



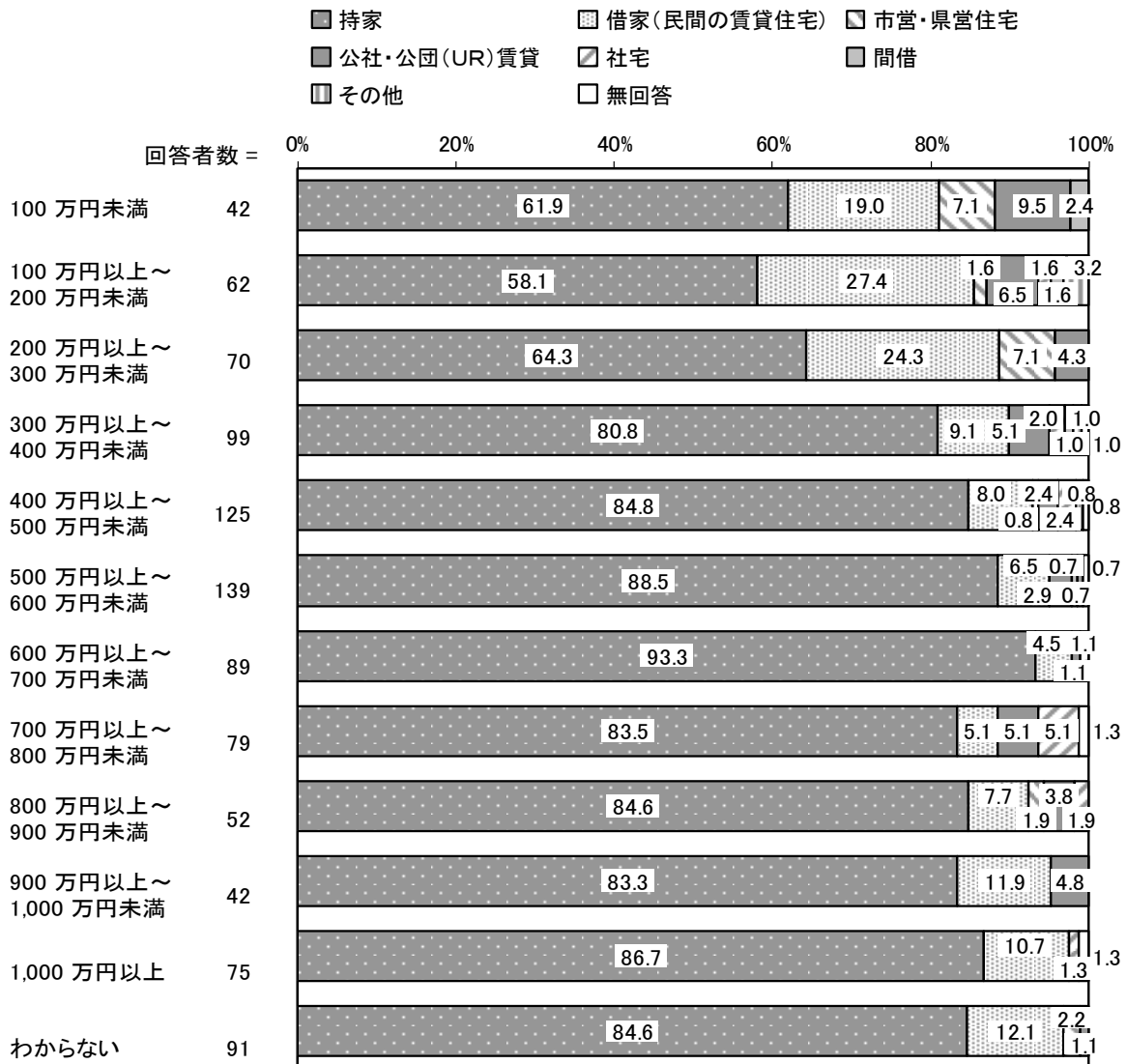
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「借家（民間の賃貸住宅）」の割合が高くなっています。



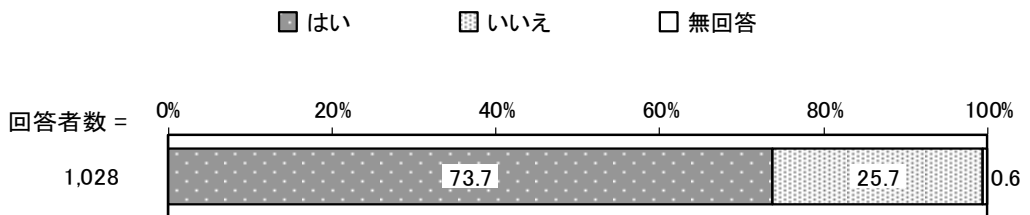
【可処分所得別】

可処分所得別で見ると、他に比べ、600 万円以上～700 万円未満で「持家」の割合が、100 万円以上～200 万円未満、200 万円以上～300 万円未満で「借家（民間の賃貸住宅）」の割合が高くなっています。



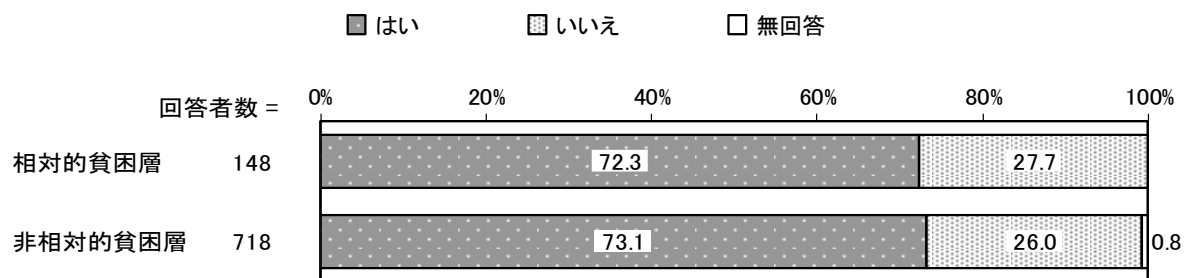
問7 住まいの近く（おおむね 30 分以内で行き来できる範囲）に、子どもを預かってもらえる親族や友人・知人などがいますか。（1つだけに○）

「はい」の割合が 73.7%、「いいえ」の割合が 25.7%となっています。



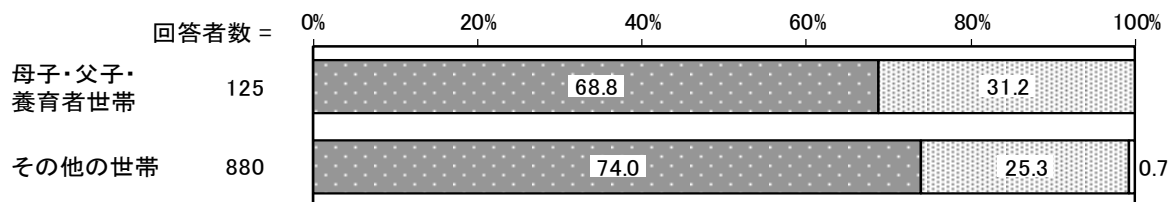
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



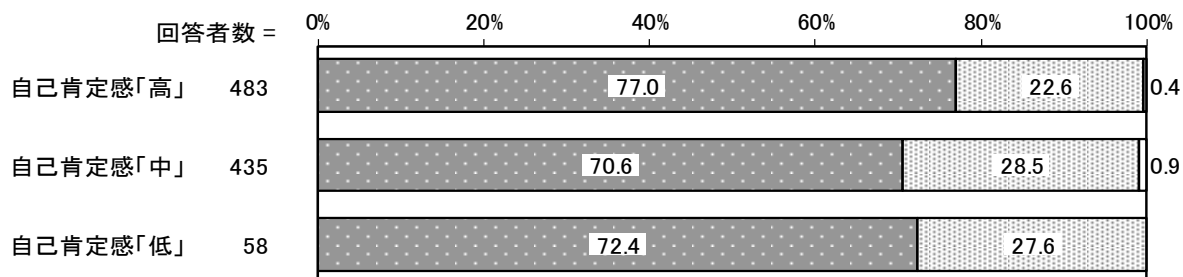
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「いいえ」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「はい」の割合が高くなっています。



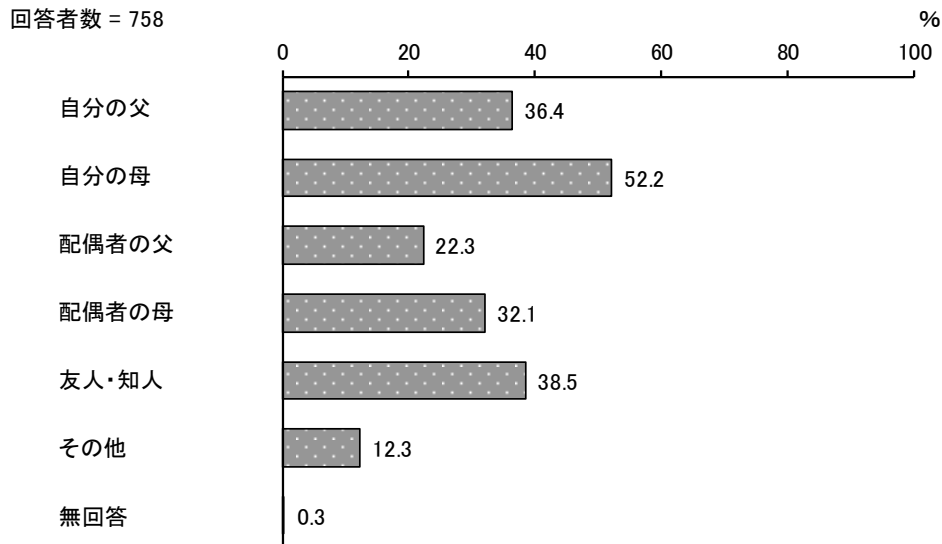
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、大きな差異はみられません。



問7-1 子どもを預かってもらえる親族や友人・知人はどなたですか。(あてはまるものすべてに○)

「自分の母」の割合が52.2%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が38.5%、「自分の父」の割合が36.4%となっています。



【相対的貧困層別】

相対的貧困層別で見ると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「友人・知人」の割合が高くなっています。

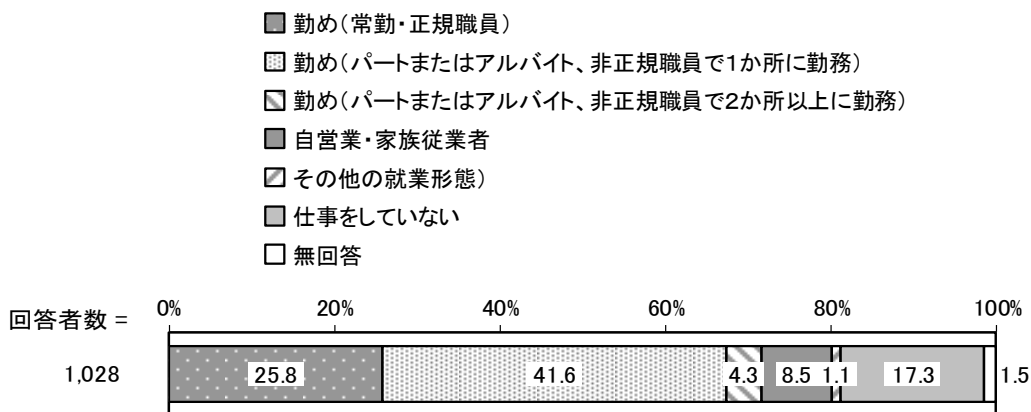
単位：%

区分	回答者数(件)	自分の父	自分の母	配偶者の父	配偶者の母	友人・知人	その他	無回答
相対的貧困層	107	35.5	52.3	21.5	29.9	29.0	15.9	—
非相対的貧困層	525	37.7	53.0	21.7	32.2	40.2	11.2	0.2

問8 現在の状況についておたずねします。(それぞれ1つに○)

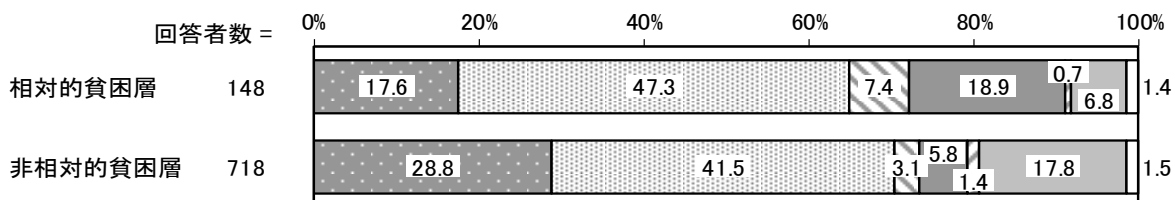
(1) 回答者の就業状況

「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」の割合が41.6%と最も高く、次いで「勤め(常勤・正規職員)」の割合が25.8%、「仕事をしていない」の割合が17.3%となっています。



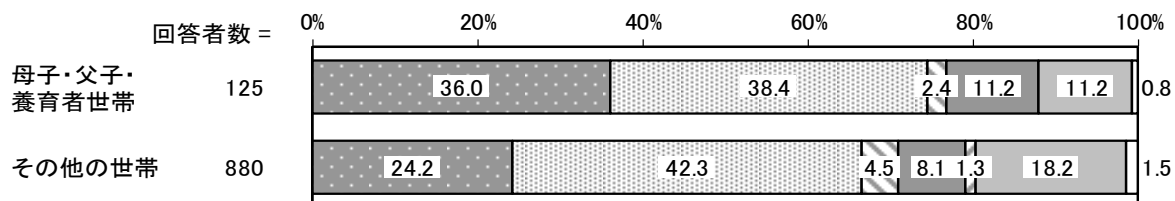
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「勤め(パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務)」「自営業・家族従業者」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「勤め(常勤・正規職員)」「仕事をしていない」の割合が高くなっています。



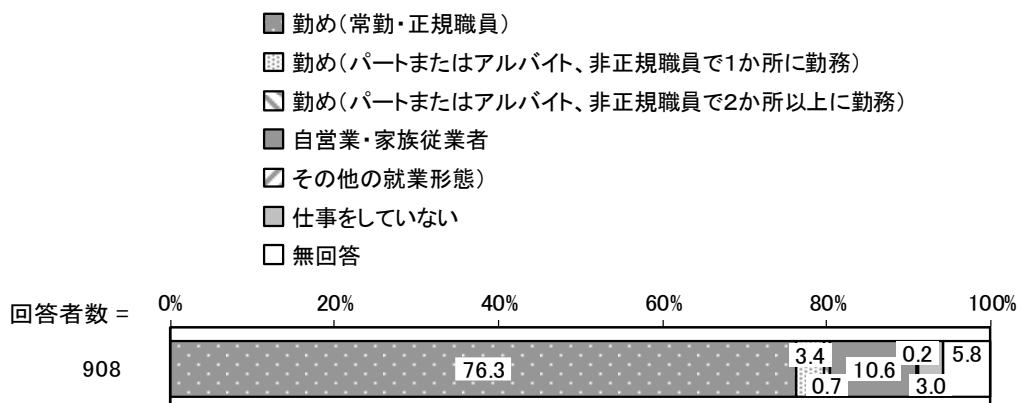
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「勤め(常勤・正規職員)」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「仕事をしていない」の割合が高くなっています。



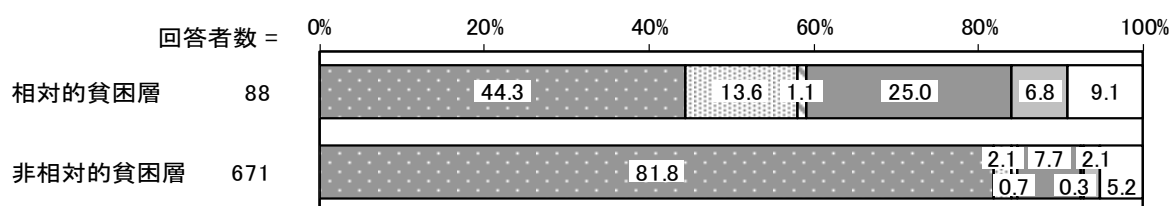
(2) 配偶者の就業状況

「勤め（常勤・正規職員）」の割合が76.3%と最も高く、次いで「自営業・家族従業者」の割合が10.6%となっています。



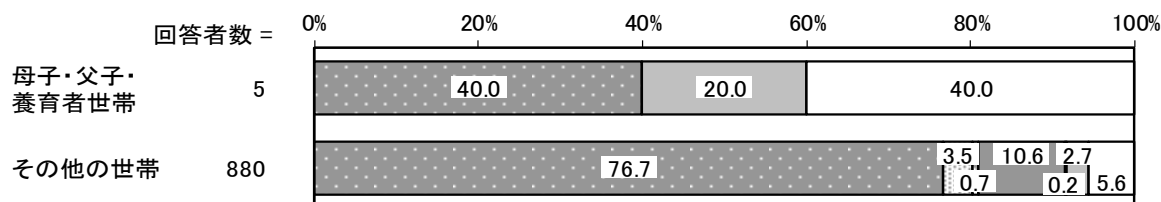
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「勤め（パートまたはアルバイト、非正規職員で1か所に勤務）」「自営業・家族従業者」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「勤め（常勤・正規職員）」の割合が高くなっています。



【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「仕事をしていない」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「勤め（常勤・正規職員）」「自営業・家族従業者」の割合が高くなっています。

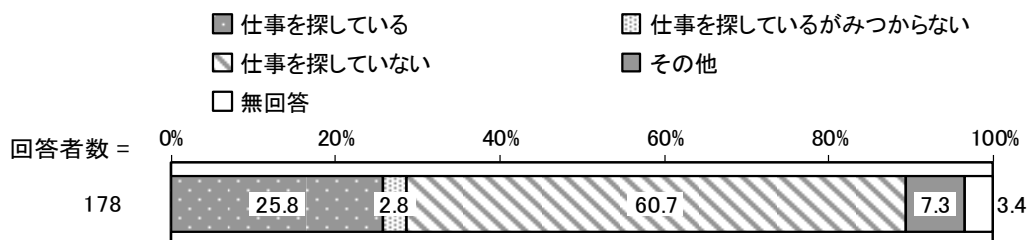


問8で「仕事をしていない」と答えた方におたずねします。

問8- 1 現在の状況をお聞かせください。(それぞれ1つに○)

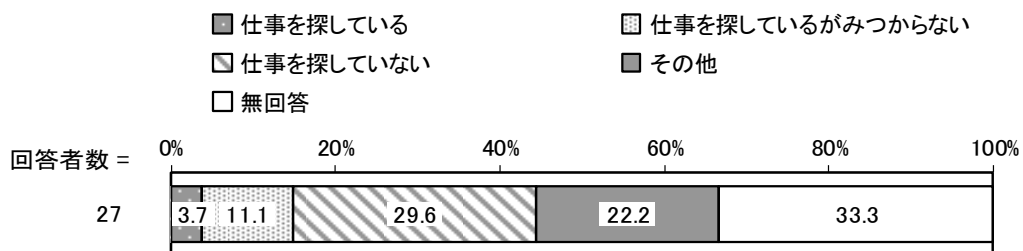
(1) 回答者の状況

「仕事を探していない」の割合が60.7%と最も高く、次いで「仕事を探している」の割合が25.8%となっています。



(2) 配偶者の状況

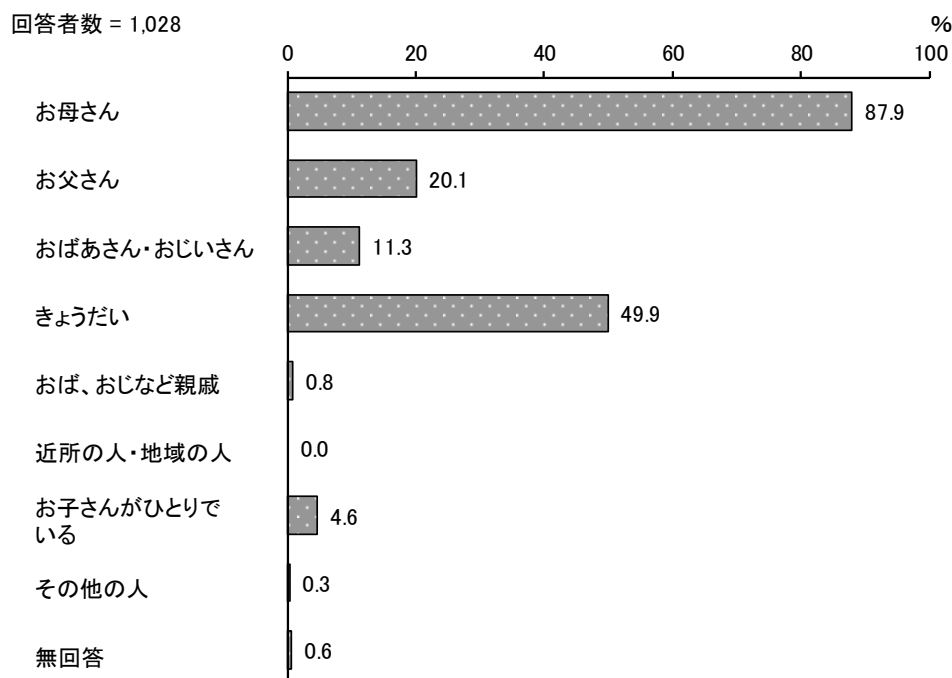
「仕事を探していない」の割合が29.6%と最も高く、次いで「仕事を探しているがみつからない」の割合が11.1%となっています。



(3) お子さんについて

問9 お子さんが家にいるとき、主にお子さんと過ごす時間が長いのはどなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

「お母さん」の割合が87.9%と最も高く、次いで「きょうだい」の割合が49.9%、「お父さん」の割合が20.1%となっています。



【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「おばあさん・おじいさん」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「お母さん」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	お母さん	お父さん	さん おばあさん・おじい	きょうだい	おば、おじなど親戚	近所の人・地域の人	お子さんがひとり である	その他の人	無回答
相対的貧困層	148	79.7	20.9	15.5	50.0	0.7	—	4.1	—	—
非相対的貧困層	718	89.0	19.5	9.7	49.6	0.4	—	5.3	0.4	0.8

【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「おばあさん・おじいさん」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「お母さん」「お父さん」「きょうだい」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	きょうだい	おば、おじなど親戚	近所の人・地域の人	お子さんがひとり でいる	その他の人	無回答
母子・父子・ 養育者世帯	125	67.2	4.8	23.2	36.0	3.2	—	7.2	1.6	—
その他の世帯	880	91.0	22.6	9.5	52.6	0.5	—	4.2	0.1	0.6

【自己肯定感別】

自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「中」で「おばあさん・おじいさん」の割合が高くなっています。

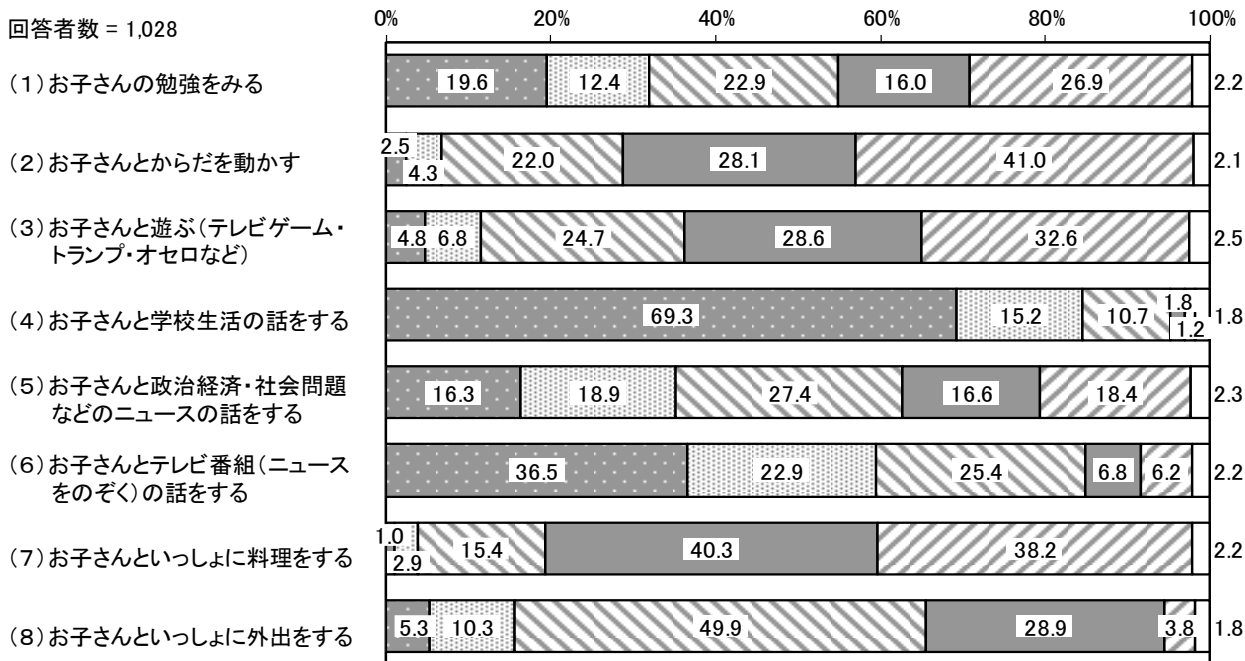
単位：％

区分	回答者数 (件)	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	きょうだい	おば、おじなど親戚	近所の人・地域の人	お子さんがひとり でいる	その他の人	無回答
自己肯定感「高」	483	88.2	21.9	9.7	52.2	0.8	—	5.6	0.2	0.6
自己肯定感「中」	435	86.9	18.6	13.6	49.0	0.9	—	2.8	0.2	0.7
自己肯定感「低」	58	89.7	12.1	6.9	41.4	—	—	8.6	1.7	—

**問 10 あなたの世帯では、お子さんと次のようなことをすることがありますか。
(それぞれ1つに○)**

『お子さんと学校生活の話をする』で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。一方、『お子さんとからだを動かす』『お子さんと遊ぶ(テレビゲーム・トランプ・オセロなど)』『お子さんといっしょに料理をする』で「めったにない」の割合が高くなっています。

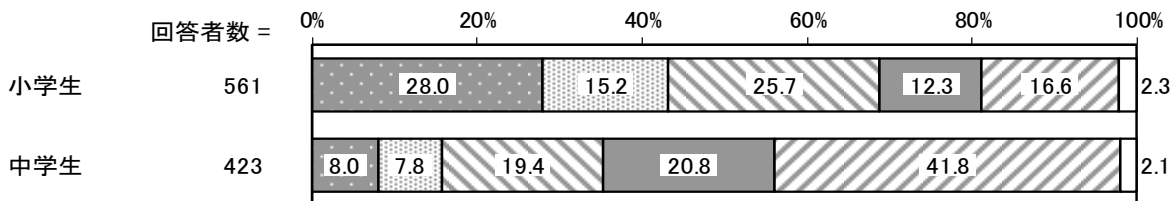
■ ほぼ毎日 ▨ 週に3~4回 ▩ 週に1~2回 ■ 月に1~2回
 □ めったにない □ 無回答



(1) お子さんの勉強をみる

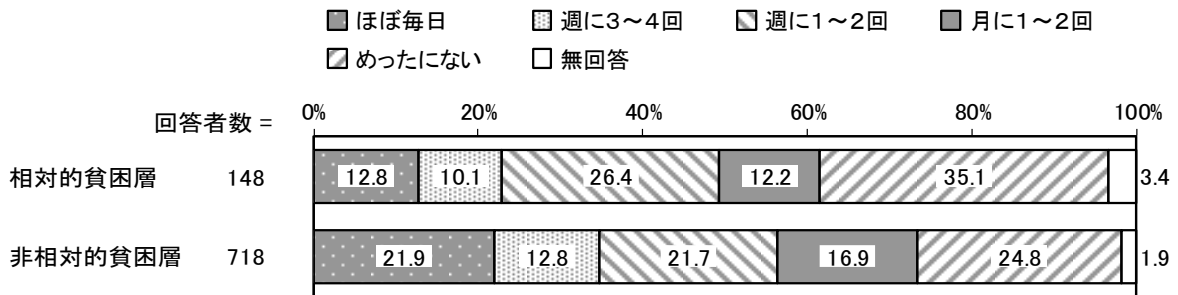
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「ほぼ毎日」「週に3~4回」「週に1~2回」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「月に1~2回」「めったにない」の割合が高くなっています。



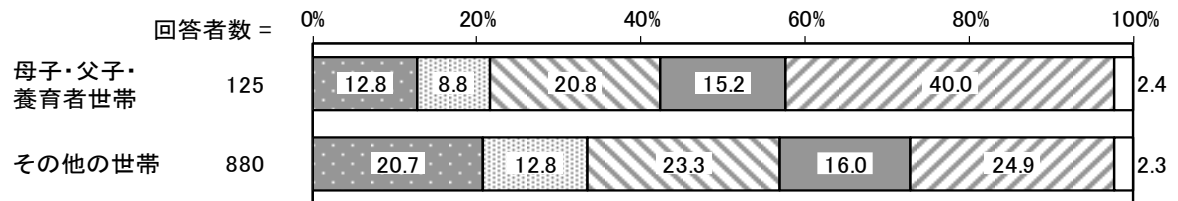
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



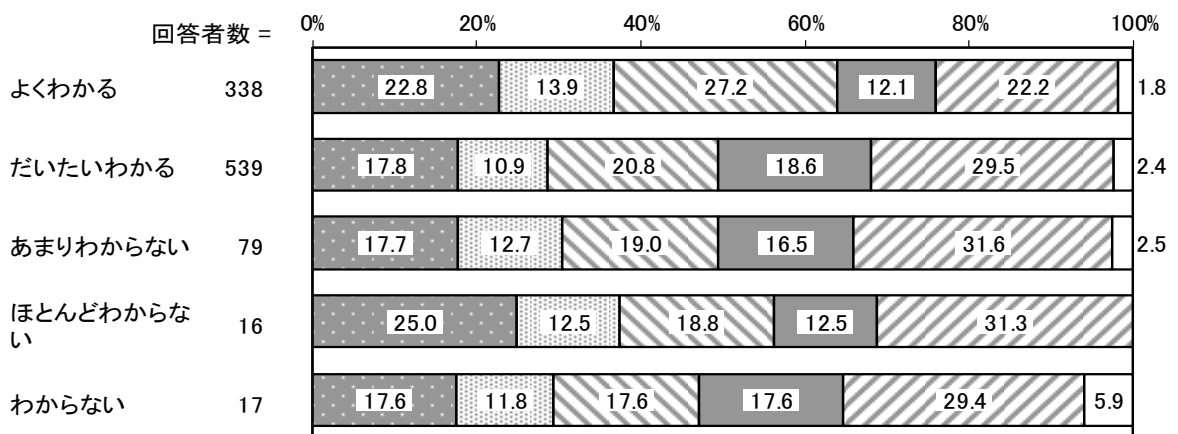
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「めったにない」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



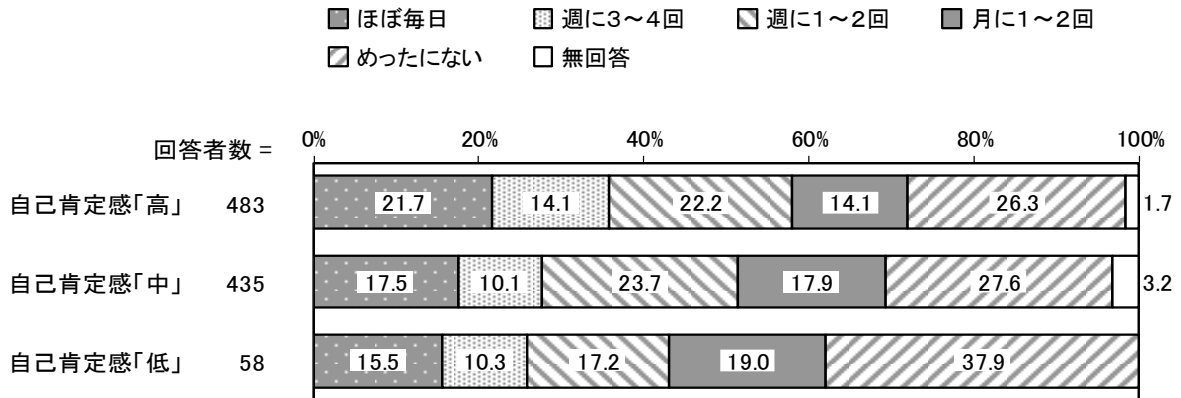
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、よくわかる、ほとんどわからないで「ほぼ毎日」の割合が、よくわかるで「週に1~2回」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

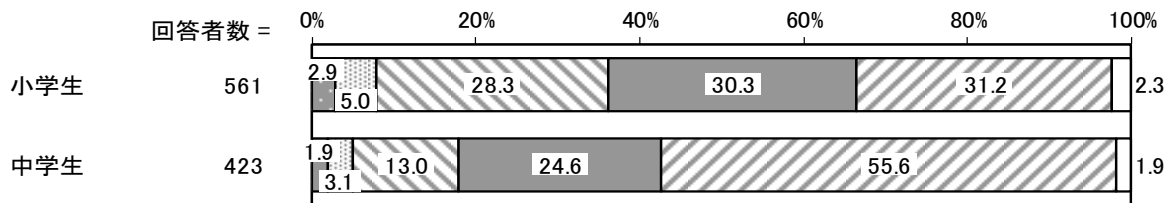
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「めったにない」の割合が高くなっています。



(2) お子さんとからだを動かす

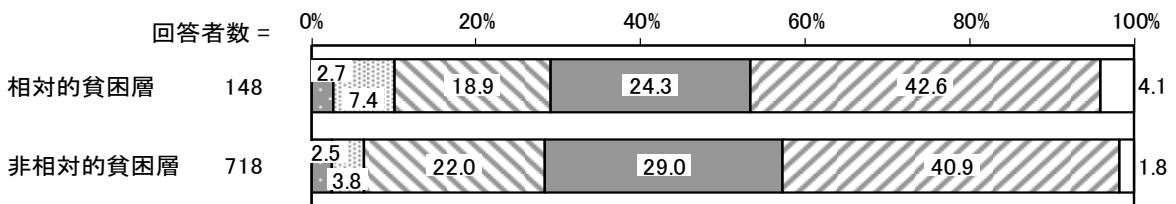
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「週に1~2回」「月に1~2回」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「めったにない」の割合が高くなっています。



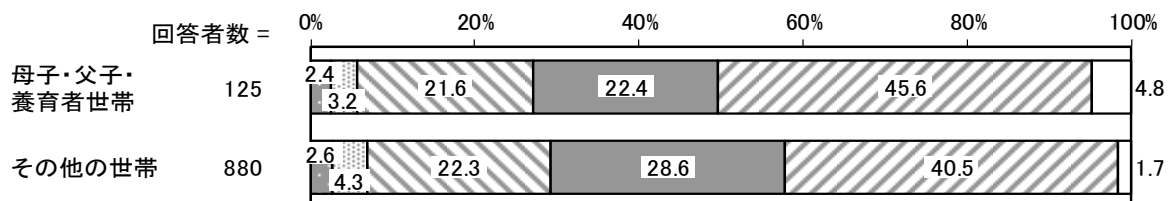
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



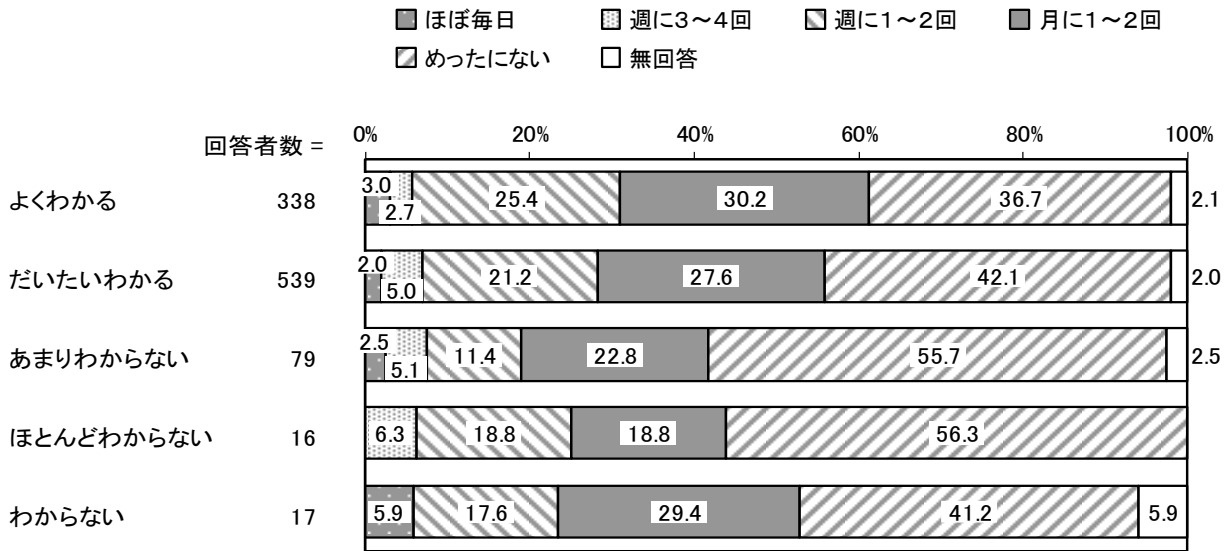
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「めったにない」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「月に1~2回」の割合が高くなっています。



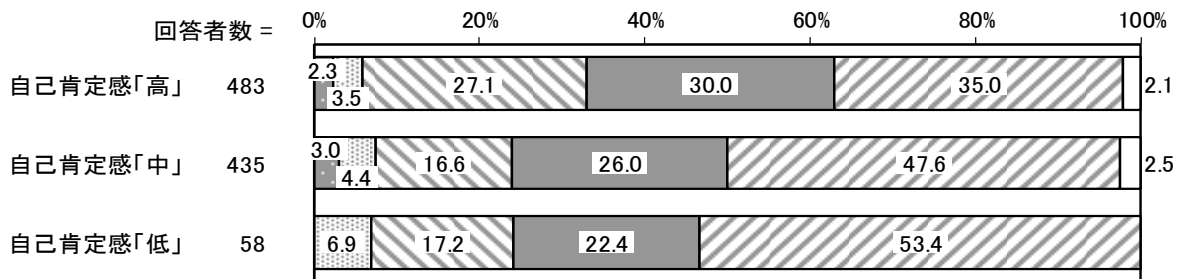
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、よくわかるで「週に1～2回」の割合が、あまりわからない、ほとんどわからないで「めったにない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

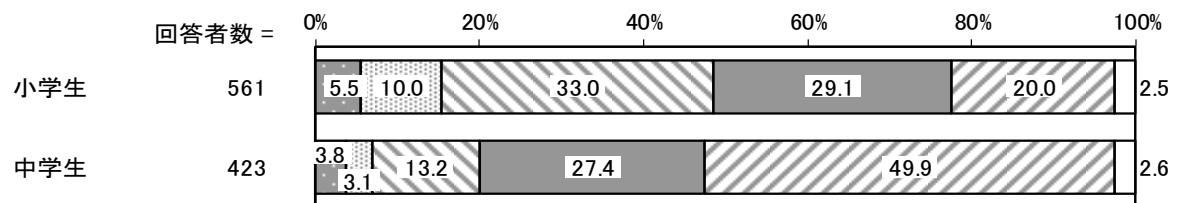
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で「月に1～2回」の割合が高くなっています。



(3) お子さんと遊ぶ（テレビゲーム・トランプ・オセロなど）

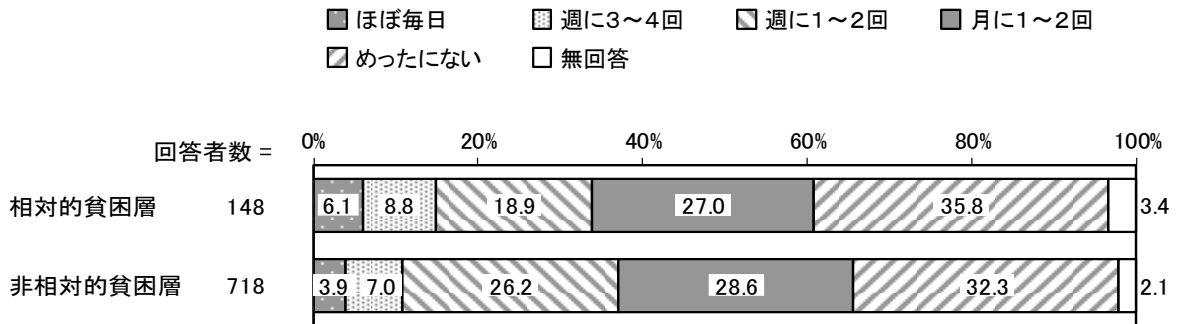
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「週に3～4回」「週に1～2回」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「めったにない」の割合が高くなっています。



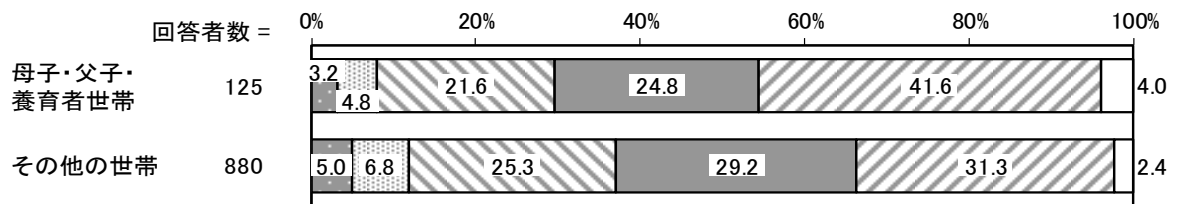
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「週に1～2回」の割合が高くなっています。



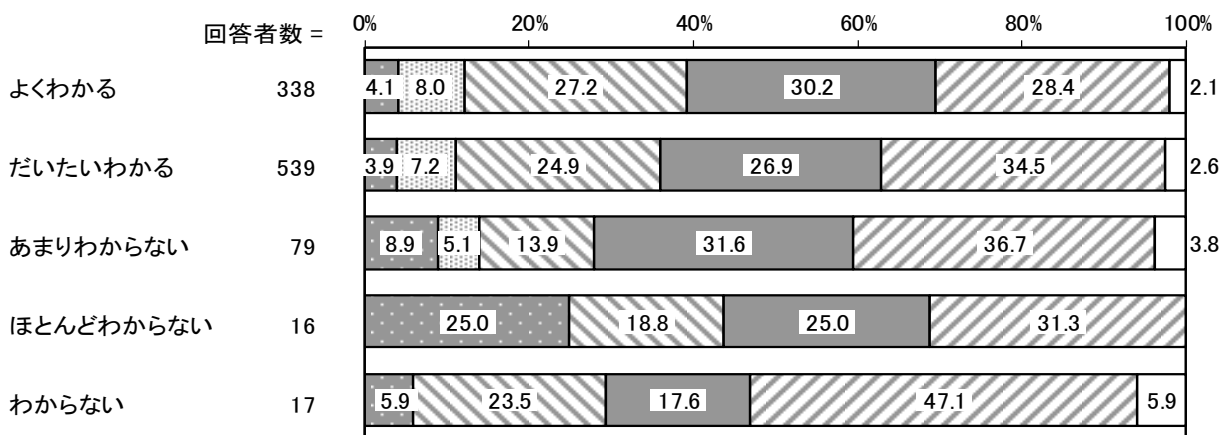
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「めったにない」の割合が高くなっています。



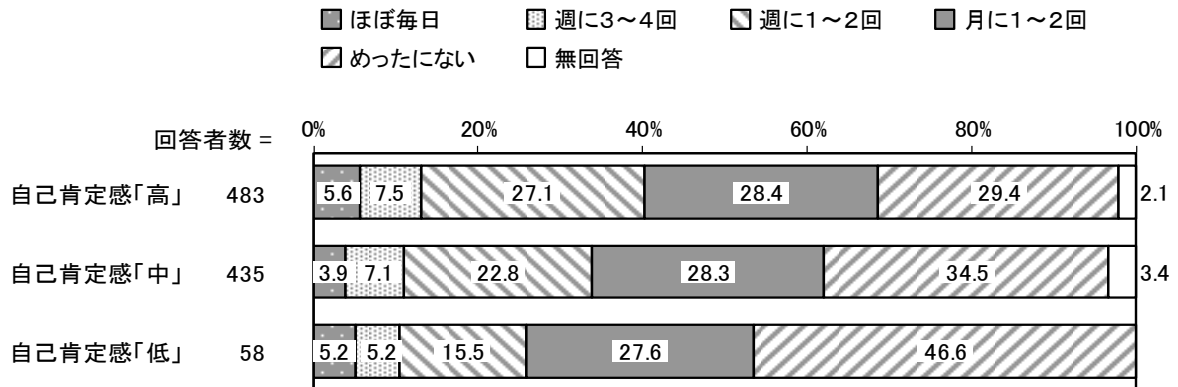
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、ほとんどわからないで「ほぼ毎日」の割合が、わからないで「めったにない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

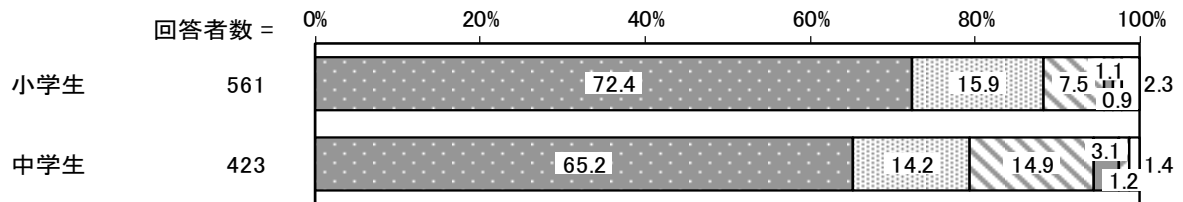
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「めったにない」の割合が高くなっています。



(4) お子さんと学校生活の話をする

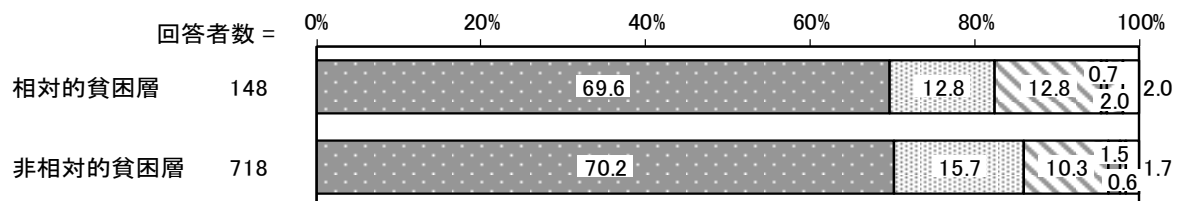
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「週に1~2回」の割合が高くなっています。



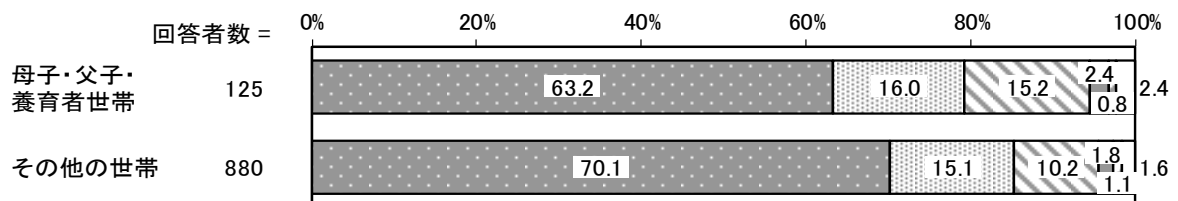
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



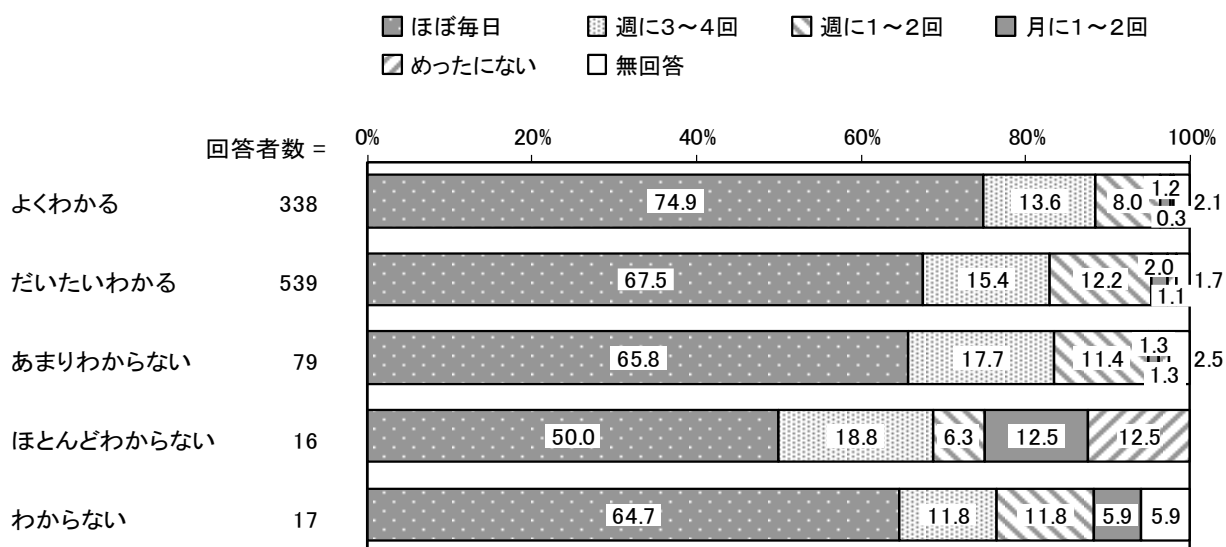
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



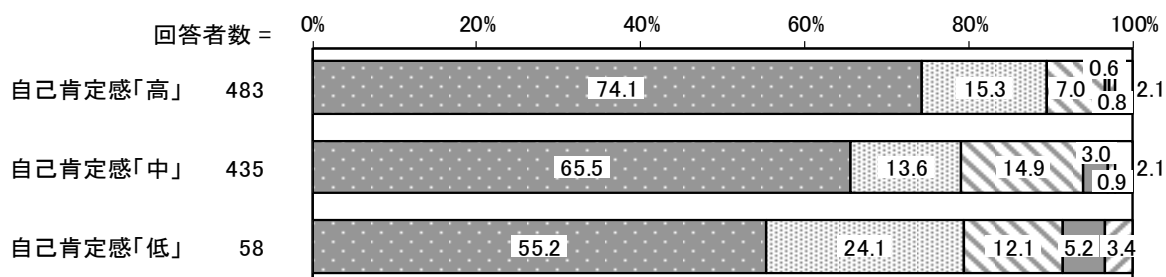
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、よくわかる、わからないで「ほぼ毎日」の割合が、ほとんどわからないで「月に1～2回」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

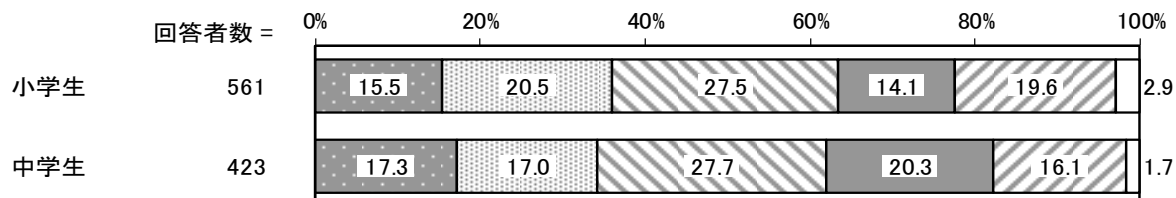
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



(5) お子さんと政治経済・社会問題などのニュースの話をする

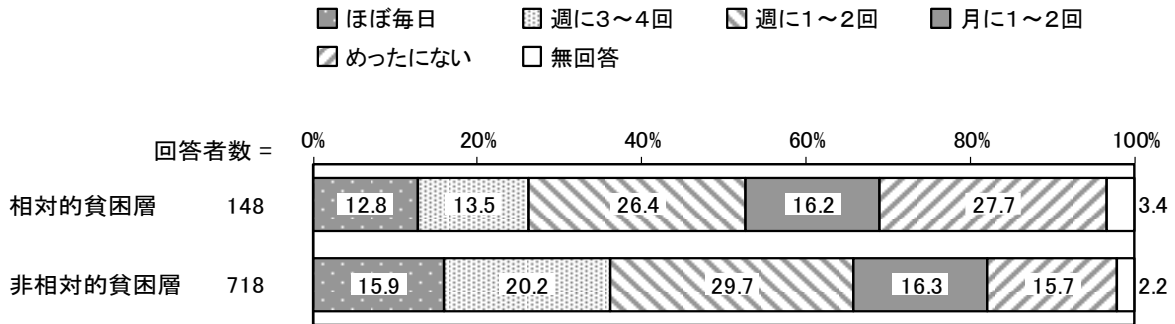
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、小学生に比べ、中学生で「月に1～2回」の割合が高くなっています。



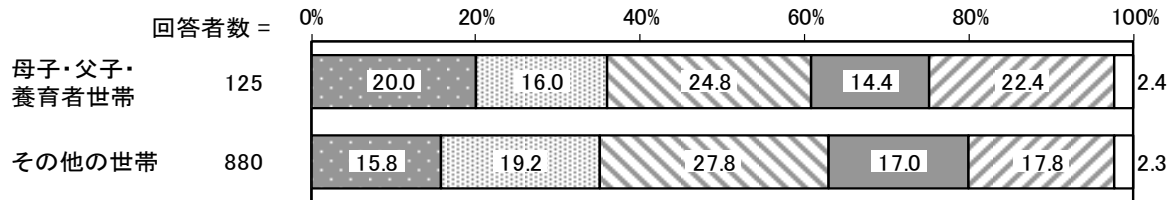
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「めったにない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「週に3～4回」の割合が高くなっています。



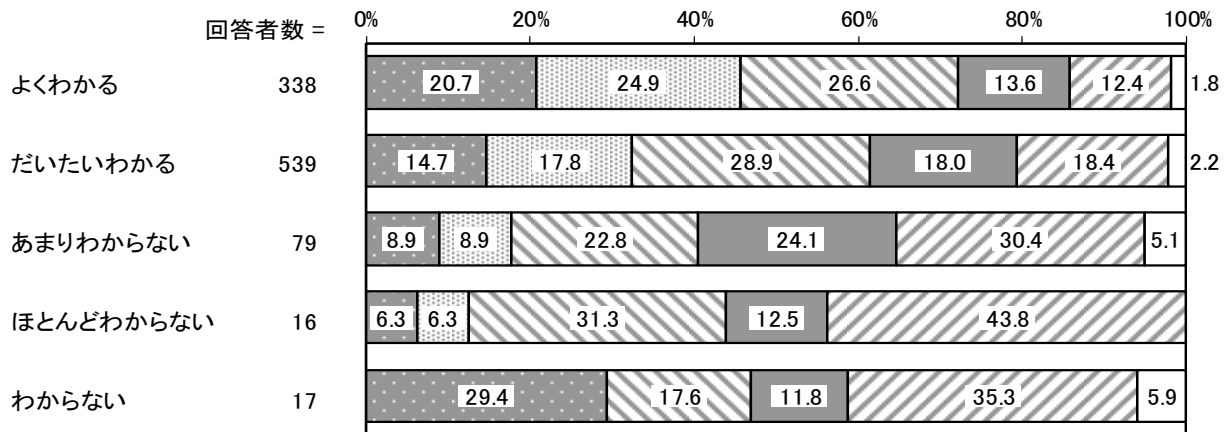
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



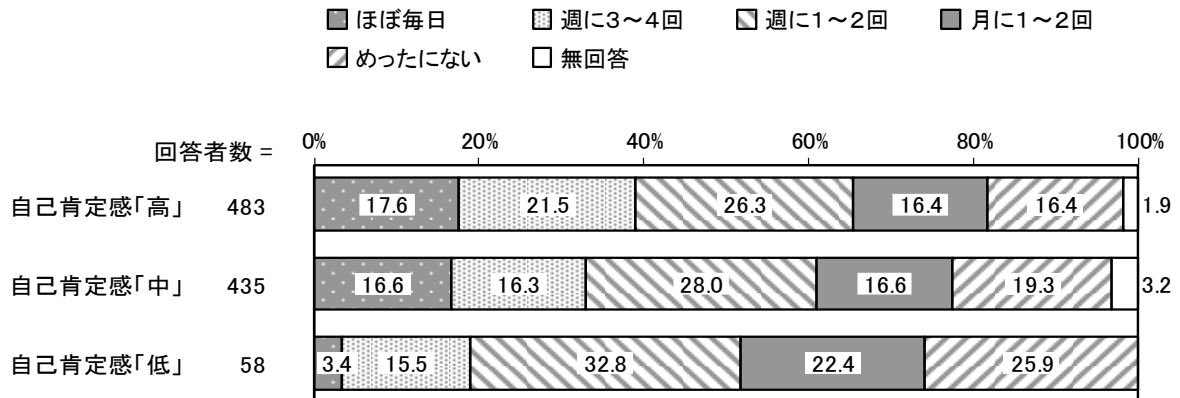
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、わからないで「ほぼ毎日」の割合が、よくわかるで「週に3～4回」の割合が高くなっています。また、あまりわからないで「月に1～2回」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

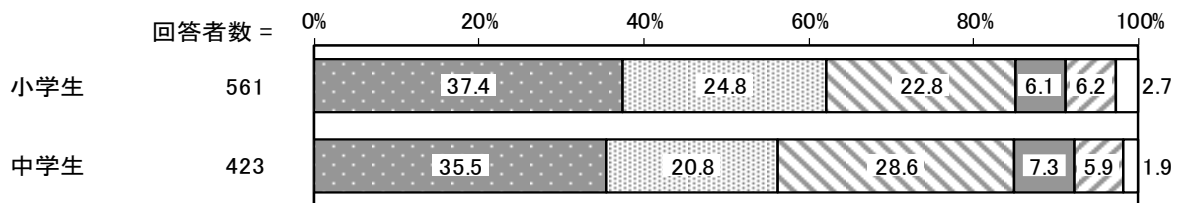
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」、自己肯定感「中」で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



(6) お子さんとテレビ番組（ニュースをのぞく）の話をする

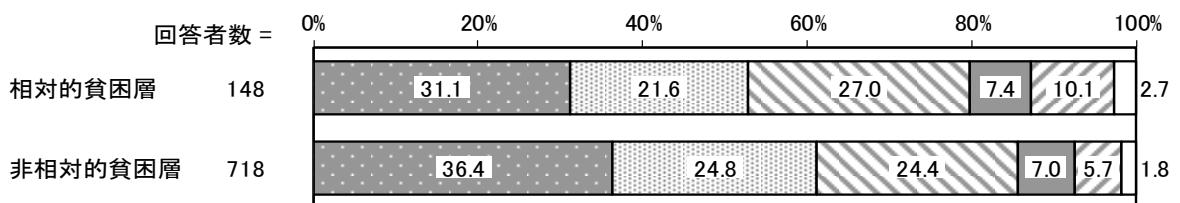
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、小学生に比べ、中学生で「週に1~2回」の割合が高くなっています。



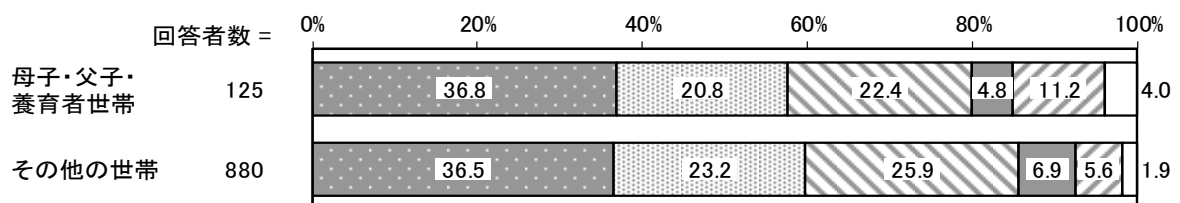
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「ほぼ毎日」の割合が高くなっています。



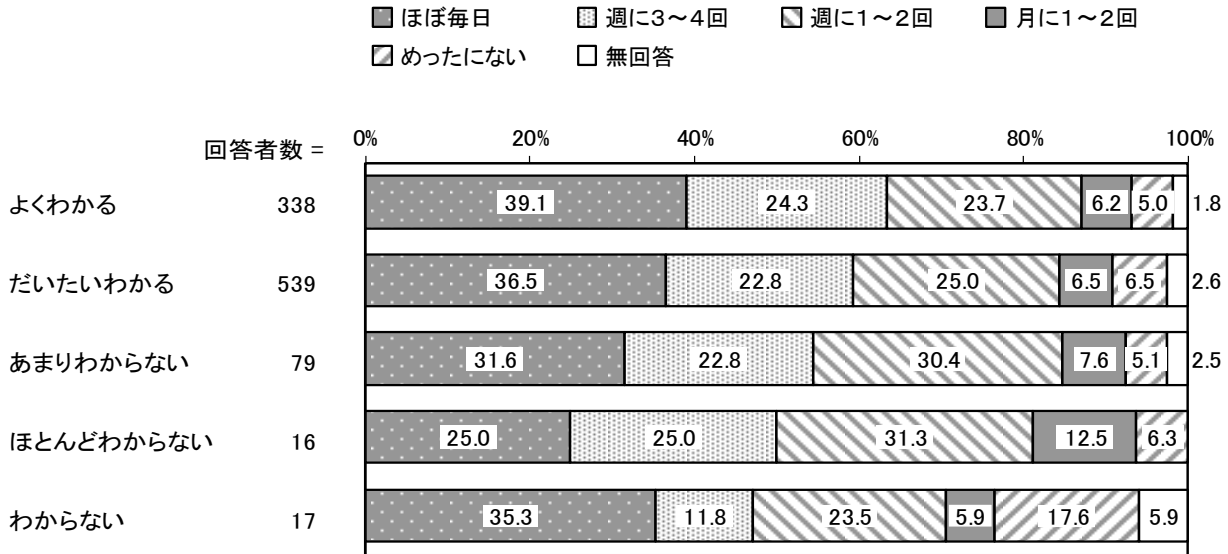
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「めったにない」の割合が高くなっています。



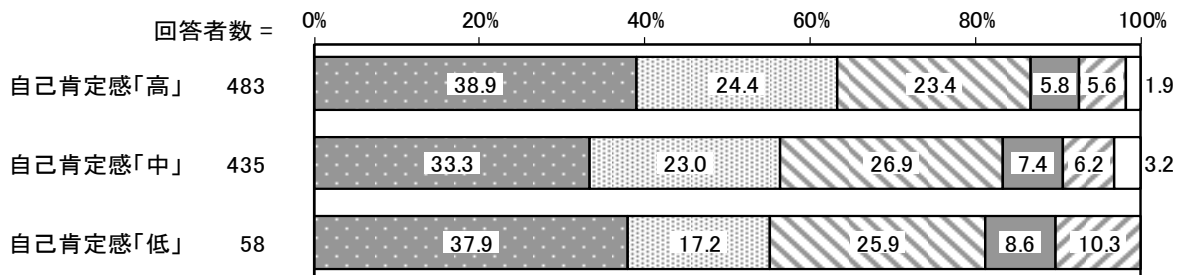
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、あまりわからない、ほとんどわからないで「週に1～2回」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

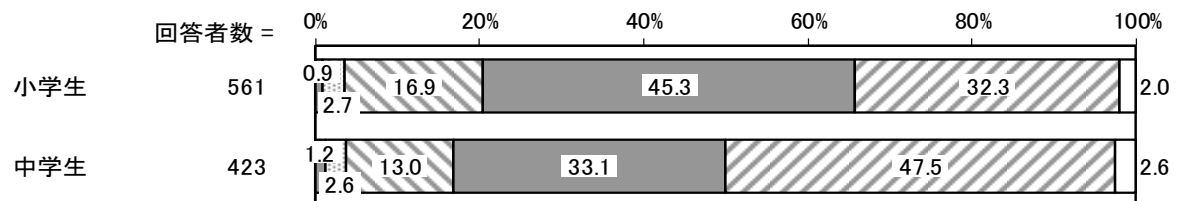
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「めったにない」の割合が高くなっています。



(7) お子さんといっしょに料理をする

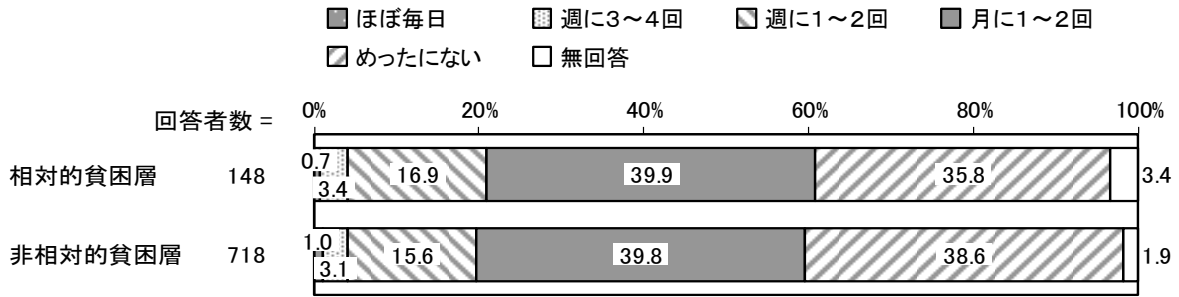
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「月に1～2回」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「めったにない」の割合が高くなっています。



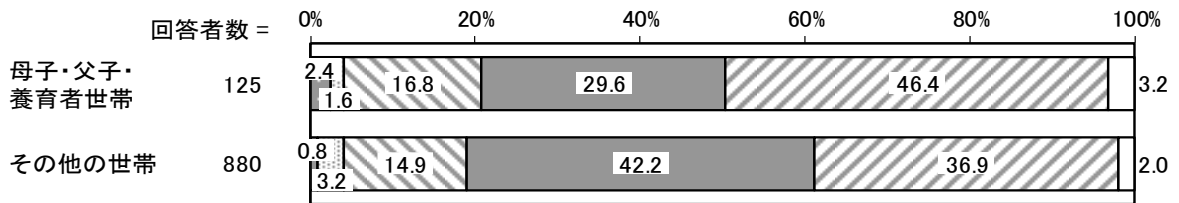
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



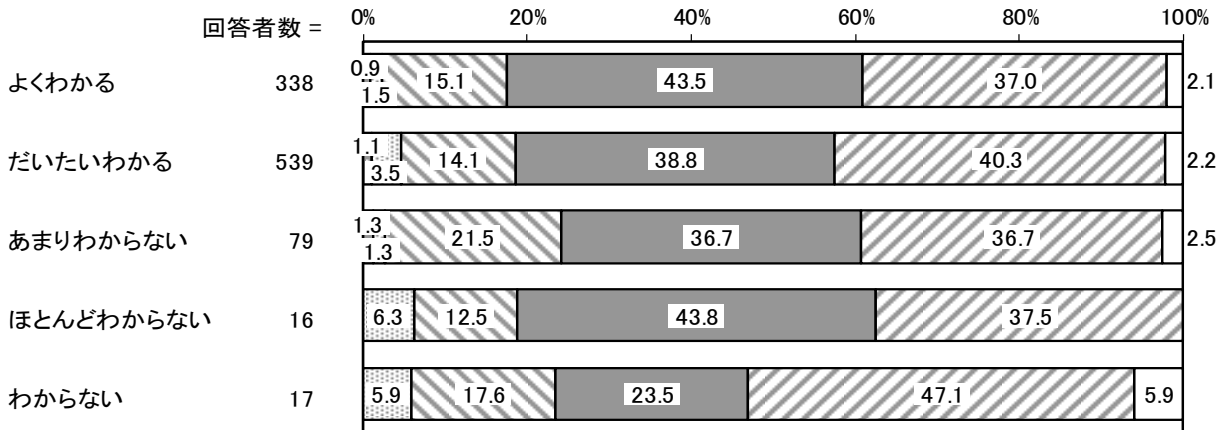
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「めったにない」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「月に1~2回」の割合が高くなっています。



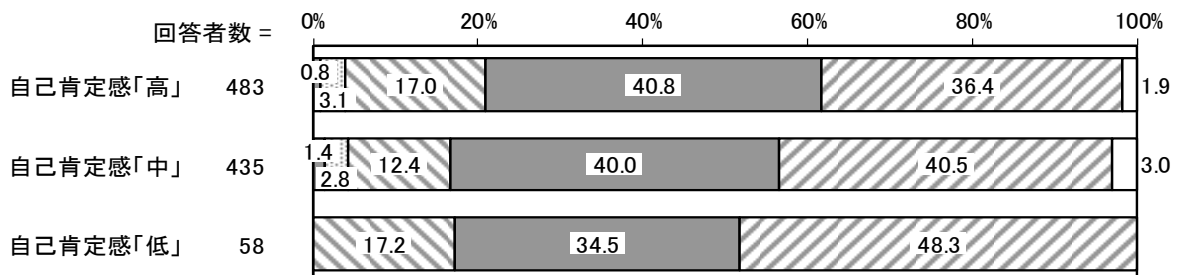
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、わからないで「めったにない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

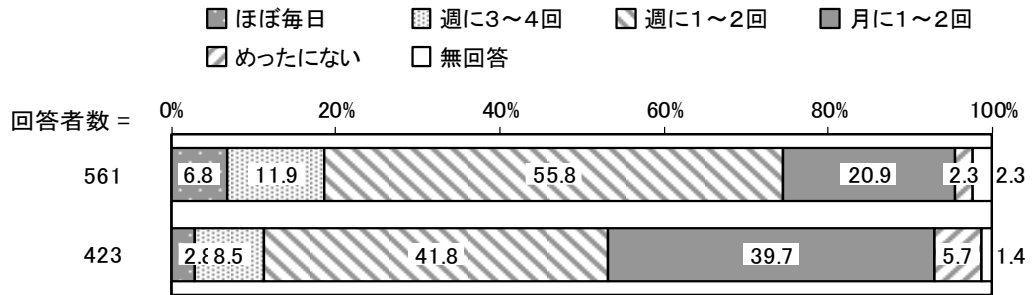
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「めったにない」の割合が高くなっています。



(8) お子さんといっしょに外出をする

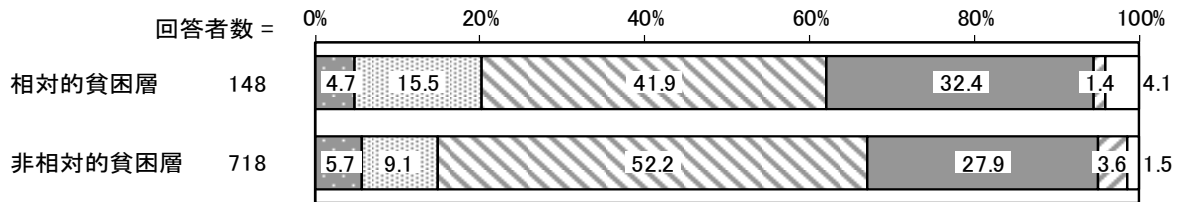
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「週に1～2回」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「月に1～2回」の割合が高くなっています。



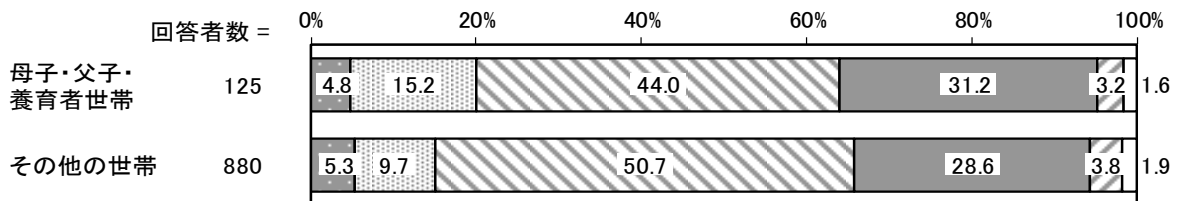
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「週に3～4回」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「週に1～2回」の割合が高くなっています。



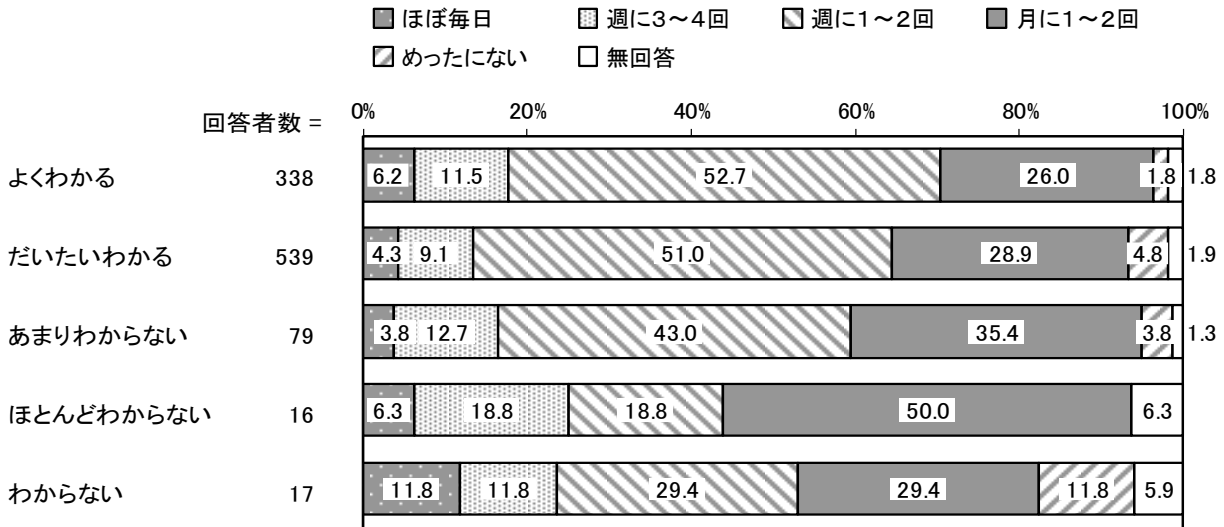
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「週に3～4回」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「週に1～2回」の割合が高くなっています。



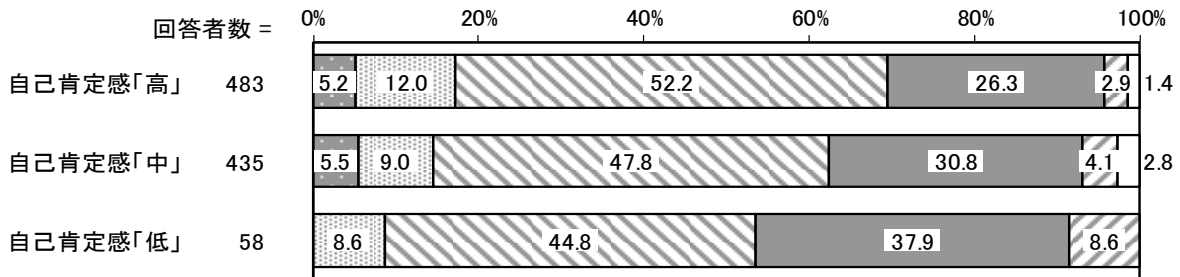
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、ほとんどわからないで「週に3～4回」の割合が、よくわかる、だいたいわかるで「週に1～2回」の割合が高くなっています。また、ほとんどわからないで「月に1～2回」の割合が高くなっています。



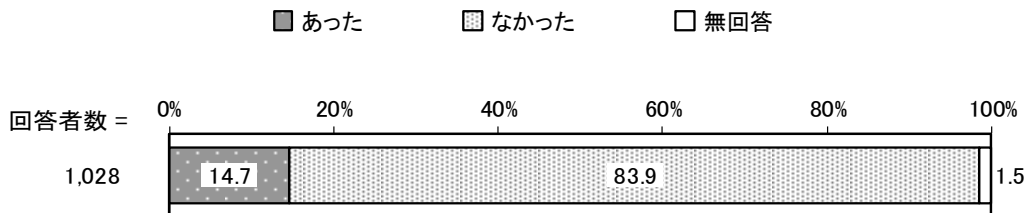
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「めったにない」の割合が高くなっています。



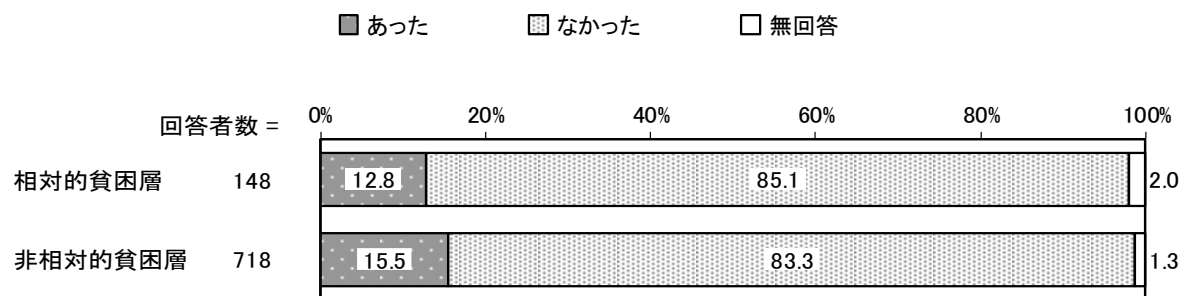
問11 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(1つだけに○)

「あった」の割合が14.7%、「なかった」の割合が83.9%となっています。



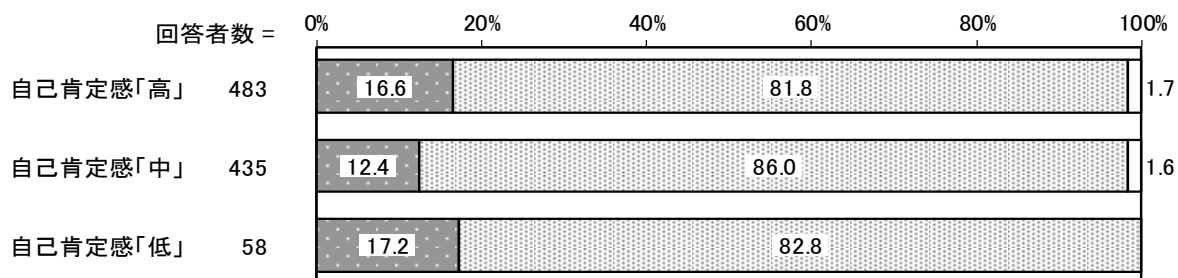
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別で見ると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「中」で「なかった」の割合が高くなっています。



【可処分所得別】

可処分所得別で見ると、他に比べ、800 万円以上～900 万円未満で「なかった」の割合が高くなっています。

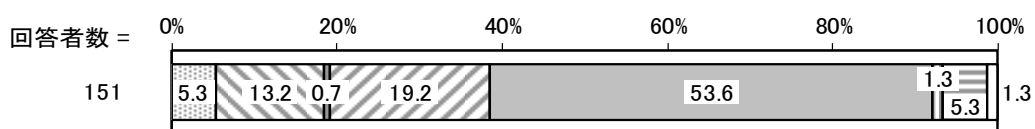


問 11 で「あった」と答えた方におたずねします。

問 11- 1 その理由は何ですか。以下の中から、最も近いものに○をつけてください。
(1 つだけに○)

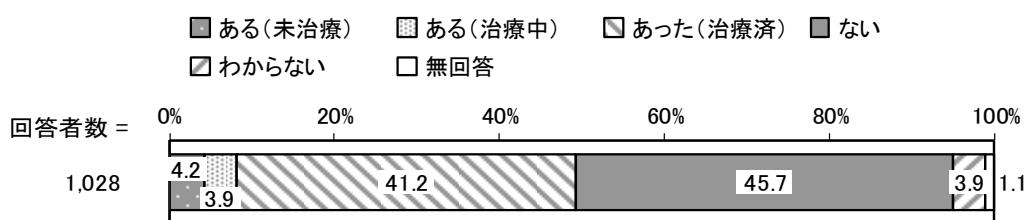
「最初は受診させようと思ったが、お子さんの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」の割合が 19.2%、「お子さんが受診しなかったため」の割合が 13.2%となっています。

- 公的医療保険に加入しておらず、医療費の支払いができなかったため
- 公的医療保険に加入していたが、医療機関で自己負担金を支払うことができないと思ったため
- お子さんが受診しなかったため
- 医療機関までの距離が遠く、通院することが困難であったため
- 多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため
- 最初は受診させようと思ったが、お子さんの様子を見て、受診させなくてもよいと判断したため
- 自分の健康状態が悪かったため
- 受診させるのが面倒だったため
- その他
- 無回答



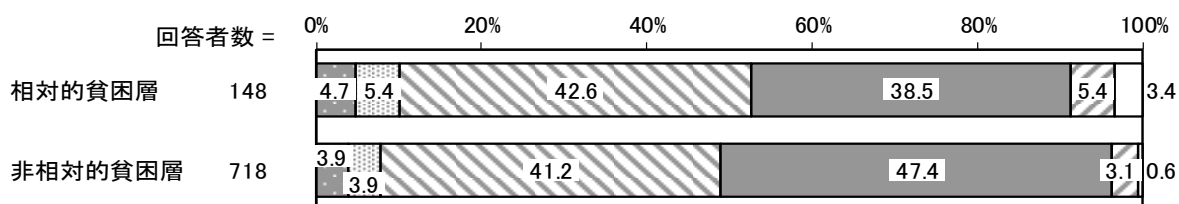
問 12 お子さんに、むし歯はありますか。(1 つだけに○)

「ない」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「あった (治療済)」の割合が 41.2%となっています。



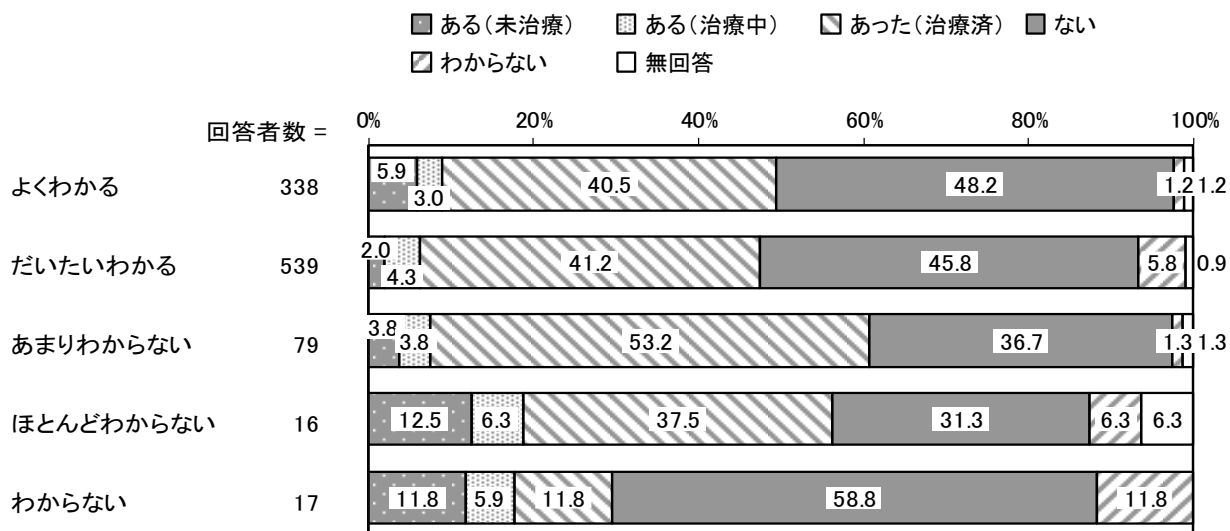
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「ない」の割合が高くなっています。



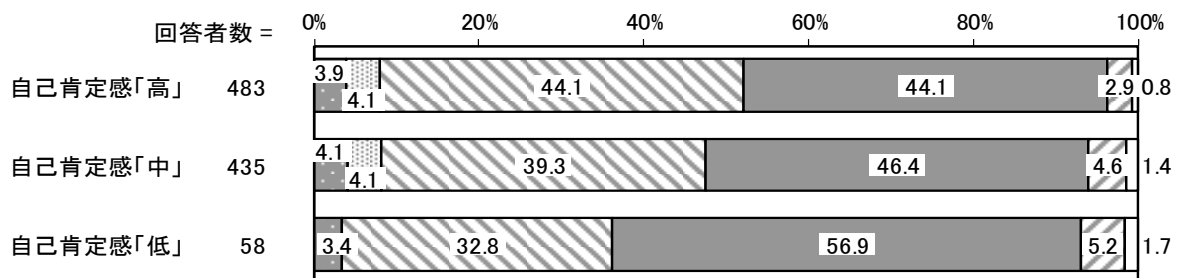
【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、わからないで「ない」の割合が、あまりわからないで「あった（治療済）」の割合が高くなっています。また、わからないで「わからない」の割合が高くなっています。



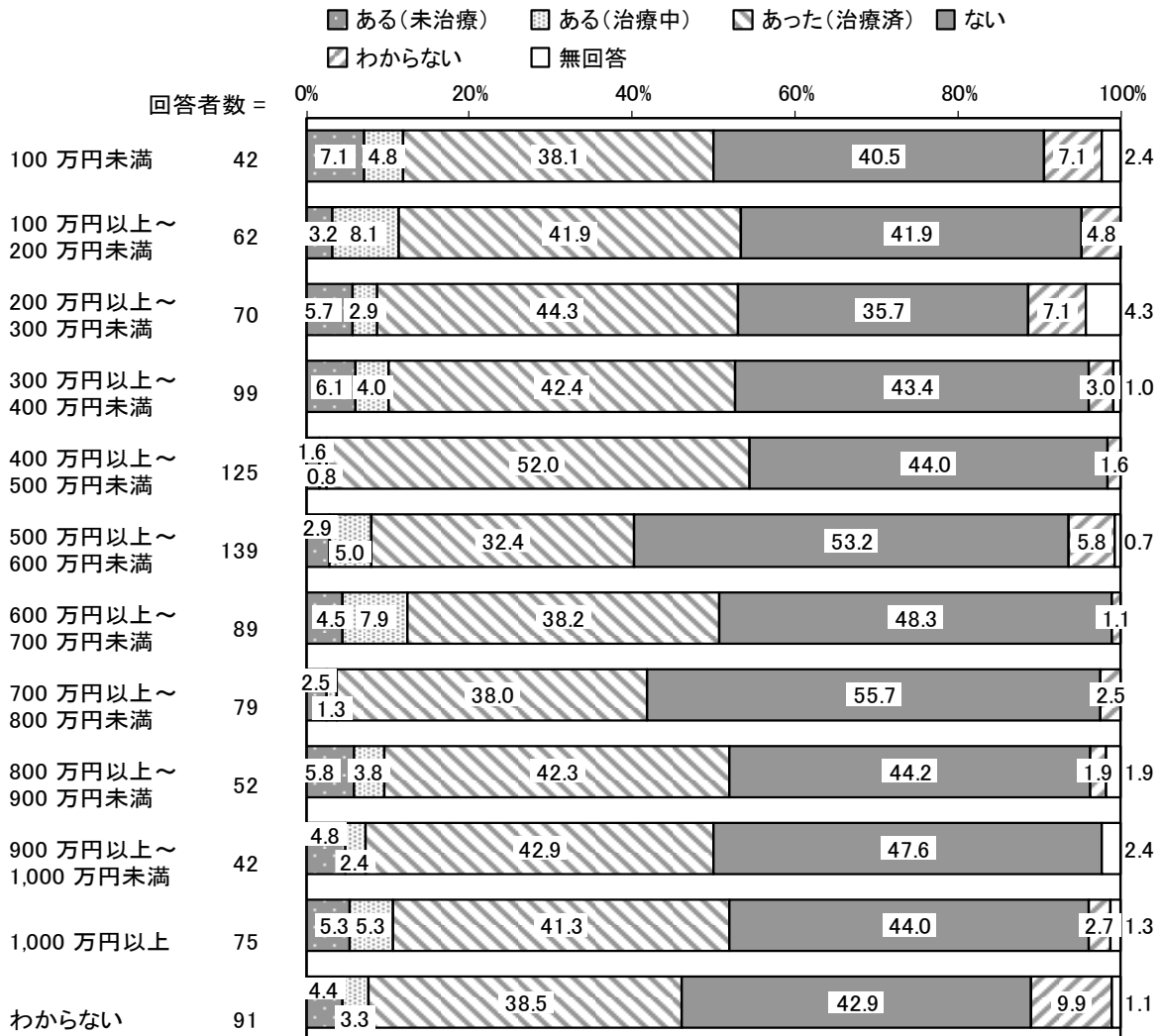
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「ない」の割合が高くなっています。



【可処分所得別】

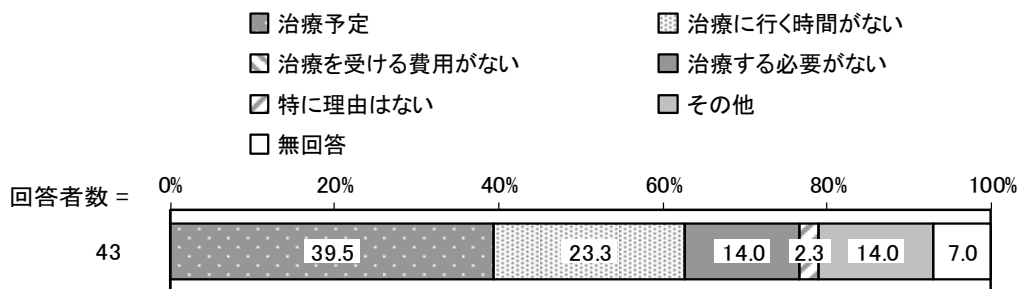
可処分所得別で見ると、他に比べ、500 万円以上～600 万円未満、700 万円以上～800 万円未満で「ない」の割合が高くなっています。



問 12 で「ある（未治療）」と答えた方におたずねします。

問 12- 1 治療していない理由は何ですか。（1 つだけに○）

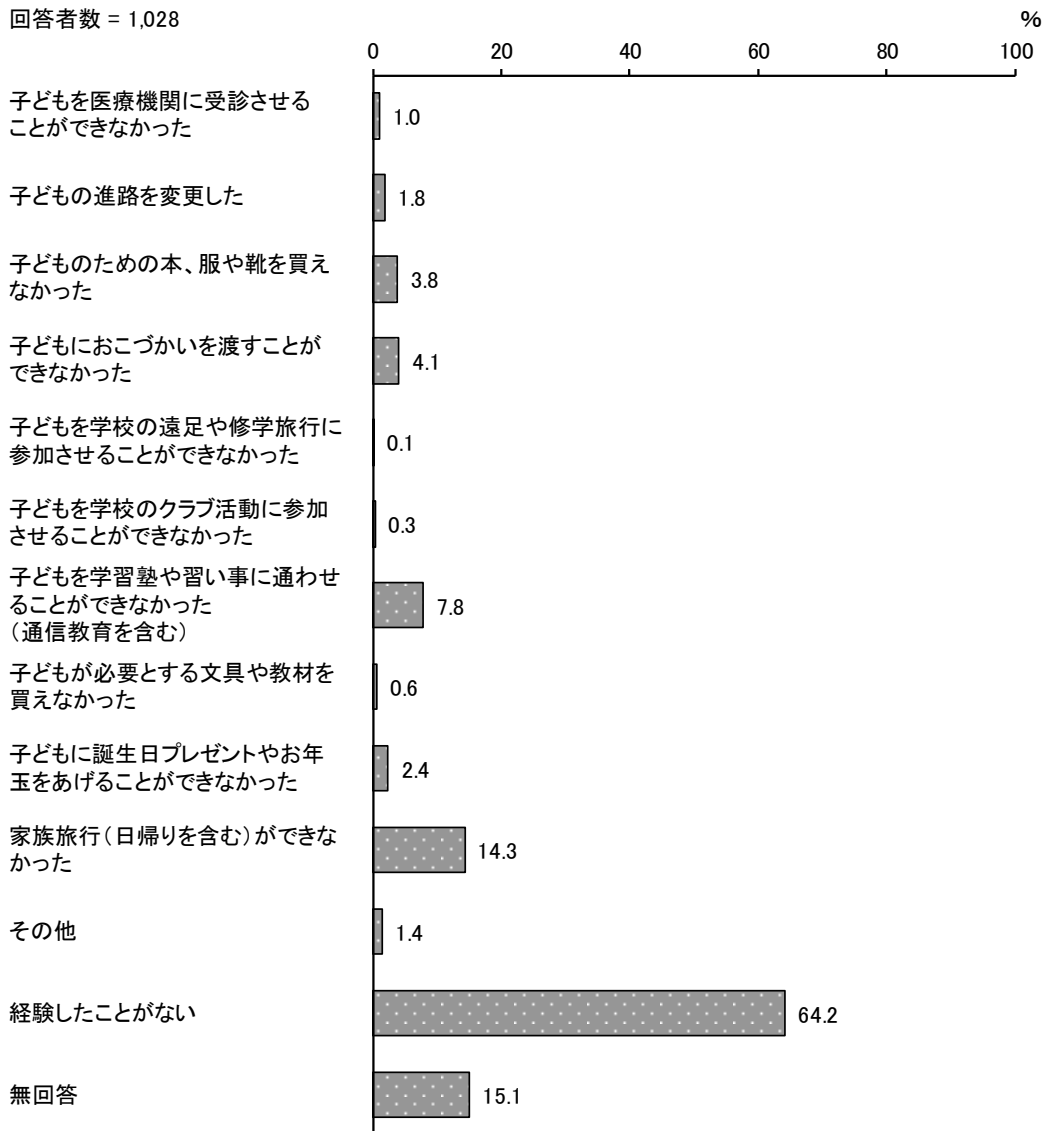
「治療予定」の割合が 39.5% と最も高く、次いで「治療に行く時間がない」の割合が 23.3%、「治療する必要があるない」の割合が 14.0% となっています。



問 13 あなたの世帯では、おおむね1年の間に、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「経験したことがない」の割合が64.2%と最も高く、次いで「家族旅行（日帰りを含む）ができなかった」の割合が14.3%となっています。

回答者数 = 1,028



【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「経験したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもを医療機関に受診させることができなかった	子どもの進路を変更した	子どものための本、服や靴を買えなかった	子どもにおこづかいを渡すことができなかった	子どもを学校の遠足や修学旅行に参加させることができなかった	子どもを学校のクラブ活動に参加させることができなかった	子どもを学習塾や習い事に通わせることができなかった(通信教育を含む)	子どもが必要とする文具や教材を買えなかった	子どもに誕生日プレゼントやお年玉をあげることができなかった	家族旅行(日帰りを含む)ができなかった	その他	経験したことがない	無回答
小学生	561	1.2	2.0	4.1	3.7	—	0.2	8.6	0.9	1.8	13.2	1.4	70.1	10.2
中学生	423	0.7	1.9	3.8	5.0	0.2	0.5	7.3	0.2	3.3	15.8	1.2	57.0	20.8

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「子どものための本、服や靴を買えなかった」「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」「子どもを学習塾や習い事に通わせることができなかった(通信教育)」「子どもに誕生日プレゼントやお年玉をあげることができなかった」「家族旅行(日帰りを含む)ができなかった」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「経験したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもを医療機関に受診させることができなかった	子どもの進路を変更した	子どものための本、服や靴を買えなかった	子どもにおこづかいを渡すことができなかった	子どもを学校の遠足や修学旅行に参加させることができなかった	子どもを学校のクラブ活動に参加させることができなかった	子どもを学習塾や習い事に通わせることができなかった(通信教育を含む)	子どもが必要とする文具や教材を買えなかった	子どもに誕生日プレゼントやお年玉をあげることができなかった	家族旅行(日帰りを含む)ができなかった	その他	経験したことがない	無回答
相対的貧困層	148	4.7	3.4	13.5	12.2	0.7	2.0	20.3	3.4	10.8	29.7	—	45.3	14.2
非相対的貧困層	718	0.3	1.3	1.9	2.4	—	—	5.4	0.1	0.8	11.8	1.5	68.1	15.2

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「子どものための本、服や靴を買えなかった」「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」「子どもを学習塾や習い事に通わせることができなかった（通信教育を含む）」「子どもに誕生日プレゼントやお年玉をあげることができなかった」「家族旅行（日帰りを含む）ができなかった」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「経験したことがない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どもを医療機関に受診させることができなかった	子どもの進路を変更した	子どものための本、服や靴を買えなかった	子どもにおこづかいを渡すことができなかった	子どもを学校の遠足や修学旅行に参加させることができなかった	子どもを学校のクラブ活動に参加させることができなかった	子どもを学習塾や習い事に通わせることができなかった（通信教育を含む）	子どもが必要とする文具や教材を買えなかった	子どもに誕生日プレゼントやお年玉をあげることができなかった	家族旅行（日帰りを含む）ができなかった	その他	経験したことがない	無回答
母子・父子・養育者世帯	125	4.0	2.4	10.4	15.2	—	1.6	19.2	4.0	8.0	34.4	1.6	44.8	12.0
その他の世帯	880	0.6	1.7	2.8	2.5	0.1	0.1	6.3	0.1	1.6	11.6	1.4	67.3	15.1

【自己肯定感別】

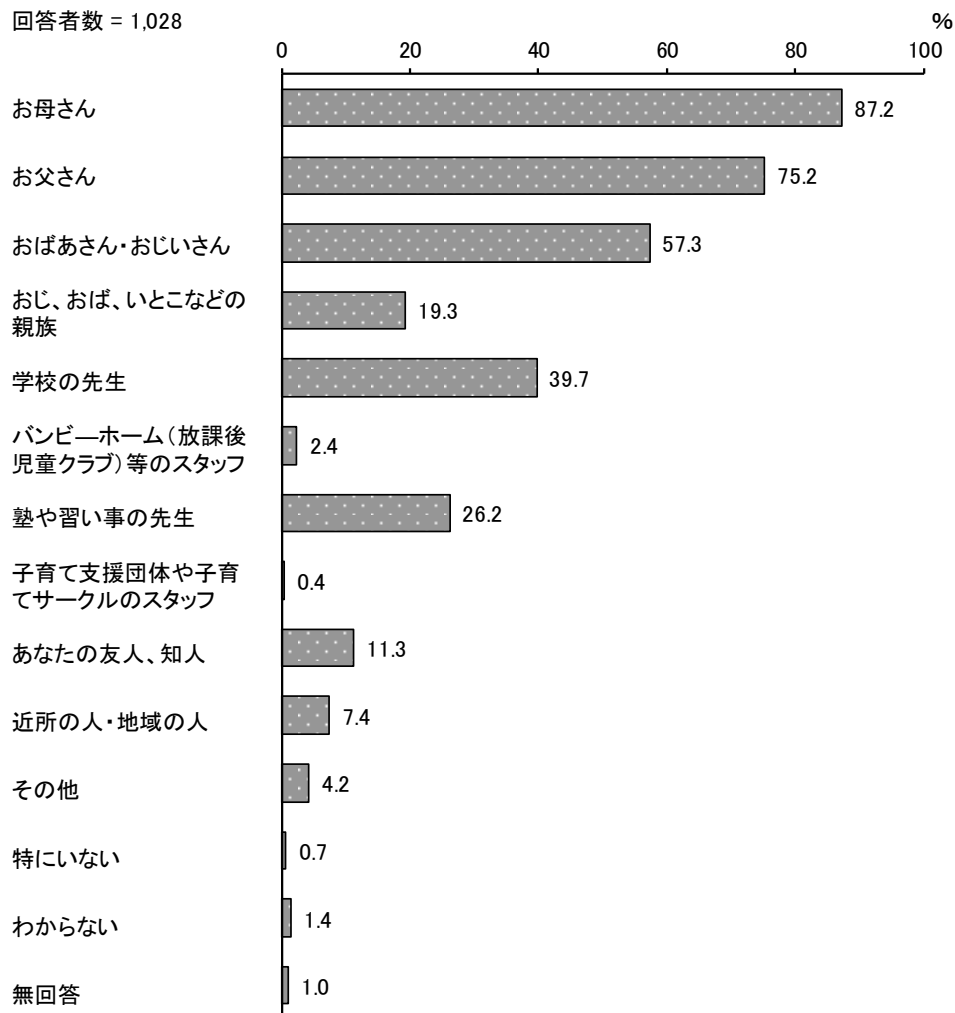
自己肯定感別でみると、自己肯定感が低い人ほど「経験したことがない」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	子どもを医療機関に受診させることができなかった	子どもの進路を変更した	子どものための本、服や靴を買えなかった	子どもにおこづかいを渡すことができなかった	子どもを学校の遠足や修学旅行に参加させることができなかった	子どもを学校のクラブ活動に参加させることができなかった	子どもを学習塾や習い事に通わせることができなかった（通信教育を含む）	子どもが必要とする文具や教材を買えなかった	子どもに誕生日プレゼントやお年玉をあげることができなかった	家族旅行（日帰りを含む）ができなかった	その他	経験したことがない	無回答
自己肯定感「高」	483	1.0	1.9	3.7	4.1	—	—	7.0	0.4	1.9	13.5	1.4	68.5	12.0
自己肯定感「中」	435	0.9	2.3	4.6	4.6	0.2	0.7	9.2	0.9	2.8	14.0	1.4	61.6	17.2
自己肯定感「低」	58	1.7	—	1.7	3.4	—	—	8.6	—	5.2	24.1	—	51.7	17.2

問 14 あなたから見て、お子さんが頼りにしていると思われる大人がいますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「お母さん」の割合が 87.2%と最も高く、次いで「お父さん」の割合が 75.2%、「おばあさん・おじいさん」の割合が 57.3%となっています。



【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「お母さん」「お父さん」「おばあさん・おじいさん」「学校の先生」「塾や習い事の先生」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	親族 おじ、おば、いとこなどの	学校の先生	バンビーホーム(放課後児童クラブ)等のスタッフ	塾や習い事の先生	子育て支援団体や子育てサークルのスタッフ	あなたの友人、知人	近所の人・地域の人	その他	特にいない	わからない	無回答
相対的貧困層	148	79.7	42.6	54.1	19.6	35.1	2.0	15.5	0.7	10.8	4.1	4.7	1.4	3.4	2.0
非相対的貧困層	718	89.3	82.5	59.3	18.2	41.2	2.4	28.4	0.3	11.4	7.7	4.2	0.4	1.1	0.7

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「おばあさん・おじいさん」「おじ、おば、いとこなどの親族」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「お母さん」「お父さん」「学校の先生」「塾や習い事の先生」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	おじ、おば、いとこなどの親族	学校の先生	バンビーホーム(放課後児童クラブ)等のスタッフ	塾や習い事の先生	子育て支援団体や子育てサークルのスタッフ	あなたの友人、知人	近所の人・地域の人	その他	特にいない	わからない	無回答
母子・父子・養育者世帯	125	70.4	23.2	62.4	25.6	29.6	2.4	19.2	0.8	14.4	4.8	4.8	3.2	3.2	0.8
その他の世帯	880	89.7	82.6	56.1	18.5	41.0	2.4	26.7	0.3	10.8	7.6	4.1	0.3	1.1	1.0

【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、わからないで「お母さん」「おばあさん・おじいさん」「おじ、おば、いとこなどの親族」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	おじ、おば、いとこなどの親族	学校の先生	バンビーホーム(放課後児童クラブ)等のスタッフ	塾や習い事の先生	子育て支援団体や子育てサークルのスタッフ	あなたの友人、知人	近所の人・地域の人	その他	特にいない	わからない	無回答
よくわかる	338	87.9	77.5	63.0	18.9	44.1	2.4	30.5	—	11.2	8.6	3.8	0.6	1.8	1.2
だいたいわかる	539	86.5	75.9	57.0	19.9	38.4	2.2	24.7	0.4	11.9	7.2	4.5	0.6	1.1	0.9
あまりわからない	79	84.8	63.3	43.0	15.2	39.2	3.8	21.5	2.5	8.9	7.6	3.8	1.3	2.5	1.3
ほとんどわからない	16	87.5	68.8	31.3	12.5	18.8	6.3	18.8	—	—	—	—	—	—	—
わからない	17	94.1	76.5	70.6	23.5	17.6	—	29.4	—	5.9	11.8	5.9	—	—	—

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で「学校の先生」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	おじ、おば、いとこなどの親族	学校の先生	バンビーホーム(放課後児童クラブ)等のスタッフ	塾や習い事の先生	子育て支援団体や子育てサークルのスタッフ	あなたの友人、知人	近所の人・地域の人	その他	特にいない	わからない	無回答
自己肯定感「高」	483	88.2	78.1	59.8	20.7	43.5	2.3	29.6	0.6	11.8	8.5	4.6	0.4	1.4	0.8
自己肯定感「中」	435	85.3	72.9	54.9	16.3	37.9	2.8	23.9	0.2	11.5	7.1	3.2	0.9	1.6	1.4
自己肯定感「低」	58	84.5	70.7	56.9	19.0	24.1	—	20.7	—	5.2	5.2	8.6	—	—	—

【可処分所得別】

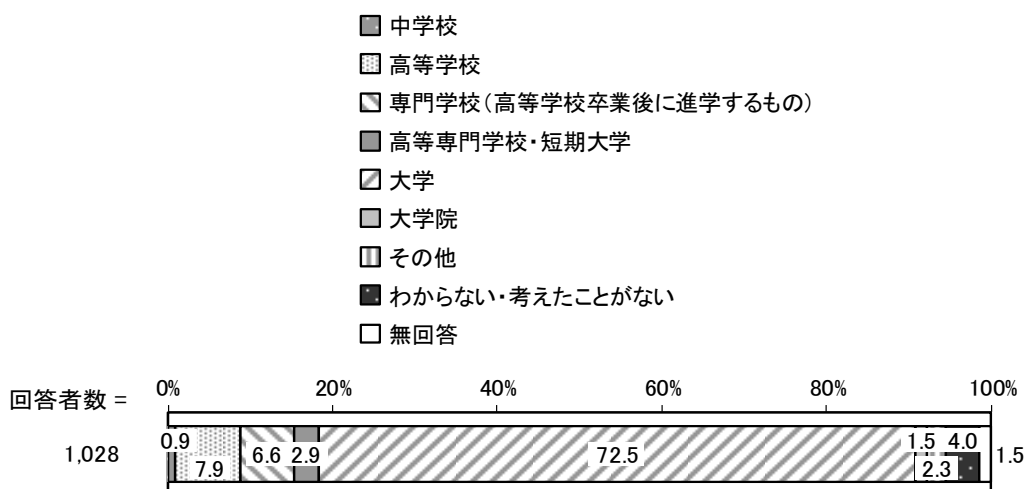
可処分所得別で見ると、他に比べ、900万円以上～1,000万円未満で「お母さん」の割合が、700万円以上～800万円未満、900万円以上～1,000万円未満で「お父さん」の割合が高くなっています。また、600万円以上～700万円未満、700万円以上～800万円未満で「学校の先生」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	お母さん	お父さん	おばあさん・おじいさん	おじ、おば、いとこなどの親族	学校の先生	バンビーホーム(放課後児童クラブ)等のスタッフ	塾や習い事の先生	子育て支援団体や子育てサークルのスタッフ	あなたの友人、知人	近所の人・地域の人	その他	特にない	わからない	無回答
100万円未満	42	78.6	38.1	50.0	16.7	35.7	7.1	16.7	—	7.1	2.4	11.9	—	—	—
100万円以上～200万円未満	62	75.8	33.9	59.7	21.0	30.6	—	14.5	1.6	11.3	6.5	3.2	3.2	4.8	—
200万円以上～300万円未満	70	78.6	51.4	51.4	17.1	30.0	1.4	15.7	—	15.7	4.3	2.9	1.4	2.9	2.9
300万円以上～400万円未満	99	85.9	75.8	64.6	25.3	38.4	2.0	26.3	—	11.1	7.1	1.0	—	2.0	1.0
400万円以上～500万円未満	125	91.2	81.6	60.0	17.6	40.8	2.4	23.2	—	7.2	5.6	1.6	0.8	1.6	—
500万円以上～600万円未満	139	87.1	79.9	59.0	12.2	43.2	—	25.9	—	10.8	8.6	7.9	—	1.4	1.4
600万円以上～700万円未満	89	87.6	87.6	64.0	20.2	53.9	3.4	33.7	1.1	11.2	9.0	2.2	1.1	2.2	—
700万円以上～800万円未満	79	91.1	93.7	62.0	22.8	51.9	3.8	38.0	—	8.9	6.3	6.3	—	—	—
800万円以上～900万円未満	52	94.2	88.5	53.8	23.1	23.1	1.9	25.0	—	13.5	5.8	3.8	—	—	1.9
900万円以上～1,000万円未満	42	97.6	95.2	52.4	7.1	45.2	2.4	33.3	—	23.8	9.5	2.4	—	—	2.4
1,000万円以上	75	93.3	80.0	52.0	18.7	34.7	4.0	34.7	1.3	10.7	10.7	6.7	—	—	1.3
わからない	91	86.8	75.8	49.5	20.9	36.3	4.4	27.5	—	13.2	7.7	3.3	1.1	—	1.1

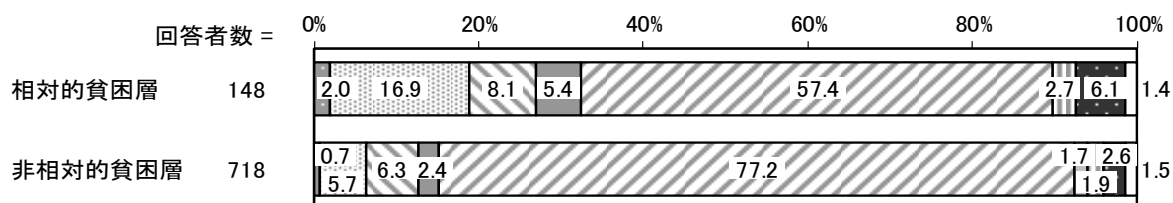
問 15 お子さんの進学は、希望としては、どこまでを考えていますか。
(1つだけに○)

「大学」の割合が72.5%と最も高くなっています。



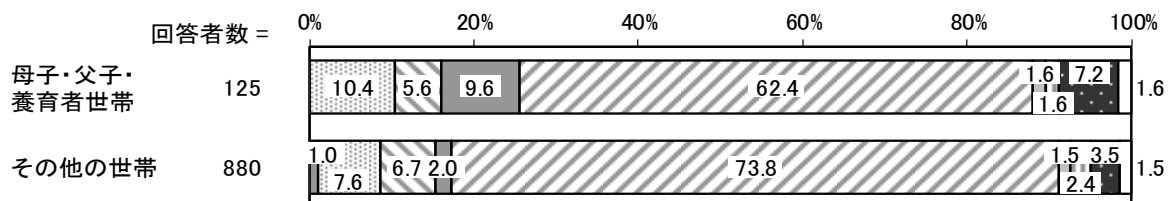
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別で見ると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「高等学校」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「大学」の割合が高くなっています。



【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「高等専門学校・短期大学」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「大学」の割合が高くなっています。

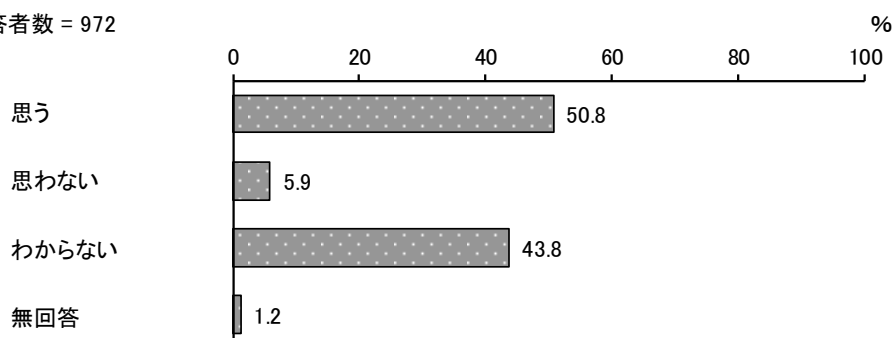


問 15 で「中学校」～「その他」と答えた方におたずねします。

問 15-1 あなたは、お子さんが問 15 の希望どおりの学校まで進むことになると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「思う」の割合が 50.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 43.8%となっています。

回答者数 = 972



【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」、自己肯定感「中」で「思う」の割合が、自己肯定感「低」で「わからない」の割合が高くなっています。

単位：%

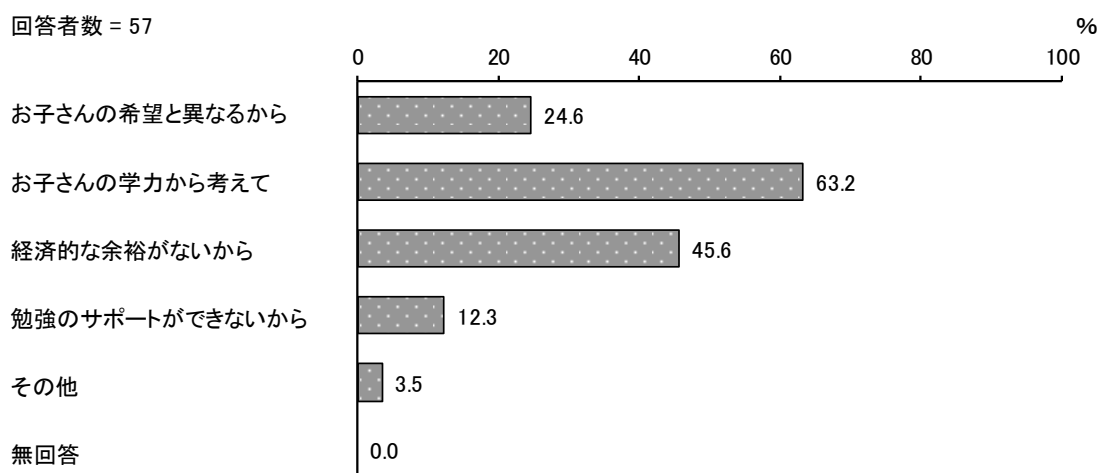
区分	回答者数 (件)	思う	思わない	わからない	無回答
自己肯定感「高」	457	53.2	4.6	43.1	0.7
自己肯定感「中」	411	50.4	6.8	42.1	1.9
自己肯定感「低」	56	41.1	8.9	53.6	1.8

問 15-1 で「思わない」と答えた方におたずねします。

問 15-2 その理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「お子さんの学力から考えて」の割合が 63.2%と最も高く、次いで「経済的な余裕がないから」の割合が 45.6%、「お子さんの希望と異なるから」の割合が 24.6%となっています。

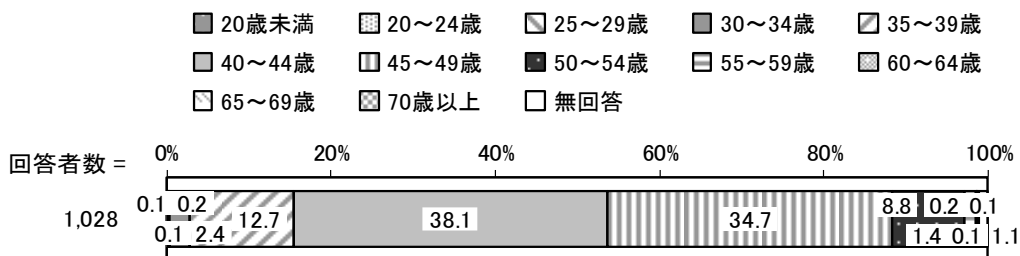
回答者数 = 57



(4) 回答者について

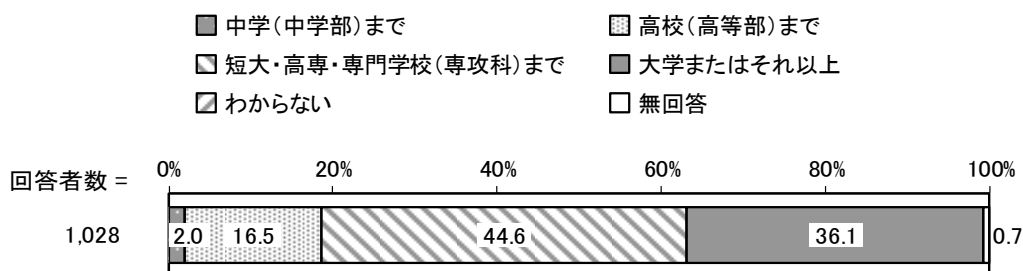
問 16 あなたの年齢は現在おいくつですか。(1つだけに○)

「40～44歳」の割合が38.1%と最も高く、次いで「45～49歳」の割合が34.7%、「35～39歳」の割合が12.7%となっています。



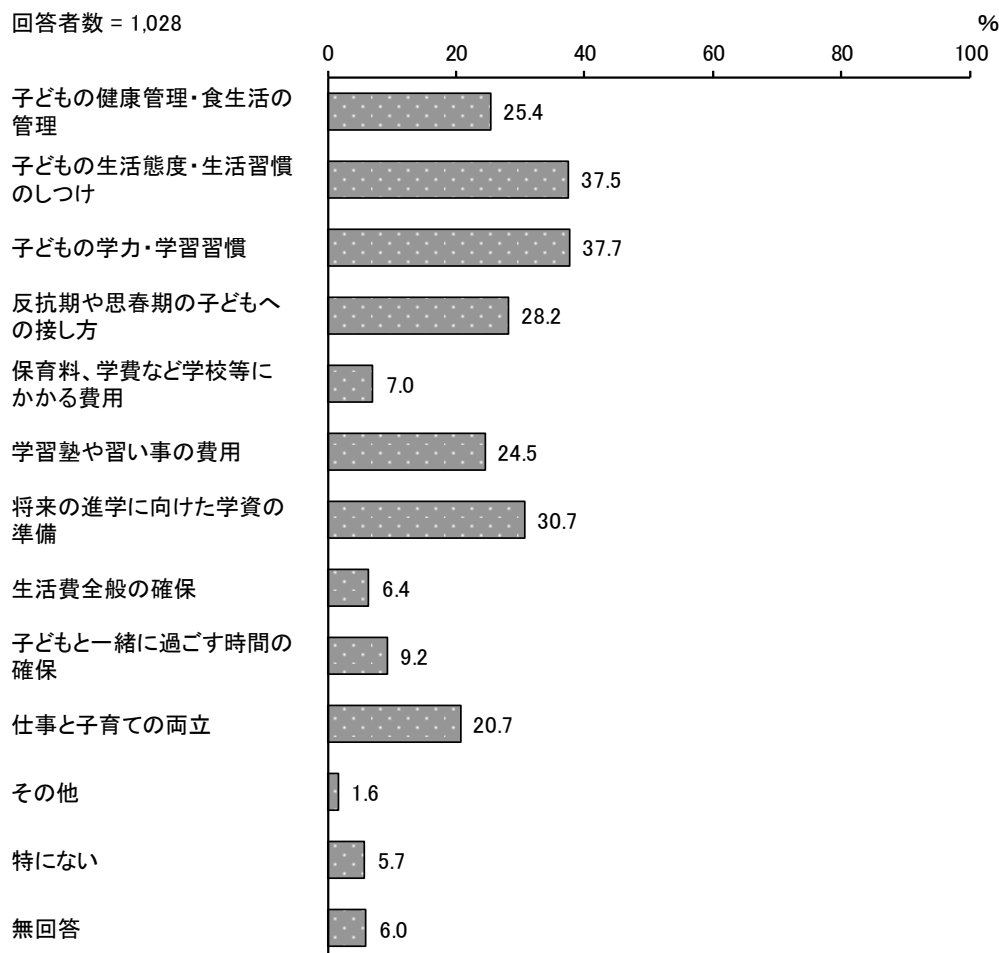
問 17 あなたの最終学歴（卒業した学校）をお答えください。

「短大・高専・専門学校（専攻科）まで」の割合が44.6%と最も高く、次いで「大学またはそれ以上」の割合が36.1%、「高校（高等部）まで」の割合が16.5%となっています。



問 18 子育てをしていて特に大変だと感じることは何ですか。(〇は3つまで)

「子どもの学力・学習習慣」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」の割合が 37.5%、「将来の進学に向けた学資の準備」の割合が 30.7%となっています。



【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」「子どもと一緒に過ごす時間の確保」「仕事と子育ての両立」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「将来の進学に向けた学資の準備」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子どもの健康管理・食生活の管理	子どもの生活態度・生活習慣のしつけ	子どもの学力・学習習慣	反抗期や思春期の子どもへの接し方	保育料、学費など学校等にかかる費用	学習塾や習い事の費用	将来の進学に向けた学資の準備	生活費全般の確保	子どもと一緒に過ごす時間の確保	仕事と子育ての両立	その他	特にない	無回答
小学生	561	26.4	39.9	38.3	29.4	8.0	23.7	28.0	6.2	11.4	23.7	1.8	4.6	5.2
中学生	423	25.3	33.6	37.1	27.4	5.4	26.0	35.2	7.1	6.1	17.3	1.2	6.9	7.1

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「保育料、学費など学校等にかかる費用」「将来の進学に向けた学資の準備」「生活費全般の確保」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「子どもの健康管理・食生活の管理」「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」「反抗期や思春期の子どもへの接し方」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもの健康管理・食生活の管理	子どもの生活態度・生活習慣のしつけ	子どもの学力・学習習慣	子どもへの接し方	反抗期や思春期の子どもへの接し方	校等にかかる費用	保育料、学費など学校等にかかる費用	学資の準備	将来の進学に向けた学資の準備	生活費全般の確保	子どもと一緒に過ごす時間の確保	仕事と子育ての両立	その他	特にない	無回答
相対的貧困層	148	20.9	27.7	39.2	24.3	12.8	25.7	37.2	13.5	8.1	22.3	0.7	4.1	8.8		
非相対的貧困層	718	26.9	40.9	38.7	30.9	5.7	23.5	29.1	4.2	10.2	22.3	1.3	5.0	5.0		

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「子どもと一緒に過ごす時間の確保」「仕事と子育ての両立」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「子どもの健康管理・食生活の管理」「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」「子どもの学力・学習習慣」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	子どもの健康管理・食生活の管理	子どもの生活態度・生活習慣のしつけ	子どもの学力・学習習慣	子どもへの接し方	反抗期や思春期の子どもへの接し方	校等にかかる費用	保育料、学費など学校等にかかる費用	学資の準備	将来の進学に向けた学資の準備	生活費全般の確保	子どもと一緒に過ごす時間の確保	仕事と子育ての両立	その他	特にない	無回答
母子・父子・養育者世帯	125	19.2	24.8	24.8	25.6	8.0	25.6	32.0	8.8	20.8	31.2	2.4	2.4	12.8		
その他の世帯	880	26.3	39.4	39.7	28.8	6.9	24.1	30.7	6.1	7.8	19.5	1.5	6.4	4.9		

【子どもの授業理解度別】

子どもの授業理解度別でみると、他に比べ、ほとんどわからない、わからないで「生活費全般の確保」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	食生活の管理 子どもの健康管理・	子どもの生活態度・ 生活習慣のしつけ	子どもの学力・学習 習慣	子どもへの接し方 反抗期や思春期の	校等にかかる費用 保育料、学費など学	費用 学習塾や習い事の	将来の進学に向け た学資の準備	生活費全般の確保	子どもと一緒に過 ごす時間の確保	仕事と子育ての両 立	その他	特にな い	無回 答
よくわかる	338	26.6	36.4	29.9	29.0	6.8	25.1	29.9	4.4	10.9	24.9	2.1	7.4	4.4
だいたいわかる	539	26.0	37.8	39.7	27.1	6.9	25.6	31.9	7.8	8.5	20.0	1.5	4.6	6.1
あまりわからない	79	26.6	38.0	54.4	35.4	7.6	17.7	32.9	5.1	6.3	8.9	—	5.1	8.9
ほとんどわからない	16	25.0	37.5	43.8	31.3	12.5	6.3	18.8	12.5	6.3	25.0	—	—	18.8
わからない	17	23.5	29.4	58.8	17.6	11.8	23.5	35.3	11.8	5.9	23.5	—	5.9	5.9

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「反抗期や思春期の子どもへの接し方」「仕事と子育ての両立」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	食生活の管理 子どもの健康管理・	子どもの生活態度・ 生活習慣のしつけ	子どもの学力・学習 習慣	子どもへの接し方 反抗期や思春期の	校等にかかる費用 保育料、学費など学	費用 学習塾や習い事の	将来の進学に向け た学資の準備	生活費全般の確保	子どもと一緒に過 ごす時間の確保	仕事と子育ての両 立	その他	特にな い	無回 答
自己肯定感「高」	483	25.5	37.1	35.0	26.3	6.0	26.7	30.4	7.0	10.1	21.1	1.7	6.4	5.2
自己肯定感「中」	435	28.7	38.4	41.1	28.7	8.7	23.0	33.1	5.7	7.6	19.5	1.4	4.6	6.0
自己肯定感「低」	58	17.2	34.5	39.7	41.4	5.2	19.0	24.1	8.6	8.6	27.6	1.7	3.4	12.1

【可処分所得別】

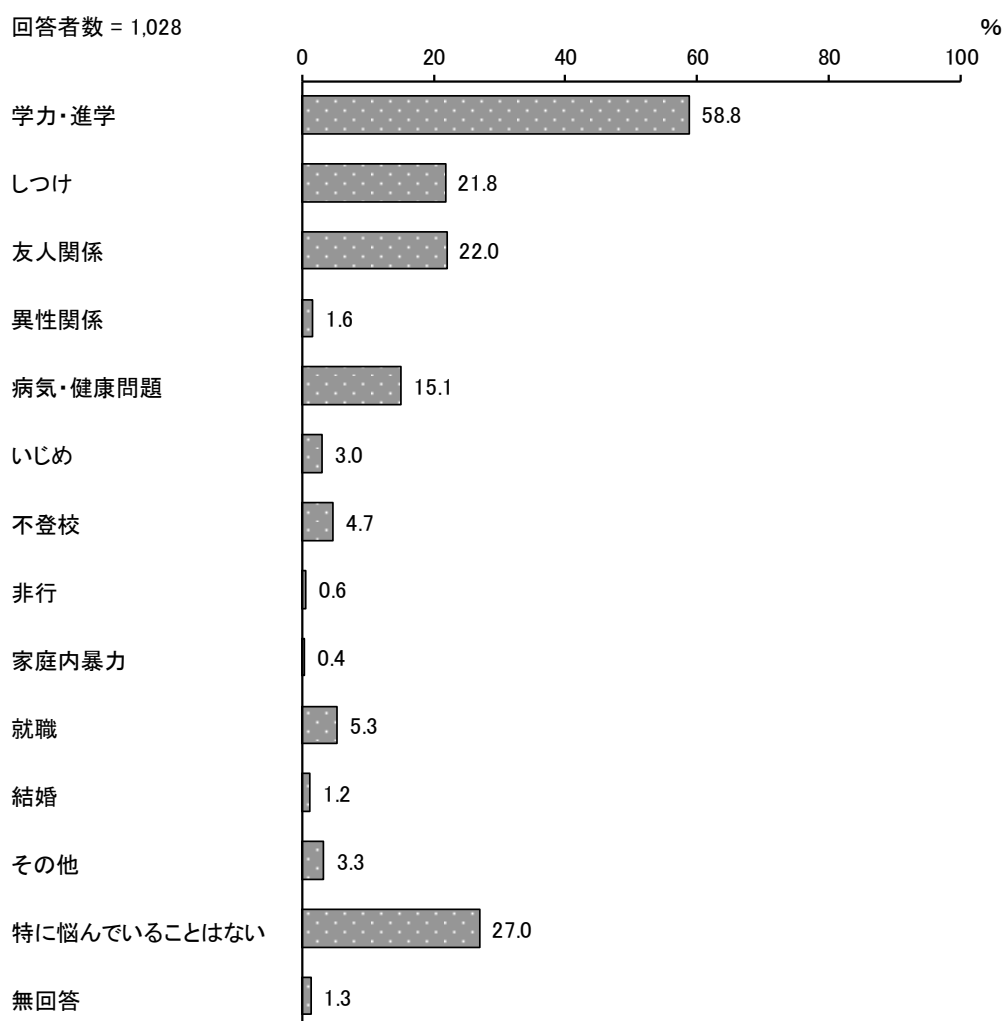
可処分所得別でみると、他に比べ、700 万円以上～800 万円未満で「子どもの健康管理・食生活の管理」の割合が、700 万円以上～800 万円未満、900 万円以上～1,000 万円未満で「子どもの生活態度・生活習慣のしつけ」の割合が高くなっています。また、100 万円未満で「保育料、学費など学校等にかかる費用」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	食生活の管理・子どもの健康管理	子どもの生活態度・生活習慣のしつけ	子どもの学力・学習習慣	子どもへの接し方	反抗期や思春期の子ども	校等にかかる費用	保育料、学費など学校等にかかる費用	学習塾や習い事の費用	将来の進学に向けた学資の準備	生活費全般の確保	子どもと一緒に過ごす時間の確保	立仕事と子育ての両	その他	特にな	無回答
100 万円未満	42	21.4	26.2	42.9	16.7	19.0	21.4	31.0	21.4	2.4	21.4	—	2.4	11.9		
100 万円以上～200 万円未満	62	19.4	24.2	33.9	25.8	8.1	24.2	35.5	11.3	12.9	30.6	1.6	4.8	11.3		
200 万円以上～300 万円未満	70	21.4	37.1	35.7	27.1	8.6	30.0	38.6	8.6	15.7	20.0	—	4.3	4.3		
300 万円以上～400 万円未満	99	26.3	36.4	42.4	30.3	12.1	23.2	38.4	10.1	12.1	22.2	—	2.0	6.1		
400 万円以上～500 万円未満	125	23.2	32.0	31.2	33.6	5.6	28.0	40.8	4.8	9.6	22.4	0.8	2.4	8.8		
500 万円以上～600 万円未満	139	29.5	38.1	42.4	27.3	3.6	28.8	34.5	2.9	4.3	16.5	2.2	8.6	3.6		
600 万円以上～700 万円未満	89	27.0	34.8	40.4	28.1	5.6	25.8	29.2	3.4	9.0	22.5	—	4.5	4.5		
700 万円以上～800 万円未満	79	36.7	55.7	40.5	30.4	5.1	19.0	19.0	3.8	7.6	21.5	2.5	5.1	3.8		
800 万円以上～900 万円未満	52	21.2	38.5	44.2	38.5	9.6	32.7	23.1	—	7.7	17.3	1.9	1.9	5.8		
900 万円以上～1,000 万円未満	42	33.3	54.8	45.2	21.4	—	11.9	11.9	—	14.3	23.8	—	11.9	2.4		
1,000 万円以上	75	21.3	49.3	34.7	38.7	4.0	9.3	10.7	2.7	14.7	30.7	2.7	6.7	1.3		
わからない	91	26.4	27.5	27.5	20.9	6.6	26.4	31.9	9.9	7.7	14.3	3.3	11.0	7.7		

問 19 お子さんに関する次のような悩みはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「学力・進学」の割合が 58.8%と最も高く、次いで「特に悩んでいることはない」の割合が 27.0%、「友人関係」の割合が 22.0%となっています。



【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「しつけ」の割合が高くなっています。一方、小学生に比べ、中学生で「学力・進学」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	学力・進学	しつけ	友人関係	異性関係	病気・健康問題	いじめ	不登校	非行	家庭内暴力	就職	結婚	その他	特に悩んでいることはない	無回答
小学生	561	52.9	25.0	23.7	1.4	17.1	3.4	4.6	0.7	0.5	4.6	1.2	4.3	29.1	1.2
中学生	423	66.2	18.2	19.9	1.7	13.2	2.6	5.0	0.5	0.2	6.1	1.2	1.9	24.3	1.2

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「特に悩んでいることはない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「しつけ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	学力・進学	しつけ	友人関係	異性関係	病気・健康問題	いじめ	不登校	非行	家庭内暴力	就職	結婚	その他	特に悩んでいることはない	無回答
相対的貧困層	148	55.4	14.2	26.4	3.4	12.8	3.4	4.7	—	1.4	8.1	2.0	2.0	30.4	—
非相対的貧困層	718	59.7	24.0	21.7	1.3	16.0	2.4	4.3	0.4	0.1	4.3	1.0	3.8	24.8	1.4

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「友人関係」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「しつけ」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	学力・進学	しつけ	友人関係	異性関係	病気・健康問題	いじめ	不登校	非行	家庭内暴力	就職	結婚	その他	特に悩んでいることはない	無回答
母子・父子・養育者世帯	125	56.0	15.2	30.4	5.6	19.2	4.0	6.4	0.8	0.8	8.8	1.6	5.6	27.2	0.8
その他の世帯	880	59.0	23.0	21.0	1.0	14.4	3.0	4.5	0.6	0.3	4.9	1.1	3.0	27.2	1.3

【家族のことなどで困っていること別】

家族のことなどで困っていること別でみると、他に比べ、家族の団らんや会話が少ないで「学力・進学」「病気・健康問題」の割合が、家にお金がない(少ない)で「不登校」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	学力・進学	しつけ	友人関係	異性関係	病気・健康問題	いじめ	不登校	非行	家庭内暴力	就職	結婚	その他	特にはない	特に悩んでいること	無回答
家族の団らんや会話が少ない	15	86.7	33.3	33.3	—	46.7	—	6.7	—	—	6.7	—	6.7	6.7	—	—
親が厳しい(厳しく注意する)	59	66.1	35.6	22.0	1.7	13.6	5.1	6.8	—	—	3.4	—	6.8	20.3	3.4	—
親が自分の気持ちをわかってくれない	88	69.3	26.1	27.3	1.1	18.2	4.5	4.5	1.1	—	3.4	1.1	3.4	14.8	2.3	—
親同士の仲が良くない	37	64.9	35.1	27.0	—	21.6	2.7	2.7	—	—	5.4	—	2.7	18.9	—	—
きょうだいとの仲が良くない	54	61.1	38.9	18.5	1.9	29.6	5.6	3.7	—	—	—	—	3.7	14.8	1.9	—
家で落ち着いて勉強できない	54	64.8	24.1	27.8	3.7	18.5	3.7	9.3	—	—	3.7	—	9.3	22.2	1.9	—
家事や家族の世話が大変	12	58.3	16.7	16.7	—	8.3	—	—	—	—	8.3	—	—	25.0	—	—
食べるごはんがないときがある	3	33.3	66.7	66.7	—	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—	—	—
着る服が洗濯されていない	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
家の中が散らかっている	55	61.8	20.0	34.5	1.8	18.2	7.3	5.5	—	—	7.3	—	9.1	20.0	1.8	—
家にお金がない(少ない)	40	60.0	35.0	35.0	2.5	25.0	10.0	15.0	—	—	5.0	—	2.5	20.0	—	—
その他	24	66.7	20.8	16.7	—	12.5	4.2	4.2	—	—	—	—	8.3	12.5	4.2	—
特になし	708	56.8	20.1	21.5	1.6	13.8	2.7	4.2	0.7	0.6	5.2	1.6	2.8	29.7	1.0	—

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「学力・進学」「病気・健康問題」「不登校」の割合が、自己肯定感「高」で「特に悩んでいることはない」の割合が高くなっています。

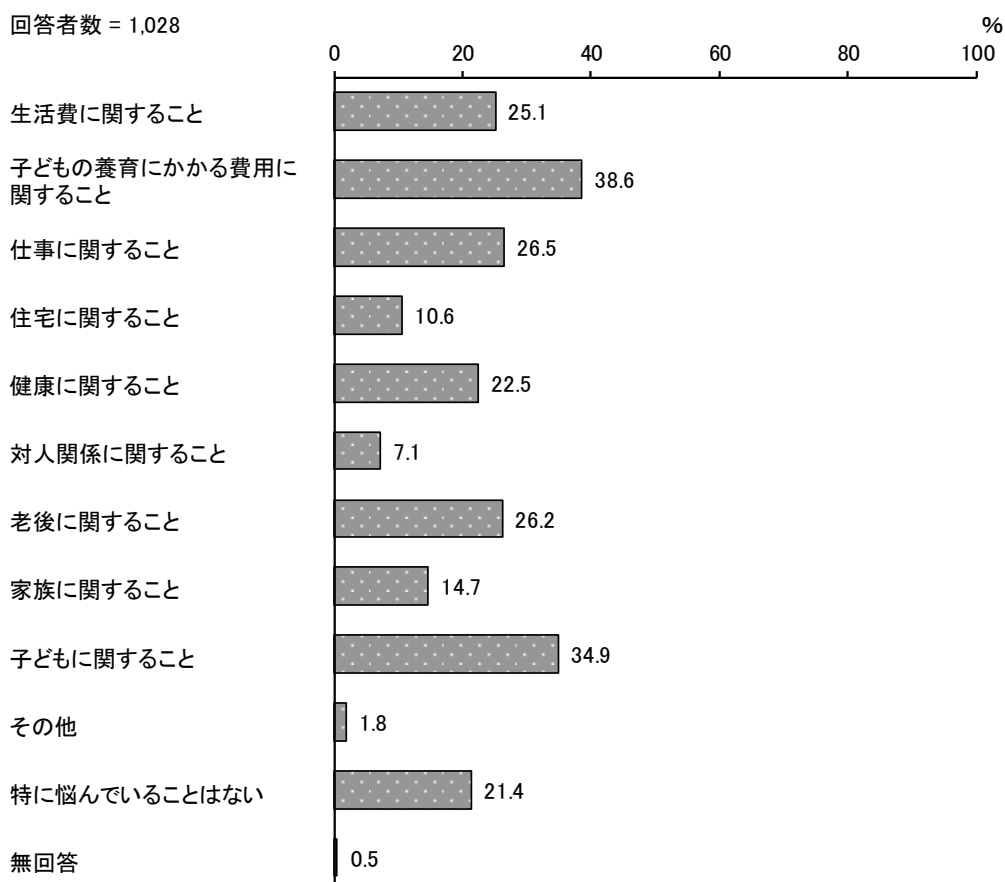
単位：％

区分	回答者数(件)	学力・進学	しつけ	友人関係	異性関係	病気・健康問題	いじめ	不登校	非行	家庭内暴力	就職	結婚	その他	特に悩んでいることはない	無回答
自己肯定感「高」	483	53.0	19.3	19.3	0.2	13.9	3.1	3.3	0.2	—	4.6	1.2	4.1	33.5	1.0
自己肯定感「中」	435	63.9	23.7	24.1	2.5	15.6	2.8	5.3	0.9	0.9	6.0	1.4	1.8	21.6	1.4
自己肯定感「低」	58	69.0	29.3	29.3	5.2	25.9	5.2	10.3	1.7	—	5.2	—	3.4	12.1	1.7

問 20 あなたは、現在、ご自身の生活に関して、どのようなことについて悩んでいますか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもの養育にかかる費用に関すること」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「子どもに関すること」の割合が 34.9%、「仕事に関すること」の割合が 26.5%となっています。

回答者数 = 1,028



【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「仕事に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
小学生	561	25.3	38.1	30.5	12.3	22.1	8.7	25.1	13.9	37.4	1.4	22.1	0.2
中学生	423	25.3	40.7	22.0	8.5	24.3	4.7	28.4	15.1	32.6	2.1	20.1	0.9

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「生活費に関すること」「子どもの養育にかかる費用に関すること」「住宅に関すること」「老後に関すること」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「特に悩んでいることはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
相対的貧困層	148	45.3	52.0	27.7	19.6	23.0	6.1	35.8	16.2	34.5	1.4	14.9	0.7
非相対的貧困層	718	21.2	34.8	26.9	8.1	22.4	6.7	23.4	14.1	35.8	1.8	22.3	0.3

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「生活費に関すること」「子どもの養育にかかる費用に関すること」「仕事に関すること」「住宅に関すること」「健康に関すること」「老後に関すること」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「特に悩んでいることはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
母子・父子・養育者世帯	125	43.2	50.4	35.2	20.0	31.2	8.8	37.6	15.2	39.2	1.6	14.4	1.6
その他の世帯	880	22.7	37.3	25.3	9.4	21.7	6.9	24.8	14.3	34.7	1.7	22.4	0.2

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「生活費に関すること」「子どもの養育にかかる費用に関すること」「住宅に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
自己肯定感「高」	483	23.4	38.5	27.5	8.9	21.5	7.2	23.4	13.5	33.1	1.7	22.8	0.2
自己肯定感「中」	435	26.2	39.1	25.1	11.3	25.1	6.2	29.7	15.2	37.0	1.6	20.5	0.7
自己肯定感「低」	58	36.2	46.6	31.0	20.7	20.7	12.1	29.3	13.8	41.4	1.7	10.3	1.7

【あなた自身の家族とのかかわりについて（１）あなたの両親が離婚した別】

あなた自身の家族とのかかわりについて（１）あなたの両親が離婚した別でみると、経験したことはないに比べ、経験したことがあるで「生活費に関すること」「子どもの養育にかかる費用に関すること」「老後に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
経験したことがある	109	38.5	49.5	27.5	13.8	23.9	8.3	34.9	15.6	35.8	—	22.0	0.9
経験したことはない	903	23.7	37.0	26.1	10.3	22.3	7.0	24.8	14.7	34.8	1.9	21.6	0.3

【あなた自身の家族とのかかわりについて（２）あなたが成人する前に父または母が亡くなった別】

あなた自身の家族とのかかわりについて（２）あなたが成人する前に父または母が亡くなった別でみると、経験したことはないに比べ、経験したことがあるで「生活費に関すること」「子どもの養育にかかる費用に関すること」「健康に関すること」「家族に関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
経験したことがある	43	30.2	48.8	25.6	14.0	32.6	11.6	30.2	25.6	37.2	—	25.6	—
経験したことはない	963	24.7	37.6	26.1	10.5	21.9	6.9	25.5	14.3	34.7	1.8	21.6	0.4

【あなた自身の家族とのかかわりについて（3）家庭内の事情により、親と離れて暮らしたことがある別】

あなた自身の家族とのかかわりについて（3）家庭内の事情により、親と離れて暮らしたことがある別でみると、経験したことはないに比べ、経験したことがあるで「生活費に関すること」「子どもの養育にかかる費用に関すること」「仕事に関すること」「住宅に関すること」「健康に関すること」「対人関係に関すること」「老後に関すること」「家族に関すること」「子どもに関すること」「その他」の割合が高くなっています。一方、経験したことがあるに比べ、経験したことはないで「特に悩んでいることはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
経験したことがある	71	45.1	43.7	36.6	12.7	31.0	11.3	28.2	21.1	40.8	2.8	11.3	1.4
経験したことはない	937	23.6	37.8	25.4	10.5	21.8	6.7	25.6	14.3	34.4	1.6	22.5	0.3

【あなた自身の家族とのかかわりについて（4）親から暴力をふるわれたことがある別】

あなた自身の家族とのかかわりについて（4）親から暴力をふるわれたことがある別でみると、経験したことはないに比べ、経験したことがあるで「生活費に関すること」「子どもの養育にかかる費用に関すること」「住宅に関すること」「健康に関すること」「対人関係に関すること」「老後に関すること」「家族に関すること」の割合が高くなっています。一方、経験したことがあるに比べ、経験したことはないで「特に悩んでいることはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
経験したことがある	129	34.1	45.7	29.5	17.1	28.7	16.3	36.4	24.0	38.8	2.3	17.1	—
経験したことはない	877	23.8	37.3	25.9	9.6	21.4	5.8	24.3	13.3	34.1	1.6	22.3	0.5

【あなた自身の家族とのかかわりについて（５）親に暴力をふるったことがある別】

あなた自身の家族とのかかわりについて（５）親に暴力をふるったことがある別でみると、経験したことはないに比べ、経験したことがあるで「生活費に関すること」「仕事に関すること」「住宅に関すること」「健康に関すること」「対人関係に関すること」「老後に関すること」「家族に関すること」「子どもに関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
経験したことがある	22	31.8	40.9	31.8	27.3	36.4	18.2	45.5	45.5	45.5	4.5	18.2	—
経験したことはない	984	24.9	38.1	26.0	10.2	22.1	6.8	25.3	14.0	34.6	1.6	21.8	0.4

【あなた自身の家族とのかかわりについて（６）親と疎遠になっている（なっていた）別】

あなた自身の家族とのかかわりについて（６）親と疎遠になっている（なっていた）別でみると、経験したことはないに比べ、経験したことがあるで「生活費に関すること」「仕事に関すること」「健康に関すること」「対人関係に関すること」「老後に関すること」「家族に関すること」「子どもに関すること」の割合が高くなっています。一方、経験したことがあるに比べ、経験したことはないで「特に悩んでいることはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
経験したことがある	101	43.6	41.6	33.7	13.9	28.7	11.9	35.6	21.8	39.6	2.0	14.9	1.0
経験したことはない	909	23.0	37.7	25.4	10.3	21.7	6.6	24.6	14.0	34.3	1.7	22.6	0.3

【可処分所得別】

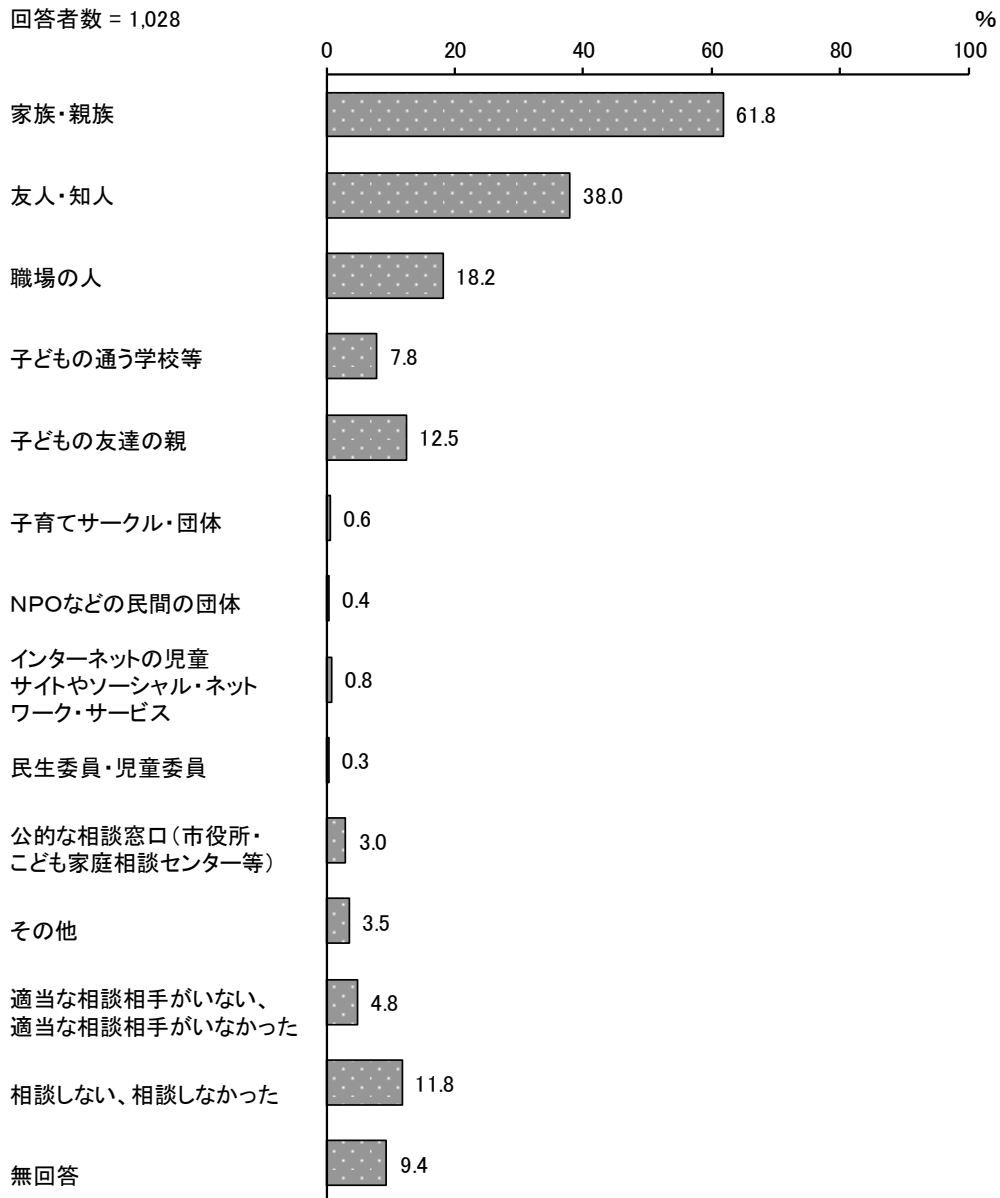
可処分所得別で見ると、他に比べ、100万円以上～200万円未満で「子どもの養育にかかる費用に関すること」の割合が、100万円以上～200万円未満、200万円以上～300万円未満で「老後に関すること」の割合が高くなっています。また、400万円以上～500万円未満、900万円以上～1,000万円未満で「子どもに関すること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	生活費に関すること	子どもの養育にかかる費用に関すること	仕事に関すること	住宅に関すること	健康に関すること	対人関係に関すること	老後に関すること	家族に関すること	子どもに関すること	その他	特に悩んでいることはない	無回答
100万円未満	42	47.6	50.0	31.0	19.0	23.8	7.1	28.6	21.4	35.7	—	16.7	—
100万円以上～200万円未満	62	43.5	56.5	27.4	17.7	29.0	1.6	37.1	11.3	33.9	1.6	12.9	—
200万円以上～300万円未満	70	41.4	48.6	24.3	15.7	22.9	11.4	41.4	12.9	34.3	2.9	12.9	2.9
300万円以上～400万円未満	99	43.4	50.5	31.3	16.2	25.3	7.1	25.3	16.2	35.4	1.0	16.2	—
400万円以上～500万円未満	125	23.2	40.8	24.0	12.8	24.8	9.6	31.2	14.4	42.4	1.6	14.4	0.8
500万円以上～600万円未満	139	25.9	41.0	30.2	5.8	23.7	8.6	28.1	10.8	35.3	1.4	20.9	—
600万円以上～700万円未満	89	16.9	30.3	28.1	7.9	18.0	6.7	14.6	11.2	29.2	1.1	27.0	—
700万円以上～800万円未満	79	15.2	27.8	30.4	5.1	19.0	3.8	19.0	12.7	34.2	5.1	22.8	—
800万円以上～900万円未満	52	9.6	36.5	23.1	3.8	25.0	3.8	23.1	23.1	32.7	1.9	21.2	—
900万円以上～1,000万円未満	42	4.8	—	23.8	—	11.9	4.8	16.7	16.7	40.5	—	35.7	—
1,000万円以上	75	2.7	16.0	21.3	5.3	18.7	2.7	10.7	17.3	34.7	1.3	42.7	—
わからない	91	25.3	42.9	24.2	16.5	25.3	14.3	28.6	18.7	31.9	2.2	22.0	1.1

問 21 あなたは、問 19・20 の悩みをどなた（どこ）に相談されていますか。（されましたか。）（あてはまるものすべてに○）

「家族・親族」の割合が 61.8%と最も高く、次いで「友人・知人」の割合が 38.0%、「職場の人」の割合が 18.2%となっています。



【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「家族・親族」「職場の人」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	職場の人	子どもの通う学校等	子どもの友達の親	子育てサークル・団体	NPOなどの民間の団体	インターネットの児童サイトやソーシャル・ネットワーク・サービス	民生委員・児童委員	公的な相談窓口(市役所・こども家庭相談センター等)	その他	適当な相談相手がいなかった	相談しない、相談しなかった	無回答
相対的貧困層	148	46.6	35.1	11.5	9.5	9.5	0.7	0.7	—	—	5.4	4.1	8.1	15.5	10.1
非相対的貧困層	718	64.2	39.3	20.3	7.1	13.4	0.7	0.4	1.0	0.3	2.5	3.3	4.0	12.3	8.6

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「家族・親族」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	職場の人	子どもの通う学校等	子どもの友達の親	子育てサークル・団体	NPOなどの民間の団体	インターネットの児童サイトやソーシャル・ネットワーク・サービス	民生委員・児童委員	公的な相談窓口(市役所・こども家庭相談センター等)	その他	適当な相談相手がいなかった	相談しない、相談しなかった	無回答
母子・父子・養育者世帯	125	46.4	41.6	20.0	4.8	9.6	0.8	0.8	0.8	0.8	4.0	6.4	5.6	14.4	7.2
その他の世帯	880	63.6	37.4	18.2	8.4	12.7	0.6	0.3	0.7	0.2	3.0	3.2	4.8	11.4	9.7

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「職場の人」の割合が高くなっています。

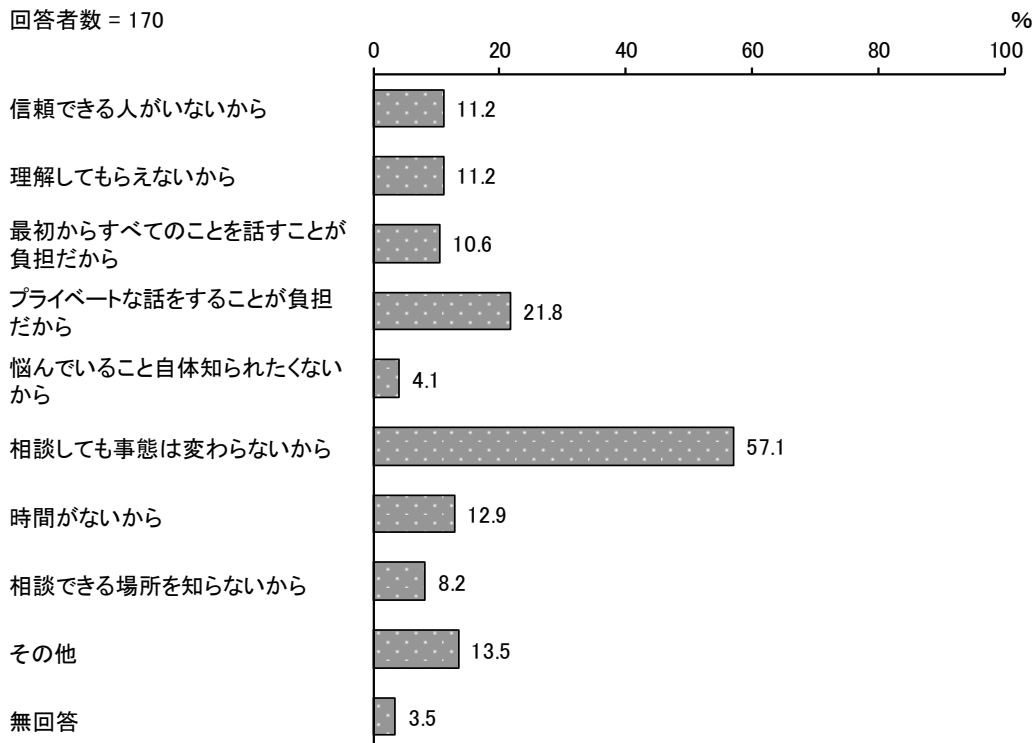
単位：％

区分	回答者数(件)	家族・親族	友人・知人	職場の人	子どもの通う学校等	子どもの友達の親	子育てサークル・団体	NPOなどの民間の団体	インターネットの児童サイトやソーシャル・ネットワーク・サービス	民生委員・児童委員	公的な相談窓口(市役所・こども家庭相談センター等)	その他	適切な相談相手がいなかった	相談しない、相談しなかった	無回答
自己肯定感「高」	483	64.8	40.2	17.6	7.0	13.0	1.0	—	1.0	0.2	2.3	3.9	4.8	9.3	9.1
自己肯定感「中」	435	60.0	35.9	18.2	8.5	13.3	0.2	0.7	0.5	0.5	3.4	3.0	5.1	14.0	9.7
自己肯定感「低」	58	60.3	34.5	22.4	10.3	8.6	—	1.7	1.7	—	5.2	1.7	5.2	12.1	3.4

問 21- 1 その理由を教えてください(あてはまるものすべてに○)

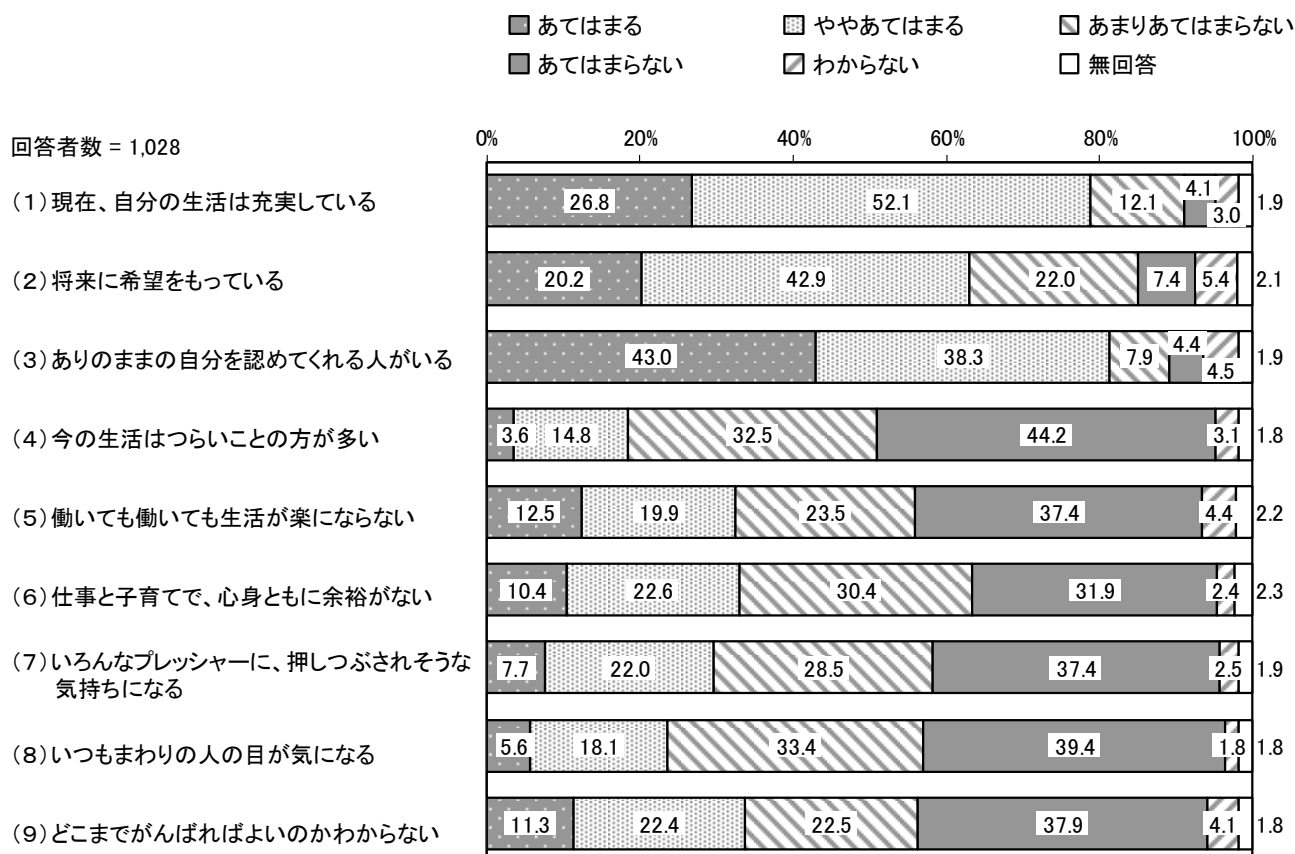
「相談しても事態は変わらないから」の割合が57.1%と最も高く、次いで「プライベートな話をするのが負担だから」の割合が21.8%、「時間がないから」の割合が12.9%となっています。

回答者数 = 170



問 22 あなたの現在の生活意識について教えてください。(それぞれ1つに○)

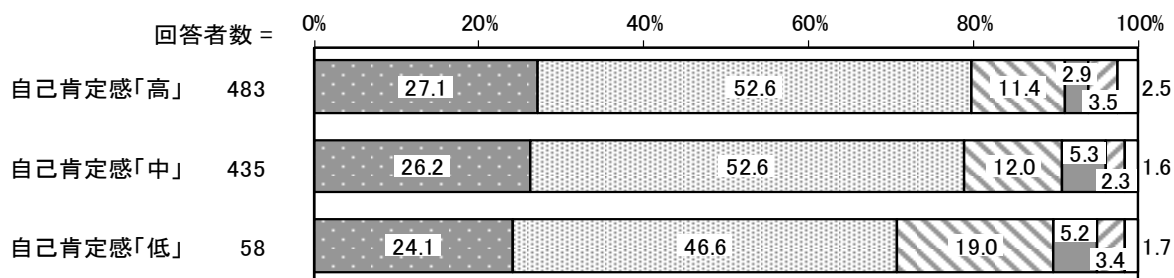
『(1) 現在、自分の生活は充実している』『(2) 将来に希望をもっている』『(3) ありのままの自分を認めてくれる人がいる』で「あてはまる」と「ややあてはまる」をあわせた“あてはまる”の割合が高くなっています。一方、『(4) 今の生活はつらいことの方が多い』『(8) いつもまわりの人の目が気になる』で「あまりあてはまらない」「あてはまらない」をあわせた“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(1) 現在、自分の生活は充実している

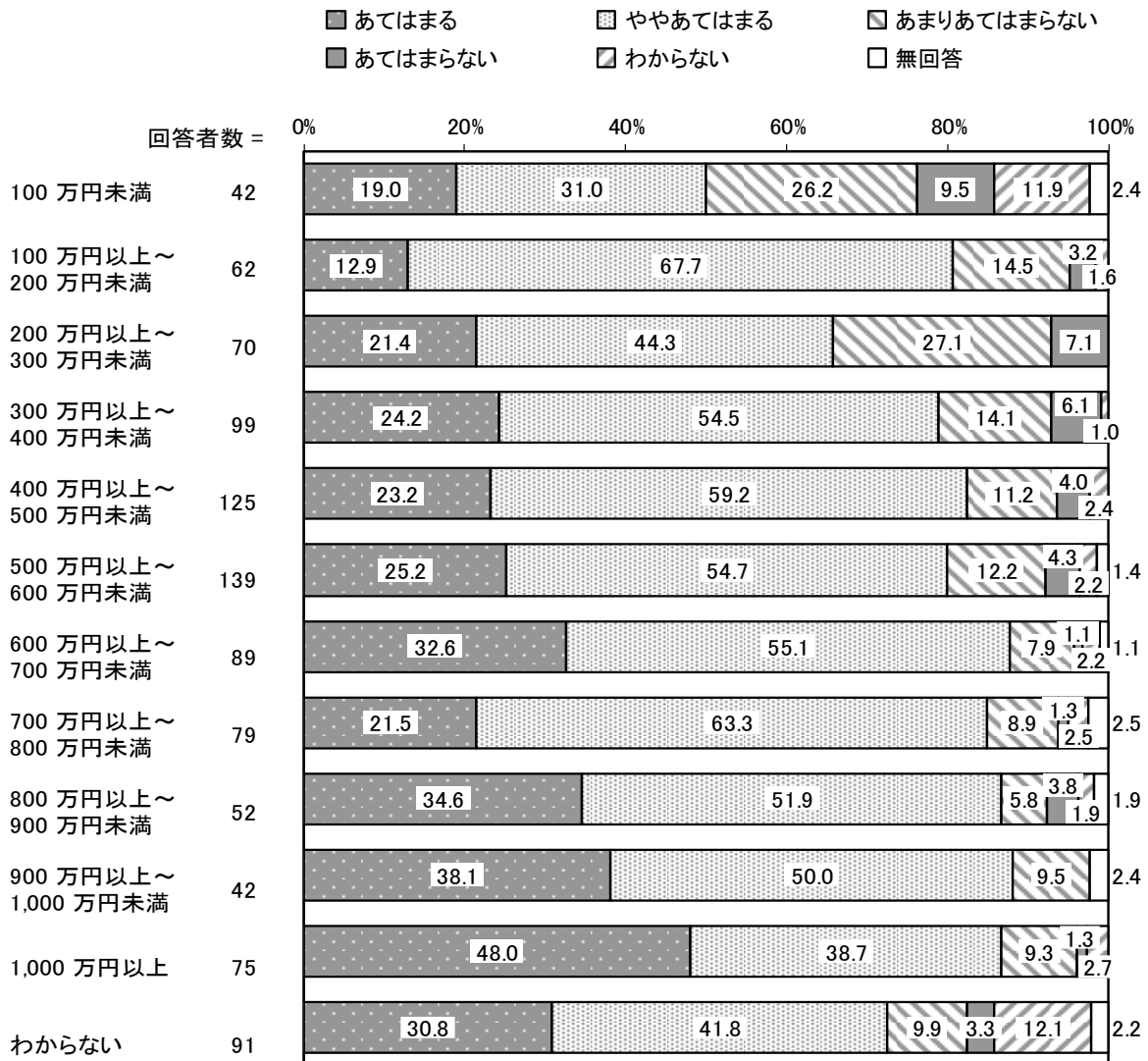
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、自己肯定感が低い人ほど“あてはまらない”の割合が高くなっています。



【可処分所得別】

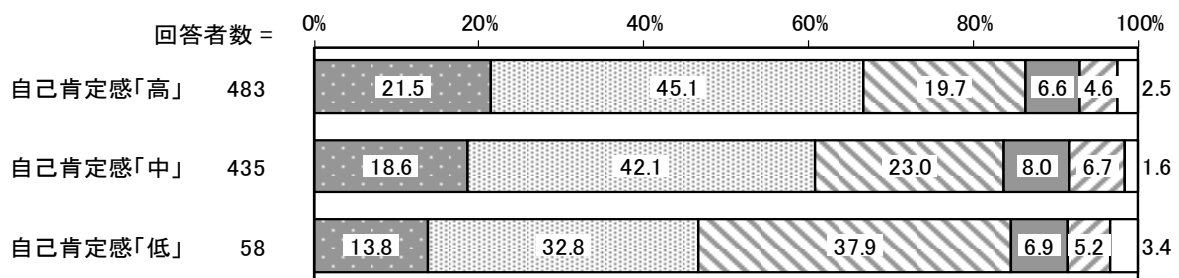
可処分所得別で見ると、他に比べ、600 万円以上～700 万円未満、800 万円以上～900 万円未満、900 万円以上～1,000 万円未満、1,000 万円以上で“あてはまる”の割合が、100 万円未満で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(2) 将来に希望をもっている

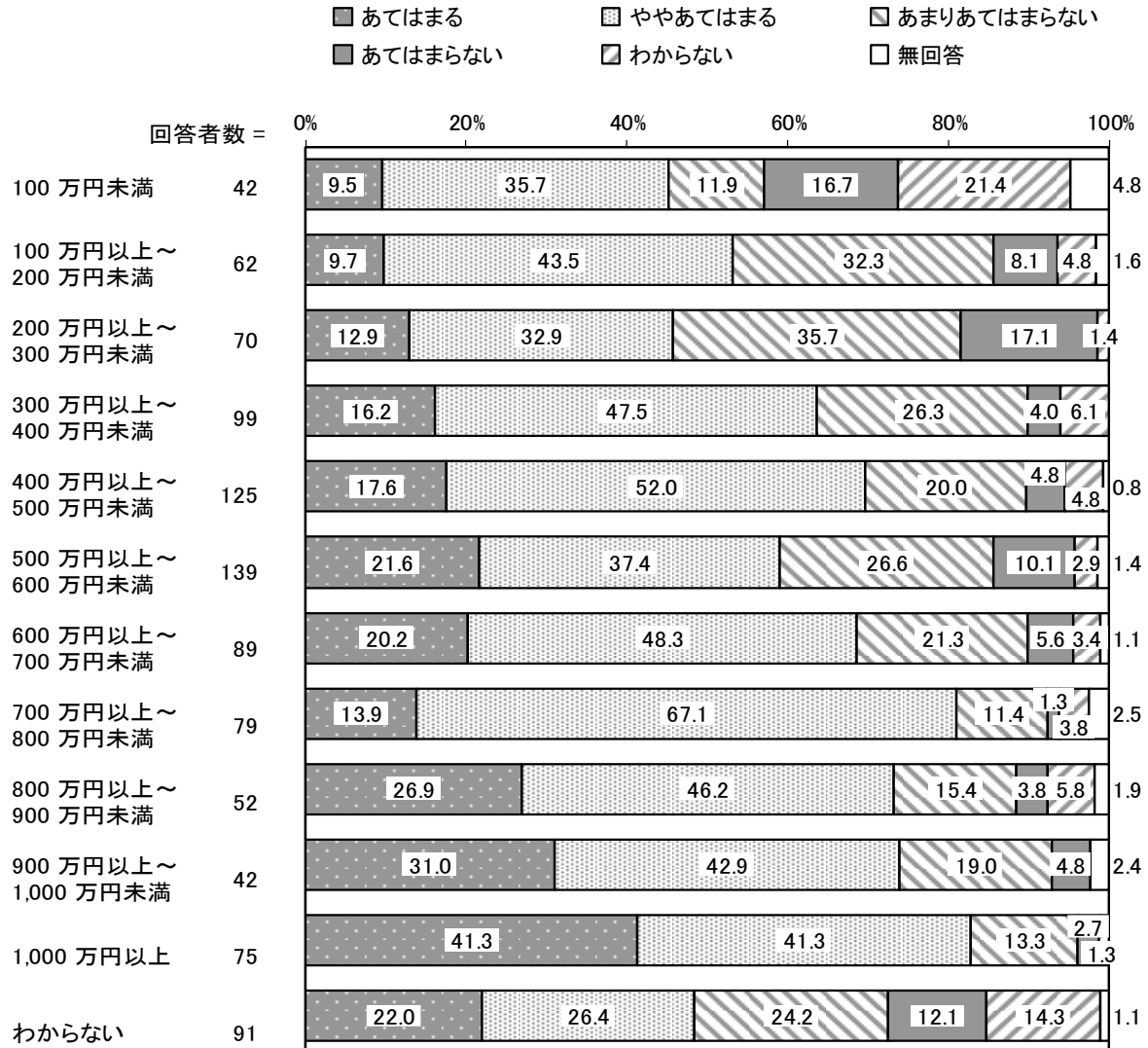
【自己肯定感別】

自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「高」、自己肯定感「中」で“あてはまる”の割合が、自己肯定感「低」で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



【可処分所得別】

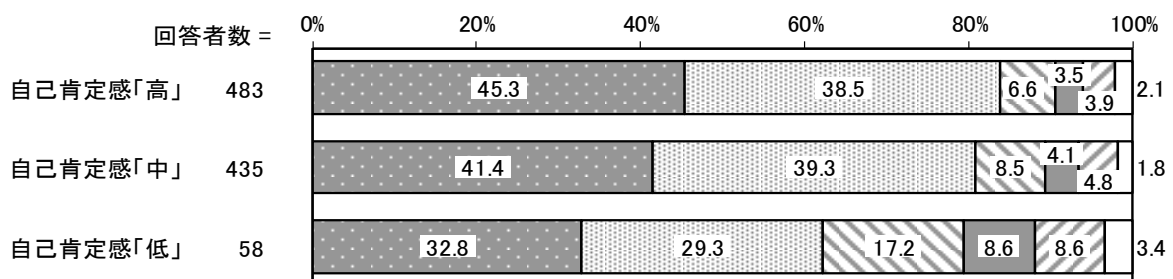
可処分所得別で見ると、他に比べ、700 万円以上～800 万円未満、1,000 万円以上で“あてはまる”の割合が、200 万円以上～300 万円未満で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(3) ありのままの自分を認めてくれる人がいる

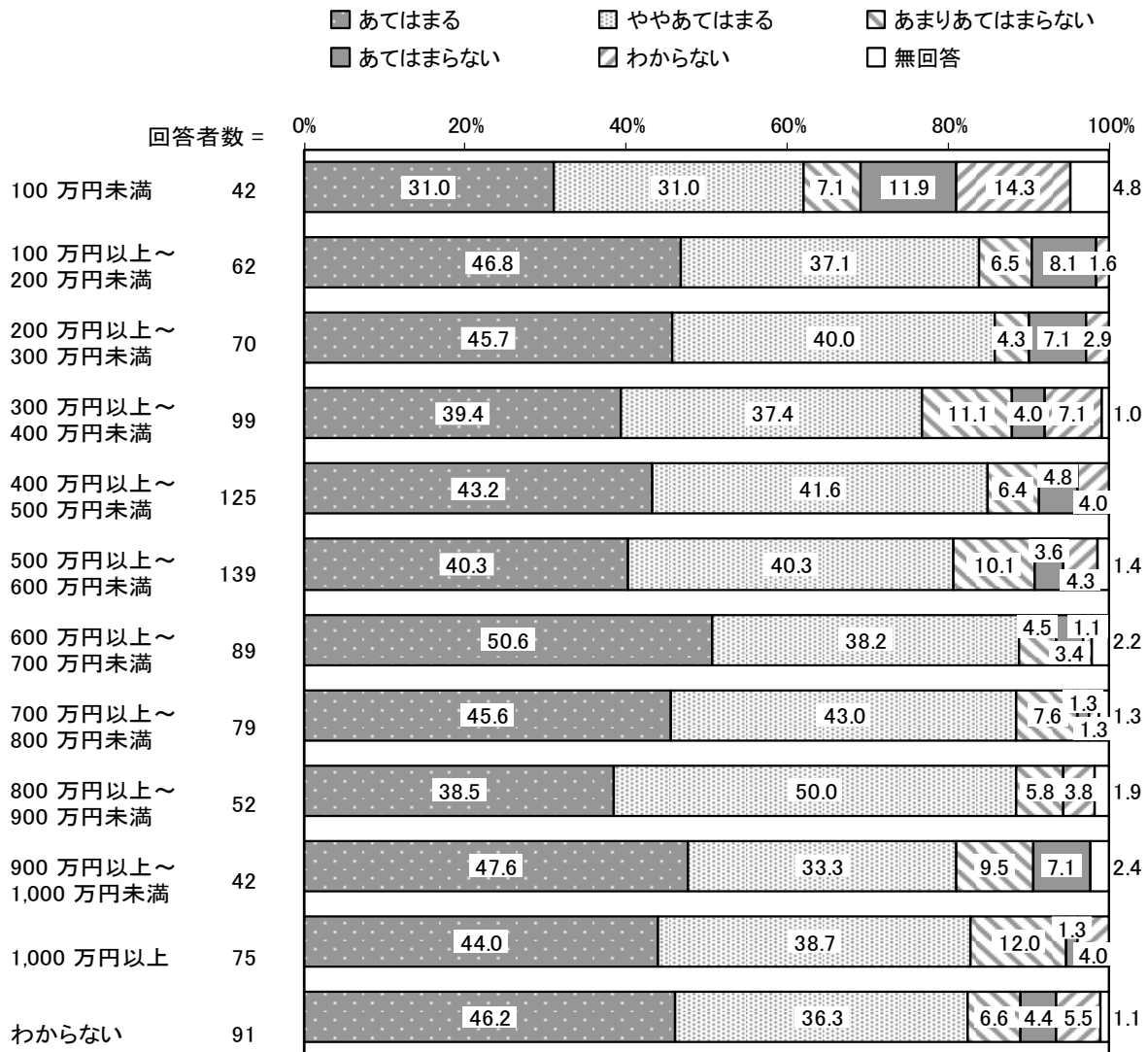
【自己肯定感別】

自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「高」、自己肯定感「中」で“あてはまる”の割合が、自己肯定感「低」で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



【可処分所得別】

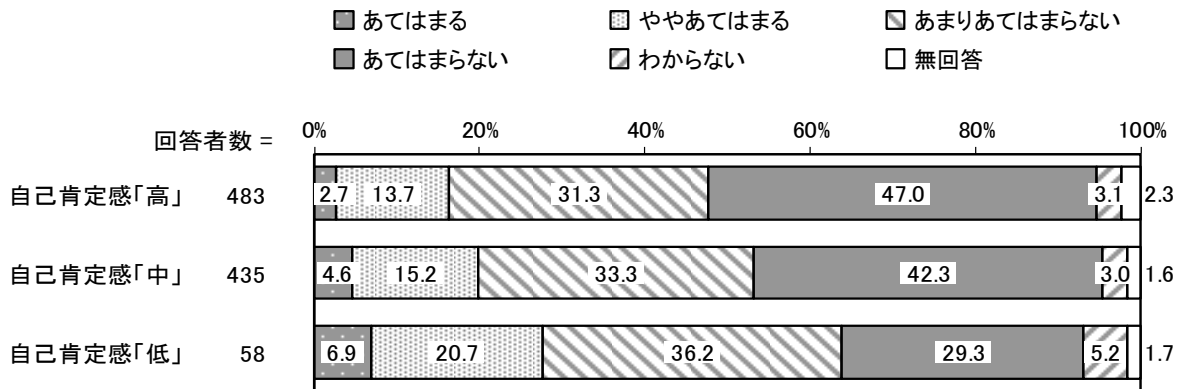
可処分所得別で見ると、他に比べ、600 万円以上～700 万円未満、700 万円以上～800 万円未満、800 万円以上～900 万円未満で“あてはまる”の割合が、100 万円未満で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(4) 今の生活はつらいことの方が多い

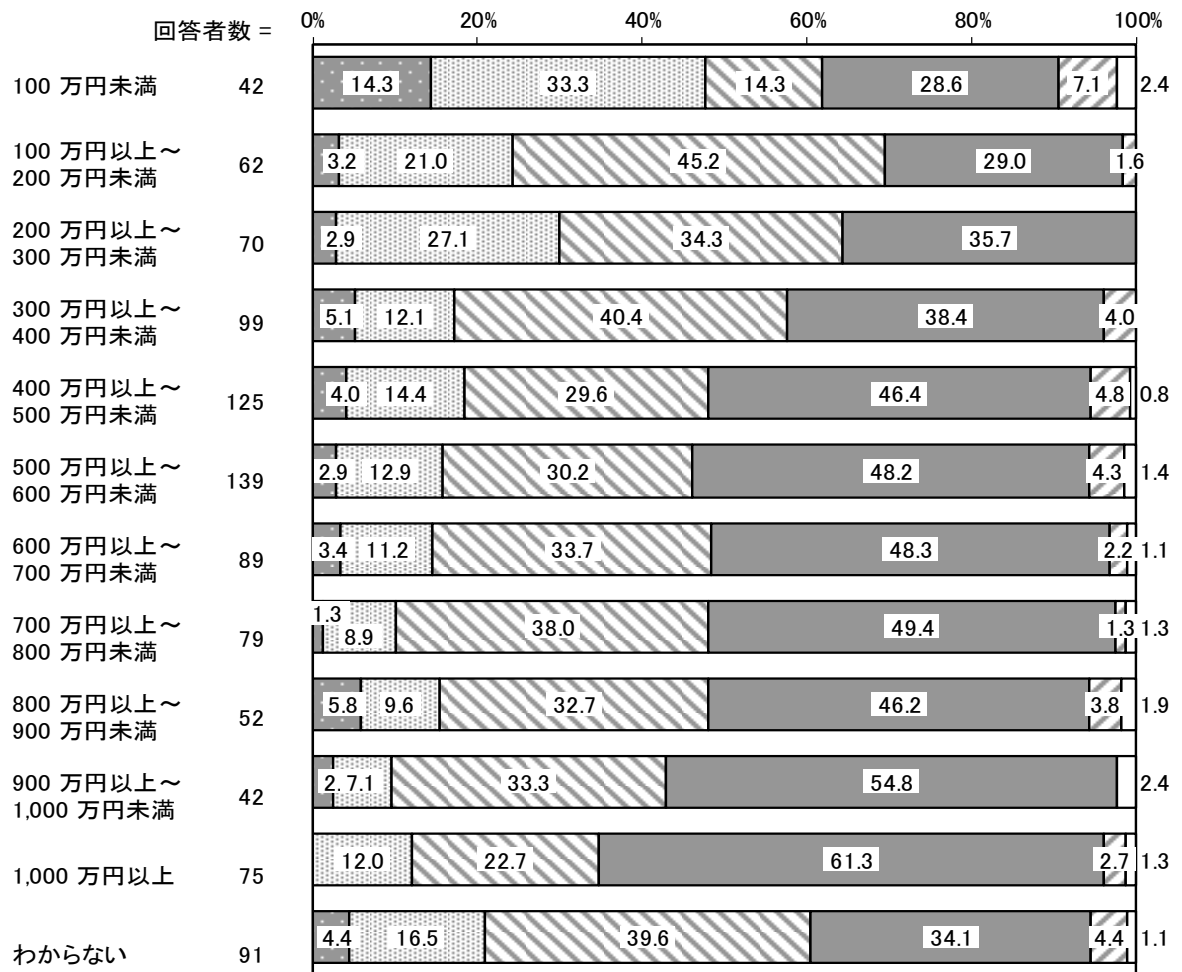
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で“あてはまる”の割合が高くなっています。



【可処分所得別】

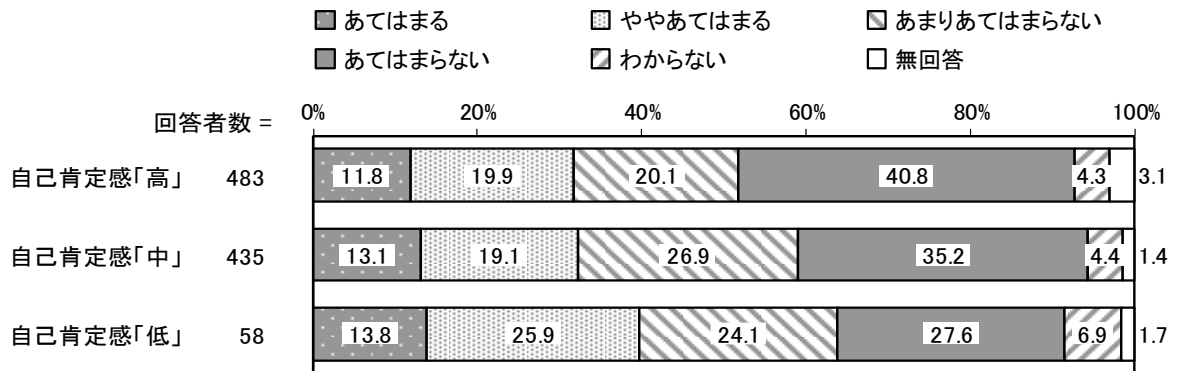
可処分所得別でみると、他に比べ、100万円未満で“あてはまる”の割合が、700万円以上～800万円未満、900万円以上～1,000万円未満で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(5) 働いても働いても生活が楽にならない

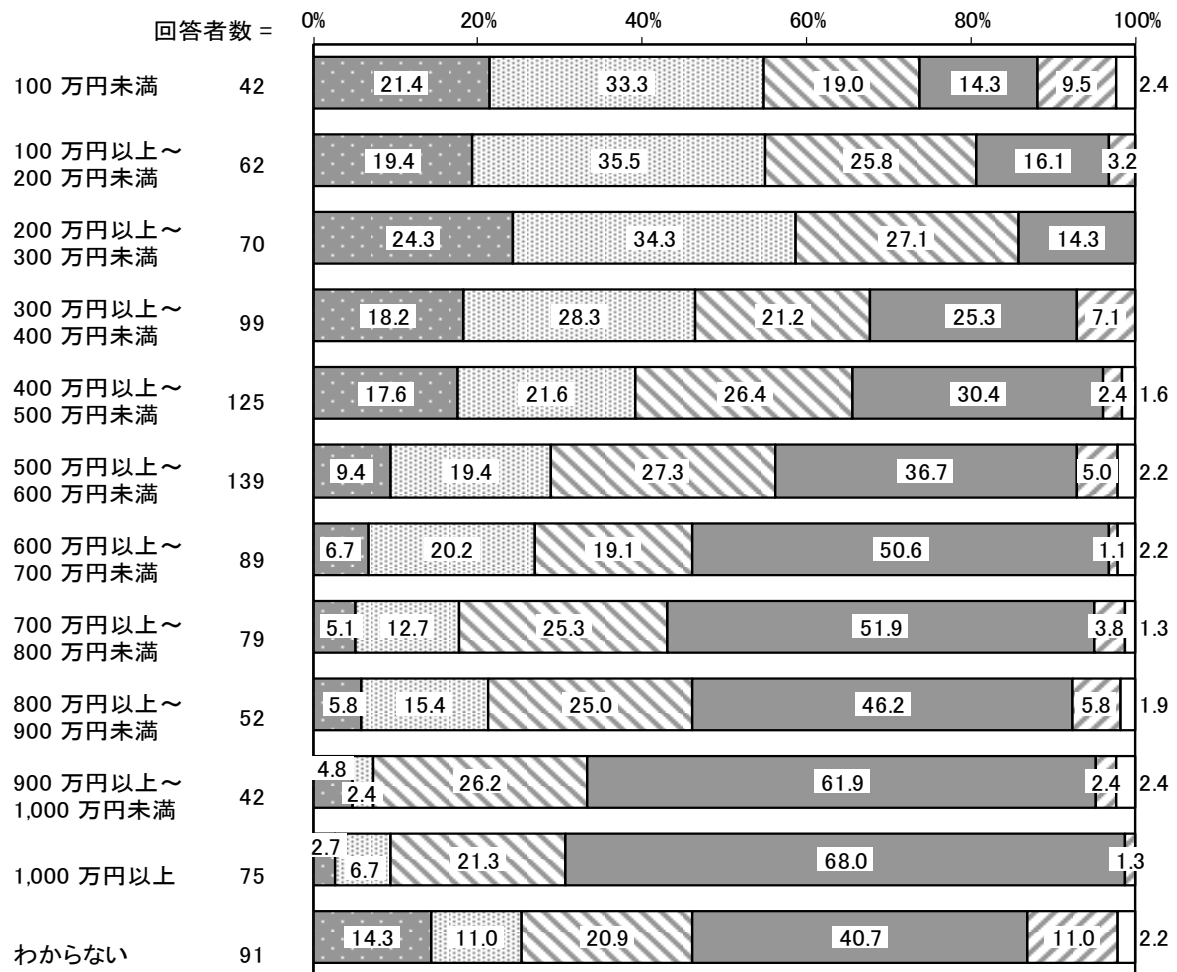
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で“あてはまる”の割合が高くなっています。



【可処分所得別】

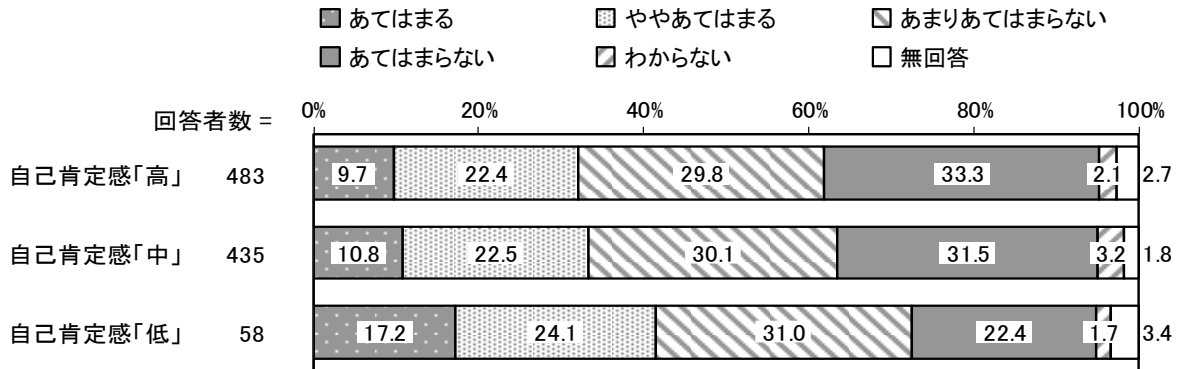
可処分所得別でみると、他に比べ、100万円未満、100万円以上～200万円未満、200万円以上～300万円未満で“あてはまる”の割合が、900万円以上～1,000万円未満、1,000万円以上で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(6) 仕事と子育てで、心身ともに余裕がない

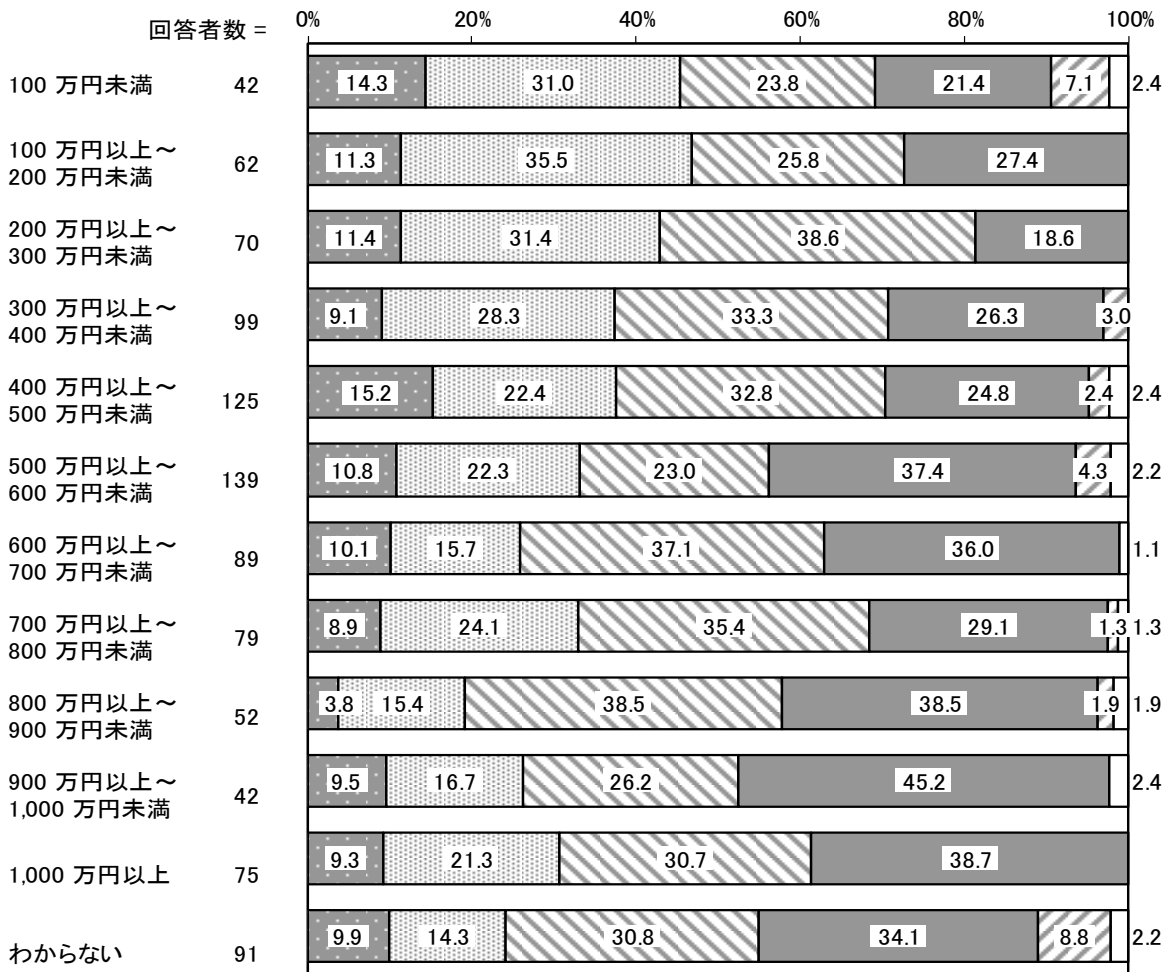
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で“あてはまる”の割合が高くなっています。



【可処分所得別】

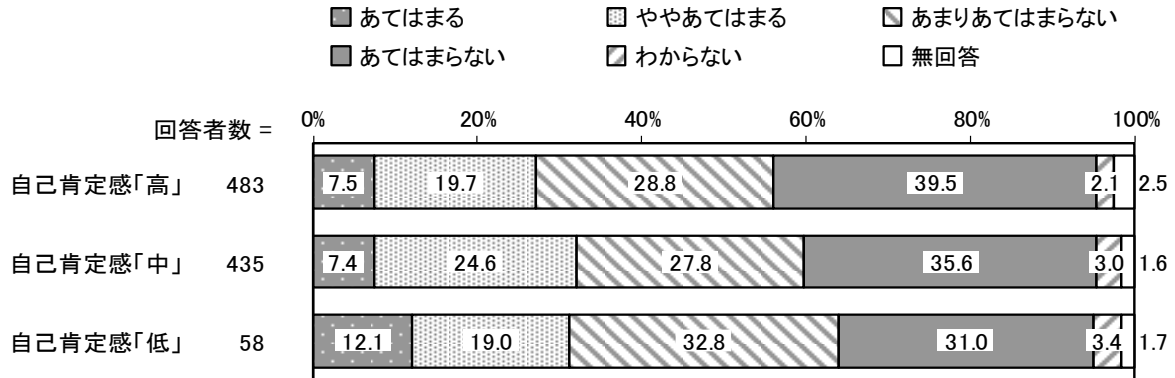
可処分所得別でみると、他に比べ、100万円未満、100万円以上～200万円未満で“あてはまる”の割合が、800万円以上～900万円未満で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(7) いろんなプレッシャーに、押しつぶされそうな気持ちになる

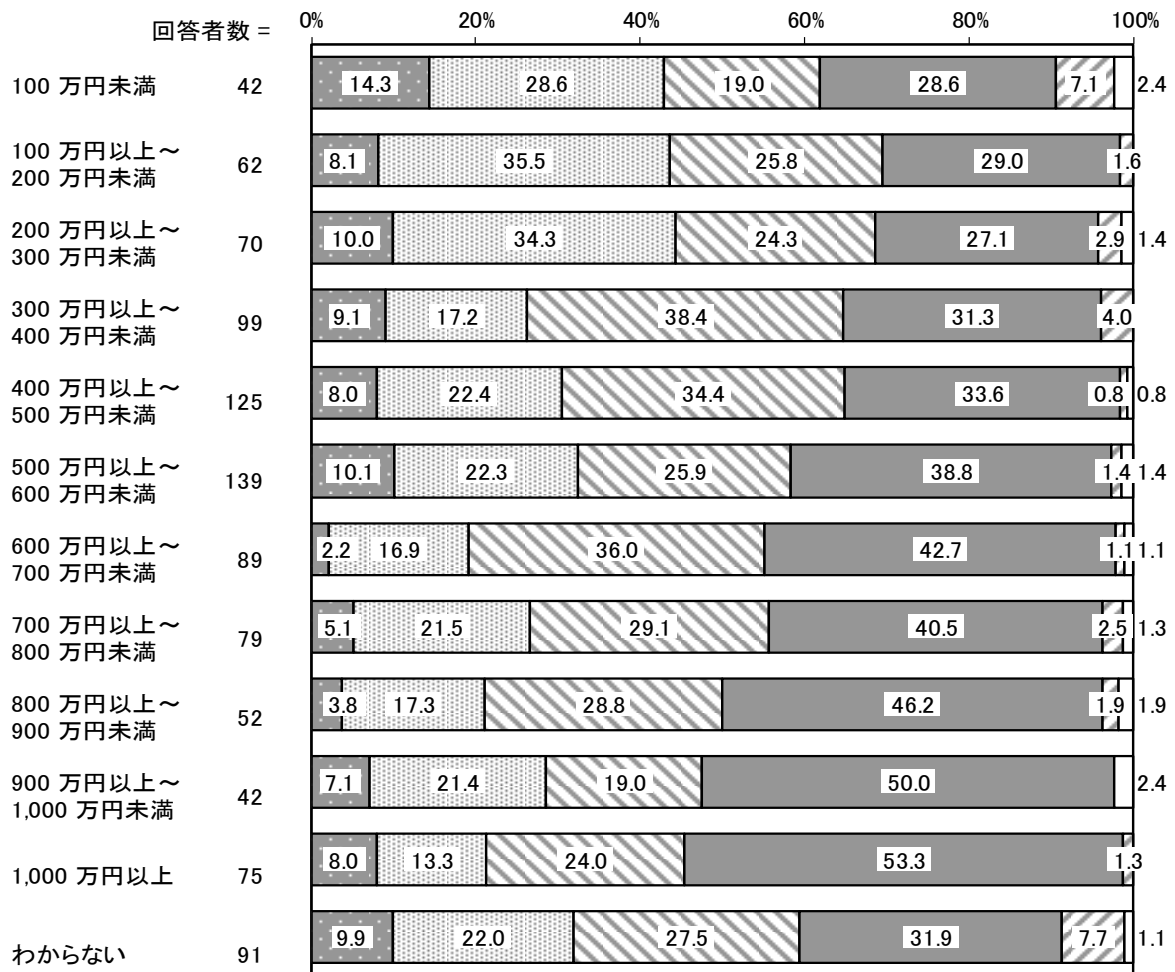
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



【可処分所得別】

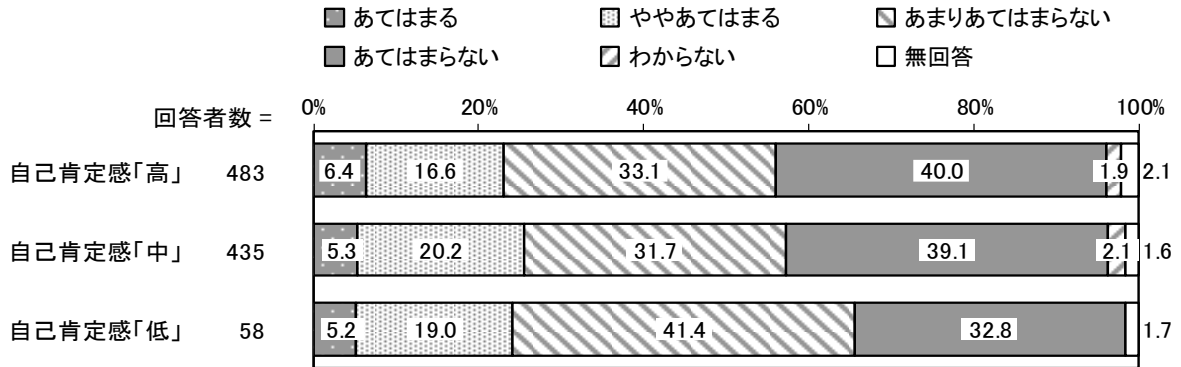
可処分所得別でみると、他に比べ、100 万円未満、100 万円以上～200 万円未満、200 万円以上～300 万円未満で“あてはまる”の割合が、600 万円以上～700 万円未満、800 万円以上～900 万円未満、1,000 万円以上で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



(8) いつもまわりの人の目が気になる

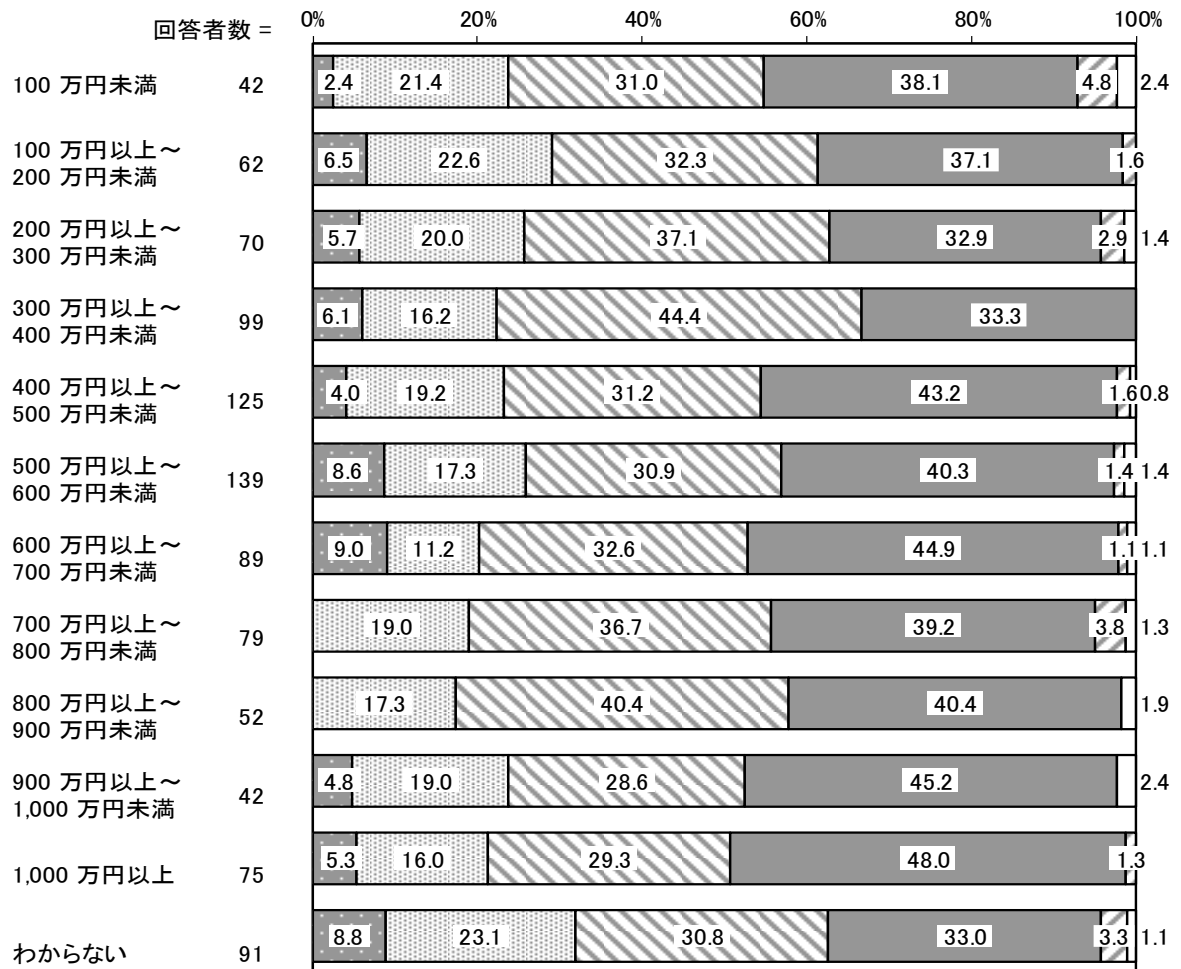
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



【可処分所得別】

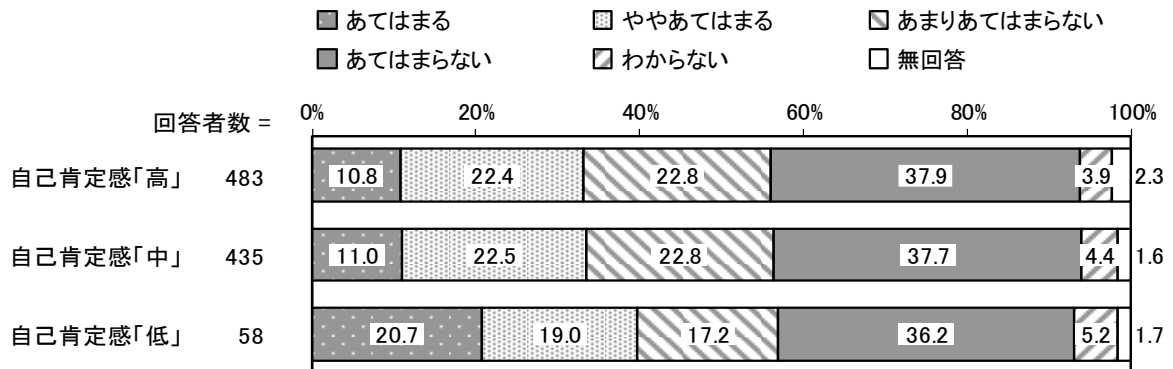
可処分所得別でみると、大きな差異はみられません。



(9) どこまでがんばればよいのかわからない

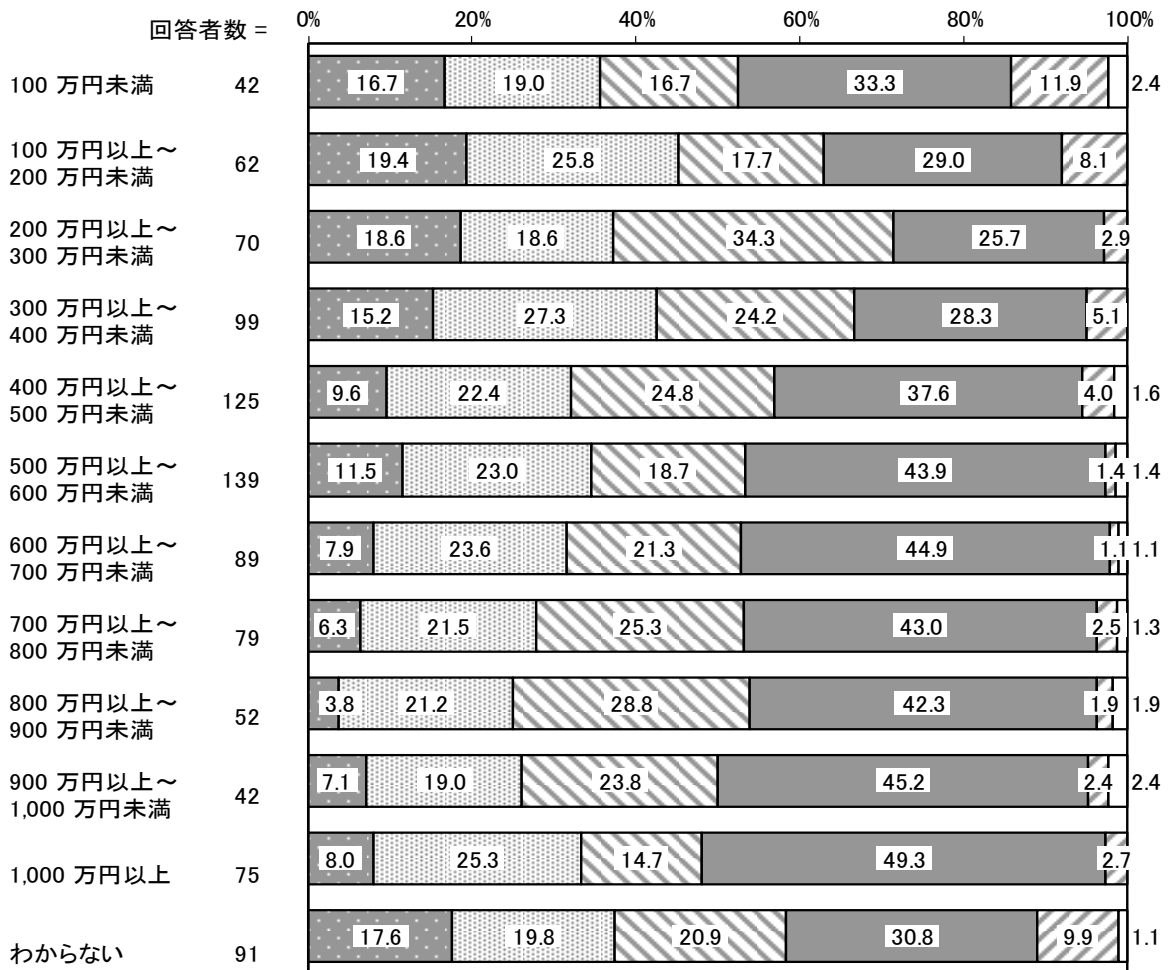
【自己肯定感別】

自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「高」、自己肯定感「中」で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



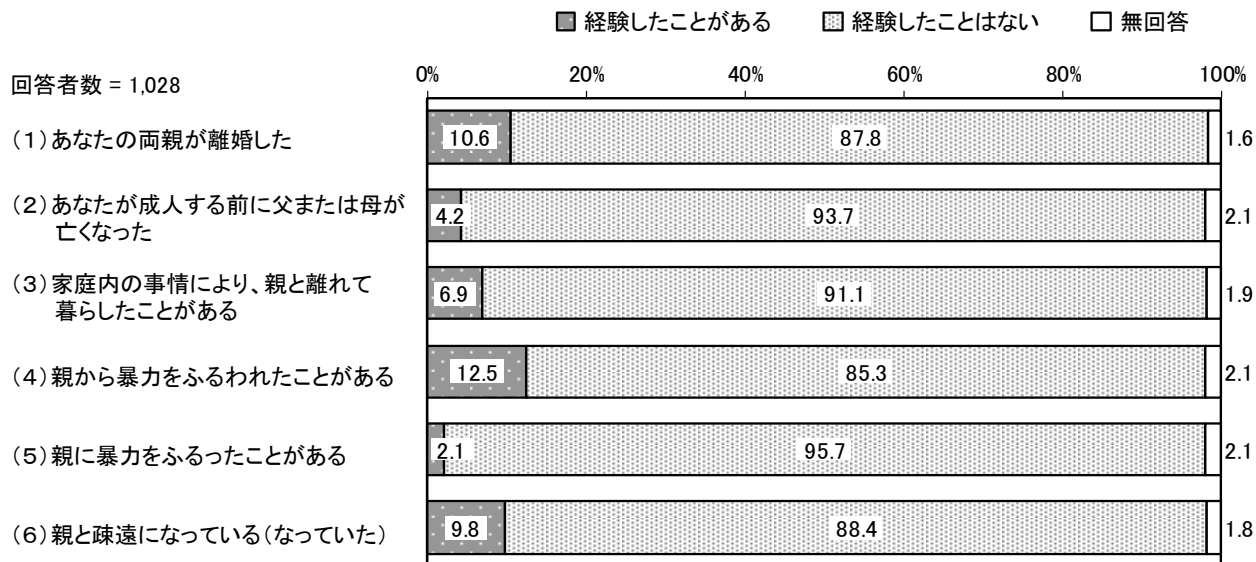
【可処分所得別】

可処分所得別で見ると、他に比べ、100 万円以上～200 万円未満で“あてはまる”の割合が、700 万円以上～800 万円未満、800 万円以上～900 万円未満、900 万円以上～1,000 万円未満で“あてはまらない”の割合が高くなっています。



問 23 あなた自身の、家族との関わりについてお答えください。(それぞれ1つに○)

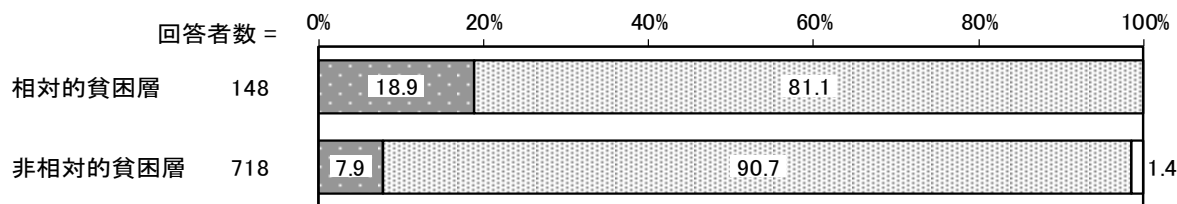
『(1) あなたの両親が離婚した』『(4) 親から暴力をふるわれたことがある』『(6) 親と疎遠になっている(なっていた)』で「経験したことがある」の割合が高くなっています



(1) あなたの両親が離婚した

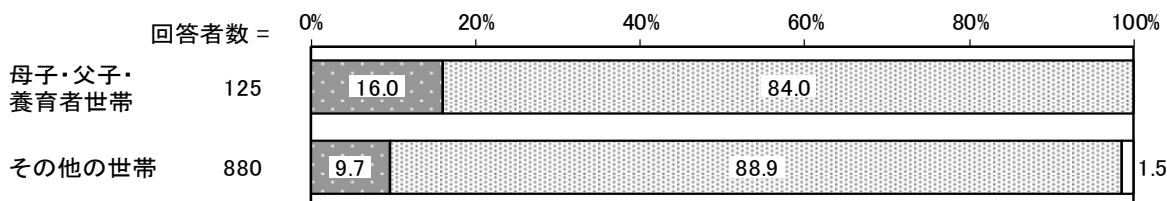
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「経験したことがある」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「経験したことはない」の割合が高くなっています。



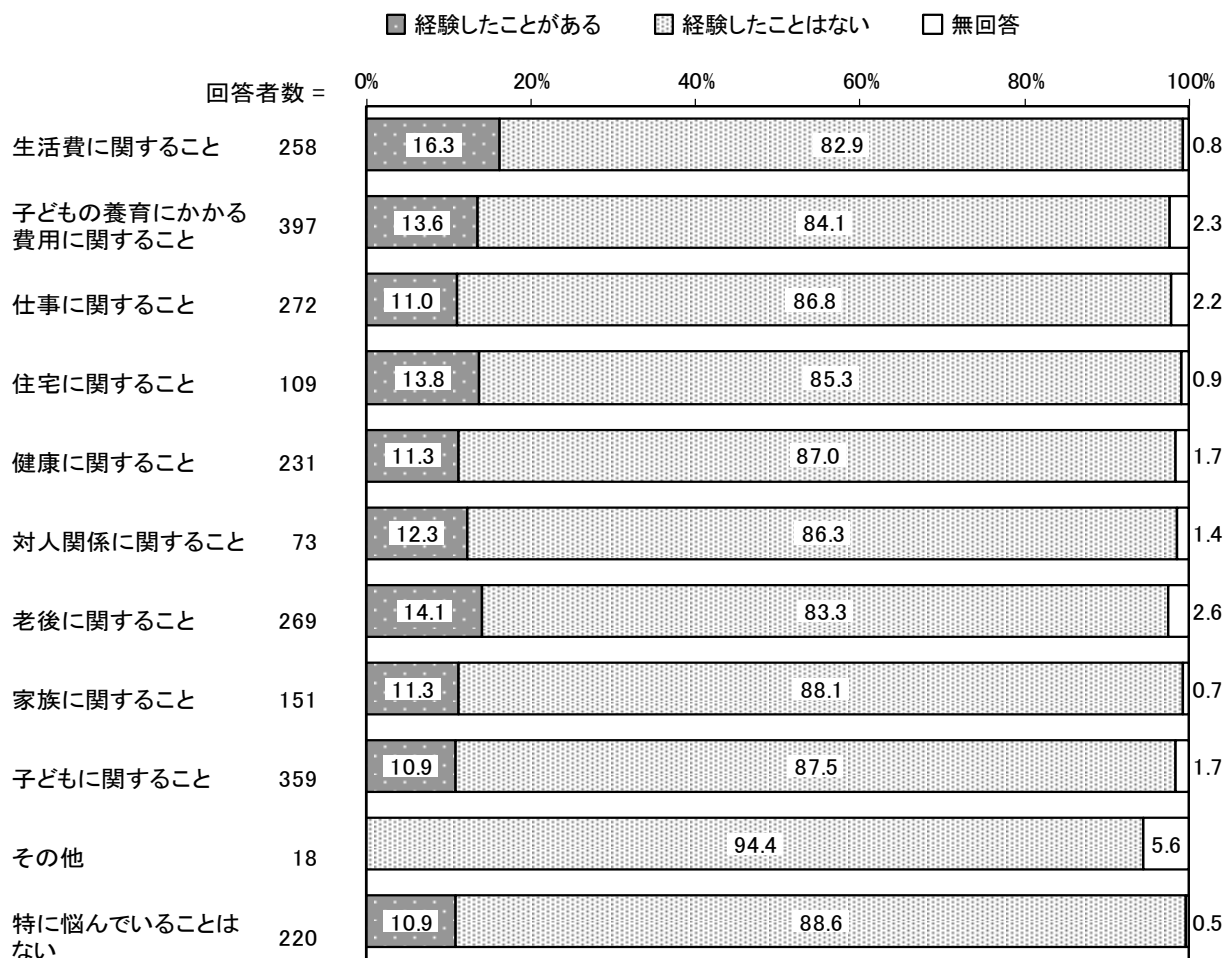
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「経験したことがある」の割合が高くなっています。



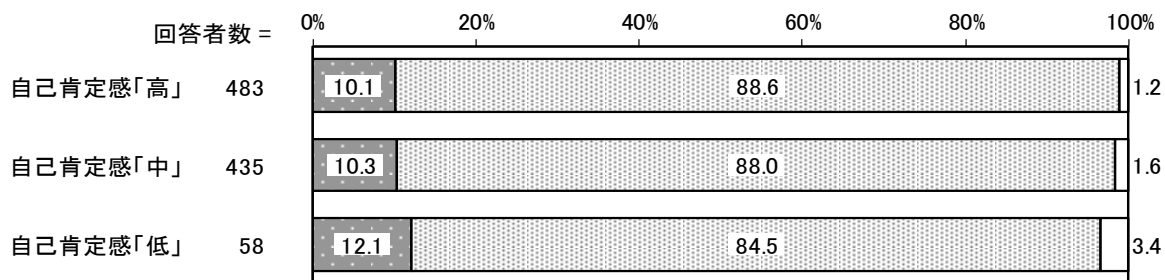
【親の悩み別】

親の悩み別で見ると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

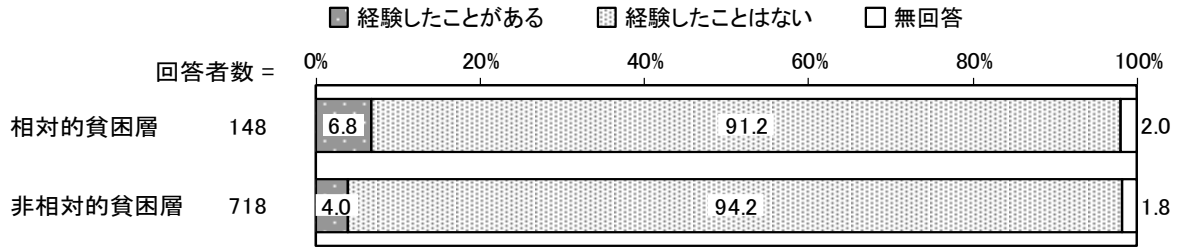
自己肯定感別で見ると、大きな差異はみられません。



(2) あなたが成人する前に父または母が亡くなった

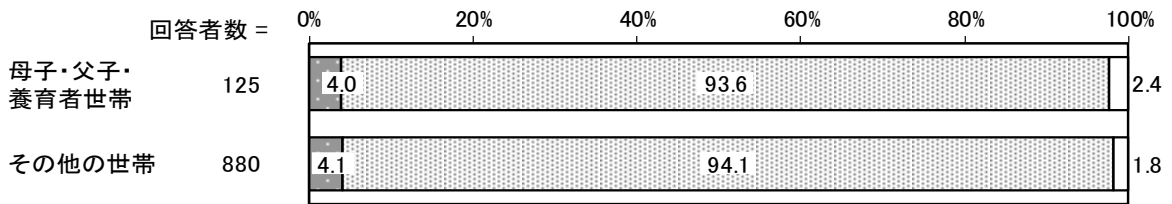
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



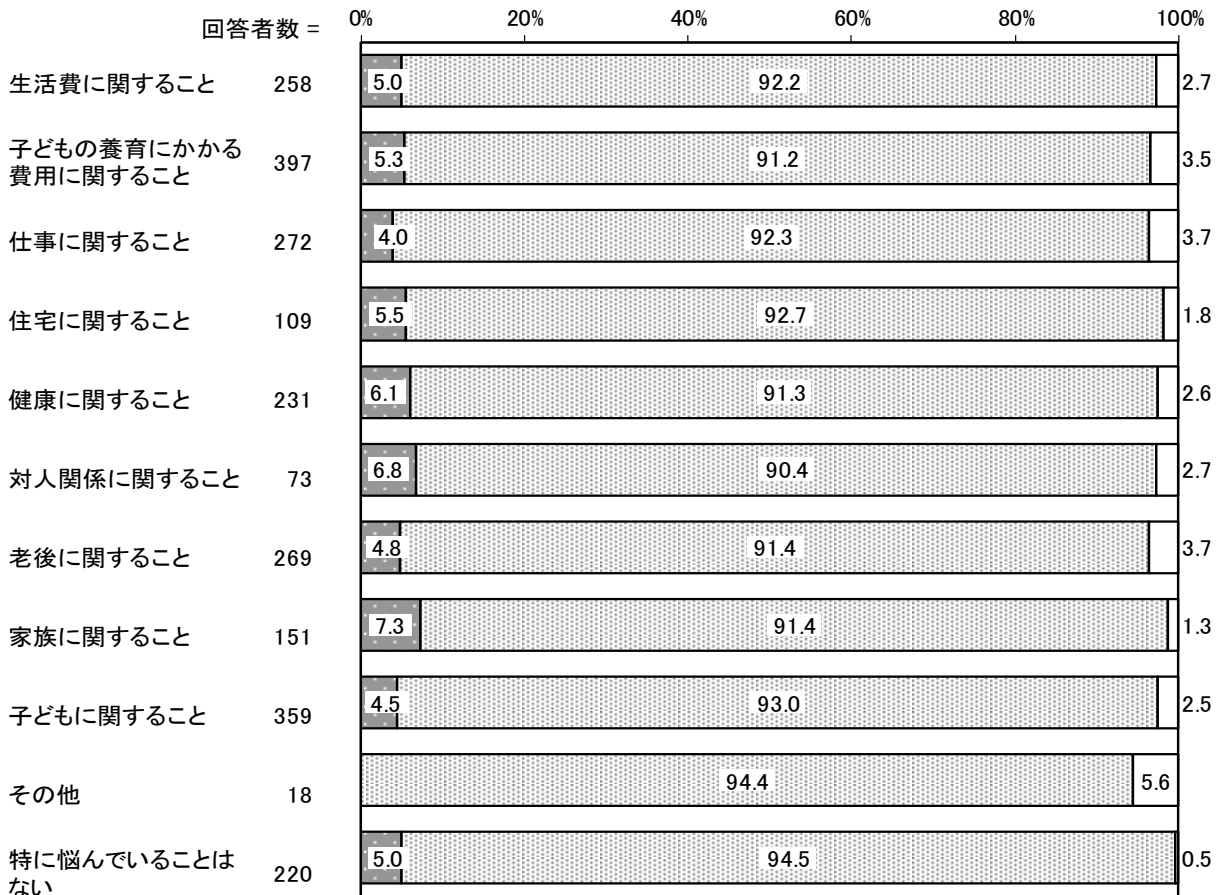
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



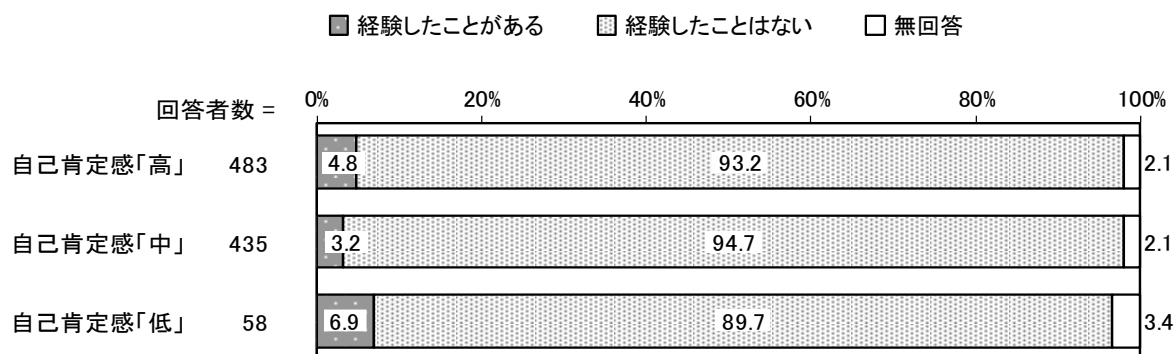
【親の悩み別】

親の悩み別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

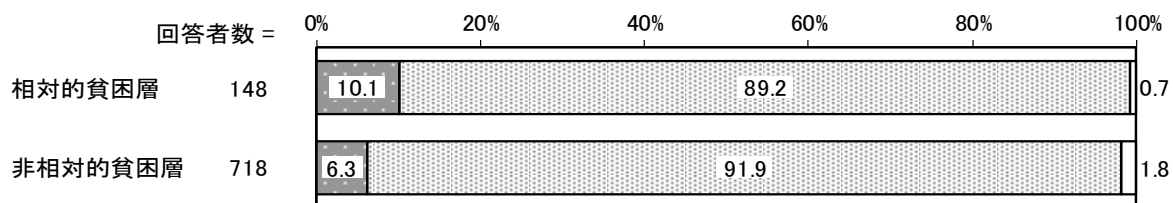
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



(3) 家庭内の事情により、親と離れて暮らしたことがある

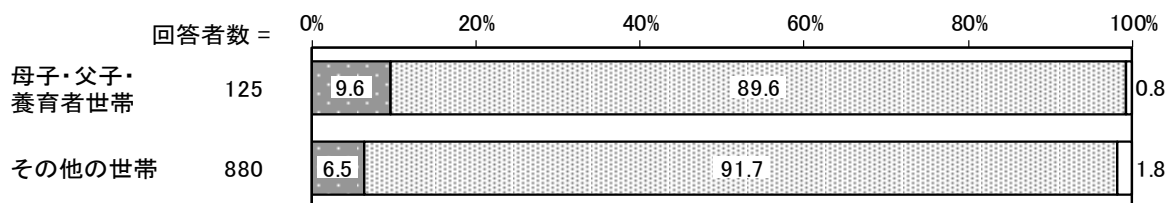
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



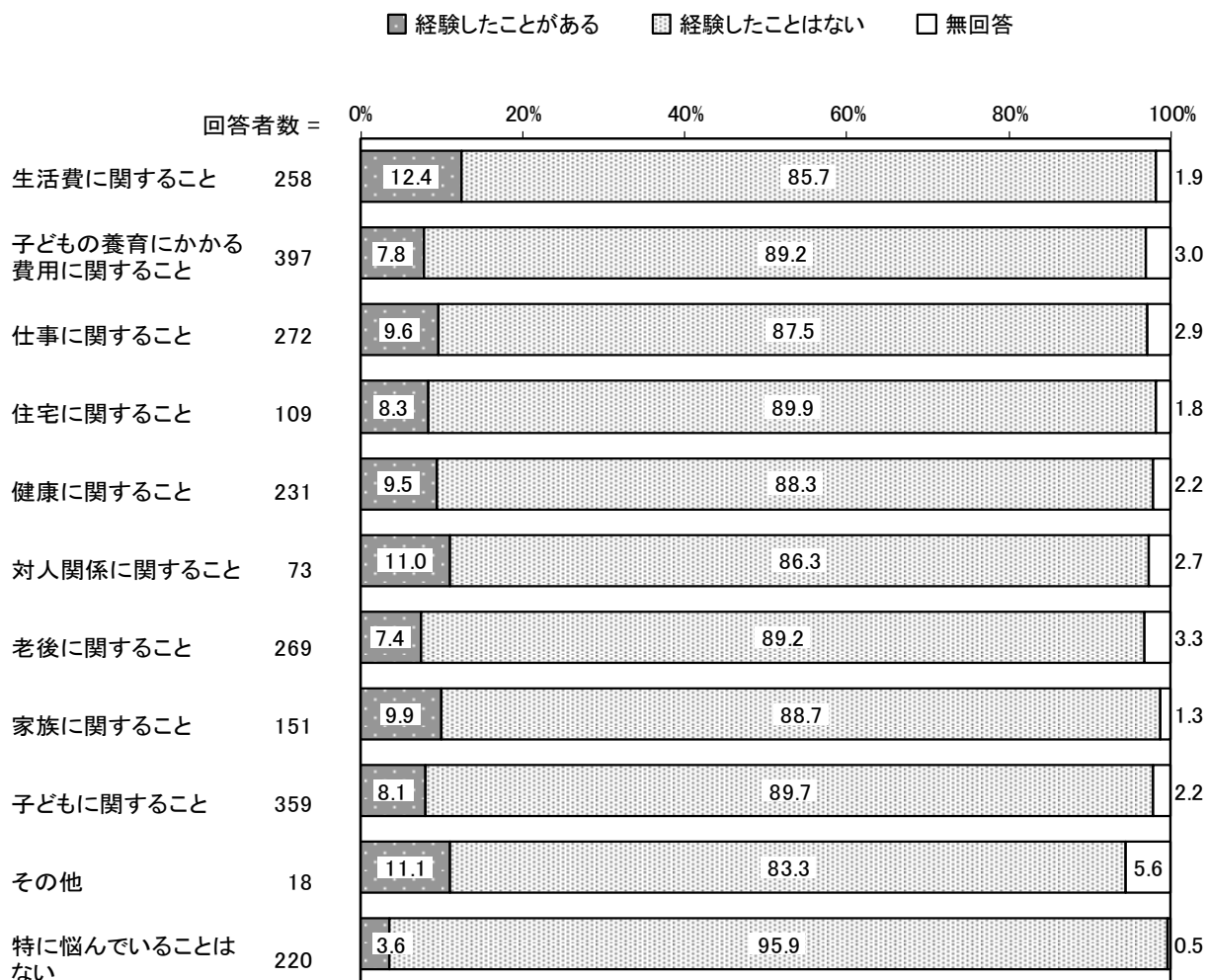
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



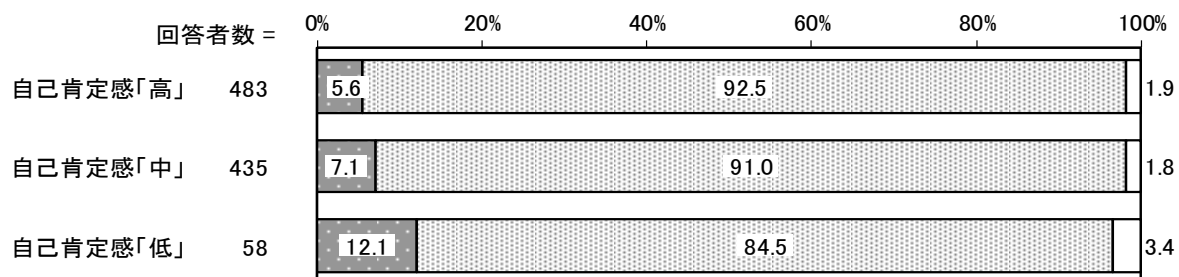
【親の悩み別】

親の悩み別で見ると、他に比べ、特に悩んでいることはないで「経験したことはない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

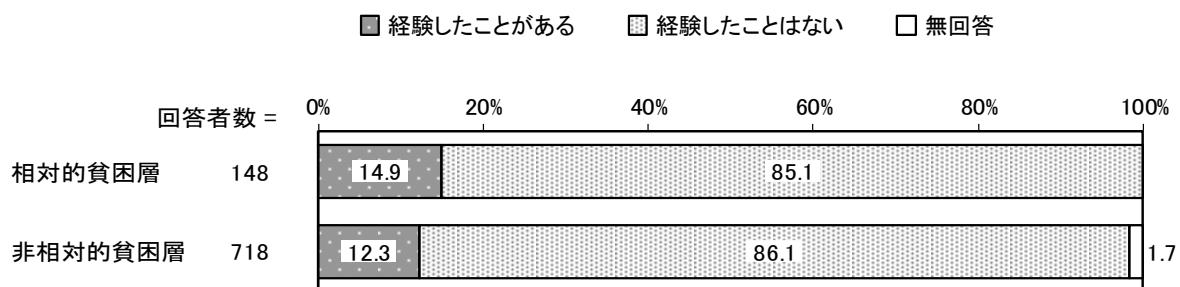
自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「低」で「経験したことがある」の割合が高くなっています。



(4) 親から暴力をふるわれたことがある

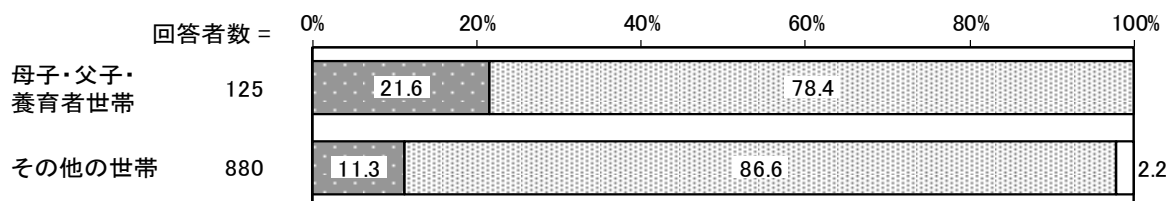
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



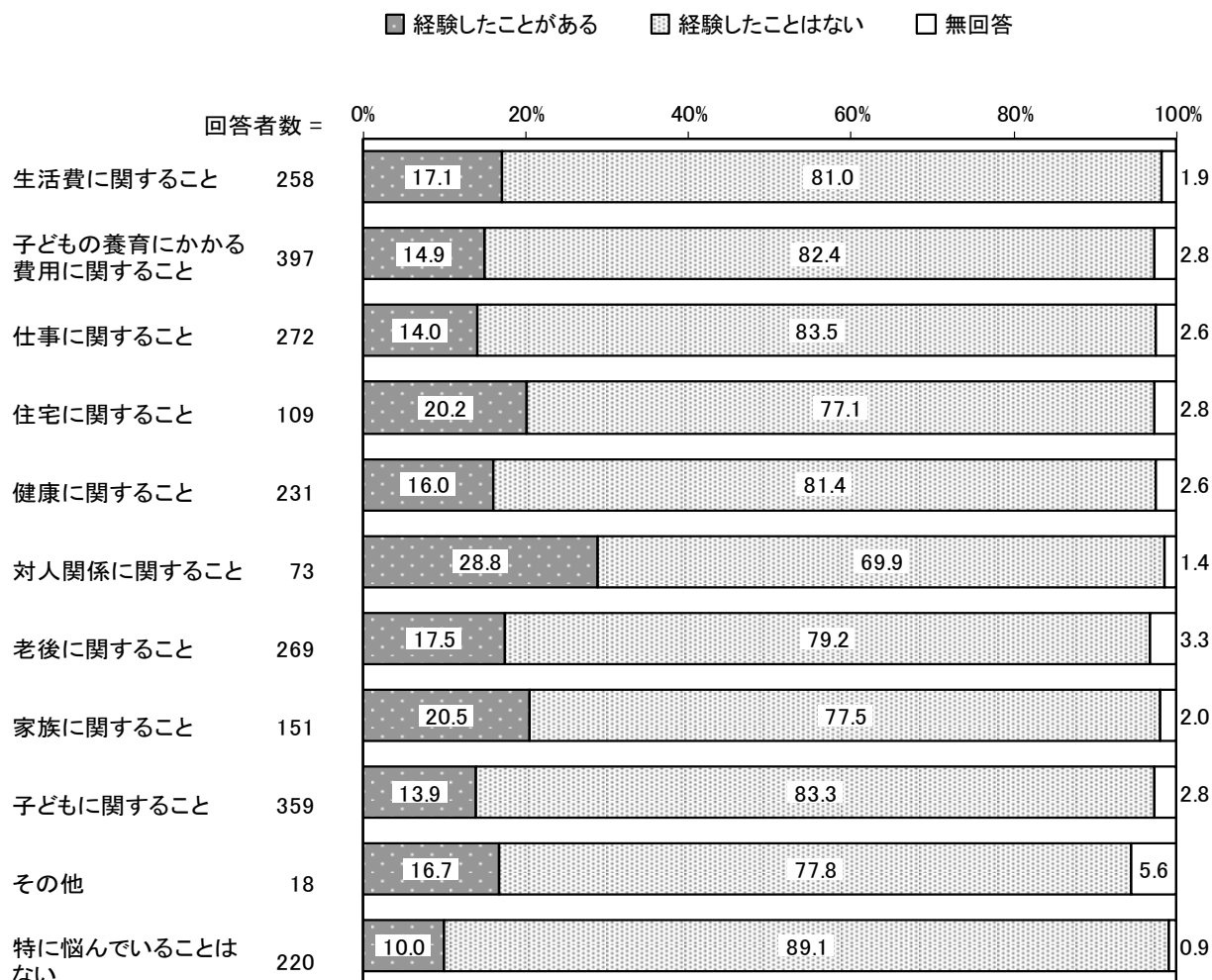
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「経験したことがある」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「経験したことはない」の割合が高くなっています。



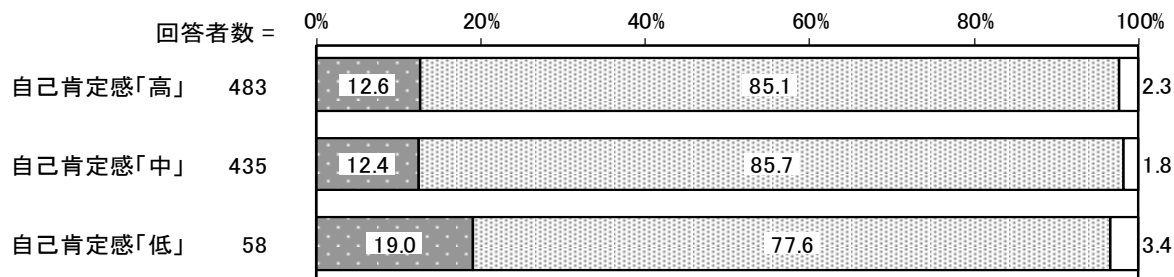
【親の悩み別】

親の悩み別で見ると、他に比べ、対人関係に関する事で「経験したことがある」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

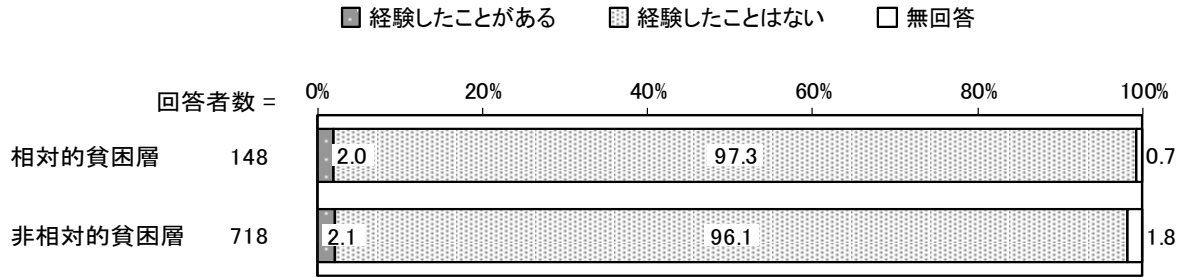
自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「低」で「経験したことがある」の割合が高くなっています。



(5) 親に暴力をふるったことがある

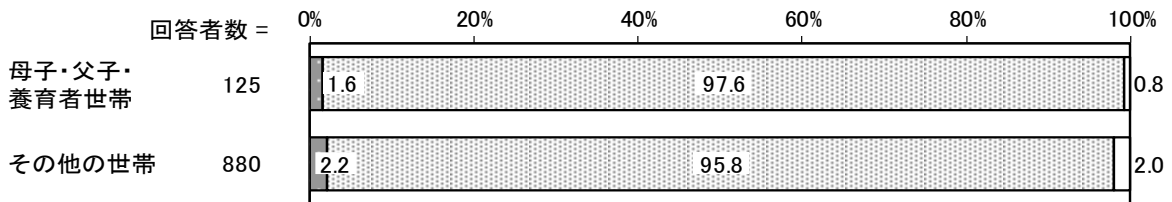
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別で見ると、大きな差異はみられません。



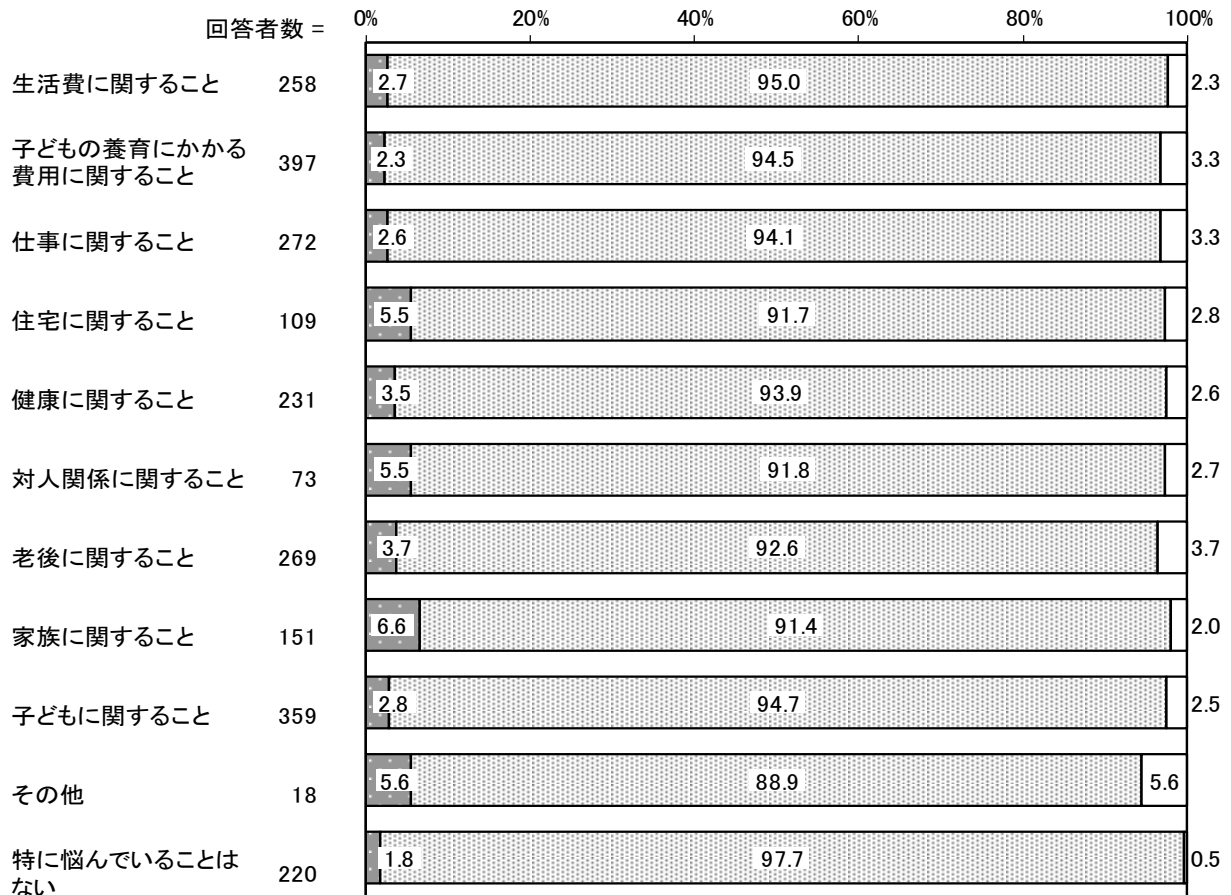
【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、大きな差異はみられません。



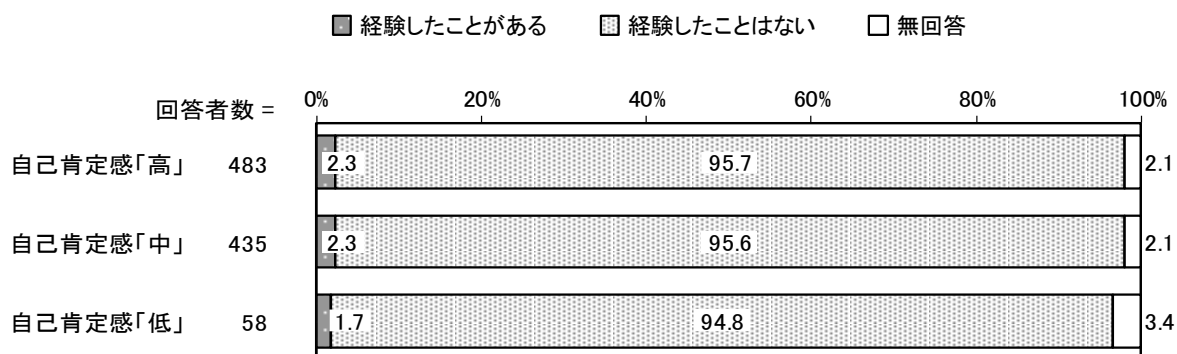
【親の悩み別】

親の悩み別で見ると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

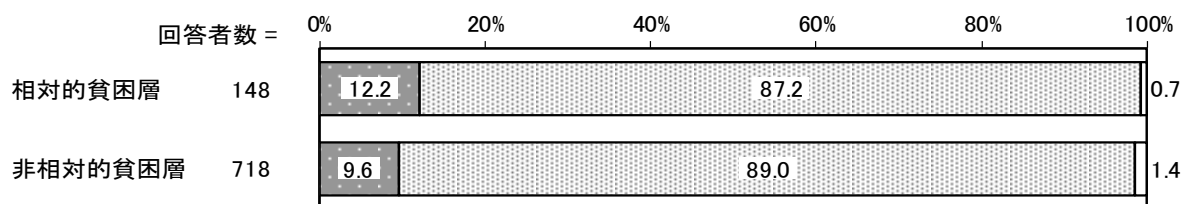
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



(6) 親と疎遠になっている (なっていた)

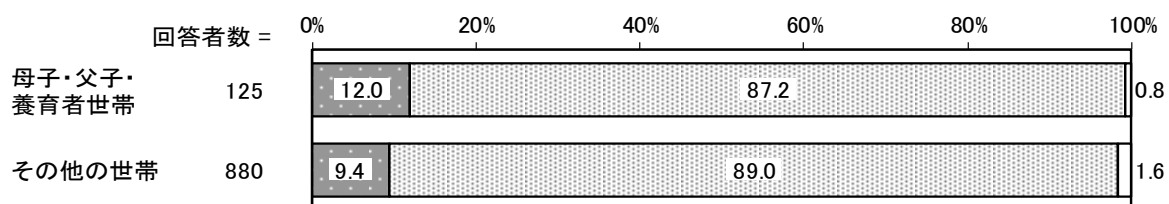
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



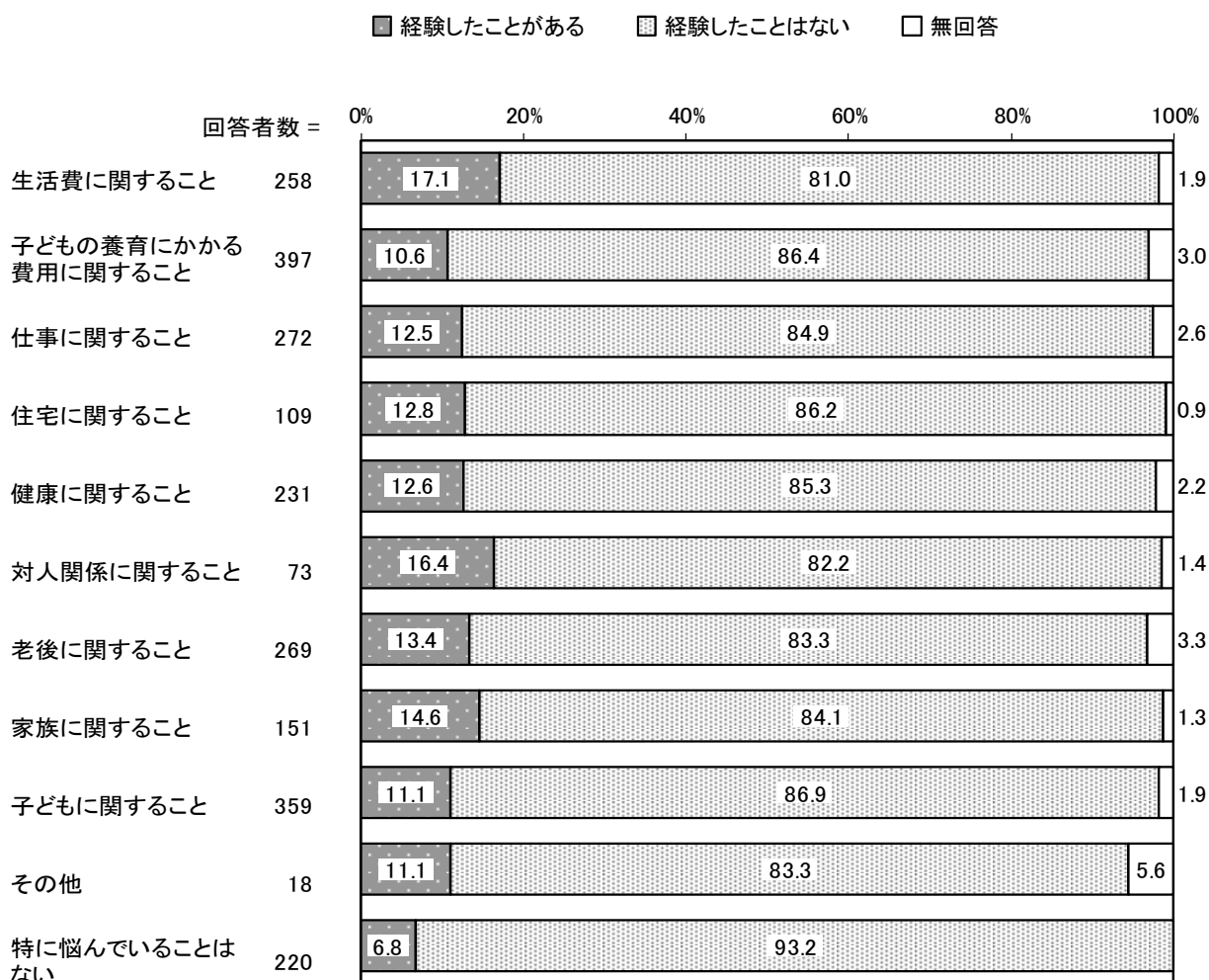
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



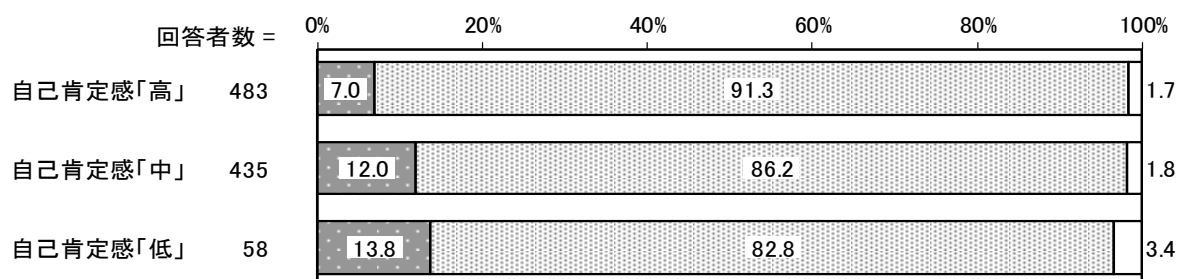
【親の悩み別】

親の悩み別で見ると、他に比べ、生活費に関すること、対人関係に関する事で「経験したことがある」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

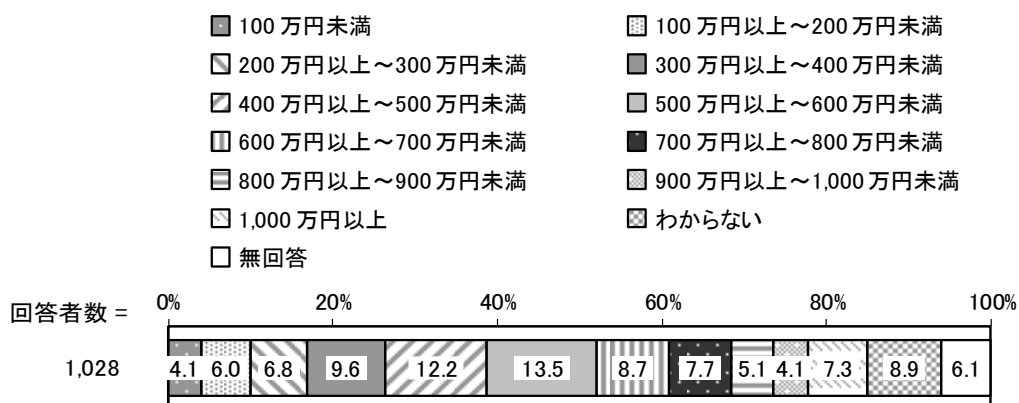
自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「高」で「経験したことはない」の割合が高くなっています。



(5) 経済的な状況について

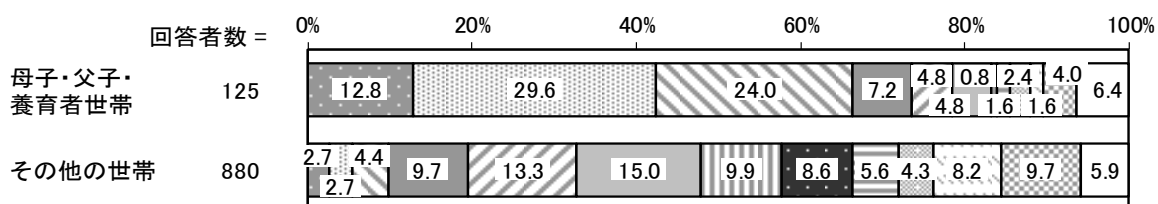
問 24 前年（令和2年）のあなたの世帯の手取り収入（いわゆる可処分所得）の合計額は、おおよそいくらでしたか。世帯の収入から、税金や社会保険料の額を差し引いた後の額で教えてください。（1つだけに○）

「500 万円以上～600 万円未満」の割合が 13.5%と最も高く、次いで「400 万円以上～500 万円未満」の割合が 12.2%となっています。



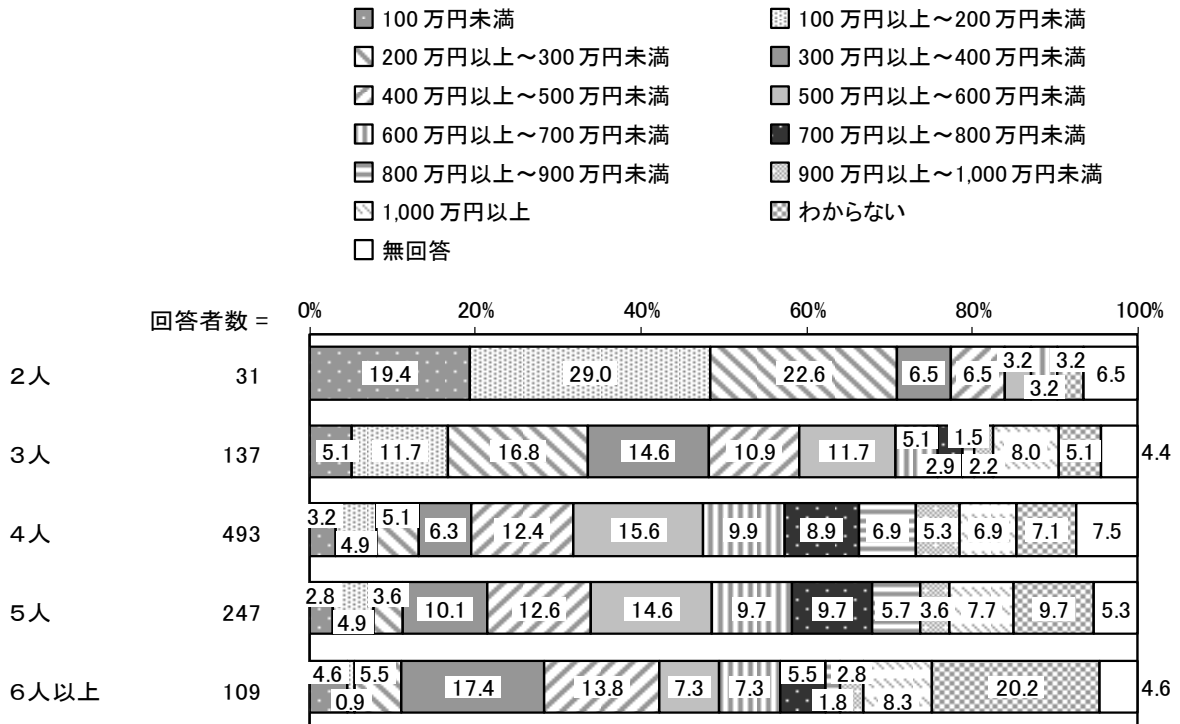
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、他その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「100 万円未満」「100 万円以上～200 万円未満」「200 万円以上～300 万円未満」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「400 万円以上～500 万円未満」「500 万円以上～600 万円未満」「600 万円以上～700 万円未満」「700 万円以上～800 万円未満」「1,000 万円以上」「わからない」の割合が高くなっています。



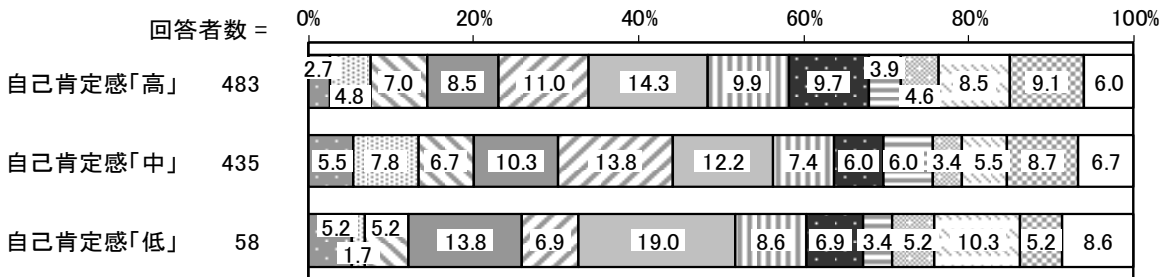
【世帯人数別】

世帯人数別で見ると、他に比べ、2人で「100万円未満」「100万円以上～200万円未満」「200万円以上～300万円未満」の割合が高くなっています。



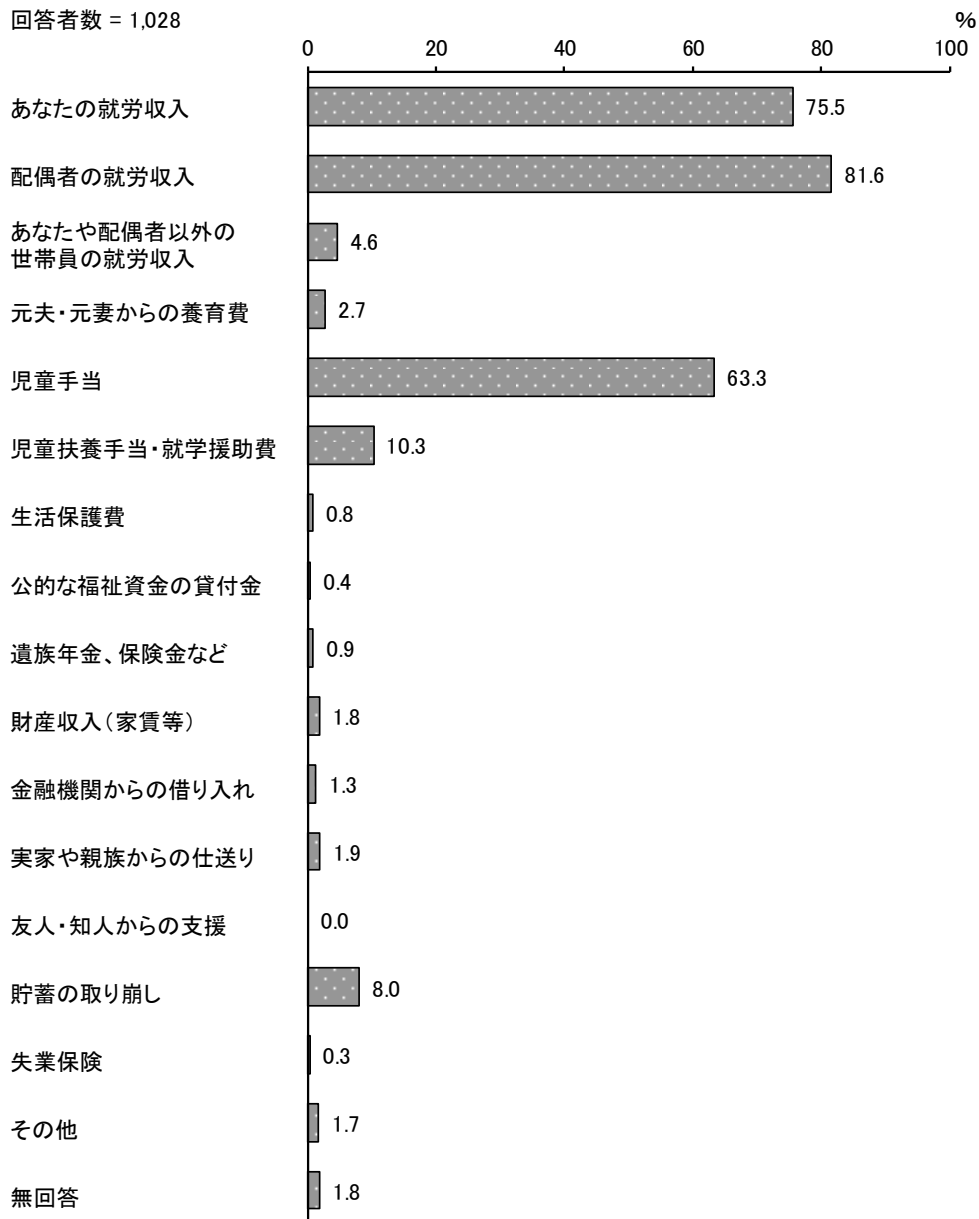
【自己肯定感別】

自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「低」で「500万円以上～600万円未満」の割合が高くなっています。



問 25 現在、どのような収入がありますか。(あてはまるものすべてに○)

「配偶者の就労収入」の割合が81.6%と最も高く、次いで「あなたの就労収入」の割合が75.5%、「児童手当」の割合が63.3%となっています。



【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「あなたの就労収入」「元夫・元妻からの養育費」「児童手当」「児童扶養手当・就学援助費」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「配偶者の就労収入」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	あなたの就労収入	配偶者の就労収入	あなたや配偶者以外の世帯員の就労収入	元夫・元妻からの養育費	児童手当	児童扶養手当・就学援助費	生活保護費	公的な福祉資金の貸付金	遺族年金、保険金など	財産収入(家賃等)	金融機関からの借り入れ	実家や親族からの仕送り	友人・知人からの支援	貯蓄の取り崩し	失業保険	その他	無回答
相対的貧困層	148	83.1	48.0	5.4	10.1	73.0	45.3	4.7	0.7	2.7	—	1.4	4.7	—	9.5	0.7	4.7	0.7
非相対的貧困層	718	77.3	88.7	4.3	1.8	63.1	4.9	0.1	0.3	0.4	2.4	1.4	1.4	—	7.7	0.1	1.3	0.3

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「あなたの就労収入」「元夫・元妻からの養育費」「児童手当」「児童扶養手当・就学援助費」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「配偶者の就労収入」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	あなたの就労収入	配偶者の就労収入	あなたや配偶者以外の世帯員の就労収入	元夫・元妻からの養育費	児童手当	児童扶養手当・就学援助費	生活保護費	公的な福祉資金の貸付金
母子・父子・養育者世帯	125	85.6	19.2	1.6	20.8	73.6	52.0	4.8	0.8
その他の世帯	880	74.2	90.8	4.8	0.2	62.0	4.4	0.2	0.3

区分	遺族年金、保険金など	財産収入(家賃等)	金融機関からの借り入れ	実家や親族からの仕送り	友人・知人からの支援	貯蓄の取り崩し	失業保険	その他	無回答
母子・父子・養育者世帯	4.8	1.6	—	4.8	—	9.6	—	5.6	0.8
その他の世帯	0.3	1.8	1.5	1.6	—	7.8	0.3	1.1	1.9

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「あなたの就労収入」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	あなたの就労収入	配偶者の就労収入	あなたや配偶者以外の世帯員の就労収入	元夫・元妻からの養育費	児童手当	児童扶養手当・就学援助費	生活保護費	公的な福祉資金の貸付金	遺族年金、保険金など	財産収入(家賃等)	金融機関からの借入れ	実家や親族からの仕送り	友人・知人からの支援	貯蓄の取り崩し	失業保険	その他	無回答
自己肯定感「高」	483	73.1	82.8	5.4	2.7	64.0	8.3	0.6	0.4	1.0	2.3	1.4	1.7	—	8.1	0.2	2.1	1.9
自己肯定感「中」	435	77.7	80.9	3.9	2.1	63.2	12.0	1.1	0.5	0.9	1.6	1.4	2.8	—	7.4	0.2	1.4	2.1
自己肯定感「低」	58	82.8	75.9	—	5.2	63.8	13.8	—	—	—	—	—	—	—	12.1	1.7	1.7	1.7

【可処分所得別】

可処分所得別でみると、他に比べ、100万円以上～200万円未満、200万円以上～300万円未満で「あなたの就労収入」の割合が、100万円未満で「児童手当」の割合が高くなっています。また、100万円未満、100万円以上～200万円未満で「児童扶養手当・就学援助費」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	あなたの 就労収入	配偶者の 就労収入	あなたや 配偶者以外 の世帯員の 就労収入	元夫・元妻 からの養育費	児童手当	児童扶養 手当・就学 援助費	生活保護費	公的な 福祉資金の 貸付金
100万円未満	42	78.6	50.0	2.4	9.5	85.7	42.9	9.5	—
100万円以上～ 200万円未満	62	87.1	32.3	3.2	11.3	72.6	54.8	4.8	1.6
200万円以上～ 300万円未満	70	87.1	50.0	7.1	11.4	72.9	37.1	—	—
300万円以上～ 400万円未満	99	80.8	86.9	3.0	2.0	67.7	13.1	—	—
400万円以上～ 500万円未満	125	76.8	88.0	7.2	4.0	69.6	5.6	—	—
500万円以上～ 600万円未満	139	71.2	93.5	2.9	1.4	65.5	2.2	0.7	—
600万円以上～ 700万円未満	89	82.0	89.9	3.4	—	69.7	1.1	—	—
700万円以上～ 800万円未満	79	81.0	94.9	2.5	—	60.8	1.3	—	1.3
800万円以上～ 900万円未満	52	75.0	96.2	7.7	—	55.8	—	—	—
900万円以上～ 1,000万円未満	42	78.6	85.7	9.5	—	54.8	2.4	—	—
1,000万円以上	75	69.3	94.7	4.0	—	37.3	—	—	1.3
わからない	91	68.1	91.2	7.7	—	61.5	—	—	1.1

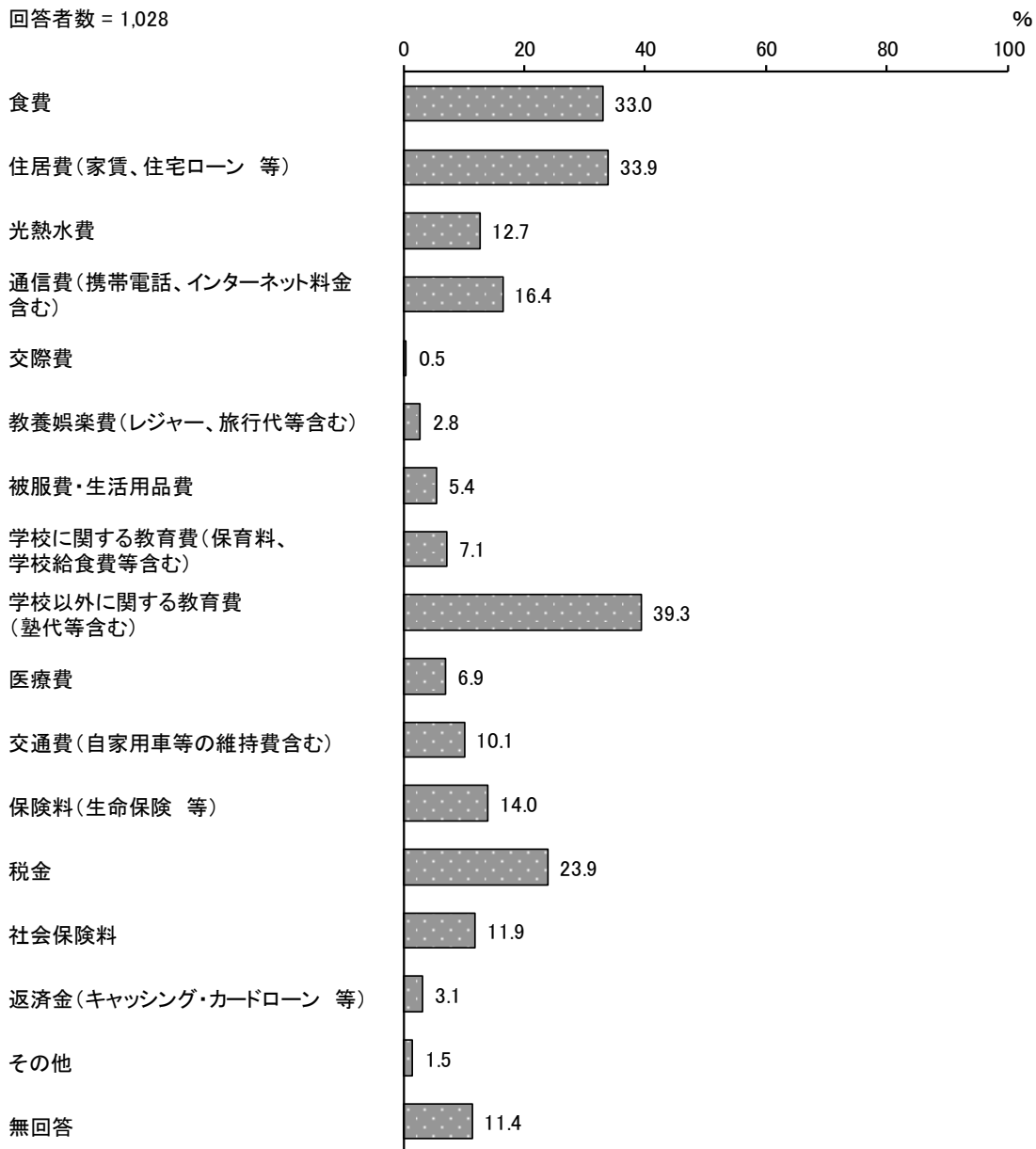
次ページへ

区分	遺族年金、 保険金など	財産収入 (家賃等)	金融機関からの借 り入れ	実家や親族からの 仕送り	友人・知人からの支 援	貯蓄の取り崩し	失業保険	その他	無回答
100万円未満	—	—	2.4	9.5	—	14.3	2.4	9.5	—
100万円以上～ 200万円未満	4.8	—	—	4.8	—	3.2	—	3.2	—
200万円以上～ 300万円未満	1.4	—	—	1.4	—	14.3	—	5.7	1.4
300万円以上～ 400万円未満	1.0	2.0	2.0	3.0	—	18.2	1.0	1.0	—
400万円以上～ 500万円未満	—	2.4	—	—	—	5.6	—	0.8	—
500万円以上～ 600万円未満	1.4	0.7	1.4	2.2	—	7.2	—	0.7	—
600万円以上～ 700万円未満	—	2.2	1.1	2.2	—	6.7	—	—	1.1
700万円以上～ 800万円未満	—	7.6	2.5	—	—	3.8	—	1.3	—
800万円以上～ 900万円未満	—	1.9	5.8	1.9	—	5.8	—	—	—
900万円以上～ 1,000万円未満	2.4	2.4	—	—	—	2.4	—	2.4	—
1,000万円以上	—	1.3	1.3	—	—	4.0	—	1.3	1.3
わからない	1.1	1.1	1.1	2.2	—	8.8	—	1.1	1.1

問 26 家計において負担を感じる経費は何ですか。(〇は3つまで)

「学校以外に関する教育費（塾代等含む）」の割合が 39.3%と最も高く、次いで「住居費（家賃、住宅ローン 等）」の割合が 33.9%、「食費」の割合が 33.0%となっています。

回答者数 = 1,028



【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「住居費（家賃、住宅ローン等）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	食費	住居費（家賃、住宅ローン等）	光熱水費	通信費（携帯電話、インターネット料金含む）	交際費	教養娯楽費（レジャー、旅行代等含む）	被服費・生活用品費	学校に関する教育費（保育料、学校給食費等含む）	学校以外に関する教育費（塾代等含む）
自己肯定感「高」	483	29.2	34.8	12.4	14.1	0.6	2.1	4.8	8.5	42.7
自己肯定感「中」	435	37.5	32.4	12.9	17.9	0.5	3.4	6.2	6.9	39.5
自己肯定感「低」	58	31.0	43.1	15.5	13.8	—	3.4	5.2	3.4	25.9

区分	医療費	交通費（自家用車等の維持費含む）	保険料（生命保険等）	税金	社会保険料	返済金（キャッシング・カードローン等）	その他	無回答
自己肯定感「高」	7.9	10.4	13.3	25.5	12.0	2.9	1.4	9.7
自己肯定感「中」	6.0	9.7	16.1	21.6	11.7	3.9	1.6	12.2
自己肯定感「低」	8.6	10.3	10.3	27.6	13.8	—	1.7	15.5

【可処分所得別】

可処分所得別でみると、他に比べ、100万円未満、100万円以上～200万円未満で「食費」の割合が、100万円以上～200万円未満で「光熱水費」の割合が高くなっています。また、700万円以上～800万円未満、800万円以上～900万円未満で「学校以外に関する教育費(塾代等含む)」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	食費	住居費(家賃、ローン等)	光熱水費	通信費(携帯電話、インターネット料金含む)	交際費	教養娯楽費(レジャー、旅行代等含む)	被服費・生活用品費	学校に関する教育費(保育料、学校給食費等含む)
100万円未満	42	42.9	33.3	14.3	16.7	2.4	—	11.9	14.3
100万円以上～200万円未満	62	41.9	27.4	22.6	11.3	1.6	1.6	12.9	3.2
200万円以上～300万円未満	70	34.3	34.3	15.7	25.7	1.4	—	5.7	5.7
300万円以上～400万円未満	99	30.3	37.4	12.1	17.2	—	7.1	6.1	5.1
400万円以上～500万円未満	125	32.0	31.2	11.2	20.8	0.8	4.0	6.4	9.6
500万円以上～600万円未満	139	38.8	40.3	13.7	13.7	—	2.9	5.8	4.3
600万円以上～700万円未満	89	33.7	31.5	11.2	21.3	—	2.2	2.2	12.4
700万円以上～800万円未満	79	26.6	40.5	11.4	16.5	—	1.3	1.3	3.8
800万円以上～900万円未満	52	28.8	42.3	7.7	13.5	1.9	3.8	3.8	11.5
900万円以上～1,000万円未満	42	35.7	23.8	14.3	14.3	—	2.4	2.4	4.8
1,000万円以上	75	25.3	30.7	2.7	10.7	—	2.7	2.7	5.3
わからない	91	28.6	34.1	17.6	12.1	—	2.2	4.4	7.7

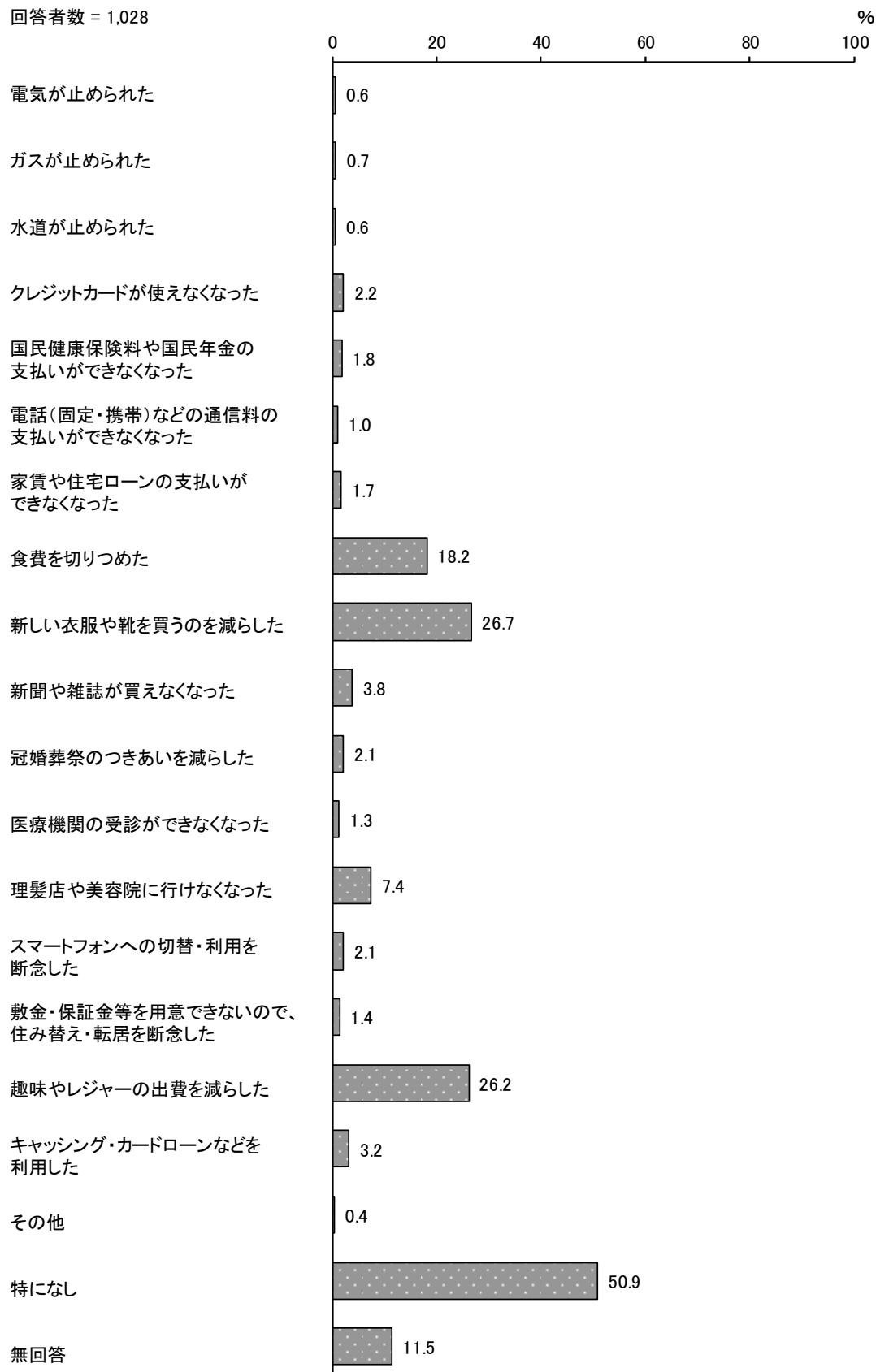
次ページへ

区分	学校以外に関する 教育費（塾代等含 む）	医療費	交通費（自家用車等 の維持費含む）	保険料（生命保険 等）	税金	社会保険料	返済金（キャッシング・ カードローン 等）	その他	無回答
100万円未満	26.2	9.5	11.9	16.7	14.3	7.1	4.8	2.4	7.1
100万円以上～ 200万円未満	17.7	16.1	12.9	22.6	17.7	12.9	6.5	—	14.5
200万円以上～ 300万円未満	25.7	2.9	17.1	15.7	17.1	20.0	5.7	1.4	12.9
300万円以上～ 400万円未満	35.4	10.1	16.2	12.1	24.2	9.1	5.1	3.0	13.1
400万円以上～ 500万円未満	37.6	5.6	12.0	15.2	19.2	7.2	3.2	1.6	16.0
500万円以上～ 600万円未満	39.6	6.5	7.2	8.6	22.3	12.9	1.4	0.7	11.5
600万円以上～ 700万円未満	48.3	6.7	6.7	16.9	22.5	10.1	2.2	1.1	7.9
700万円以上～ 800万円未満	59.5	7.6	7.6	16.5	30.4	13.9	2.5	2.5	5.1
800万円以上～ 900万円未満	59.6	1.9	3.8	5.8	25.0	11.5	1.9	—	3.8
900万円以上～ 1,000万円未満	47.6	9.5	7.1	14.3	28.6	19.0	—	—	14.3
1,000万円以上	46.7	4.0	4.0	10.7	41.3	16.0	1.3	4.0	4.0
わからない	29.7	6.6	11.0	18.7	20.9	8.8	4.4	1.1	17.6

問 27 あなたの世帯では、おおむね半年の間に、経済的な理由で、次のような経験をされたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

「特になし」の割合が 50.9%と最も高く、次いで「新しい衣服や靴を買うのを減らした」の割合が 26.7%、「趣味やレジャーの出費を減らした」の割合が 26.2%となっています。

回答者数 = 1,028



【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「国民健康保険料や国民年金の支払いができなくなった」「食費を切りつめた」「新しい衣服や靴を買うのを減らした」「新聞や雑誌が買えなくなった」「理髪店や美容院に行けなくなった」「敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した」「趣味やレジャーの出費を減らした」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	電気が止められた	ガスが止められた	水道が止められた	クレジットカードが使えなくなった	国民健康保険料や国民年金の支払いができなくなった	電話(固定・携帯)などの通信料の支払いができなくなった	家賃や住宅ローンの支払いができなくなった	食費を切りつめた	新しい衣服や靴を買うのを減らした	新聞や雑誌が買えなくなった
相対的貧困層	148	1.4	2.0	2.0	5.4	8.8	3.4	5.4	33.1	43.9	8.1
非相対的貧困層	718	0.4	0.4	0.3	1.8	0.4	0.6	1.1	15.5	23.0	2.9

区分	冠婚葬祭のつきあいを減らした	医療機関の受診ができなくなった	理髪店や美容院に行けなくなった	スマートフォンへの切替・利用を断念した	敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した	趣味やレジャーの出費を減らした	キャッシング・カードローンなどを利用した	その他	特になし	無回答
相対的貧困層	4.1	4.1	12.8	3.4	6.1	33.8	4.1	—	32.4	12.8
非相対的貧困層	2.2	0.8	6.0	1.9	0.3	24.9	3.1	0.6	54.6	10.9

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「国民健康保険料や国民年金の支払いができなくなった」「家賃や住宅ローンの支払いができなくなった」「食費を切りつめた」「新しい衣服や靴を買うのを減らした」「新聞や雑誌が買えなくなった」「理髪店や美容院に行けなくなった」「趣味やレジャーの出費を減らした」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「特になし」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	電気が止められた	ガスが止められた	水道が止められた	クレジットカードが使えなくなった	国民健康保険料や国民年金の支払いができなくなった	電話(固定・携帯)などの通信料の支払いができなくなった	家賃や住宅ローンの支払いができなくなった	食費を切りつめた	新しい衣服や靴を買うのを減らした	新聞や雑誌が買えなくなった
母子・父子・養育者世帯	125	3.2	4.0	3.2	4.8	8.0	4.8	7.2	29.6	41.6	10.4
その他の世帯	880	0.1	0.1	0.1	1.8	1.0	0.3	0.8	16.5	24.5	3.0

区分	冠婚葬祭のつきあいを減らした	医療機関の受診ができなくなった	理髪店や美容院に行けなくなった	スマートフォンへの代替・利用を断念した	敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した	趣味やレジャーの出費を減らした	キャッシング・カードローンなどを利用した	その他	特になし	無回答
母子・父子・養育者世帯	5.6	4.0	16.0	5.6	5.6	34.4	4.0	—	36.0	12.0
その他の世帯	1.7	0.9	6.1	1.7	0.8	25.1	3.1	0.5	53.1	11.3

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「食費を切りつめた」「趣味やレジャーの出費を減らした」の割合が高くなっています。また、自己肯定感「低」で「特になし」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	電気が止められた	ガスが止められた	水道が止められた	クレジットカードが使えなくなった	国民健康保険料や国民年金の支払いができなくなった	電話(固定・携帯)などの通信料の支払いができなくなった	家賃や住宅ローンの支払いができなくなった	食費を切りつめた	新しい衣服や靴を買うのを減らした	新聞や雑誌が買えなくなった
自己肯定感「高」	483	0.2	0.4	0.8	2.5	1.7	0.6	1.7	17.8	25.1	3.9
自己肯定感「中」	435	0.9	0.9	0.5	1.6	2.3	1.6	1.6	18.4	27.4	4.1
自己肯定感「低」	58	—	—	—	—	1.7	—	1.7	25.9	31.0	3.4

区分	冠婚葬祭のつきあいを減らした	医療機関の受診ができなくなった	理髪店や美容院に行けなくなった	スマートフォンへの切替・利用を断念した	敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した	趣味やレジャーの出費を減らした	キャッシング・カードローンなどを利用した	その他	特になし	無回答
自己肯定感「高」	2.1	1.7	6.4	1.9	0.6	25.3	3.3	0.6	53.6	10.6
自己肯定感「中」	1.8	0.9	8.7	2.1	2.1	27.4	3.4	0.2	49.0	12.9
自己肯定感「低」	3.4	1.7	6.9	3.4	3.4	34.5	—	—	39.7	10.3

【可処分所得別】

可処分所得別で見ると、他に比べ、100 万円未満で「国民健康保険料や国民年金の支払いができなくなった」「新しい衣服や靴を買うのを減らした」の割合が、200 万円以上～300 万円未満で「趣味やレジャーの出費を減らした」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	電気が止められた	ガスが止められた	水道が止められた	クレジットカードが使えなくなった	国民健康保険料や国民年金の支払いができなくなった	電話(固定・携帯)などの通信料の支払いができなくなった	家賃や住宅ローンの支払いができなくなった	食費を切りつめた	新しい衣服や靴を買うのを減らした	新聞や雑誌が買えなくなった
100 万円未満	42	2.4	2.4	4.8	4.8	16.7	7.1	9.5	35.7	54.8	11.9
100 万円以上～200 万円未満	62	1.6	3.2	1.6	6.5	9.7	3.2	6.5	33.9	38.7	9.7
200 万円以上～300 万円未満	70	2.9	2.9	1.4	5.7	1.4	2.9	4.3	32.9	41.4	1.4
300 万円以上～400 万円未満	99	1.0	2.0	1.0	5.1	1.0	1.0	2.0	29.3	37.4	5.1
400 万円以上～500 万円未満	125	—	—	—	2.4	0.8	—	0.8	20.8	34.4	2.4
500 万円以上～600 万円未満	139	—	—	—	1.4	—	—	1.4	17.3	19.4	4.3
600 万円以上～700 万円未満	89	1.1	—	1.1	1.1	—	1.1	1.1	11.2	20.2	2.2
700 万円以上～800 万円未満	79	—	—	—	—	—	—	—	10.1	17.7	2.5
800 万円以上～900 万円未満	52	—	—	—	1.9	—	1.9	—	1.9	17.3	1.9
900 万円以上～1,000 万円未満	42	—	—	—	—	—	—	—	—	2.4	—
1,000 万円以上	75	—	—	—	—	—	—	—	5.3	8.0	2.7
わからない	91	—	—	—	1.1	2.2	—	—	16.5	31.9	4.4

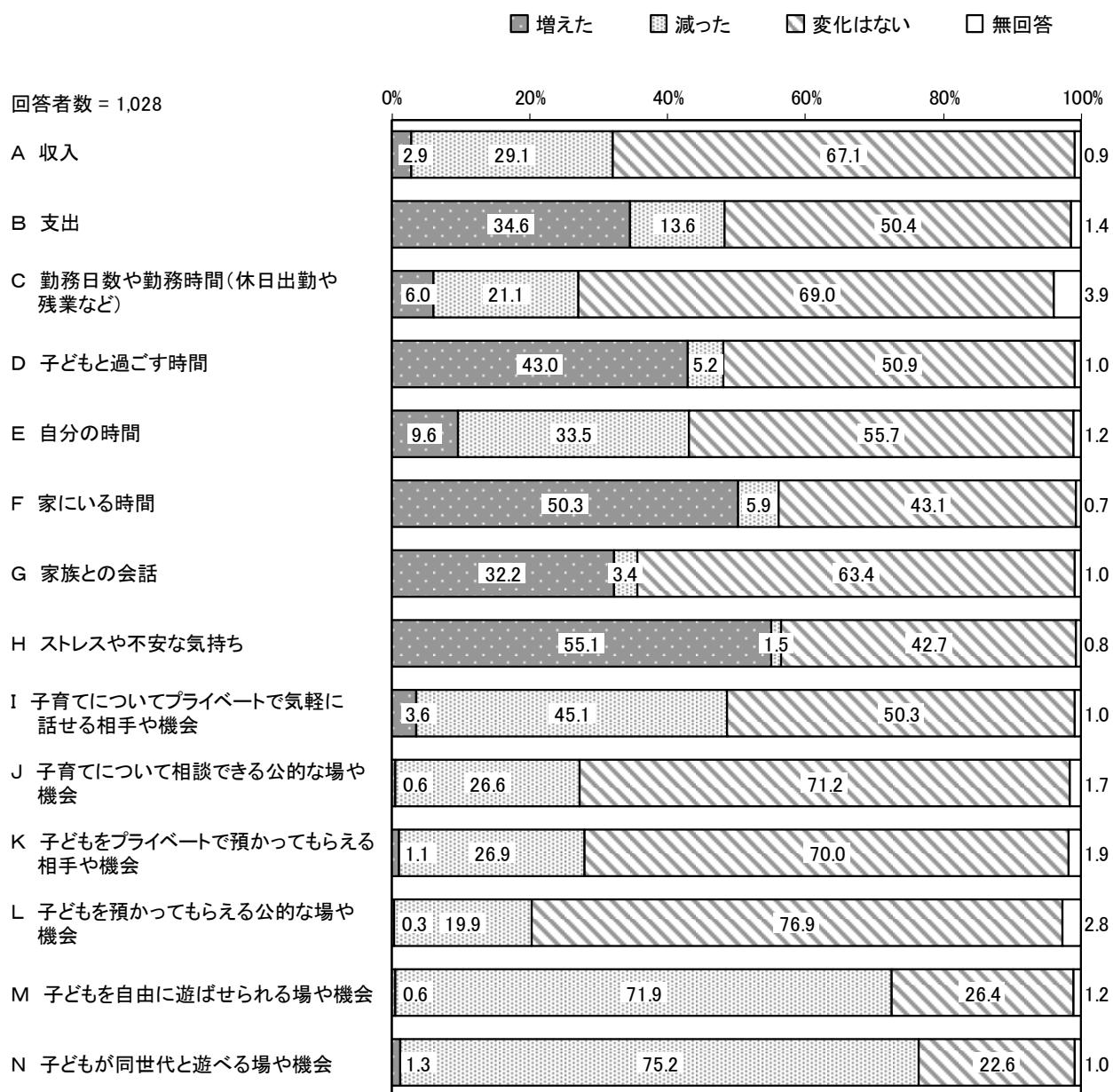
次ページへ

区分	冠婚葬祭のつきあいを減らした	医療機関の受診ができなくなった	理髪店や美容院に行けなくなった	スマートフォンへの切替・利用を断念した	敷金・保証金等を用意できないので、住み替え・転居を断念した	趣味やレジャーの出費を減らした	キャッシング・カードローンなどを利用した	その他	特になし	無回答
100万円未満	2.4	9.5	16.7	—	4.8	28.6	2.4	—	31.0	11.9
100万円以上～200万円未満	6.5	3.2	12.9	6.5	9.7	35.5	4.8	—	33.9	11.3
200万円以上～300万円未満	2.9	—	11.4	2.9	1.4	42.9	4.3	1.4	30.0	12.9
300万円以上～400万円未満	4.0	1.0	16.2	3.0	—	32.3	6.1	—	40.4	11.1
400万円以上～500万円未満	0.8	0.8	6.4	2.4	1.6	37.6	3.2	1.6	44.0	4.8
500万円以上～600万円未満	6.5	1.4	5.0	1.4	—	23.0	1.4	—	56.8	11.5
600万円以上～700万円未満	1.1	1.1	4.5	3.4	—	23.6	5.6	1.1	58.4	10.1
700万円以上～800万円未満	—	—	5.1	1.3	—	24.1	5.1	—	55.7	12.7
800万円以上～900万円未満	—	—	—	—	—	15.4	1.9	—	61.5	15.4
900万円以上～1,000万円未満	—	—	—	2.4	—	4.8	—	—	78.6	14.3
1,000万円以上	—	1.3	—	—	—	5.3	—	—	76.0	13.3
わからない	—	1.1	13.2	3.3	2.2	28.6	4.4	—	52.7	7.7

(6) 新型コロナウイルスの影響について

問 28 新型コロナウイルス感染症の影響について、あなたの状況にあてはまるものを選択してください。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

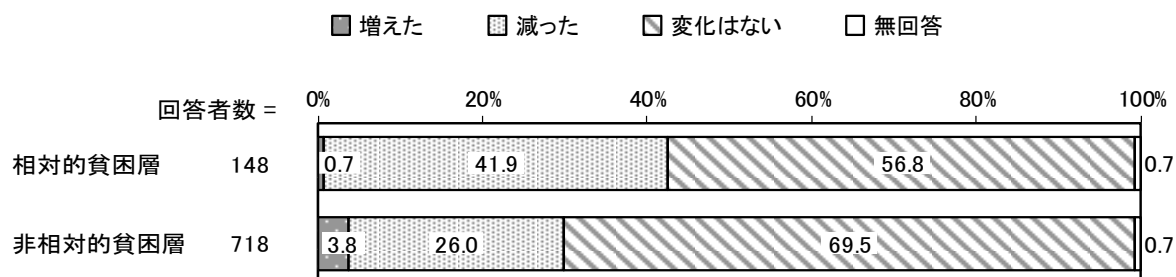
『B 支出』『D 子どもと過ごす時間』『F 家にいる時間』『G 家族との会話』『H ストレスや不安な気持ち』で「増えた」の割合が高くなっています。また、『M 子どもを自由に遊ばせられる場や機会』『N 子どもが同世代と遊べる場や機会』で「減った」の割合が高くなっています。一方、『L 子どもを預かってもらえる公的な場や機会』で「変化はない」の割合が高くなっています。



A 収入

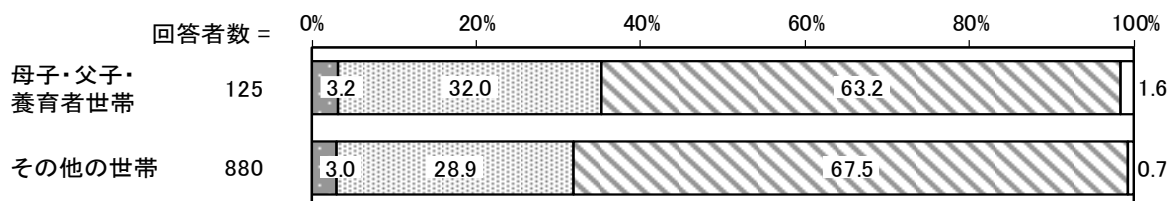
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「減った」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「変化はない」の割合が高くなっています。



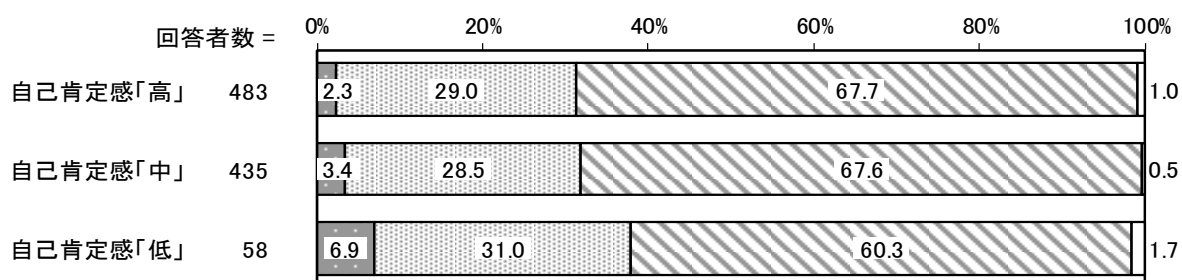
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

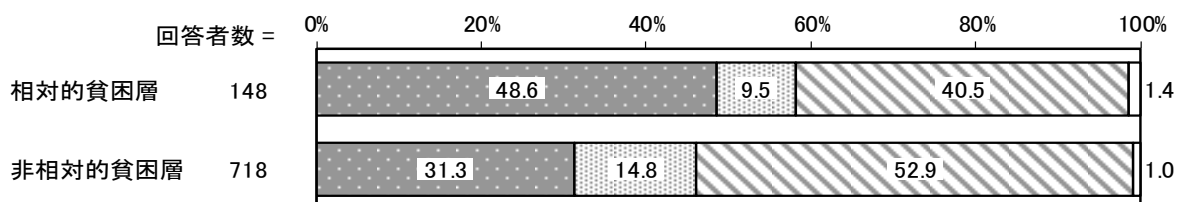
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



B 支出

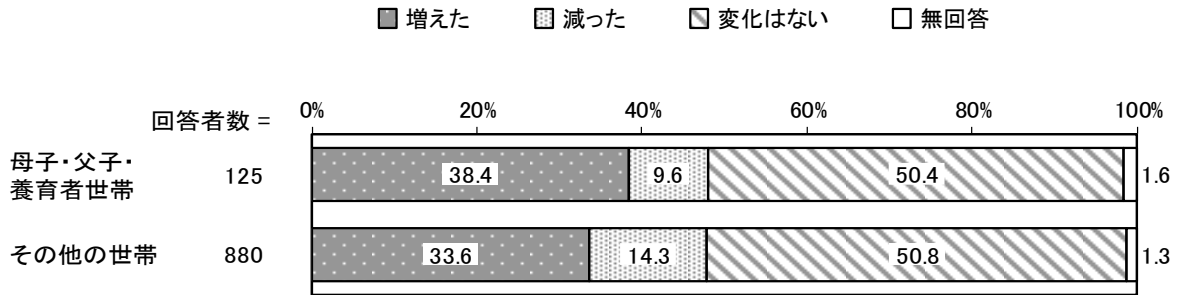
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「増えた」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「減った」「変化はない」の割合が高くなっています。



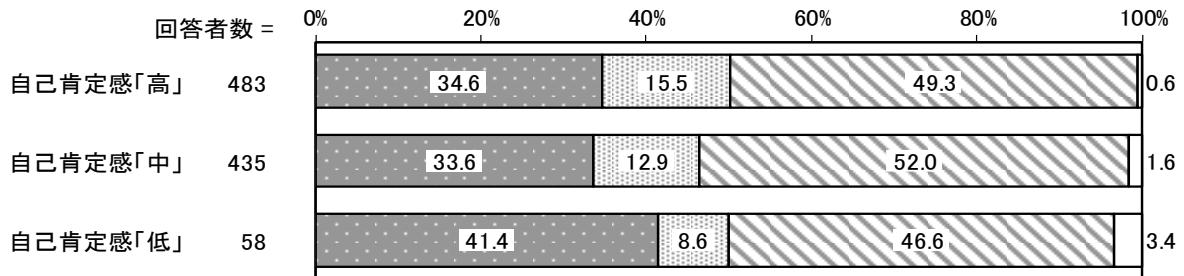
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

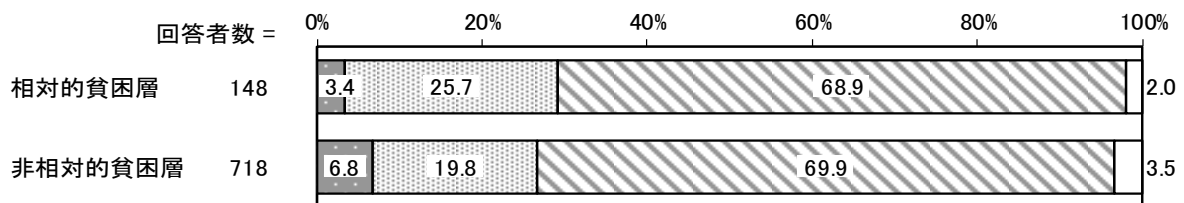
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「増えた」の割合が高くなっています。



C 勤務日数や勤務時間（休日出勤や残業など）

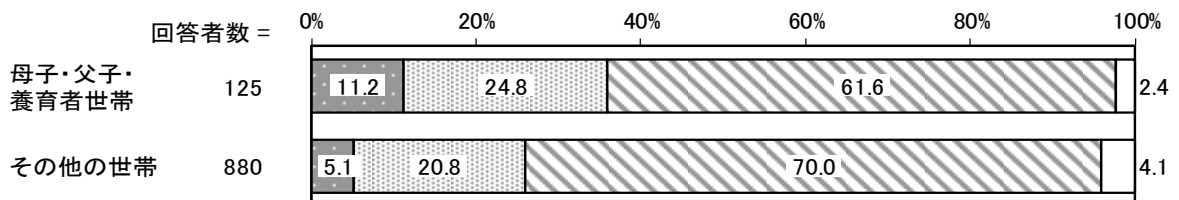
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「減った」の割合が高くなっています。



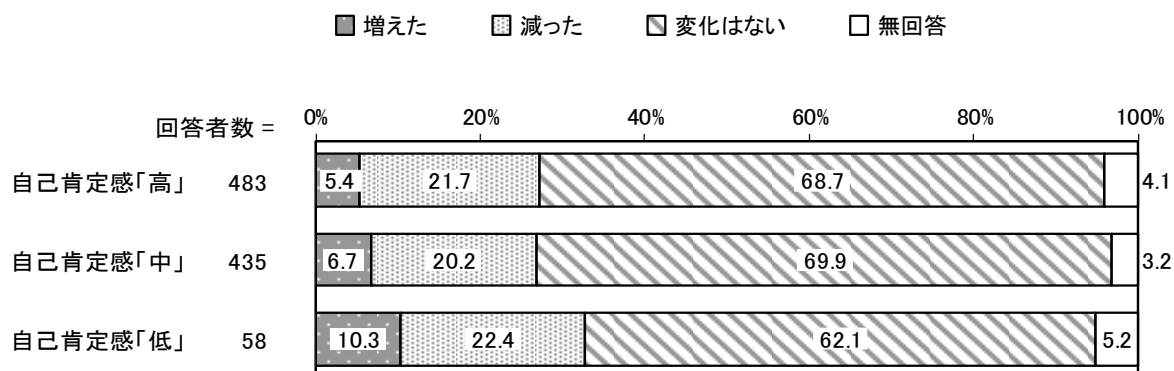
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「増えた」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「変化はない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

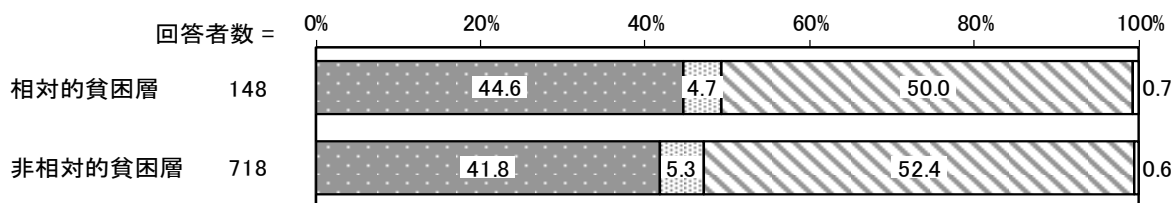
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



D 子どもと過ごす時間

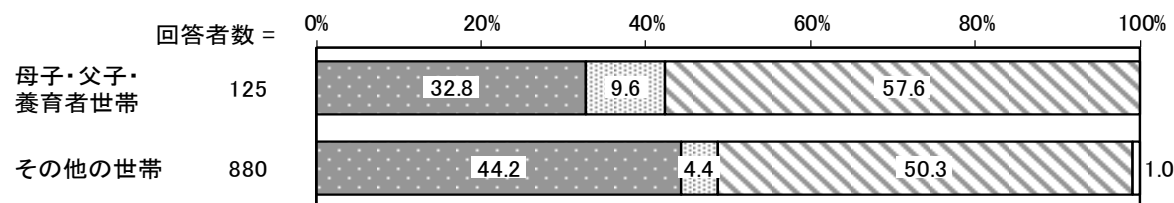
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



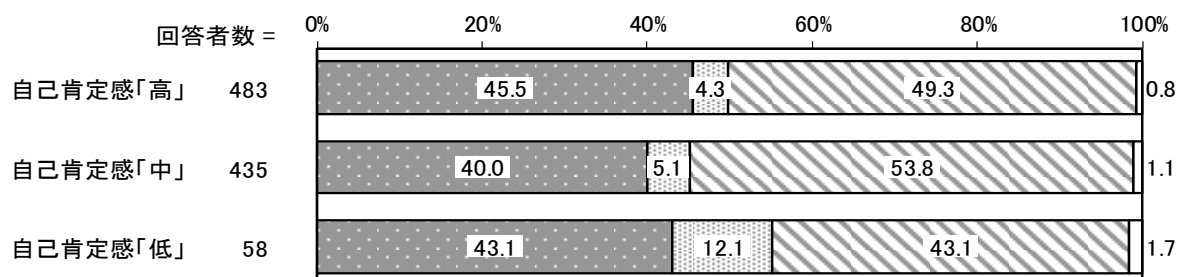
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「減った」「変化はない」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「増えた」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

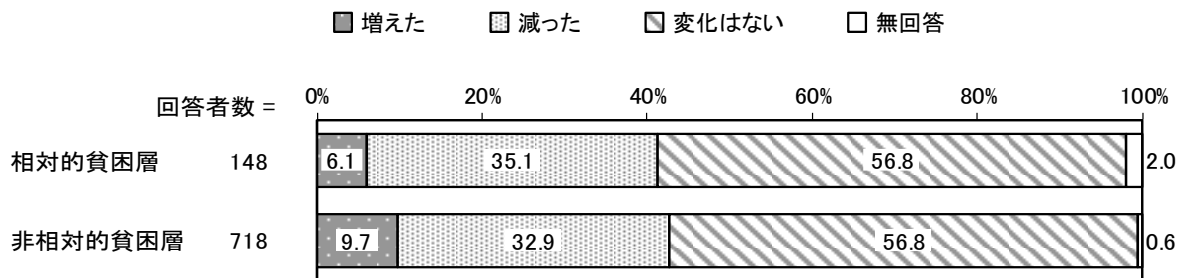
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「減った」の割合が高くなっています。



E 自分の時間

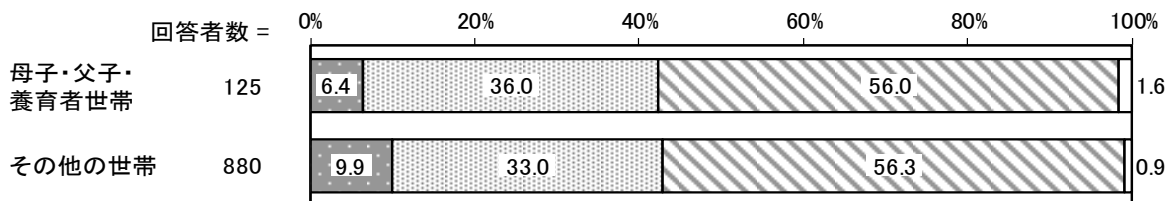
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



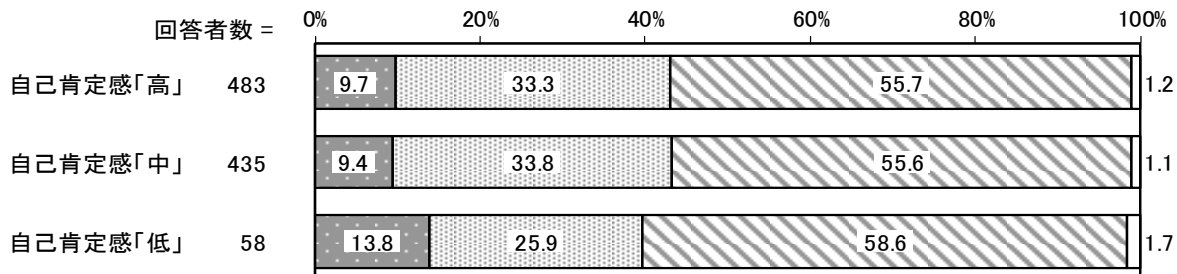
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

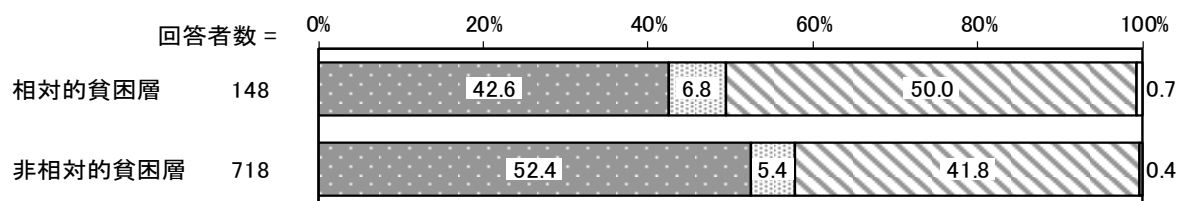
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



F 家にいる時間

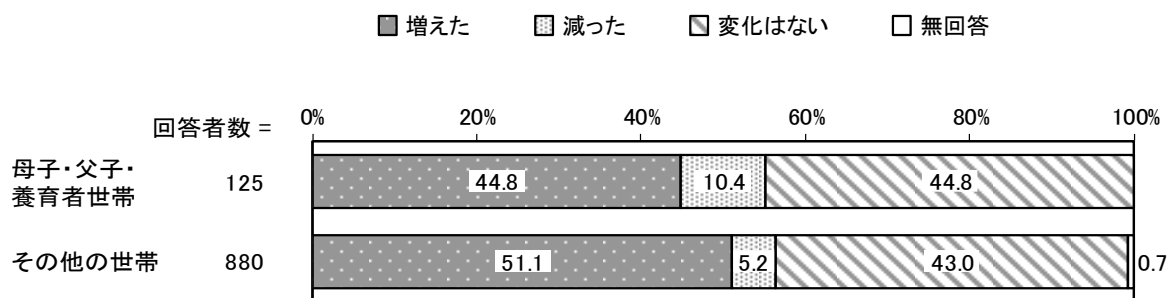
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「変化はない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「増えた」の割合が高くなっています。



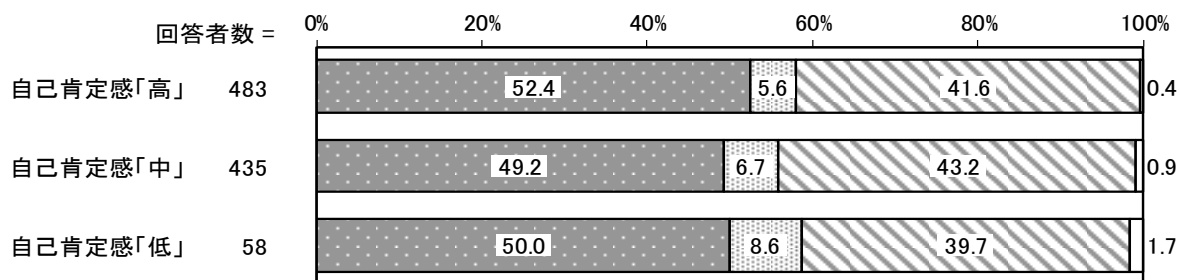
【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「減った」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「増えた」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

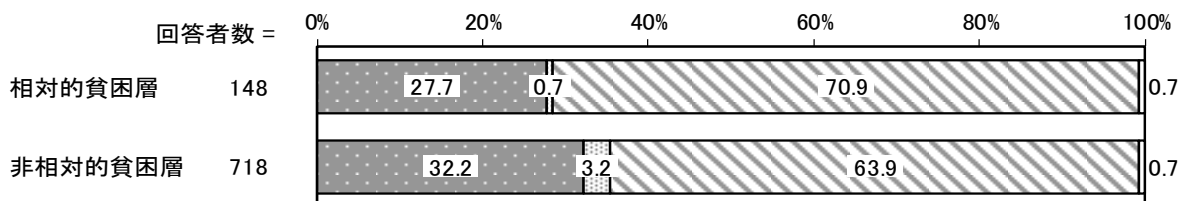
自己肯定感別で見ると、大きな差異はみられません。



G 家族との会話

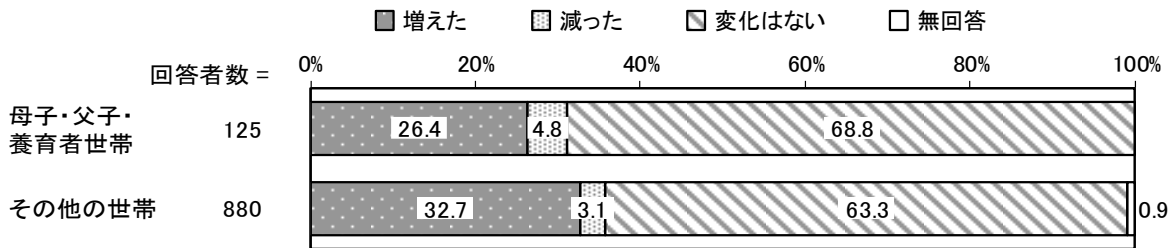
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別で見ると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「変化はない」の割合が高くなっています。



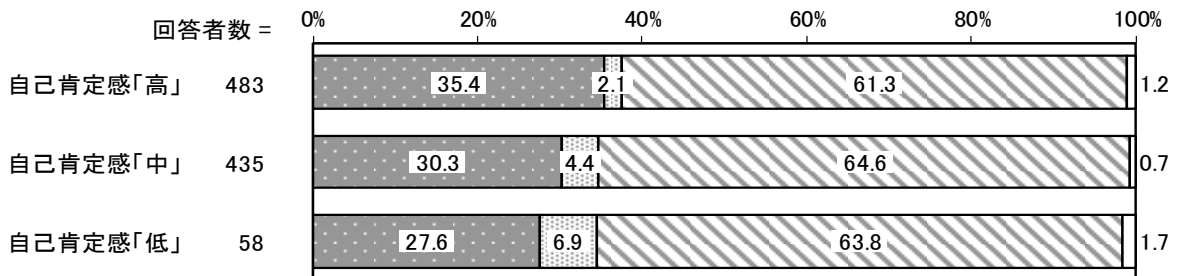
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「変化はない」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「増えた」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

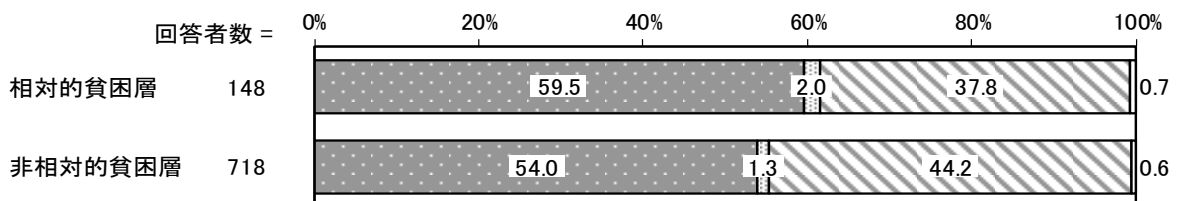
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で「増えた」の割合が高くなっています。



H ストレスや不安な気持ち

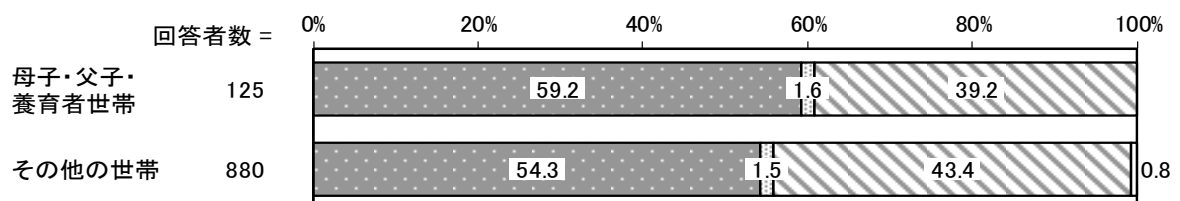
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「増えた」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「変化はない」の割合が高くなっています。



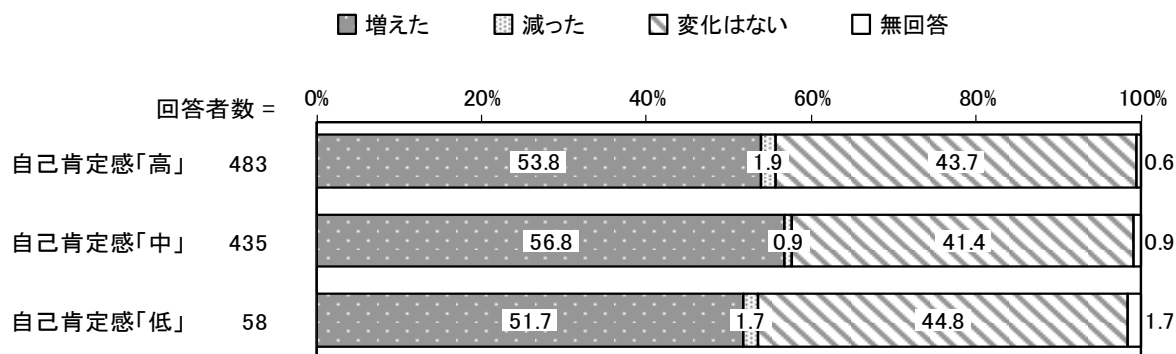
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

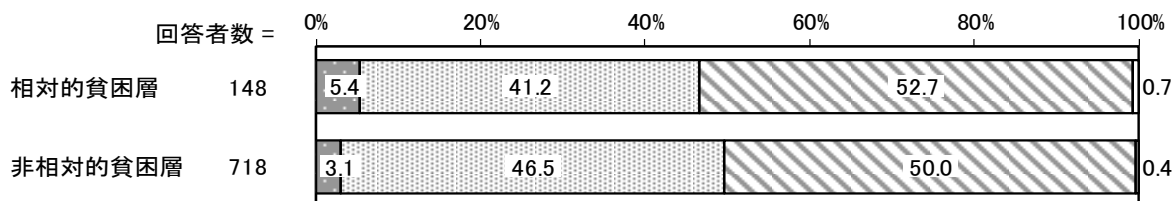
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



I 子育てについてプライベートで気軽に話せる相手や機会

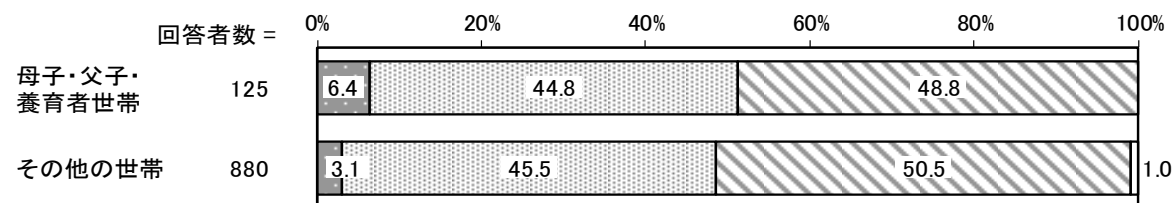
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「減った」の割合が高くなっています。



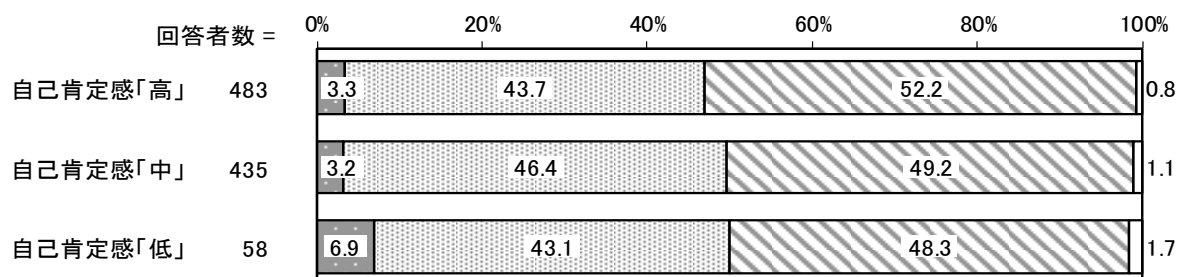
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

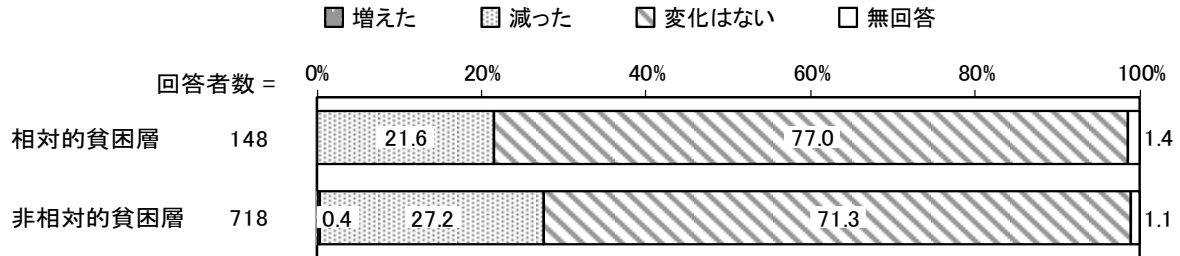
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



J 子育てについて相談できる公的な場や機会

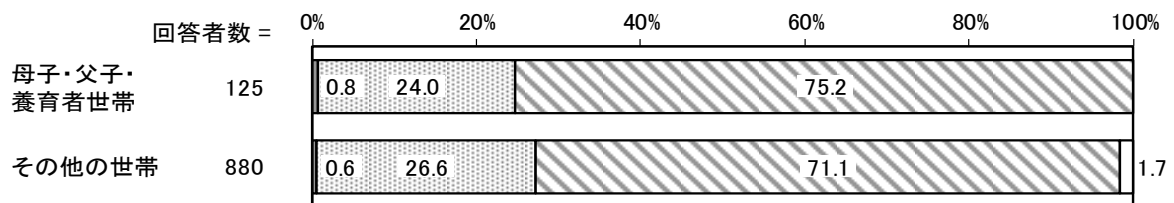
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「変化はない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「減った」の割合が高くなっています。



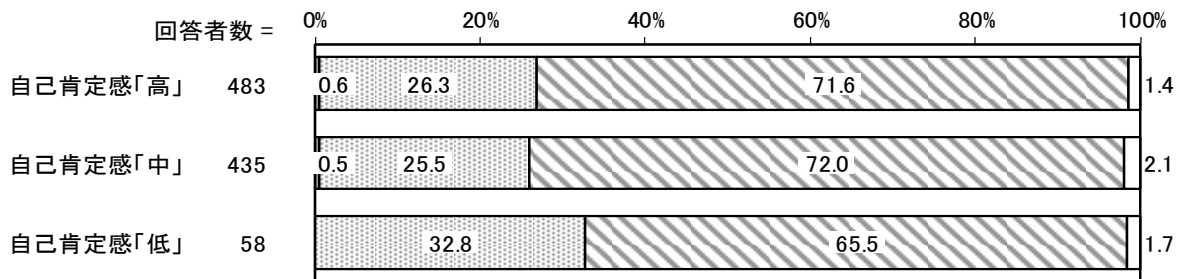
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

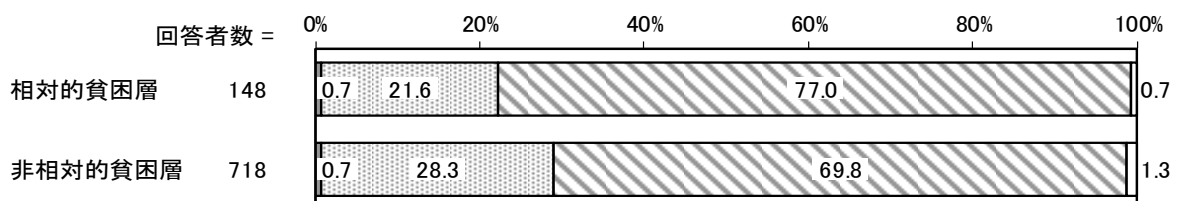
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「減った」の割合が高くなっています。



K 子どもをプライベートで預かってもらえる相手や機会

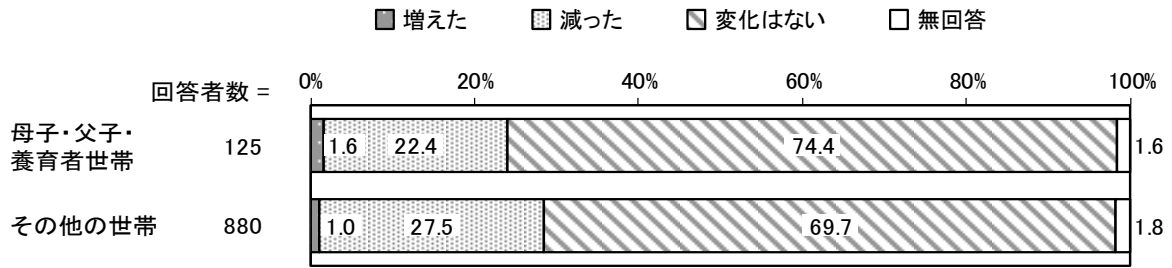
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「変化はない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「減った」の割合が高くなっています。



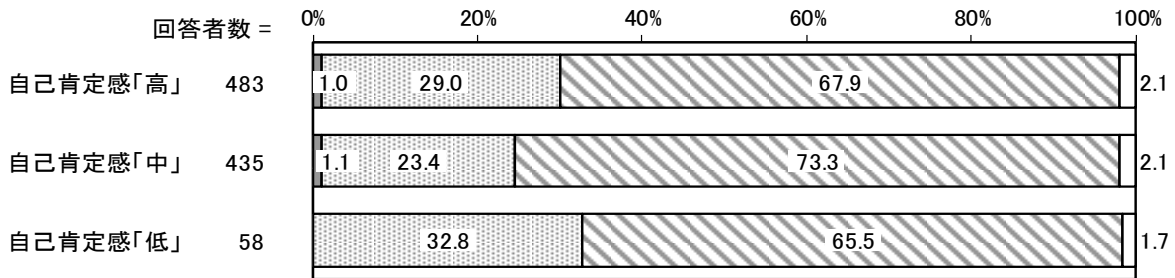
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「減った」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

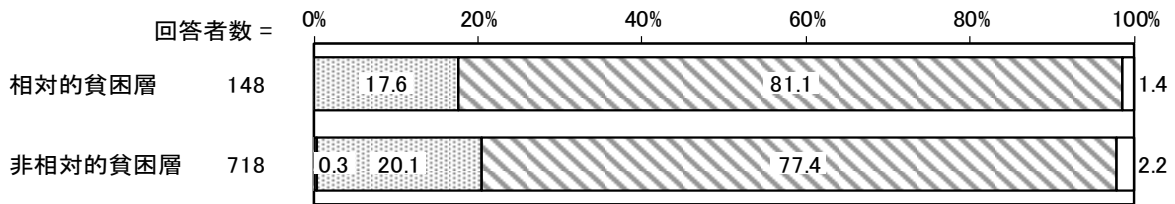
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「中」で「変化はない」の割合が高くなっています。



L 子どもを預かってもらえる公的な場や機会

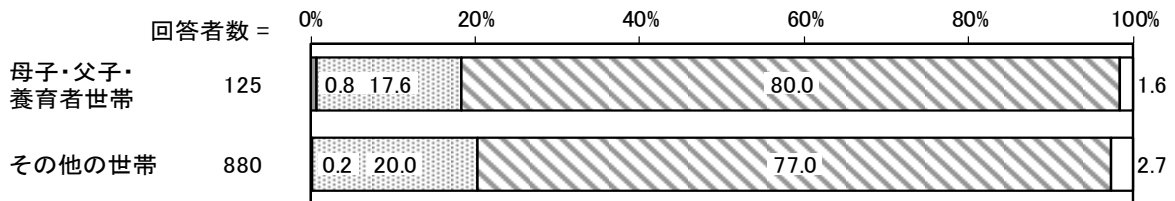
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



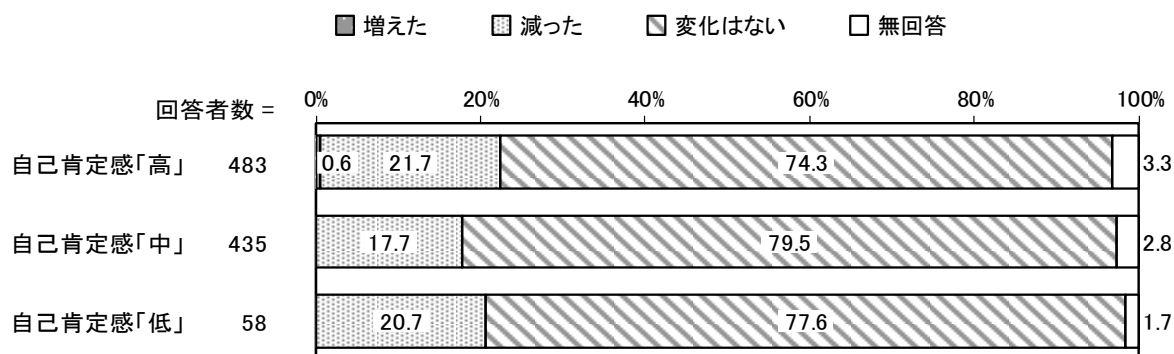
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

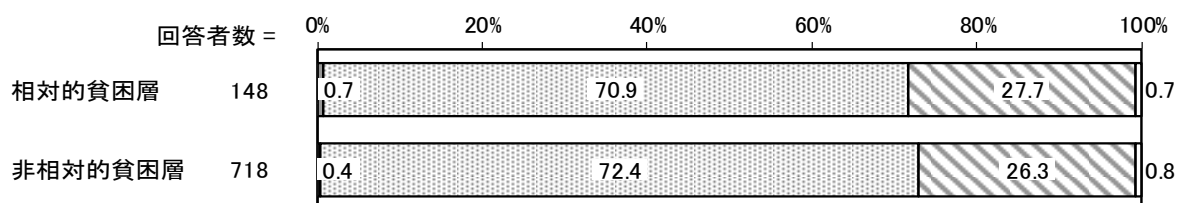
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



M 子どもを自由に遊ばせられる場や機会

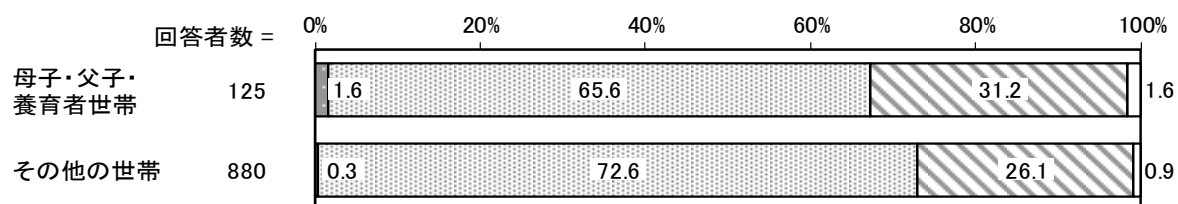
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、大きな差異はみられません。



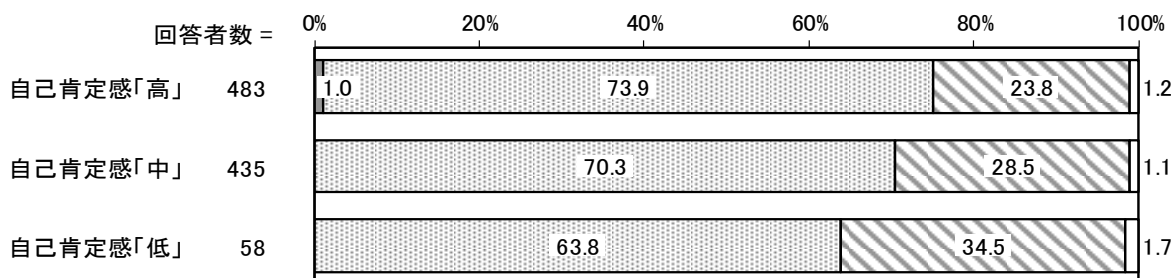
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「変化はない」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「減った」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

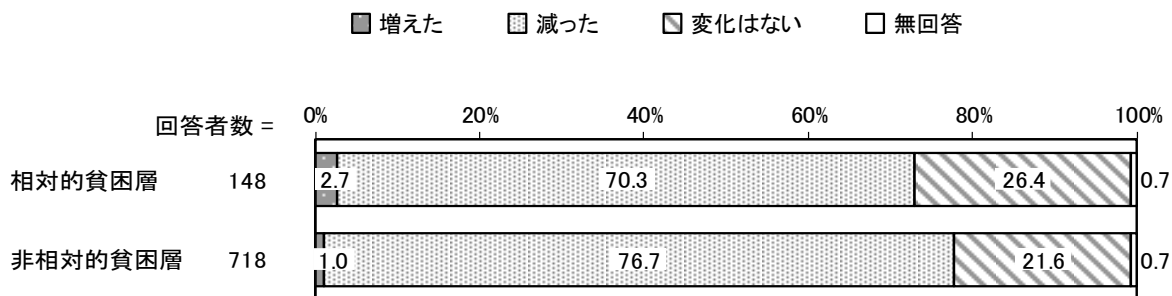
自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「変化はない」の割合が高くなっています。



N 子どもが同世代と遊べる場や機会

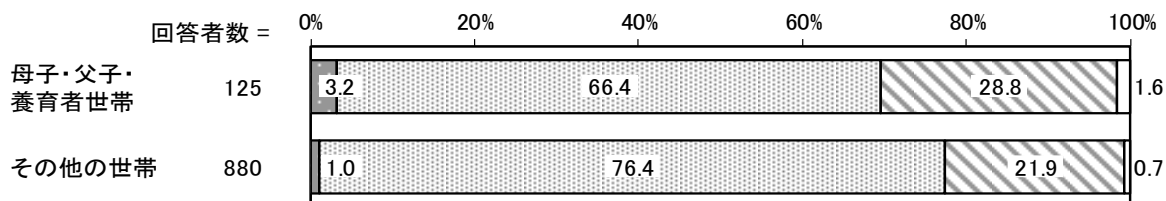
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別で見ると、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「減った」の割合が高くなっています。



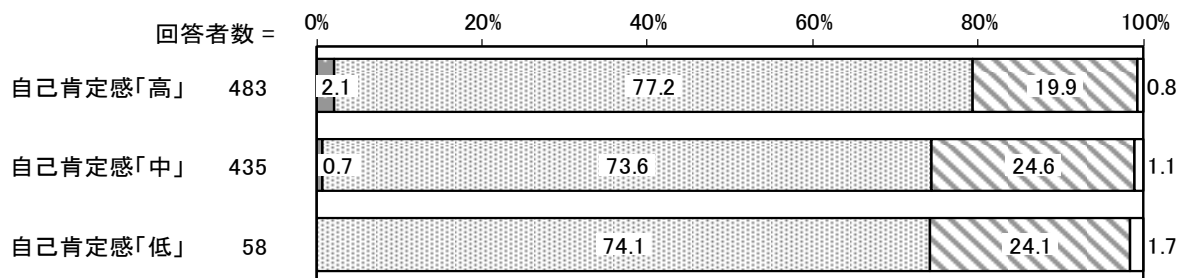
【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「変化はない」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「減った」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

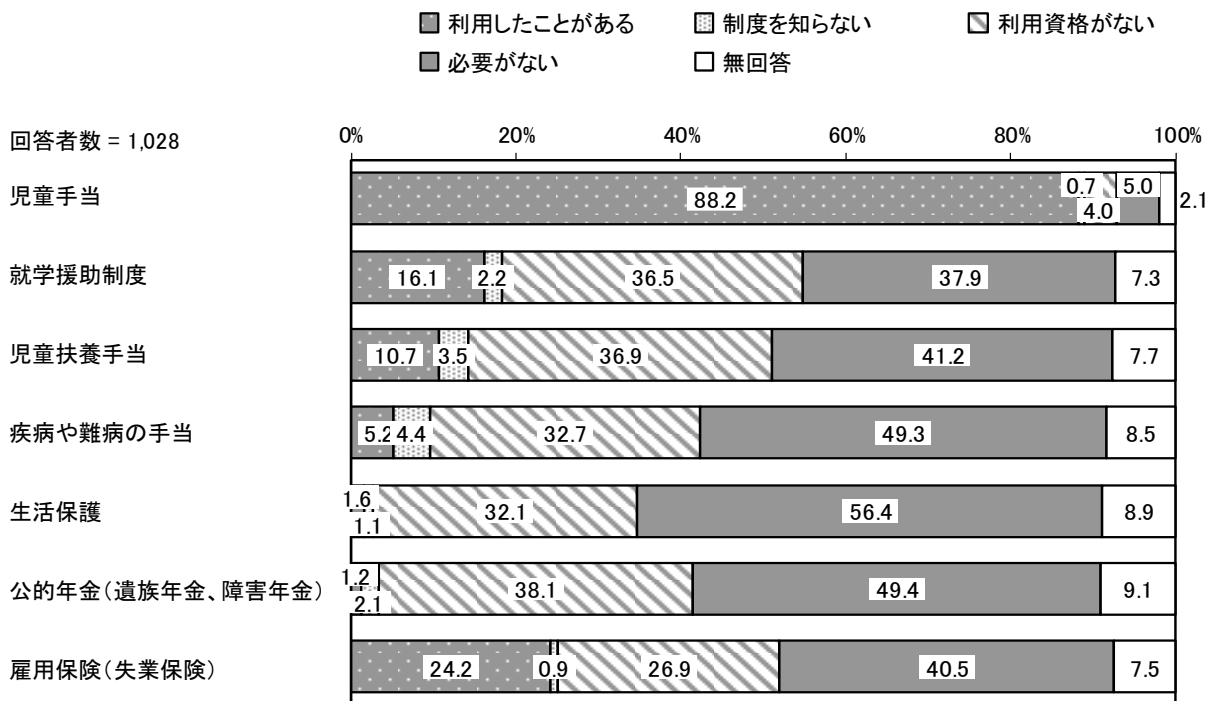
自己肯定感別で見ると、大きな差異はみられません。



(7) 必要な支援等について

問 29 あなたは次の公的制度を利用したことがありますか。また、利用したことがない場合は、その理由を教えてください。(1～4のうちそれぞれ1つに○)

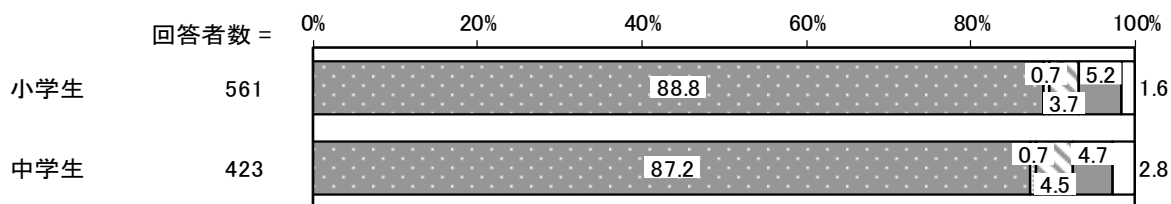
『児童手当』で「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、『生活保護』で「必要がない」の割合が高くなっています。



児童手当

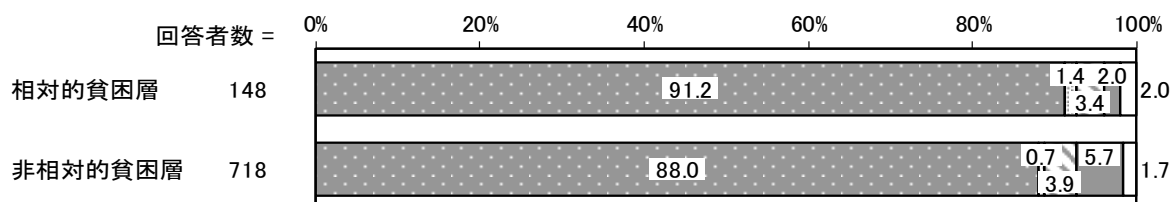
【小5・中2別】

小5・中2別で見ると、大きな差異はみられません。



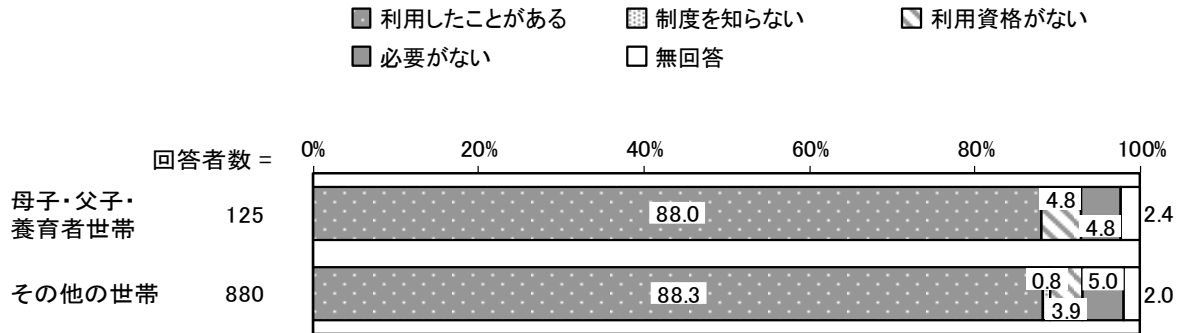
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別で見ると、大きな差異はみられません。



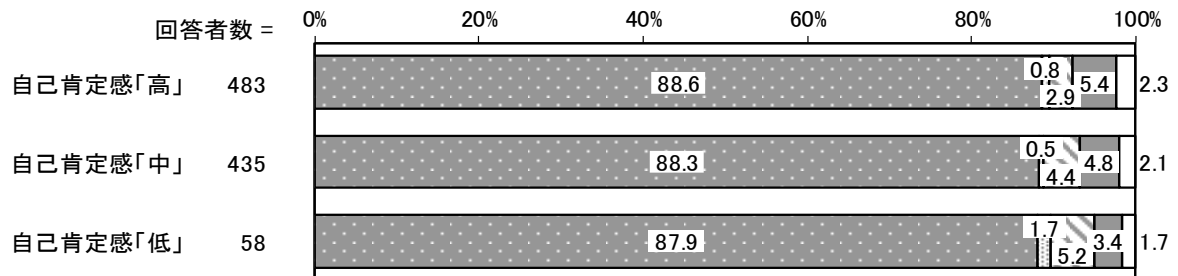
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、大きな差異はみられません。



【自己肯定感別】

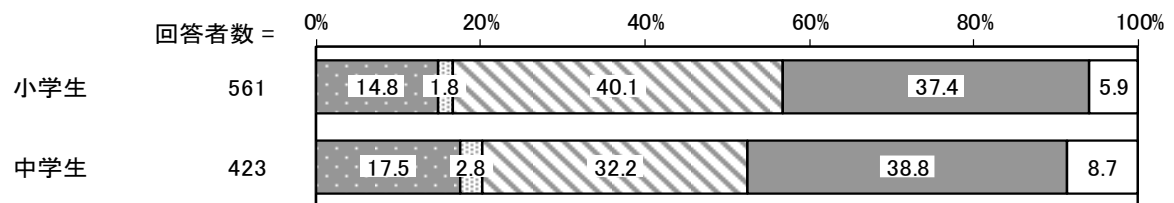
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



就学援助制度

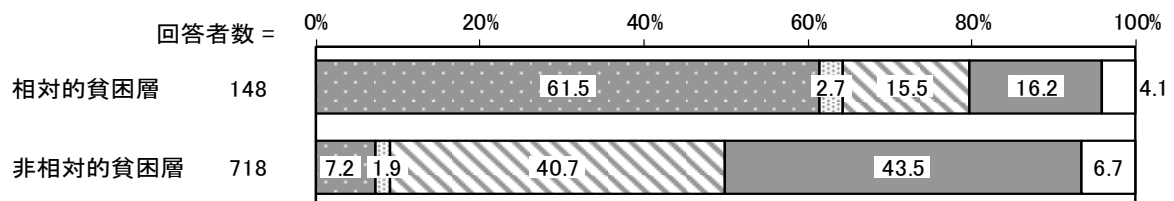
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「利用資格がない」の割合が高くなっています。



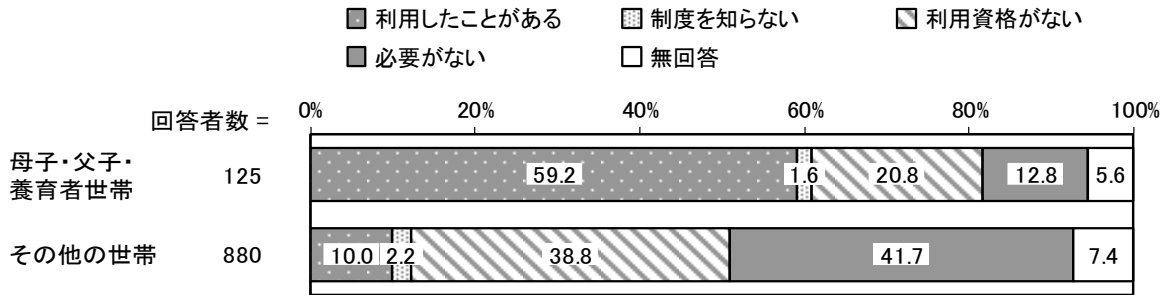
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「利用資格がない」「必要がない」の割合が高くなっています。



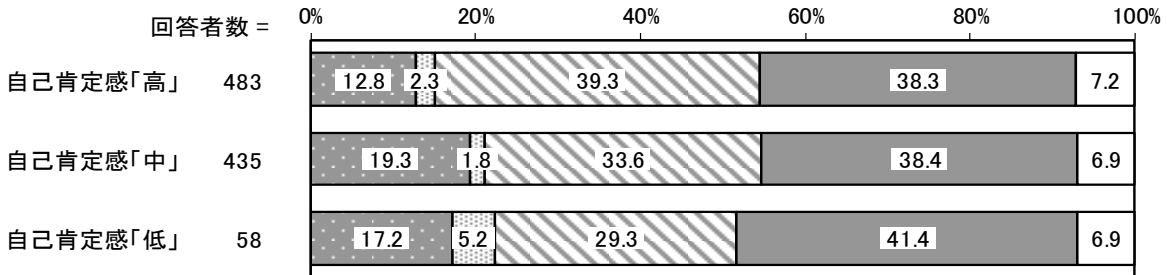
【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「利用資格がない」「必要がない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

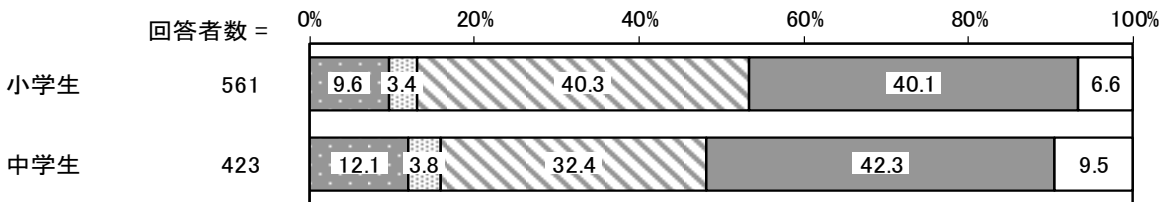
自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「高」で「利用資格がない」の割合が高くなっています。



児童扶養手当

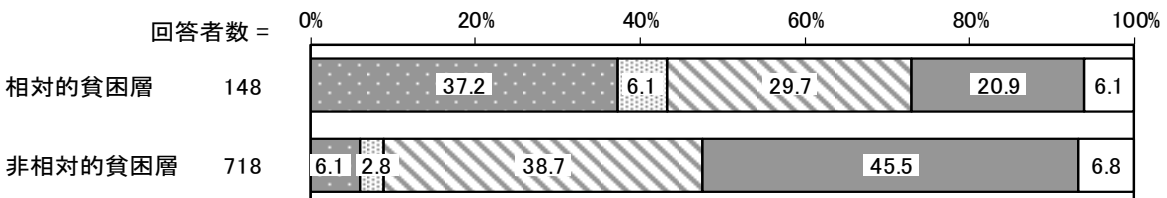
【小5・中2別】

小5・中2別で見ると、中学生に比べ、小学生で「利用資格がない」の割合が高くなっています。



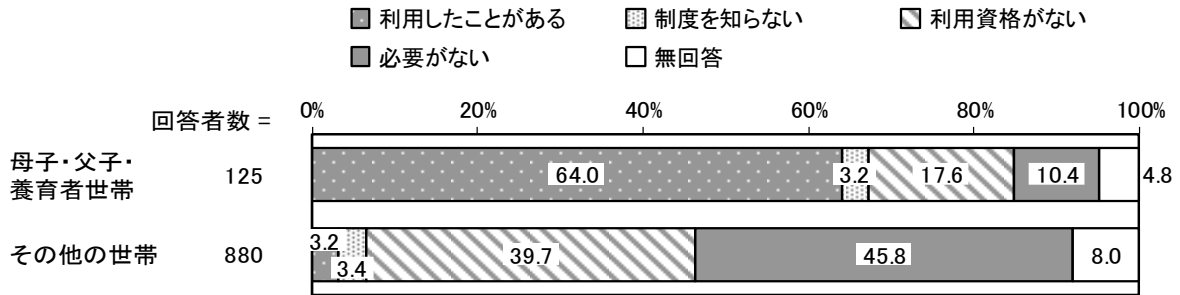
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別で見ると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「利用資格がない」「必要がない」の割合が高くなっています。



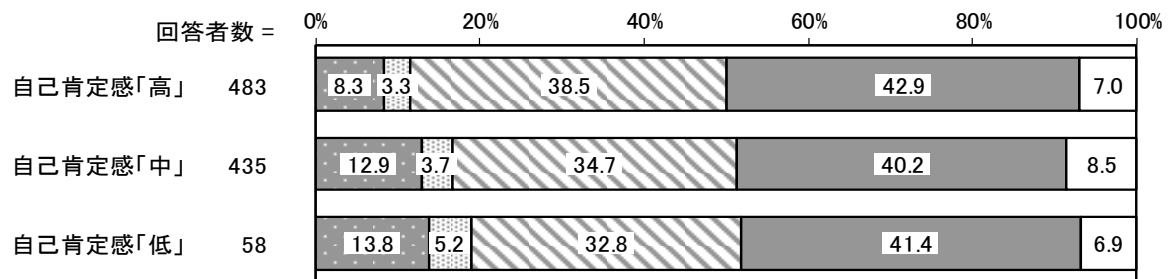
【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「利用資格がない」「必要がない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

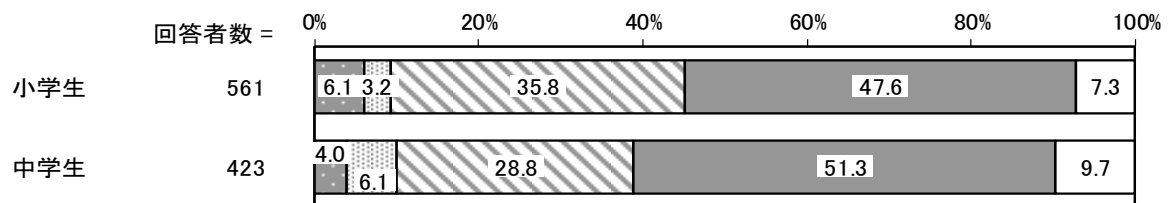
自己肯定感別で見ると、大きな差異はみられません。



疾病や難病の手当

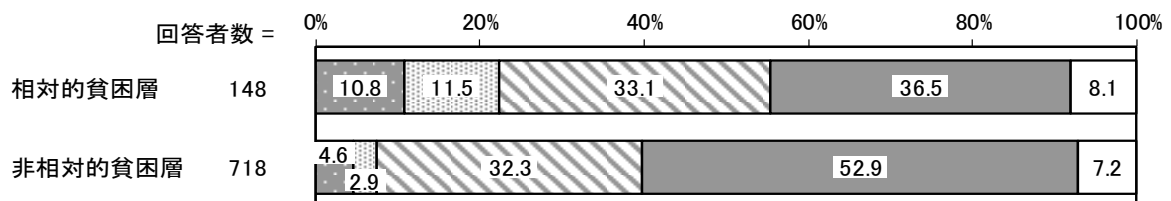
【小5・中2別】

小5・中2別で見ると、中学生に比べ、小学生で「利用資格がない」の割合が高くなっています。



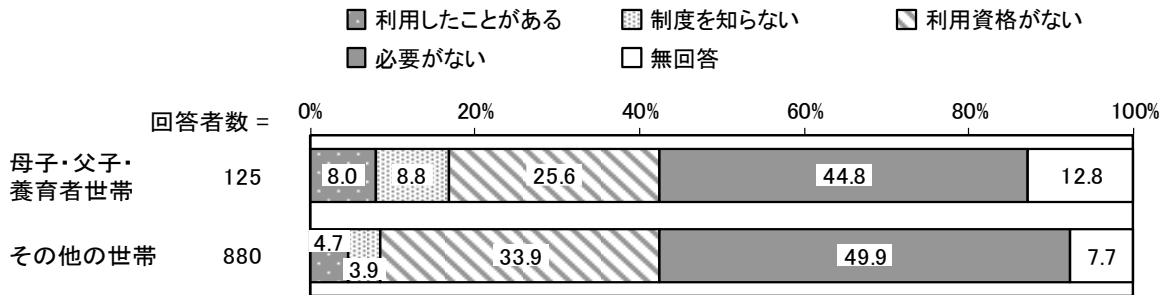
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別で見ると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「利用したことがある」「制度を知らない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「必要がない」の割合が高くなっています。



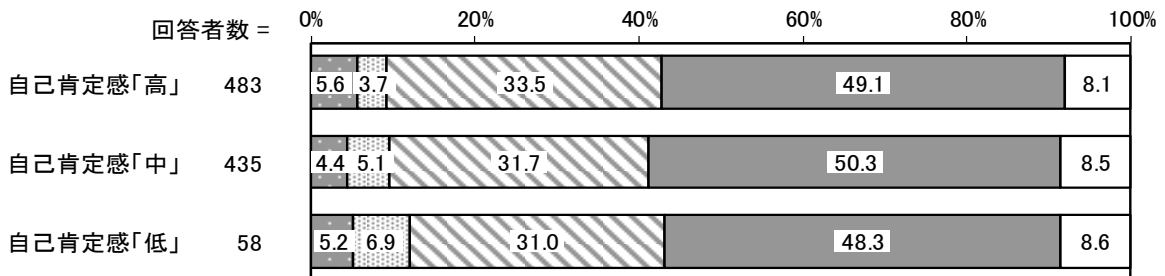
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「利用資格がない」「必要がない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

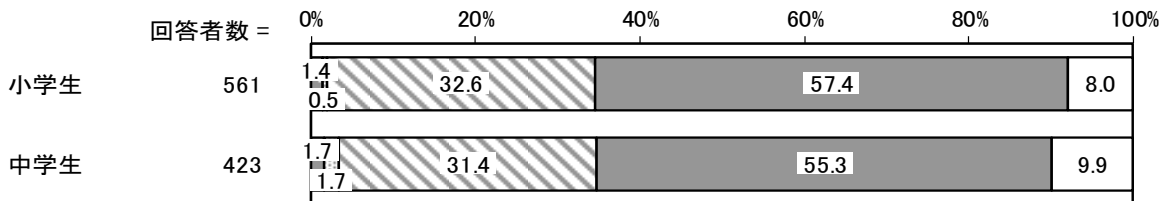
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



生活保護

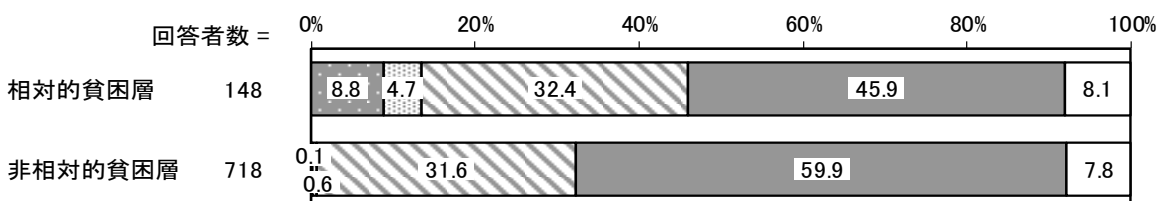
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、大きな差異はみられません。



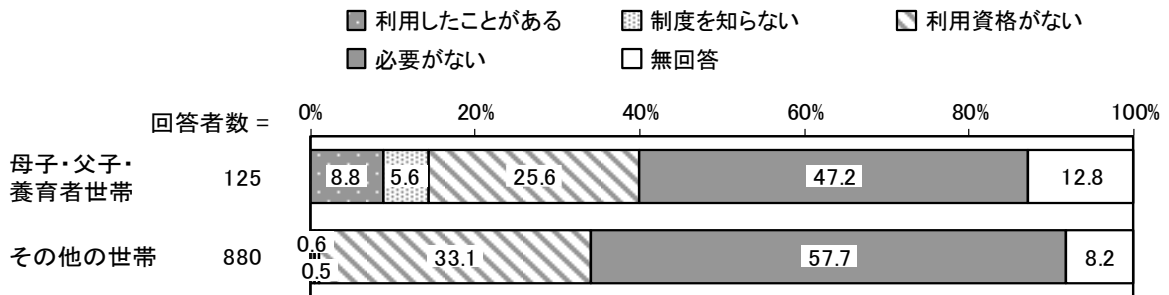
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「必要がない」の割合が高くなっています。



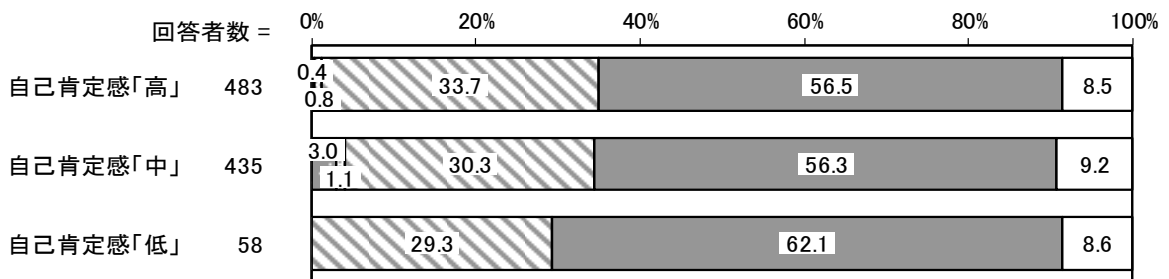
【家庭類型別】

家庭類型別で見ると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「利用したことがある」「制度を知らない」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「利用資格がない」「必要がない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

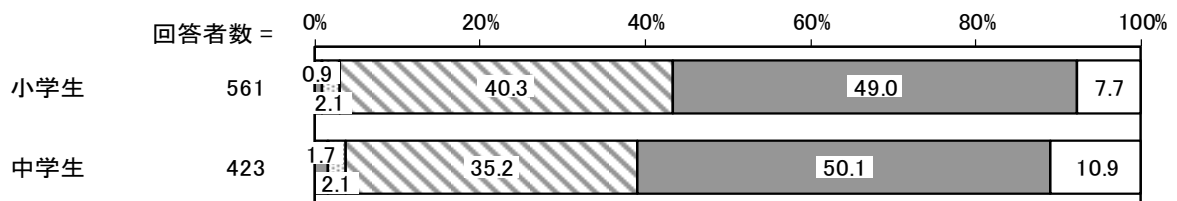
自己肯定感別で見ると、他に比べ、自己肯定感「低」で「必要がない」の割合が高くなっています。



公的年金（遺族年金、障害年金）

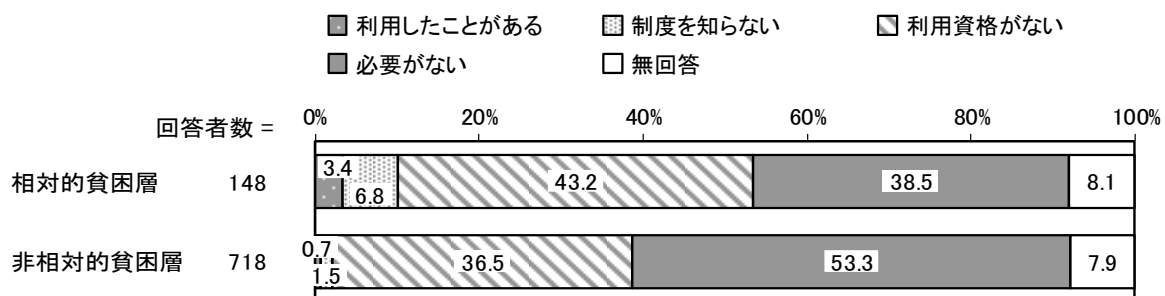
【小5・中2別】

小5・中2別で見ると、中学生に比べ、小学生で「利用資格がない」の割合が高くなっています。



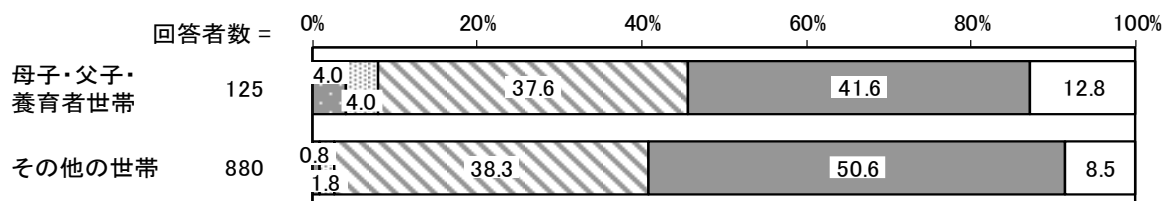
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「制度を知らない」「利用資格がない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「必要がない」の割合が高くなっています。



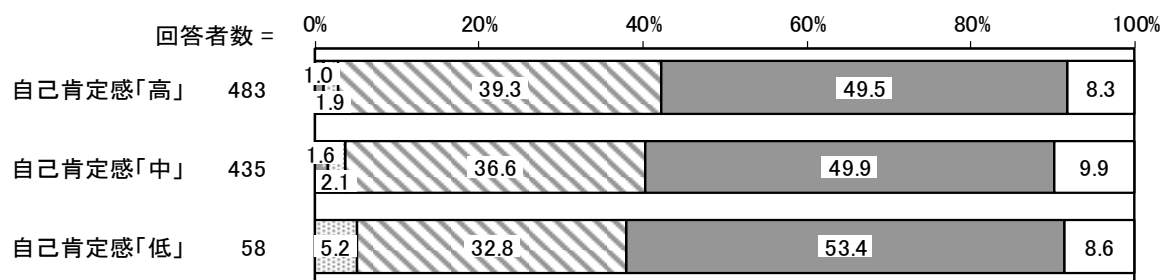
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「必要がない」の割合が高くなっています。



【自己肯定感別】

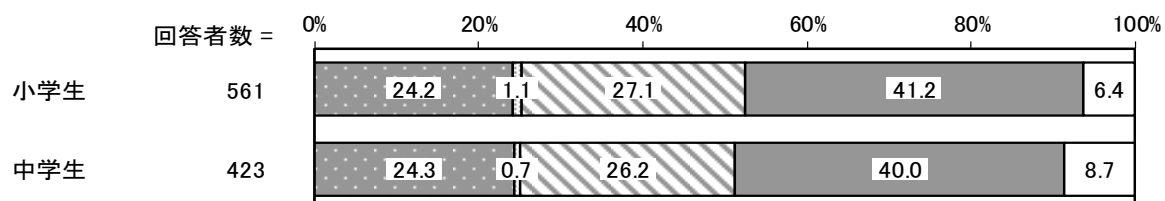
自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



雇用保険（失業保険）

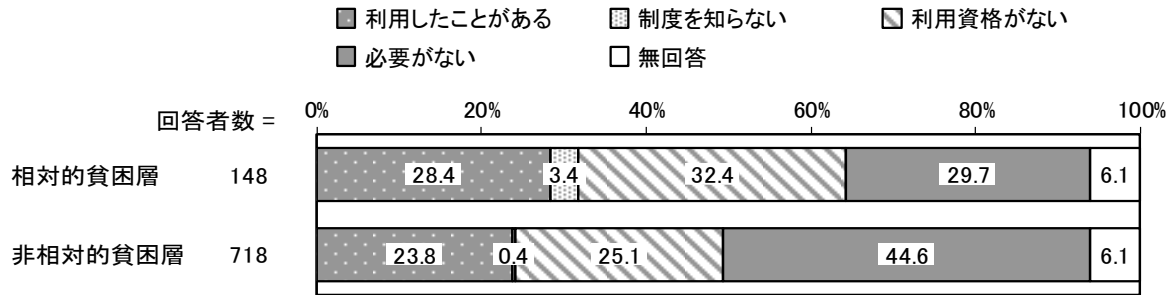
【小5・中2別】

小5・中2別でみると、大きな差異はみられません。



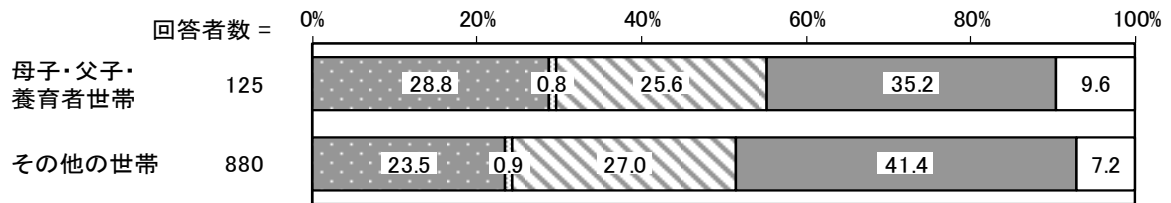
【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「利用資格がない」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「必要がない」の割合が高くなっています。



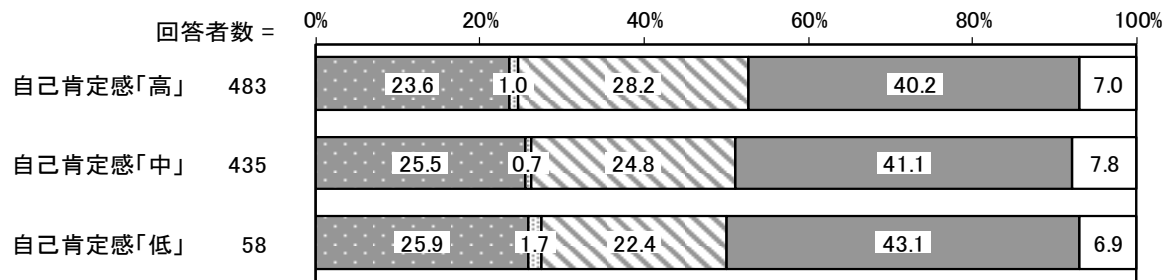
【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「利用したことがある」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「必要がない」の割合が高くなっています。



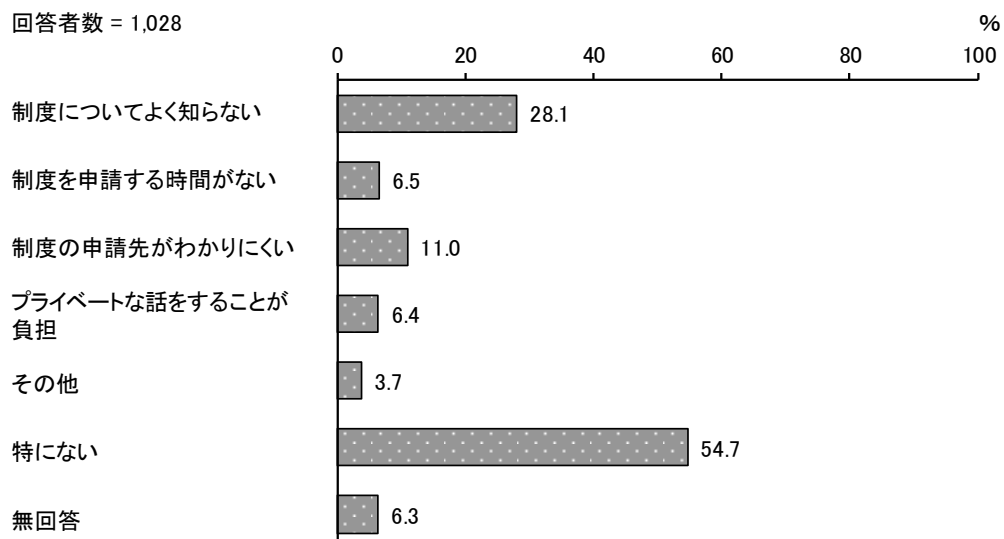
【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、大きな差異はみられません。



問 30 あなたが奈良市の支援制度（手当や就学援助など）を受けらるうで、困ったことはどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

「特にない」の割合が 54.7%と最も高く、次いで「制度についてよく知らない」の割合が 28.1%、「制度の申請先がわかりにくい」の割合が 11.0%となっています。



【小5・中2別】

小5・中2別でみると、大きな差異はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	制度についてよく知らない	制度を申請する時間がない	制度の申請先がわかりにくい	プライベートな話をすることが負担	その他	特にない	無回答
小学生	561	29.1	7.8	13.2	6.6	3.9	53.5	5.5
中学生	423	27.4	5.4	9.2	6.1	3.5	55.6	7.3

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「プライベートな話をすることが負担」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「特にない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度についてよく 知らない	制度を申請する時 間がない	制度の申請先がわ かりにくい	プライベートな話 をすることが負担	その他	特にない	無回答
相対的貧困層	148	27.0	10.8	14.9	15.5	6.1	50.0	5.4
非相対的貧困層	718	26.7	6.1	10.2	4.5	3.2	57.7	5.7

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「プライベートな話をすることが負担」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「制度についてよく知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度についてよく 知らない	制度を申請する時 間がない	制度の申請先がわ かりにくい	プライベートな話 をすることが負担	その他	特にない	無回答
母子・父子・養育者世帯	125	19.2	10.4	12.8	12.8	8.0	56.0	2.4
その他の世帯	880	29.5	5.9	10.5	5.6	3.2	54.7	6.7

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、自己肯定感が低い人ほど「制度についてよく知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	制度についてよく 知らない	制度を申請する時 間がない	制度の申請先がわ かりにくい	プライベートな話 をすることが負担	その他	特にない	無回答
自己肯定感「高」	483	26.1	6.8	11.8	6.6	4.1	55.7	5.8
自己肯定感「中」	435	29.7	6.7	10.6	6.2	3.2	55.6	6.0
自己肯定感「低」	58	34.5	6.9	12.1	6.9	3.4	43.1	10.3

【可処分所得別】

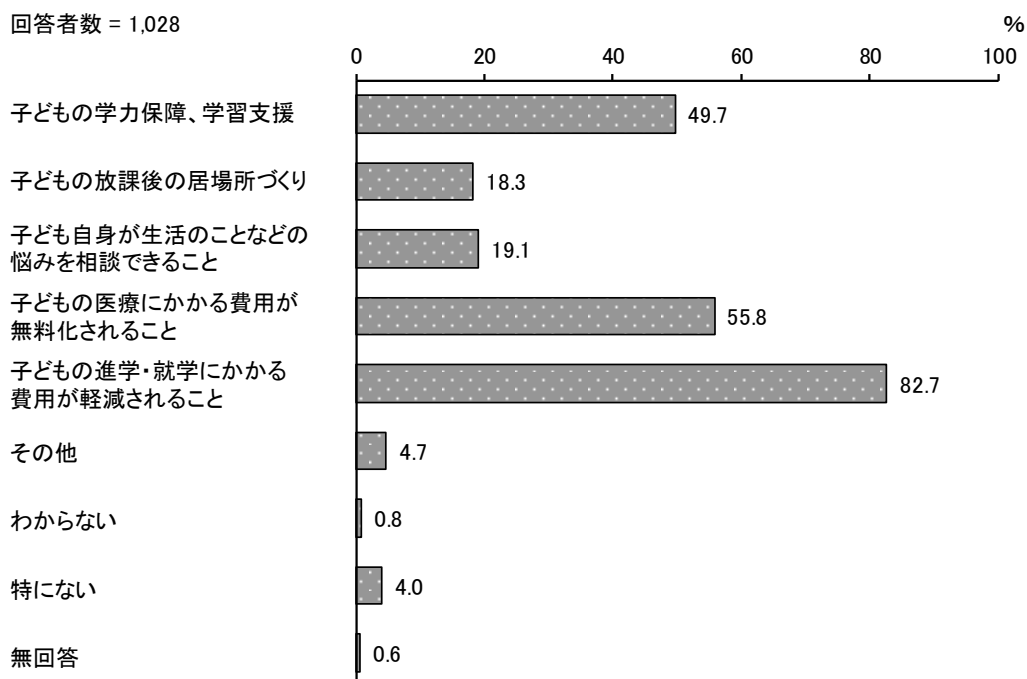
可処分所得別で見ると、他に比べ、100万円未満で「制度についてよく知らない」「制度の申請先がわかりにくい」「プライベートな話をすることが負担」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	制度についてよく知らない	制度を申請する時間がない	制度の申請先がわかりにくい	プライベートな話をすることが負担	その他	特になし	無回答
100万円未満	42	38.1	9.5	23.8	26.2	2.4	47.6	—
100万円以上～200万円未満	62	19.4	11.3	11.3	12.9	4.8	58.1	3.2
200万円以上～300万円未満	70	24.3	15.7	14.3	10.0	10.0	44.3	8.6
300万円以上～400万円未満	99	29.3	13.1	17.2	4.0	6.1	46.5	9.1
400万円以上～500万円未満	125	27.2	4.8	12.8	6.4	2.4	56.8	4.0
500万円以上～600万円未満	139	29.5	4.3	9.4	7.2	5.0	55.4	5.8
600万円以上～700万円未満	89	25.8	5.6	9.0	2.2	—	60.7	6.7
700万円以上～800万円未満	79	29.1	1.3	5.1	3.8	2.5	63.3	3.8
800万円以上～900万円未満	52	11.5	1.9	7.7	1.9	—	67.3	9.6
900万円以上～1,000万円未満	42	28.6	4.8	9.5	—	2.4	61.9	2.4
1,000万円以上	75	26.7	6.7	4.0	1.3	2.7	62.7	5.3
わからない	91	41.8	1.1	9.9	7.7	4.4	44.0	4.4

問 31 お子さんに対して必要と思われる支援、または、重要だと思う支援等はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもの進学・就学にかかる費用が軽減されること」の割合が 82.7%と最も高く、次いで「子どもの医療にかかる費用が無料化されること」の割合が 55.8%、「子どもの学力保障、学習支援」の割合が 49.7%となっています。



【小5・中2別】

小5・中2別で見ると、中学生に比べ、小学生で「子どもの放課後の居場所づくり」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	子どもの学力保障、学習支援	子どもの放課後の居場所づくり	子ども自身が生活のことなどの悩みを相談できること	子どもの医療にかかる費用が無料化されること	子どもの進学・就学にかかる費用が軽減されること	その他	わからない	特にない	無回答
小学生	561	49.9	23.2	19.3	57.2	81.6	5.3	0.5	3.6	0.7
中学生	423	50.4	11.8	19.6	55.3	84.9	3.5	1.2	3.3	0.5

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「子どもの学力保障、学習支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子どもの学力保障、 学習支援	子どもの放課後の 居場所づくり	子ども自身が生活 のことなどの悩み を相談できること	子ども自身が生活 のことなどの悩み を相談できること	子どもの医療にか かる費用が無料 化されること	子どもの進学・就学 にかかる費用が軽 減されること	その他	わからない	特にな い	無回 答
相対的貧困層	148	58.8	14.2	16.9	56.8	85.8	4.1	—	1.4	—	
非相対的貧困層	718	47.1	18.8	19.1	53.8	81.2	4.9	1.0	4.9	0.6	

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「子どもの放課後の居場所づくり」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子どもの学力保障、 学習支援	子どもの放課後の 居場所づくり	子ども自身が生活 のことなどの悩み を相談できること	子ども自身が生活 のことなどの悩み を相談できること	子どもの医療にか かる費用が無料 化されること	子どもの進学・就学 にかかる費用が軽 減されること	その他	わからない	特にな い	無回 答
母子・父子・養育者世帯	125	51.2	13.6	21.6	52.8	83.2	5.6	—	4.0	0.8	
その他の世帯	880	49.8	18.9	19.0	56.1	82.6	4.7	0.9	4.0	0.6	

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「子ども自身が生活のことなどの悩みを相談できること」「子どもの学力保障、学習支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	子どもの学力保障、 学習支援	子どもの放課後の 居場所づくり	子ども自身が生活 のことなどの悩み を相談できること	子ども自身が生活 のことなどの悩み を相談できること	子どもの医療にか かる費用が無料 化されること	子どもの進学・就学 にかかる費用が軽 減されること	その他	わからない	特にな い	無回 答
自己肯定感「高」	483	46.2	19.0	14.9	55.5	82.0	4.3	0.6	5.0	0.6	
自己肯定感「中」	435	53.3	16.1	22.5	59.1	84.4	3.9	1.1	1.8	0.7	
自己肯定感「低」	58	58.6	24.1	31.0	46.6	86.2	10.3	—	1.7	—	

【可処分所得別】

可処分所得別でみると、他に比べ、100万円以上～200万円未満、200万円以上～300万円未満、300万円以上～400万円未満で「子どもの学力保障、学習支援」の割合が、300万円以上～400万円未満で「子どもの医療にかかる費用が無料化されること」の割合が高くなっています。また、200万円以上～300万円未満、300万円以上～400万円未満、400万円以上～500万円未満で「子どもの進学・就学にかかる費用が軽減されること」の割合が高くなっています。

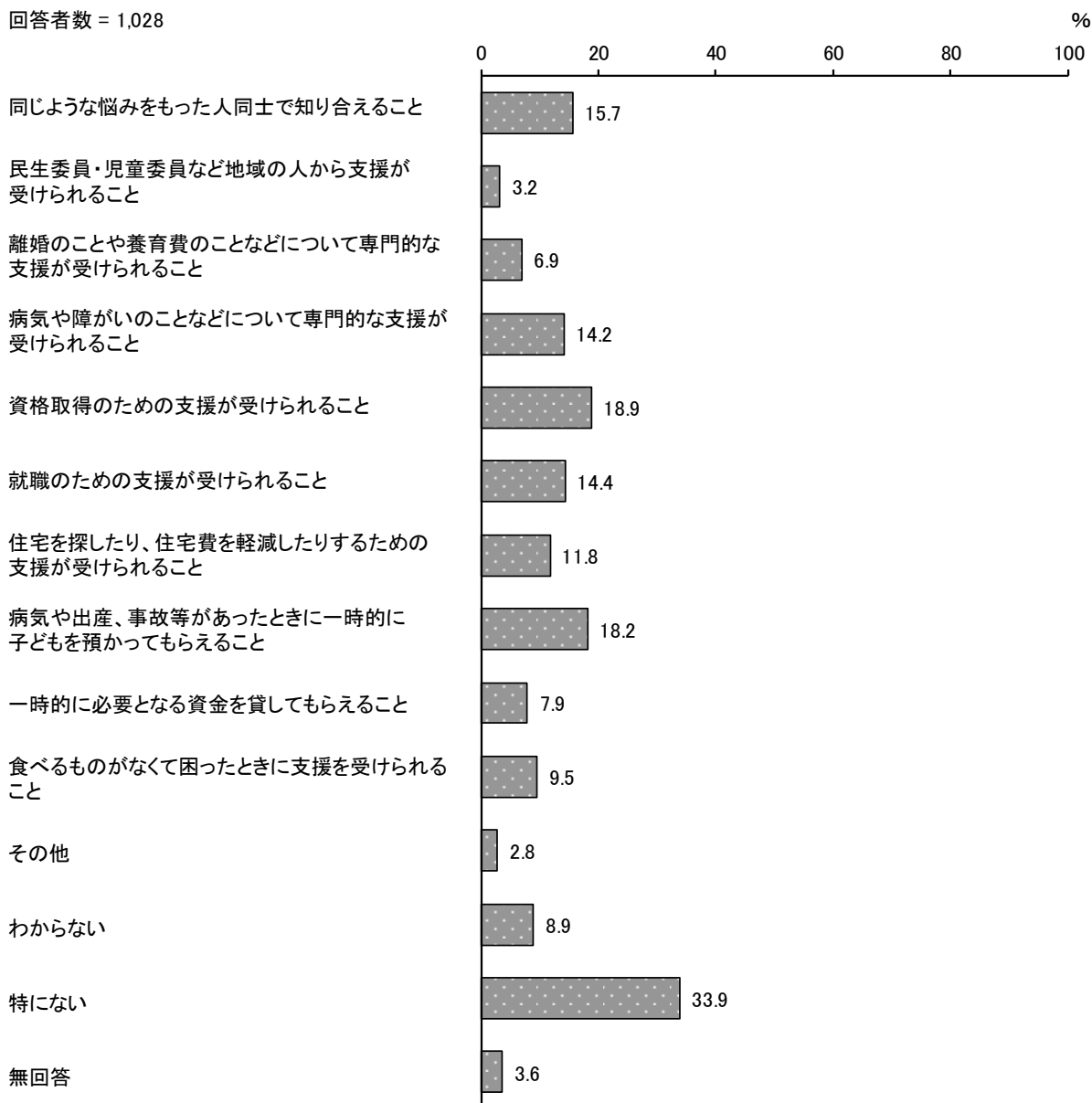
単位：％

区分	回答者数 (件)	子どもの学力保障、 学習支援	子どもの放課後の 居場所づくり	子ども自身が生活 のことなどの悩み を相談できること	子どもの医療にか かる費用が無料化 されること	子どもの進学・就学 にかかる費用が軽 減されること	その他	わからない	特にな い	無回 答
100万円未満	42	54.8	19.0	16.7	54.8	85.7	—	—	—	—
100万円以上～ 200万円未満	62	61.3	11.3	19.4	54.8	82.3	4.8	—	3.2	—
200万円以上～ 300万円未満	70	57.1	14.3	14.3	54.3	88.6	1.4	—	—	—
300万円以上～ 400万円未満	99	59.6	21.2	18.2	65.7	90.9	7.1	1.0	5.1	1.0
400万円以上～ 500万円未満	125	50.4	16.0	20.0	60.8	88.8	7.2	0.8	4.8	—
500万円以上～ 600万円未満	139	51.1	18.7	23.0	56.1	82.0	3.6	—	5.8	1.4
600万円以上～ 700万円未満	89	43.8	21.3	13.5	56.2	85.4	3.4	1.1	2.2	—
700万円以上～ 800万円未満	79	39.2	21.5	19.0	41.8	75.9	7.6	—	5.1	1.3
800万円以上～ 900万円未満	52	30.8	15.4	17.3	55.8	86.5	1.9	1.9	3.8	—
900万円以上～ 1,000万円未満	42	47.6	7.1	19.0	45.2	71.4	2.4	—	4.8	—
1,000万円以上	75	38.7	24.0	21.3	37.3	54.7	6.7	4.0	9.3	—
わからない	91	48.4	25.3	23.1	65.9	85.7	3.3	1.1	2.2	1.1

問 32 あなたが現在必要としている支援、または、重要だと思う支援等はどうなものですか。(あてはまるものすべてに○)

「特にない」の割合が 33.9%と最も高く、次いで「資格取得のための支援が受けられること」の割合が 18.9%、「病気や出産、事故等があったときに一時的に子どもを預かってもらえること」の割合が 18.2%となっています。

回答者数 = 1,028



【小5・中2別】

小5・中2別でみると、中学生に比べ、小学生で「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」「病気や出産、事故等があったときに一時的に子どもを預かってもらえること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	同じような悩みをもった人同士で知り合えること	民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	資格取得のための支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故等があったときに一時的に子どもを預かってもらえること	一時的に必要な資金を貸してもらえらること	食べるものがなくて困ったときに支援を受けられること	その他	わからない	特にない	無回答
小学生	561	16.9	3.9	5.7	17.5	18.4	15.2	10.7	20.7	6.6	9.4	2.9	7.1	33.5	2.9
中学生	423	14.2	2.4	8.7	10.4	20.1	13.5	13.2	15.1	9.5	9.5	2.6	11.8	34.0	4.3

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「資格取得のための支援が受けられること」「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「一時的に必要な資金を貸してもらえらること」「食べるものがなくて困ったときに支援を受けられること」の割合が高くなっています。一方、相対的貧困層に比べ、非相対的貧困層で「特にない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	同じような悩みをもった人同士で知り合えること	民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	資格取得のための支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故等があったときに一時的に子どもを預かってもらえること	一時的に必要な資金を貸してもらえらること	食べるものがなくて困ったときに支援を受けられること	その他	わからない	特にない	無回答
相対的貧困層	148	13.5	4.1	8.1	15.5	24.3	16.2	21.6	16.9	13.5	16.9	1.4	9.5	20.9	2.0
非相対的貧困層	718	16.0	3.1	6.7	14.2	18.0	14.9	10.2	19.1	6.7	8.4	3.3	7.1	37.2	3.5

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること」「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」「一時的に必要となる資金を貸してもらえること」「食べるものがなくて困ったときに支援が受けられること」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「特にない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	合えること	同じような悩みをもった人同士で知り合えること	民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	資格取得のための支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故等があったときに一時的に子どもを預かってもらえること	一時的に必要となる資金を貸してもらえること	食べるものがなくて困ったときに支援を受けられること	その他	わからない	特にない	無回答
母子・父子・養育者世帯	125	12.8	2.4	12.0	12.8	19.2	16.8	27.2	21.6	14.4	17.6	4.8	9.6	20.8	2.4	
その他の世帯	880	16.4	3.4	6.1	14.5	19.1	14.3	9.5	18.0	7.2	8.6	2.6	8.6	35.7	3.4	

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「低」で「病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること」「住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	合えること	同じような悩みをもった人同士で知り合えること	民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	資格取得のための支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故等があったときに一時的に子どもを預かってもらえること	一時的に必要となる資金を貸してもらえること	食べるものがなくて困ったときに支援を受けられること	その他	わからない	特にない	無回答
自己肯定感「高」	483	15.9	2.9	7.9	14.3	18.4	15.5	10.8	19.7	8.9	7.7	3.1	7.7	33.5	3.3	
自己肯定感「中」	435	14.5	3.2	6.4	14.0	19.3	13.1	12.6	16.3	6.9	11.3	1.8	9.9	35.4	3.7	
自己肯定感「低」	58	20.7	6.9	5.2	20.7	20.7	12.1	19.0	22.4	10.3	12.1	6.9	19.0	19.0	1.7	

【可処分所得別】

可処分所得別でみると、他に比べ、100万円未満、400万円以上～500万円未満、700万円以上～800万円未満で「同じような悩みをもった人同士で知り合えること」の割合が、100万円未満で「資格取得のための支援が受けられること」「就職のための支援が受けられること」「食べるものがなくて困ったときに支援が受けられること」の割合が高くなっています。

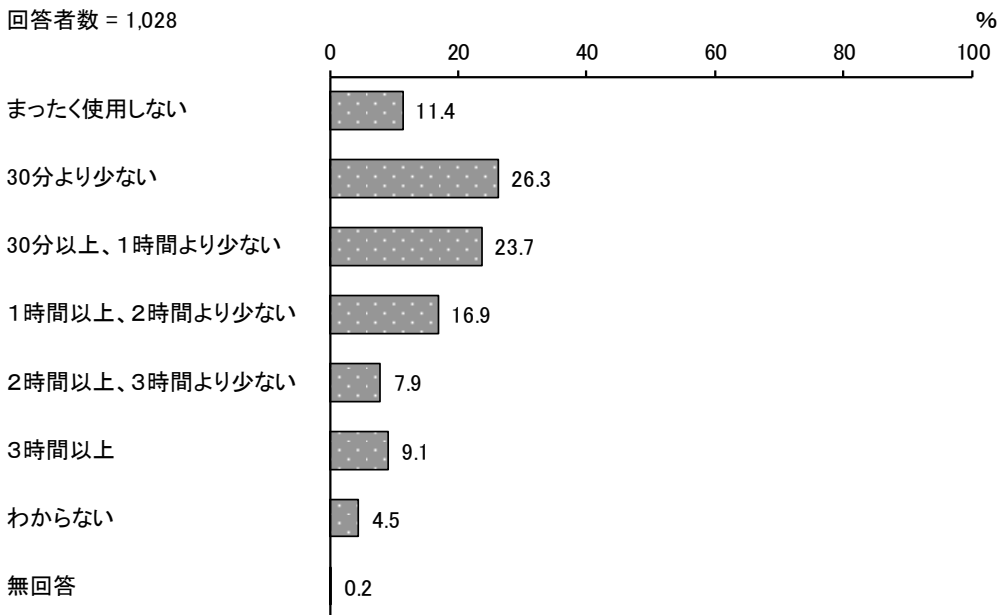
単位：％

区分	回答者数(件)	同じような悩みをもった人同士で知り合えること	民生委員・児童委員など地域の人から支援が受けられること	離婚のことや養育費のことなどについて専門的な支援が受けられること	病気や障がいのことなどについて専門的な支援が受けられること	資格取得のための支援が受けられること	就職のための支援が受けられること	住宅を探したり、住宅費を軽減したりするための支援が受けられること	病気や出産、事故等があったときに一時的に子どもを預かってもらえること	一時的に必要なとなる資金を貸してもらえること	食べるものがなくて困ったときに支援を受けられること	その他	わからない	特にない	無回答
100万円未満	42	21.4	9.5	2.4	21.4	28.6	21.4	16.7	21.4	19.0	28.6	—	14.3	11.9	2.4
100万円以上～200万円未満	62	9.7	1.6	11.3	8.1	19.4	11.3	24.2	16.1	12.9	16.1	3.2	8.1	29.0	1.6
200万円以上～300万円未満	70	11.4	2.9	12.9	20.0	22.9	18.6	21.4	21.4	11.4	14.3	1.4	12.9	21.4	2.9
300万円以上～400万円未満	99	10.1	2.0	5.1	11.1	20.2	21.2	19.2	16.2	9.1	9.1	3.0	9.1	29.3	4.0
400万円以上～500万円未満	125	20.8	6.4	7.2	12.8	16.0	11.2	7.2	16.8	5.6	5.6	4.0	9.6	37.6	4.0
500万円以上～600万円未満	139	17.3	1.4	8.6	18.0	20.9	18.7	10.1	21.6	5.8	12.2	4.3	5.0	36.0	3.6
600万円以上～700万円未満	89	10.1	3.4	6.7	15.7	20.2	14.6	10.1	13.5	10.1	9.0	3.4	7.9	40.4	1.1
700万円以上～800万円未満	79	20.3	3.8	5.1	15.2	15.2	8.9	3.8	21.5	5.1	7.6	2.5	6.3	39.2	3.8
800万円以上～900万円未満	52	17.3	—	7.7	7.7	17.3	13.5	7.7	17.3	5.8	3.8	—	7.7	36.5	3.8
900万円以上～1,000万円未満	42	11.9	—	—	9.5	16.7	11.9	14.3	7.1	2.4	—	—	2.4	52.4	4.8
1,000万円以上	75	17.3	4.0	5.3	17.3	13.3	13.3	6.7	26.7	4.0	5.3	5.3	1.3	40.0	2.7
わからない	91	15.4	5.5	6.6	9.9	19.8	11.0	7.7	16.5	8.8	9.9	2.2	19.8	31.9	3.3

お子さんのタブレット端末の利用状況についておたずねします。

問 33 お子さんが学校の授業時間以外に、1日あたりどれくらい使用していますか。
 (あてはまる番号1つだけに○を付けてください)

「30分より少ない」の割合が26.3%と最も高く、次いで「30分以上、1時間より少ない」の割合が23.7%、「1時間以上、2時間より少ない」の割合が16.9%となっています。



【小5・中2別】

小5・中2別で見ると、小学生に比べ、中学生で「わからない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	まったく使用しない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない	無回答
小学生	561	10.2	27.8	24.8	18.5	8.4	8.6	1.6	0.2
中学生	423	13.7	23.4	21.5	16.1	6.9	9.5	8.7	0.2

【相対的貧困層別】

相対的貧困層別でみると、非相対的貧困層に比べ、相対的貧困層で「3時間以上」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	まったく使用しない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない	無回答
相対的貧困層	148	11.5	22.3	23.0	16.2	6.8	15.5	4.7	—
非相対的貧困層	718	10.4	27.3	24.0	17.7	8.4	8.1	3.9	0.3

【家庭類型別】

家庭類型別でみると、その他の世帯に比べ、母子・父子・養育者世帯で「3時間以上」の割合が高くなっています。一方、母子・父子・養育者世帯に比べ、その他の世帯で「30分より少ない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	まったく使用しない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない	無回答
母子・父子・養育者世帯	125	14.4	16.0	21.6	14.4	8.8	18.4	6.4	—
その他の世帯	880	10.9	27.4	24.2	17.4	7.8	7.8	4.2	0.2

【自己肯定感別】

自己肯定感別でみると、他に比べ、自己肯定感「高」で「30分より少ない」の割合が、自己肯定感「低」で「3時間以上」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	まったく使用しない	30分より少ない	30分以上、1時間より少ない	1時間以上、2時間より少ない	2時間以上、3時間より少ない	3時間以上	わからない	無回答
自己肯定感「高」	483	8.5	29.8	24.6	17.6	8.1	7.7	3.5	0.2
自己肯定感「中」	435	14.9	23.2	22.8	17.2	6.9	9.7	5.3	—
自己肯定感「低」	58	12.1	17.2	19.0	13.8	10.3	15.5	10.3	1.7

【可処分所得別】

可処分所得別で見ると、他に比べ、600 万円以上～700 万円未満で「30 分より少ない」の割合が、700 万円以上～800 万円未満で「30 分以上、1 時間より少ない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	まったく使用しな い	30 分より少ない	30 分以上、1 時間よ り少ない	1 時間以上、 2 時間 より少ない	2 時間以上、 3 時間 より少ない	3 時間以上	わ か ら な い	無 回 答
100 万円未満	42	14.3	23.8	16.7	19.0	9.5	14.3	2.4	—
100 万円以上～ 200 万円未満	62	12.9	19.4	25.8	11.3	6.5	17.7	6.5	—
200 万円以上～ 300 万円未満	70	7.1	28.6	24.3	18.6	4.3	11.4	5.7	—
300 万円以上～ 400 万円未満	99	12.1	26.3	23.2	15.2	13.1	8.1	1.0	1.0
400 万円以上～ 500 万円未満	125	9.6	27.2	24.8	14.4	12.0	7.2	4.8	—
500 万円以上～ 600 万円未満	139	8.6	26.6	25.9	20.1	6.5	8.6	2.9	0.7
600 万円以上～ 700 万円未満	89	14.6	30.3	18.0	21.3	5.6	5.6	4.5	—
700 万円以上～ 800 万円未満	79	6.3	30.4	31.6	16.5	6.3	3.8	5.1	—
800 万円以上～ 900 万円未満	52	9.6	25.0	23.1	23.1	7.7	7.7	3.8	—
900 万円以上～ 1,000 万円未満	42	11.9	21.4	23.8	16.7	9.5	11.9	4.8	—
1,000 万円以上	75	17.3	26.7	18.7	14.7	5.3	13.3	4.0	—
わからない	91	14.3	22.0	20.9	18.7	8.8	5.5	9.9	—

3 自由意見

(1) 子ども調査

問 28 これまでに経験されてよかったことや今興味のあること、これからやってみたいことなどやご意見、ご感想をお書きください。

カテゴリ	件数
スポーツについて	99
教育について	77
旅・思い出について	62
自然・生き物とのふれあいについて	27
アートと表現について	25
音楽について	25
食について	20
ゲームについて	18
科学技術・ものづくりについて	16
ファッション・ビューティーについて	10
ビジネスについて	6
行政・法律について	4
医療・福祉について	2
その他	141

意見抜粋

スポーツについて

- ・ 今、ソフトボールに興味がある。
- ・ バドミントンに興味がある。
- ・ ランニング。
- ・ もっとバドミントンが強くなりたい。漢検3級に受かりたい。もっと勉強をがんばりたい。
- ・ 卓球。
- ・ ボクシングすることに興味がある。
- ・ 学校でサッカーを習いたい。
- ・ いろいろなジャンルのダンスをおどりたい。
- ・ 色々なスポーツを体験したいです。
- ・ 剣道がすごく楽しい！（最近はじめた）
- ・ 自転車のわざをたくさんできるようになりたい。
- ・ 乗馬。
- ・ スケートボード。
- ・ 北海道でスキーをする。
- ・ フリスビーのチームを地域で作ってほしい。

教育について

- ・ 語学に興味があり、英語以外の外国語も勉強して、将来に活かしたい。
- ・ 歴史を勉強したい。
- ・ 最近では理科の化学分野に興味がある。
- ・ これから勉強をもっとがんばっていきたいと思いました。
- ・ 海外との交流。
- ・ 体育の時間を増やしてほしい。
- ・ もっと学校での勉強をがんばったり、生活を整えたいです。
- ・ 小5の時にオーストラリアに短期留学で行って、オーストラリアの文化などについてたくさんふれることができた。
- ・ 音楽に興味がある。先生になりたいと思ったことがある。
- ・ タブレット教材の使用頻度を減らしてほしいです。

旅・思い出について

- ・ 修学旅行に行きたいです。
- ・ 体育祭や合唱コンクールなどの行事をしたい。
- ・ 学校の行事をもっと増やしてほしい。
- ・ いろんな行事が楽しかった。なんか、一日だけでも自分たちで自炊する感じのイベントをしたい。
- ・ 学校の遠足で、山を登って、とてもつかれたけど、頂上に着いて景色を見たら、とてもきれいでびっくりして、とてもいい経験をした。
- ・ 青春18きっぷの旅。
- ・ 合宿がしたい。
- ・ 寺のおまいりなど。
- ・ 今、学校で野外活動などの準備がめちゃくちゃ楽しい。だから、来年の5年生にも楽しさを味わってほしい。だから、この行事をこれからも続けてほしい。
- ・ 「子ども奈良CITY」というイベントに参加して、お店をした。良かったなと思いました。

自然・生き物とのふれあいについて

- ・ キャンプ。
- ・ 田植えや稲刈り、脱穀を経験できてよかった。
- ・ 野外活動でキャンプファイヤーを見て感動した。生き物とのふれあい。
- ・ 地球環境を守るために自然を増やす活動をしたい。
- ・ 動物。
- ・ これからやってみたいことは野外活動。
- ・ もう一匹犬を飼いたい。
- ・ ネコをかうこと。

アートと表現について

- ・ 絵の勉強がしたい。
- ・ マンガを書く事。
- ・ 私は今、キレイな写真をとるのがはまっているので、これからはたんじょうびなどに自分せんようのカメラなどを買って、いっぱい写真をとってみたいと思いました。
- ・ アートやデザインをもっと勉強して将来生かしたい。
- ・ 今興味があることは、アニメと写真です。これからやってみたいことは、アニメの絵を書くことと風景の写真をとりたいです。
- ・ 本格的なデジタルアートをやってみたい。パソコンで音楽をつくってみたい。
- ・ 人や情景、景色などの写真をとること。
- ・ 昔から劇をやってきて、今でも大阪で演劇したりできて、役者になるという夢があります。武道とかもやってみたいです。

音楽について

- ・ 今興味があるものは音楽（ジャニーズの楽曲）。
- ・ 韓国の音楽を聴くことに興味がある。
- ・ 音楽（聴く）。
- ・ 音楽が好き。ネットが好き。
- ・ もっとこれからピアノの練習をしてうまくなりたい。
- ・ ピアノで「右手」「左手」「ペダル」それぞれちがう動きをするので、脳が活性化され、記おく力がよくなること。
- ・ かっこよくなりたい。ドラムをしたい。
- ・ 楽器でトランペットかシンバルをつかってみたい。

食について

- ・ 料理を作ることに興味がある。
- ・ 外食しにいきたい。
- ・ 米作り。
- ・ 給食をもっと美味しくしてほしい。
- ・ シュークリーム作りたい。
- ・ おかし作り。

ゲームについて

- ・ スマホゲーム、アニメ。
- ・ もっとゲームがしたい。
- ・ ゲーム、プロゲーマー、ゲーム関係のこと。
- ・ e スポーツ大会に出てみたい。

科学技術・ものづくりについて

- ・ プログラミングに今興味がある。
- ・ プログラミングですごいゲームを作りたい。
- ・ パソコンの組み立て、自作パソコンの製作。
- ・ これから図工の作品などをたくさん作っていきたいです。

ファッション・ビューティーについて

- ・ 美容、料理、ファッション。
- ・ メイク。
- ・ ネイリストになりたい。
- ・ 将来、服をつくるデザイナーになりたいこと。デザイナーに興味がある。

ビジネスについて

- ・ 開発業にたずさわりたいです。
- ・ 将来は食品開発の仕事につきたい。
- ・ これから行きたい中学校に行き、高校に行き、社会のことを勉強して、やりたい仕事をやればよいと思います。

行政・法律について

- ・ 検事、弁護士。
- ・ 興味があることは政治や読書などです。
- ・ 法律の勉強をしたい。

医療・福祉について

- ・ 医療の勉強、環境の勉強。
- ・ 医療のこと。

その他について

- ・ まんがを集めること。
- ・ お笑い（興味）。
- ・ 早く高校生になりたい。韓国が好き。韓国ドラマがすき。
- ・ ボーイスカウト。
- ・ 廃車を修理して売ったり、所有する。古い車が好きだから。エコだから。休み時間を45分に長くしてほしい。子供がよろこぶ学校を作りたい。
- ・ 今はアインシュタインの「相対性理論」や「三国志」や「外国人の伝記」に興味があります。これからは、今まで自分が知らなかったことや自分の知っていることに対して、もっとくわしく知りたいです。今回のアンケートで、自分に自信が持てました。ありがとうございました。
- ・ 自分がまだ知らないことについて色々知りたい。もっと人にやくだつようなことをしてみたい。

(2) 保護者調査

問 34 これまでの子育ての中で経験されてよかったこと、今後の子育てしやすい環境づくりや子ども達の健やかな成長について、ご意見、ご感想をお書きください。

カテゴリ	件数
保育・学校教育について	142
遊び場所について	48
良かったことについて	45
経済的支援について	33
医療費について	22
子どもの居場所・預け先について	13
家庭環境について	11
困ったことについて	10
地域との関わり、社会的支援について	9
助かったことについて	4
その他	46

意見抜粋

保育・学校教育について

- ・ 子どもを小学校に通わせていますが、あまり信頼できるものではありません。質の高い学校運営をお願いしたいです。自分が子どもの頃(30年以上前)より、冷たいというか、怠慢な気がします。奈良市だけでしょうか。
- ・ 現在住んでいる学区では、経済的に塾に通うことができる家庭と通わせることができない家庭との児童の学力の差が明確であるように感じる。塾代の支援、または学区内で低額で学力をサポートしてくれるような学びの場があれば、高校進学に向けて少しでも不安が軽減されるのでは、3児を育てるうえで常に望んでいました。
- ・ 発達障害とわかってから、全てにおいて、保育園でも小学校でも加配を受けたり、支援を受けたりと、一緒に育てていただきました。一緒に学んで、時には教え合ったりして、子育てできていると感じています。自分一人では決して前向きに育てることはできなかったと思っています。感謝しています。
- ・ PTAの在り方を見直していただきたい。特に市P連の在り方。(学校のPTAはウェブへの切り替えや活動の中止など可能だが、市P連はコロナ禍なのに、会合をしている。参観も、運動会も、修学旅行も遠足も中止なのに、形式的な会合を、人を集めてやっている。意味が分からない。)
- ・ 良い保育園に出会い、保護者どうしのつながりに支えられました。卒園後、園の管理が強くなり、雰囲気や方針が変わってきたと聞き、残念に思っています。小学校では、担任の先生が病気(ストレス?)で、年に2回も交代するということがありました。親と一緒に子育てをしてくれる専門職が大切にされる環境、良い専門職が育つ環境を望みます。
- ・ 保育園の民営化、小学校の統合、小学校の教師の無理解など、育児に対して自治体からストレスをかけられることの方が多かったです。アンケート内容には、育児負担の要因となるものを調べる内容が無いので、自治体のサービス提供の質、どんなことが親にとってストレスとなるかも調べた方がいいと思います。

- ・ 学校でのタブレット等の使用は極力少なくしてほしい。目が心配。体育の時間を海外のように増やしてほしい。目と身体のため。うちの話ではないが、子ども3人目、4人目は上の子が通園している、いない関係なく保育園無料にしては？大変そうです。子育てに厳しいと思います。
- ・ 関東から奈良に越してきて、子育て支援の格差がこんなにも大きいなんて思わなかった。奈良市は子どもを育てるのに恵まれていないと痛感している。近所に子どもを遊ばせる公園がひとつもなかったし、隣の県では無料なものがすべて有料だ。子どもたちが成長する頃には改善されたらよいが、今のところ奈良市に住むメリットは何ひとつ感じられない。学校の制服がないことでお金もかかるし、給食費や私立高校の無償化も実現してほしい。
- ・ タブレットやスマートフォンを使い始めてから視力が一気に低下してしまいました。それによる児童間の誹謗中傷やいじめなどがあると知り、これからの社会にはなくてはならない物ですが、もうちょっと使い方やルールをしっかりと取り決めてもらったほうがいいのかと思いました。
- ・ 保育園から小学校への進学後の夜間時間帯等の見守りがうすくなり、ケアが心配になる場面が多いです。学校、バンビーホームの連携、バックアップが必要です。

遊び場所について

- ・ 子どもたちが安心して放課後、遊べる場所があるといい。公園なども小さく、ボール遊びなどできない、やってはいけない遊びが決められ、のびのびと遊べない。外遊びのできる大きな広場があれば嬉しい。近所に図書館はあるが、勉強はしてはいけないみたいなので、家でゆっくり集中して勉強できない時に無料で利用できる施設があると助かる。
- ・ コロナ禍になりより一層、ゲーム機と学校からのPCを毎日楽しくゲーム、動画三昧の日々、これじゃ子どもたちの近視が悪化して不安です。公園などで外遊びをたくさんしてほしいのが私の気持ちです。学校でも外遊びの時間帯を提供していただいています。(月)～(日)いつでも放課後や土・日の午前中など場所提供してもらえたら、のびのびと体を動かして良いなと思っております。高学年となりますと、習い事等で忙しいので、どうにか目いっぱい体を動かしてほしいです。
- ・ 奈良に転入してくる前は、近くに児童館があったため、安心して子どもが遊べる場所があった。子どもたちが自力で通えるよう、地域ごとにそういう場を作っていただければと思います。
- ・ 歩いて連れて行ける近くの公園がない。
- ・ 子どもたちがのびのびと遊べる公園が少ないと感じています。特に小学生がボール遊びや走り回れる公園が周りになく、子どもたちには過ごしにくい環境だと思います。コロナ禍で普段遊んでいた公園では飲酒した空き缶や嘔吐物などがあり、子どもたちも行くのを嫌がるようになりました。遊ばせる環境がどんどん減ってきているのが悲しいです。
- ・ 11年前に子どもが誕生し、以来ずっと奈良市で生活していますが、奈良市内では、子どもがのびのびと遊べるスポットが少なく、市外へ足を運ぶことが多かったです。観光客向けには様々な取り組みがされていますが、同世代の間で、「奈良市にはないよね…」と過ごしつつ10年以上経ちました。次世代へ向けて、ぜひ、もっとたくさん場所が増えるといいなと願っています。(柏木町の子どもセンターは楽しみにしています。)
- ・ 子どもが安心して外で遊べる場所が欲しい。

- ・ 公園に遊びに行くことによって、自然と親子共々友達ができたと。・ 地域の子供会で、親子共々地域の人と知り合いになれたこと。ただし、この2つは共働きの家庭が増えて、機会が減っていくのを感じます。幼稚園での園庭解放の時間に、他のママ達から小学校の情報をもらったりして、成長にともなう悩みを気軽に相談できたのはよかったです。
- ・ 地域の子供会のようなものがあつたらいいと思った。放課後に利用できるバンビーホームとは違う、支援センターのような所があつたらいいなと思う。子供の安全な遊び場を提供してほしい。
- ・ 近くに大きな公園を作してほしいです。ボールも可の所。

良かったことについて

- ・ 以前にも書きましたが、子どもが赤ちゃんの時、はみがき教室や離乳食の教室を開催していただいて、助かりましたし、知らない人とお友達になる機会になりました。あと、新生児期に保健師さんに来ていただいたのもありがたかったです。
- ・ 子育ての過程で物事の見方や考え方など、自分自身を見つめ直す機会があり、これからも子供と共に成長していけたらと思います。
- ・ 養育している中で、子供に育てられている感が多いです。日々成長していく児の姿に嬉しい限りです。
- ・ 1年生から地域の陸上クラブに入って練習をしています。監督やコーチ、役員の方等、親以外の大人からも指導してもらえて良かったと思います。
- ・ コロナがない頃は、はぐくみセンターの講座をたくさん利用していました。子どもの興味を広げるのにとっても良かったです。
- ・ 小学生のころから地域のクラブに入り、仲間作りや心と体の成長につながり良かった。
- ・ 部活の時間が減っているので、近くの体育館などの利用が自由にできればと思います。今まで大変に感じていた事も、中2になりだぶ落ち着き、自分から様々な事に取り組む姿が見られるようになりました。

経済的支援について

- ・ 子どもが素直に大きなけがや病気がなく育ってくれたことがよかった。このまま大きくなってほしい。母子なのに収入の上限により児童扶養手当が受けられなくなった。上限収入の金額が低すぎる。けっして多い収入ではないのに、母子は少しも余裕をもって過ごしてはいけないのか(もらっても決して余裕が生まれる金額ではないが)。子どもに何もお金をかけてやれない(塾や習い事など)。低所得者はずっとそのまま。せめて子どもに得になるような支援をつくってほしい。
- ・ 低年齢化してきている受験を食い止めるシステム→高校、大学の整備希望。
- ・ 子どもが就学するまでは、子育てサークルや幼稚園などのプレイ保育などに参加し、同じ子育て中のままと知り合うきっかけになり、ストレス解消になったり、悩みを共有したりする機会があつて、良かったです。今はコロナ禍なので、ママ友とお茶やランチする機会が減りましたが、就学前のお子さんをお持ちのお母さん達が、誰かに悩みを相談できているのかなあと、心配になってしまいます。今後の希望としては、子どもにお金がかかるので、手当が高校まで延びるとうれしいです。
- ・ 児童手当だけでは3人の子どもの教育費負担には支援が足りていない。教育費の負担が大きい。
- ・ 子どもに関する費用は所得に応じて、無料にしてほしい。(特に、高校、大学費)

医療費について

- ・ 病院費用に負担が大きい。
- ・ 医療費無料希望。
- ・ 就学前の子どもの医療費が窓口負担減ったことは良かったと思う。早く他市のように18才未満も同様の扱いになれば良いと思う。
- ・ 医療費を一旦払わないといけないこと。大阪や京都などのように、窓口で支払なしにしてほしい。
- ・ 医療費を無料にすることよりも、病気にならないように子どもの食事のこと、睡眠のこと、スマートフォンの利用制限のことなど先にすることが大切だと思います。

子どもの居場所・預け先について

- ・ 託児のある公民館の講座をよく利用しました。少しの間でも子どもを預けて自分の時間を持てるのが、とても良かったです。
- ・ 家と学校以外で子どもの居場所となる、気軽に立ち寄れるような第三の場所があったらいいなと思います。
- ・ 3人年子で、働いていて保育料が3番目無料になったことがうれしかった。すぐに預けられ助かりました。すぐに仕事へ戻れて助かりました。
- ・ 公園が少ないため、小学校（放課後）の開放についてご検討ください。
- ・ 部活動の種類が少ない。やりたい部活動がない等の声をよく聞くので、部活動の種類を増やしてほしい。

家庭環境について

- ・ ひとり親家庭ですが、収入がある、定額あると、ひとり親家庭の控除も受けられずにいます。単なる独身男性が二人の子を養護している状態です。税金ばかり取られ、働いても働いても引かれていくばかりです。もっとひとり親家庭でも中間層の人間の状態も調査し、ぜひ改善していただければと思います。どれだけ働いても税金、一人の男として引かれますし、国から何の補助もありません。これ以上労働時間、(給料)を上げることが出来ないのも現状です。
- ・ 夫婦共働きなんですけど、子供が自分でしないといけないことは人から言われたいです。頼んだ事はやってくれる様になりました。
- ・ 子どもと色々な経験を共有してこられたことが何よりも財産です。しかし、両方とも手にかかる子なので大変です。が、現夫がサポートしてくれるので、楽しみながらがんばりたいです。夫の理解、協力、サポートが大きいです。

困ったことについて

- ・ タブレット学習が増えた事により、学力が低下しているのではと考えてしまう。自由に使用できるパソコンでのチャットをしているので、こちらでの制限ができず困っています。
- ・ 高校（公立）受験について。普通科から専門分野になりつつあるので、情報発信をわかりやすく示してほしい。

地域との関わり、社会的支援について

- ・ 同世代の友達が近くに居ること、近所の人達が見守ってくれることがとても大事だと思います。好きな事、好きな物をできる環境であることが、子供の心に余裕を与えたいと思います。
- ・ 4番目の子は隣の地域の幼稚園に通いました。隣の地域は地域の支援や活動が活発で、子育てしやすい環境だと感じました。自分の住んでいる地域には特に何もなく、地域によって差があるのだと感じました。

助かったことについて

- ・ 地域の集まりで、子供が小さかった頃、赤ちゃん連れで親子教室に参加していました。同じ様に小さな子供連れの方々や人生の先輩と交流して、子育てに対し不安が減り、前向きな気持ちになりました。そういう場所がこれからもあると助かる人もいます。
- ・ 子育て支援サークルのようなところに行っていたが、そこで知り合った方々と今もつながりがあり、いろんな悩みを共有できる。ご近所の方が子供の顔を覚えて下さっているので、声をかけていただいたり、気にかけていただいたりして下さり安心できる。

その他

- ・ 少子化なので、一人で3 km以上の道をアップダウンも多く、女子に通学させるのは不安です。早く通学バスの導入をすすめていただきたいです。話が出始めて2年は経っています。
- ・ やりたいことを反対せずにやらせてあげると（応援すると）、まっすぐ素直な子に育つと思いました。
- ・ 子どもたちが自由にのびのびと自分の好きなこと（将来）を目指して生活している。
- ・ 「大変だ」「負担だ」とマイナスに捉えず、できるだけプラスに捉えることが大切だと考えています。
- ・ もう少し未来の事を考えてほしいです。